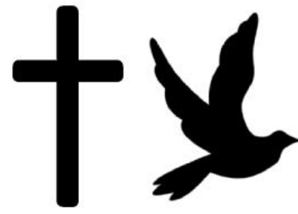


福音書と使徒言行録

目次

マシュー

第 1 章

1 アブラハムの子、ダビデの子、イエス･キリストの
系図。
2 アブラハムはイサクを生み、イサクはヤコブを生み、
ヤコブはユダとその兄弟たちを生んだ。
3 ユダはタマルによってパレスとザラをもうけ、パレ
スはエスロムをもうけ、エスロムはアラムをもうけ
た。
4 アラムはアミナダブを生み、アミナダブはナアソン
を生み、ナアソンはサルモンを生んだ。
5 サルモンはラハブによってボズを生み、ボズにはル
ツによってオベデが生まれ、オベデにはエッサイが
生まれた。
6 エッサイはダビデ王をもうけ、ダビデ王はウリヤの
妻であった女からソロモンをもうけた。
7 そしてソロモンはロボアムを生んだ。そしてロボア
ムはアビアを生んだ。アビアはアサを生んだ。
8 アサはヨシャパテを生み、ヨシャパテはヨラムを生
み、ヨラムはウジアを生んだ。
9 そしてオジアスはヨアサムをもうけた。ヨアサムは
アハズを生んだ。アハズはエゼキアスを生んだ。
10 そしてエゼキアスはマナセスを生んだ。マナセス
はアモンを生んだ。アモンはヨシアスを生んだ。
11 ヨシヤは、バビロンに移送されたころ、エコニヤ
とその兄弟たちをもうけた。
12 彼らがバビロンに連れて行かれた後、エコニヤは
サラティエルを生み、サラティエルはゾロバベルを
生んだ。
13 そしてゾロバベルはアビウドを生んだ。そしてア
ビウドはエリアキムをもうけた。そしてエリアキム
はアゾールを生んだ。
14 アゾルはサドクを生み、サドクはアキムを生み、
アキムはエリウデを生んだ。
15 エリウデはエレアザルを生み、エレアザルはマタ
ンを生み、マタンはヤコブを生んだ。
16 ヤコブはマリアの夫ヨセフをもうけ、マリアから
キリストと呼ばれるイエスが生まれた。
17 ですから、アブラハムからダビデまでの代々は全
部で十四代です。また、ダビデからバビロンに移さ
れるまでも十四代です。また、バビロンに移されて
からキリストまでも十四代です。
18 さて、イエス･キリストの誕生は次のようであった。
母マリアはヨセフと婚約していたが、二人が一緒に
なる前に、聖霊によって身ごもっていることがわか
った。
19 夫ヨセフは正しい人だったので、彼女を公に見せ
しめにすることを望まず、ひそかに離縁しようと考
えた。
20 ヨセフがこれらのことを思い巡らしていたとき、
主の使いが夢に現れて言った。「ダビデの子ヨセフ
よ、恐れることなくマリアを妻として迎えなさい。
彼女の胎内に宿っているのは、聖霊によるので
す。」
21 彼女は男の子を産むであろう。その子をイエスと
名付けなさい。彼は民をその罪から救うからである。
22 このすべてのことは、主について預言者によって
言われたことが成就するためであった。
23 見よ、処女がみごもって男の子を産む。その子を
インマヌエルと呼ぶであろう。これは訳せば、「神
は我らとともにおられる」という意味である。
24 ヨセフは眠りから覚めると、主の天使が命じたと
おりに妻を迎え入れた。
25 彼女が最初の子を産むまでは、彼は彼女を知らな
かった。そして彼はその子をイエスと名付けた。

第 2 章

1 イエスがヘロデ王の時代にユダヤのベツレヘムでお
生まれになったとき、見よ、東から博士たちがエル
サレムにやって来て、
2 彼らは言った。「ユダヤ人の王としてお生まれにな
った方は、どこにおられますか。私たちは東の方に
その方の星を見たので、拝みに来たのです。」
3 ヘロデ王はこれらのことばを聞いて不安に思った。
エルサレム中の者も皆不安に思った。
4 そして、イエスは民の祭司長たちと律法学者たちを
皆集めて、キリストはどこに生まれるのかと問いた
だした。
5 彼らは言った、「ユダヤのベツレヘムです。預言者
によってこう書いてあります。
6 ユダの地ベツレヘムよ、あなたはユダの君主たちの
中で決して小さくはない。あなたから総督が出て、
わたしの民イスラエルを治めるからである。
7 そこでヘロデは博士たちをひそかに呼び寄せて、星
がいつ現れたかを詳しく尋ねた。
8 そこで彼は彼らをベツレヘムに遣わして言った。
「行って、その幼子のことを詳しく捜しなさい。そ
して見つけたら私に知らせなさい。私も行って拝も
う。」
9 彼らは王の言葉を聞いて出発した。すると、彼らが
東方で見た星が彼らの前を進み、ついに幼子のいる
所まで来て、その上に止まった。
10 彼らはその星を見て、非常に大きな喜びに沸いた。
11 そして、彼らは家に入って、母マリアと共におら
れた幼子を見て、ひれ伏して拝み、また宝の箱を開
けて、黄金、乳香、没薬などの贈り物をささげた。
12 彼らは、ヘロデのもとへ戻るなと夢で神から警告
を受けたので、別の道を通って自分の国へ帰って行
った。
13 彼らが立ち去った後、主の使いが夢でヨセフに現
れて言った。「立って、幼子とその母親を連れてエ
ジプトに逃げなさい。そして、わたしが告げるまで
そこにいなさい。ヘロデがその幼子を捜して殺そう
としているからです。」
14 彼は起きて、夜のうちに幼子とその母親を連れて
エジプトへ出発した。

15 そして、ヘロデが死ぬまでそこにいた。それは、
主が預言者を通して言われた、「わたしはわたしの
子をエジプトから呼び出した」という言葉が実現す
るためであった。
16 ヘロデは博士たちに嘲られたのを知って、非常に
怒り、人をやって、博士たちから尋ねておいた時期
に基づいて、ベツレヘムとその地方一帯の二歳以下
の子供たちを皆殺しにした。
17 こうして、預言者エレミヤによって言われたこと
が実現した。
18 ラマで声が聞こえた。嘆きと涙と大きな悲しみの
声。ラケルは子供たちのことで泣いていたが、子供
たちがいないので慰められなかった。
19 ヘロデが死ぬと、見よ、主の使いがエジプトにい
るヨセフに夢で現れて、
20 こう言った。「立って、幼子とその母親を連れて、
イスラエルの地に行きなさい。幼子の命を狙ってい
た者たちは死んだのです。」
21 そこで彼は立ち上がり、幼子とその母親を連れて
イスラエルの地へ行った。
22 しかし、アケラオが父ヘロデに代わってユダヤを
統治していると聞いて、そこへ行くのを恐れた。し
かし、夢で神の警告を受けて、ガリラヤ地方へ立ち
寄った。
23 そしてイエスはナザレという町に来て住んだ。そ
れは、「彼はナザレ人と呼ばれるであろう」と預言
者たちによって言われていたことが実現するためで
あった。

第 3 章

1 そのころ、バプテスマのヨハネが現れて、ユダヤの
荒野で宣教していた。
2 そしてこう言った。「悔い改めよ。天の御国は近づ
いた。」
3 この人こそ、預言者イザヤによってこう言われた人
です。「荒野で叫ぶ者の声がする。『主の道を整え、
その道筋をまっすぐにせよ。』
4 このヨハネは、らくだの毛皮の衣を着て、腰に皮の
帯を締め、いなごと野蜜を食物としていた。
5 そこでエルサレム、ユダヤ全土、ヨルダン川周辺の
全地方の人々が彼のもとに出て行き、
6 そして、彼らは自分の罪を告白して、ヨルダン川で
彼からバプテスマを受けた。
7 しかし、パリサイ人やサドカイ人が大勢、洗礼を受
けに来るのを見て、イエスは彼らに言われた。「ま
むしの子らよ。やがて来る神の怒りから逃れるよう、
だれがあなたたちに警告したのか。
8 ですから、悔い改めにふさわしい実を結びなさい。
9 また、心の中で、「わたしたちの父にはアブラハム
がいる」などと思ってはならない。あなたがたに言
うが、神はこれらの石ころからでも、アブラハムの
子孫を起こすことがおできになるのだ。
10 そして今、斧は木の根元に置かれている。良い実
を結ばない木はみな切り倒され、火に投げ込まれる。
11 わたしは悔改めのために水であなたたちにバプテ
スマを授けている。しかし、わたしのあとに来られ
る方はわたしよりも力のある方で、わたしはその方
の履物を脱ぐ値打ちもない。その方は、聖霊と火と
によってあなたたちにバプテスマをお授けになるで
あろう。
12 彼は箕を手に持ち、打ち場を徹底的に清め、麦を
倉に集め、もみ殻を消すことのできない火で焼き尽
くす。
13 それから、イエスはガリラヤからヨルダン川のヨ
ハネのもとへ行き、彼からバプテスマを受けようと
された。
14 しかし、ヨハネは彼を止めて言った、「わたしは
あなたからバプテスマを受ける必要があるのに、な
ぜわたしのところに来るのですか。」
15 するとイエスは答えて言われた、「今はそうさせ
てください。このようにして、すべての正しいこと
を成就するのは、わたしたちの務めなのです。」す
るとイエスはそれを許しておられた。
16 イエスはバプテスマを受けると、すぐに水から上
がられた。すると、天が開け、神の霊が鳩のように
下ってきて、自分の上にとどまるのを、ごらんにな
った。
17 すると、天から声がして言った、「これはわたし
の愛する子、わたしの心にかなう者である」。

第 4 章

1 そのとき、イエスは悪魔の試みを受けるために、御
霊によって荒野に導かれた。
2 そして、四十日四十夜断食した後、イエスは空腹を
覚えられた。
3 すると、誘惑者がイエスのところにやって来て言っ
た。「あなたが神の子であるなら、これらの石がパ
ンになるように命じてごらんなさい。」
人はパンだけで生きるものではなく、神の口から出
る一つ一つの言葉で生きるものである』と書いてあ
る。」
5 それから悪魔はイエスを聖なる都に連れて行き、神
殿の頂上に立たせて、
6 イエスは言われた。「もしあなたが神の子であるな
ら、下へ飛び降りてみなさい。『神はあなたのため
に御使いたちに命じるであろう。彼らは、あなたの
足が石に打ち当たることのないように、あなたを両
手でささえるであろう』と書いてある。」
7 イエスは彼に言われた、「『主なるあなたの神を
試みてはならない』とまた書いてある。」
8 すると、悪魔はイエスを非常に高い山に連れて行き、
この世のすべての王国とその栄華とを見せた。
9 彼に言った、「もしあなたがひれ伏して私を拝むな
ら、これらのものを皆あなたにあげましょう。」
10 すると、イエスは彼に言われた。「サタンよ、退
け。『主なるあなたの神を拝し、ただ神にのみ仕え
よ』と書いてある。」

11 すると、悪魔は彼を離れ、見よ、御使いたちが来て、彼に仕えた。
12 さて、イエスはヨハネが獄に入れられたと聞いて、ガリラヤへ行かれた。
13 そして、イエスはナザレを去って、ザブロンとネフタリムの境にある海辺のカペナウムに来て住んだ。
14 それは、預言者イザヤによって言われたことが実現するためであった。
15 ザブロンの地、ネフタリムの地、海沿いの地、ヨルダンの向こう側、異邦人のガリラヤ。
16 暗闇に座していた民は大いなる光を見、死の地と陰に座していた者たちに光が生じた。
17 その時から、イエスは宣教を始められた。「悔い改めよ。天の御国は近づいた。」
18 イエスはガリラヤの海べを歩いておられたとき、二人の兄弟、ペテロと呼ばれるシモンとその兄弟アンデレが海に網を打っているのをごらんになった。彼らは漁師であった。
19 そこでイエスは彼らに言われた。「わたしについて来なさい。あなたたちを、人間をとる漁師にしてあげます。」
20 彼らはすぐに網を捨ててイエスに従った。
21 イエスはそこから進んで行かれると、ほかの二人の兄弟、ゼベダイの子ヤコブとその兄弟ヨハネが、父ゼベダイと一緒に舟の中で網を繕っているのをごらんになり、彼らを呼び寄せた。
22 彼らはすぐに船と父親を残してイエスに従った。
23 イエスはガリラヤ全土を巡り歩き、諸会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、民の中のあらゆる病気、あらゆるわずらいを癒された。
24 そして、イエスの名声はシリア全土に広まり、人々は、さまざまな病気や苦しみに苦しむ人々、悪霊に取りつかれた人々、精神異常者、中風の人々をみなイエスのもとに連れて来た。そしてイエスは彼らを癒された。
25 そして、ガリラヤ、デカポリス、エルサレム、ユダヤ、ヨルダン川の向こうから、大勢の民衆がイエスに従った。

第 5 章

1 イエスは群衆を見て山に登り、座られると弟子たちがみもとに来た。
2 そこでイエスは口を開いて彼らに教え始められた。
3 心の貧しい人たちは幸いです、天国は彼らのものだからです。
4 悲しんでいる人たちは幸いである、彼らは慰められるであろう。
5 柔和な人たちは幸いである、彼らは地を受け継ぐであろう。
6 義に飢え渇く人たちは幸いである、彼らは満たされるであろう。
7 憐れみ深い人たちは幸いである、彼らは憐れみを受けるであろう。
8 心の清い人たちは幸いである、彼らは神を見るであろう。
9 平和を実現する人たちは幸いです。彼らは神の子と呼ばれるでしょう。
10 義のために迫害される人たちは幸いです、天国はその人たちのものだからです。
11 わたしのために人々があなたがたをののしり、迫害し、偽ってあなたがたにあらゆる悪口を言うとき、あなたがたは幸いです。
12 喜びなさい。大いに楽しみなさい。天においてあなたがたの受ける報いは大きいからです。あなたがたより前の預言者たちも同じように迫害されたのです。
13 あなたがたは地の塩である。もし塩がその塩気を失ったら、何によって塩気が取り戻されるのか。それはもはや何の役にも立たず、ただ外に捨てられ、人々に踏みつけられるだけである。
14 あなたがたは世の光です。山の上にある町は隠れることができません。
15 また、人々はあかりをつけて、それを枡の下に置くことはせず、燭台の上に置く。それは家の中にいるすべてのものを照らす。
16 あなたがたの光を人々の前に輝かせなさい。そうすれば、人々はあなたがたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようになるでしょう。
17 わたしが律法や預言者を廃止するために来た、と思ってはなりません。廃止するためではなく、成就するために来たのです。
18 よく聞きなさい。天地が滅びるまでは、律法の一点一画も消えることはなく、すべてが成就するのです。
19 だから、これらの最も小さな戒めの一つでも破り、またそうするように人に教える者は、天の御国で最も小さい者と呼ばれるであろう。しかし、これを行ない、またそう教える者は、天の御国で大いなる者と呼ばれるであろう。
20 あなたがたに言います。もしあなたがたの義が律法学者やパリサイ人の義にまさっていなければ、あなたがたは決して天の御国に入れません。
21 あなたがたは昔の人たちから、「殺すな。殺す者は裁きを受けねばならない」と言われていたことを聞いている。
22 しかし、わたしはあなたがたに言う。兄弟に対して理由もなく怒る者は、裁きを受けなければならない。兄弟に向かって「愚か者」と言う者は、議会に引き渡されなければならない。また、「愚か者」と言う者は、地獄の火に投げ込まれなければならない。
23 だから、もしあなたが祭壇に供え物をささげるとき、あなたの兄弟があなたに対して何か恨みを抱いていることをそこで思い出したならば、
24 あなたの供え物を祭壇の前に残して行きなさい。まずあなたの兄弟と和解し、それから戻ってあなたの供え物をささげなさい。

25 あなたを敵対する者と旅をしている間に、速やか
に和解しなさい。そうしないと、敵対する者があな
たを裁判官に引き渡し、裁判官が下役に引き渡し、
あなたが牢に入れられるようなことが起こりかねま
せん。
26 よく聞きなさい。最後の一コドラントを払ってし
まうまでは、決してそこから出ることはできない。
27 あなたがたは昔の人たちから、「姦淫してはなら
ない」と言われていたのを聞いている。
28 しかし、わたしはあなたがたに言います。情欲を
いだいて女を見る者は、心の中ですでに姦淫を犯し
たのです。
29 もしあなたの右の目があなたを罪に陥れるなら、
えぐり出して捨ててしまいなさい。全身が地獄に投
げ込まれるよりは、あなたの体の一部が滅びるほう
があなたにとって益となるからです。
30 もしあなたの右の手があなたを罪に陥れるなら、
それを切り落として捨てなさい。あなたの体の一部
が滅びても、全身が地獄に投げ込まれるよりは、あ
なたにとって益となるからです。
31 「だれでも妻を離縁する者は、離縁状を渡さなけ
ればならない」と言われている。
32 しかし、わたしはあなたがたに言います。不品行
の理由以外で妻を離縁する者は、その妻に姦淫を犯
させるのです。また、離縁された女をめとる者も、
姦淫を犯すのです。
33 また、昔の人たちはこう言っていたのを、あなた
がたは聞いている。「誓いを破ってはならない。誓
ったことは主に対して果たさなければならない。」
34 しかし、わたしはあなたがたに言います。決して
誓ってはいけません。天をさして誓ってはいけませ
ん。そこは神の御座だからです。
35 また、地をさしてはなりません。そこは神の足台
だからです。エルサレムをさしてはなりません。そ
こは偉大な王の都だからです。
36 また、自分の頭をさして誓ってはならない。あな
たは髪の毛一本さえも白くも黒くもすることができ
ないのだから。
37 しかし、あなたがたの言葉は、「しかり、しかり、
否、否」であるべきです。それ以上のことは、すべ
て悪から来るのです。
38 「目には目を、歯には歯を」と言われていたこと
は、あなたがたの聞いているところである。
39 しかし、わたしはあなたがたに言います。悪に手
向かってはいけません。あなたの右の頬を打つ者が
いれば、他の頬をも向けなさい。
40 もしだれかがあなたを訴えて上着を奪おうとする
なら、上着も与えなさい。
41 だれでも、あなたを一マイル行かせようとする者
は、その人と一緒に二マイル行きなさい。
42 あなたに求める者には与えよ。あなたから借りよ
うとする者を断ってはならない。
43 「隣人を愛し、敵を憎め」と言われていたことは、
あなたがたの聞いているところである。
44 しかし、わたしはあなたがたに言います。敵を愛
し、あなたがたを呪う者を祝福し、あなたがたを憎
む者に善行をし、あなたがたを侮辱し迫害する者の
ために祈りなさい。
45 それは、あなたがたが天におられるあなたがたの
父の子どもとなるためです。父は悪い人の上にも良
い人の上にも太陽を昇らせ、正しい人にも正しくな
い人にも雨を降らせて下さるからです。
46 あなたがたは、自分を愛してくれる人を愛したか
らといって、なんの報いがあろうか。徴税人も同じ
ことをするではないか。
47 また、兄弟だけにあいさつをしたからといって、
なんのすぐれたことをしていることになるのか。取
税人でさえそうしているではないか。
48 だから、天にいますあなたがたの父が完全であら
れるように、あなたがたも完全でありなさい。

第 6 章

1 人に見せようとして、人前で施しをしないように気
をつけなさい。そうしないと、天にいますあなたが
たの父から報いを受けられなくなります。
2 だから、施しをするときには、偽善者たちが人から
ほめられようとして会堂や通りでするように、自分
の前でラッパを吹き鳴らしてはならない。よく言っ
ておくが、彼らはすでにその報いを受けている。
3 しかし、施しをするときは、右の手のしていること
を左の手に知らせてはならない。
4 それは、あなたの施しが隠れて行われるためである。
そうすれば、隠れた事を見ておられるあなたの父が、
あなたに報いて下さるであろう。
5 また、祈るときには、偽善者たちのようであっては
なりません。彼らは、人に見られようとして、会堂
や通りの角に立って祈ることを好むのです。よく言
っておきます。彼らはすでに報いを受けています。
6 しかし、あなたは祈るとき、自分の奥まった所に入
り、戸を閉じて、隠れた所におられるあなたの父に
祈りなさい。そうすれば、隠れた所で見ておられる
あなたの父は、報いてくださいます。
7 しかし、祈るときには、異邦人のように、むなしい
言葉を繰り返すな。彼らは、多く語れば聞き入れら
れると思っている。
8 だから、彼らのまねをしてはいけません。あなたが
たの父は、あなたがたが求めない先から、あなたが
たに必要なものをご存じなのです。
9 だから、このように祈りなさい。天にいますわれら
の父よ、御名があがめられますように。
10 御国が来ますように。御心が天で行われるとおり、
地でも行われますように。
11 わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください。
12 わたしたちが自分に負債のある人を赦しましたよ
うに、わたしたちの負債をも赦してください。
13 わたしたちを試みに会わせないで、悪からお救い
ください。国と力と栄光は永遠にあなたのものなの
です。アーメン。

14 もしあなたがたが人々の罪を赦すならば、あなた
がたの天の父もあなたがたの罪を赦して下さるであ
ろう。
15 しかし、もしあなたがたが人々の罪を赦さないな
らば、あなたがたの父もあなたがたの罪を赦して下
さらないであろう。
16 また、断食をするときには、偽善者たちのように
陰気な顔つきをしてはいけません。彼らは断食をし
ているように人に見せようとして、顔を醜くするの
です。よく言っておくが、彼らはすでにその報いを
受けている。
17 しかし、あなたが断食する時には、頭に油を塗り、
顔を洗いなさい。
18 それは、断食をしていることが人々に知られるこ
とではなく、隠れたところにおられるあなたの父に
知られるようになるためである。隠れた事で見てお
られるあなたの父は、報いて下さるであろう。
19 あなたがたは自分の宝を地上に積んではならない。
そこでは虫がそれを食い、さびがつき、また、盗人
らが押し入って盗み出すようなものである。
20 むしろ、自分の宝を天に積みなさい。そこでは虫
も食わず、さびもつかず、盗人らが押し入って盗み
出すこともありません。
21 あなたの宝のあるところに、あなたの心もあるか
らです。
22 体のあかりは目です。だから、あなたの目が正し
く明るければ、あなたの全身も明るいはずです。
23 しかし、もしあなたの目が悪ければ、あなたの全
身も暗いであろう。だから、あなたの中にある光が
暗いなら、その暗さはどんなであろう。
24 だれも、ふたりの主人に仕えることはできません。
一方を憎んで他方を愛し、あるいは、一方に親しん
で他方を蔑むからです。あなたがたは、神と富とに
仕えることはできません。
25 だから、わたしはあなたがたに言います。自分の
命のことで、何を食べようか、何を飲もうかと心配
するな。また、自分の体のことで、何を着ようかと
心配するな。命は食物よりも大切であり、体は着物
よりも大切ではありませんか。
26 空の鳥を見なさい。種を蒔かず、刈り入れもせず、
倉に集めることもしない。しかし、あなたがたの天
の父がこれを養っておられる。あなたがたは、鳥よ
りも、はるかにすぐれた者ではないか。
27 あなたがたのうちだれが、思い煩ったからといっ
て、自分の身長をわずかでも伸ばすことができるで
しょうか。
28 あなたがたはなぜ着るもののことで思い煩うのか。
野のゆりがどんなふうに育つか考えてみなさい。彼
らは働きもせず、紡ぎもしない。
29 しかし、わたしはあなたがたに言います。栄華を
極めたソロモンでさえ、これらのものの一つほどに
も着飾ってはいませんでした。
30 きょうは生えていて、明日は炉に投げ込まれる野
の草でさえ、神はこのように装って下さるのなら、
まして、あなたがたには、もっとよくして下さらな
いはずがあろうか。ああ、信仰の薄い者たちよ。
31 だから、何を食べようか、何を飲もうか、何を着
ようかと言って思い煩うのはやめなさい。
32（異邦人はこれらすべてのものを求めているので
す。）あなたがたの天の父は、これらすべてのもの
があなたがたに必要なことはご存じなのです。
33 しかし、まず神の国と神の義を求めなさい。そう
すれば、これらのものはみな加えて与えられるであ
ろう。
34 だから、明日のことについて思い煩うな。明日の
ことは明日自ら思い煩うであろう。その日の悪はそ
の日だけで十分である。

第 7 章

1 人を裁くな、そうすれば、自分も裁かれないであろ
う。
2 あなたがたが人を裁くその裁きで、自分も裁かれ、
あなたがたが量るその量りで、自分にも量り返され
るであろう。
3 あなたは、なぜ兄弟の目にあるちりに気づきながら、
自分の目にある梁に気づかないのか。
4 また、自分の目には梁があるのに、どうして兄弟に
むかって、『あなたの目からちりを取らせてくださ
い』と言えようか。
5 偽善者よ、まず自分の目から梁を取り去れ。そうす
れば、はっきり見えるようになって、兄弟の目から
ちりを取り去ることができるようになる。
6 聖なるものを犬に与えてはならない。また、真珠を
豚の前に投げてはならない。豚はそれを足で踏みつ
け、向き直ってあなたがたを裂くであろうからであ
る。
7 求めよ、そうすれば与えられるであろう。捜せ、そ
うすれば見いだすであろう。門をたたけ、そうすれ
ばあけてもらえるであろう。
8 すべて求める者は得、捜す者は見つけ出し、門をた
たく者にはあけてもらえるからである。
9 また、あなたがたのうちに、自分の子がパンを求め
るのに、石を与えるような人がいるでしょうか。
10 また、魚を求めるのに、蛇を与えるでしょうか。
11 このように、あなたがたは悪い者であっても、自
分の子供には良い贈り物を与えることを知っている
とすれば、天にいますあなたがたの父はなおさら、
求めてくる者に良いものを下さらないことがあろう
か。
12 だから、あなたがたは、何事でも人々にしてもら
いたいと思うことは、人々にもそのようにしなさい。
これが律法であり預言者である。
13 狭い門から入りなさい。滅びに至る門は大きく、
その道も広いからです。そこから入る者が多いので
す。
14 命に至る門は狭く、その道も細いからである。そ
して、それを見いだす者は少ない。

15 偽預言者に気をつけなさい。彼らは羊の皮をかぶってあなたがたのところにやって来ますが、その内側は貪欲な狼です。
16 あなたがたは、その実によって彼らを見分けるであろう。人は、いばらからぶどうを、あざみからいちじくを集めるであろうか。
17 同様に、良い木は良い実を結び、悪い木は悪い実を結ぶのです。
18 良い木が悪い実を結ぶことはできず、悪い木が良い実を結ぶこともできません。
19 良い実を結ばない木はみな切り倒されて、火に投げ込まれます。
20 それゆえ、あなたたちはその実によって彼らを知るであろう。
21 わたしにむかって『主よ、主よ』と言う者がみな天の王国に入るのではなく、ただ天にいますわたしの父の御心を行う者だけが入るのである。
22 その日には、多くの者がわたしに言うでしょう。『主よ、主よ、私たちはあなたの名で預言をし、あなたの名で悪霊を追い出し、あなたの名で多くの不思議なわざを行ったではありませんか。』
23 そのとき、わたしは彼らにはっきり言います。「わたしはあなたがたを全然知らない。不法を行う者どもよ、わたしから離れ去れ。」
24 それゆえ、わたしのこれらの言葉を聞いてそれを行なう者はだれでも、岩の上に自分の家を建てた賢い人に比べることができる。
25 雨が降り、洪水が押し寄せ、風が吹いてその家を打ちつけたが、倒れることはなかった。岩の上に建てられていたからである。
26 わたしのこれらの言葉を聞いても行わない者はみな、砂の上に自分の家を建てた愚かな人に比べることができます。
27 雨が降り、洪水が起こり、風が吹いてその家を打ちつけたので、その家は倒れた。その倒れ方はひどかった。
28 イエスがこれらの言葉を語り終えると、人々はその教えに驚いた。
29 イエスは律法学者たちのようにではなく、権威ある者として彼らに教えたのです。

第 8 章

1 イエスが山を下りると、大勢の群衆が従った。
2 すると、そこに、らい病人が来て、イエスを拝して言った。「主よ、お心ならば、わたしを清くすることがおできになります。」
3 するとイエスは手を伸ばして彼に触れ、「そうしてあげよう。清くなれ」と言われた。すると、彼のらい病はたちまち清くなった。
4 イエスは彼に言われた、「だれにも言わないように注意しなさい。ただ行って、自分を祭司に見せ、モーセが命じた供え物をささげて、彼らへの証拠としなさい。」
5 イエスがカペナウムに入られると、百人隊長がみもとに来て、こう懇願した。
6 そして言った。「主よ、私のしもべは中風を患って、ひどく苦しみながら家に寝ています。」
7 するとイエスは彼に言われた、「わたしが行って彼を癒してあげよう」。
8 百人隊長は答えて言った。「主よ、わたしはあなたを屋根の下にお入れする資格がありません。ただお言葉をください。そうすれば、しもべは癒されます。」
9 わたしは権威の下にある者であり、わたしの下に兵士たちがいます。わたしがこの人に、「行け」と言えば彼は行き、ほかの人に、「来い」と言えば彼は来ます。また、わたしの僕に、「これをしなさい」と言えば彼はそれをします。
10 イエスはこれを聞いて驚嘆し、従っていた人々に言われた。「よく聞きなさい。イスラエルの中でも、これほどの信仰を見たことがない。」
11 また、わたしはあなたがたに言う。東から西から多くの者が来て、天の御国でアブラハム、イサク、ヤコブと共に席に着くであろう。
12 しかし、王国の子らは外の暗闇に追い出され、そこで泣き叫び、歯ぎしりするであろう。
13 イエスは百人隊長に言われた。「行きなさい。あなたの信じたとおりになりますように。」すると、そのしもべは、ちょうどそのとき癒された。
14 イエスはペテロの家に入って、彼のしゅうとめが熱病で床に伏しているのをごらんになった。
15 イエスが彼女の手に触れられると、熱はひき、彼女は起き上がって彼らに仕えた。
16 夕方になると、悪霊に取りつかれた人たちが大勢イエスのもとに連れて来られた。イエスは御言葉をもって悪霊を追い出し、病人をみな癒された。
17 それは、預言者イザヤによって言われた言葉が成就するためであった。「キリストは、わたしたちの病を身に受け、わたしたちの病を負われた。」
18 さて、イエスは大勢の群衆が自分の周りに集まっているのを見て、向こう岸へ渡るように命じられた。
19 すると、ある律法学者が近寄ってきて、イエスに言った。「先生、あなたがおいでになる所ならどこへでも従ってまいります。」
20 イエスは彼に言われた、「狐には穴があり、空の鳥には巣がある。しかし、人の子にはまくらする所がない。」
21 すると、弟子のひとりがイエスに言った。「主よ、まず、父を葬りに行かせてください。」
22 しかし、イエスは彼に言われた、「わたしに従いなさい。そして、死んでいる者たちに、自分たちの死人を葬らせなさい。」
23 イエスが舟に乗り込まれると、弟子たちも従った。
24 すると、海に激しい暴風が起こり、船は波に覆われてしまった。しかしイエスは眠っておられた。
25 すると弟子たちがイエスのもとに来て、イエスを起こして言った。「主よ、わたしたちをお助けください。わたしたちは死にそうです。」

26 そこでイエスは彼らに言われた、「なぜ恐れるのか、信仰の薄い者たちよ。」それからイエスは起き上がって、風と海とをしかられた。すると、大なぎになった。
27 しかし、人々は驚いて言った。「風も海も従うとは、いったいこの人はなんという人なのだろう。」
28 それから、イエスが向こう岸のゲルゲサ人の地方に着くと、墓場から出て来る悪霊に取りつかれた二人に出会った。彼らは非常に凶暴だったので、だれもその道を通ることはできなかった。
29 すると、彼らは叫んで言った。「神の子イエスよ、あなたは、私たちと何の係わりがあるのですか。時期が来ないうちに、私たちを苦しめるために、ここに来たのですか。」
30 彼らからかなり離れたところに、たくさんの豚の群れが飼われていた。
31 そこで悪霊たちはイエスに願って言った。「もし私たちを追い出すのなら、豚の群れの中に行かせてください。」
32 そこでイエスは彼らに言われた、「行きなさい」。彼らは出て行って豚の群れの中に入った。すると、豚の群れはみな、がけから海へ猛然と駆け下り、水の中で死んでしまった。
33 そこで、彼らを守っていた者たちは逃げて町に行き、悪霊に取りつかれた者たちに起こったことをすべて告げ知らせた。
34 すると、町中の人がイエスを出迎えに出てきた。そして、イエスを見ると、その地方から立ち去っていただくようにと願った。

第 9 章

1 そこでイエスは舟に乗り、向こう岸へ渡って自分の町に帰られた。
2 すると、人々が中風の人を床に寝かせたまま、イエスのところに連れて来た。イエスは彼らの信仰を見て、中風の人に言われた。「子よ、元気を出しなさい。あなたの罪は赦された。」
3 すると、ある律法学者たちが心の中で、「この人は神を冒涜している」と言った。
4 イエスは彼らの考えを知って言われた、「なぜ心の中で悪いことを考えているのか。
5 「あなたの罪は赦された」と言うのと、「起きて歩きなさい」と言うのと、どちらが易しいでしょうか。
6 しかし、人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることを、あなたがたに知らせるために、（そのとき、イエスは中風の人に言った。）起き上がり、床を担いで家に帰りなさい。
7 そして彼は立ち上がって自分の家へ帰って行った。
8 しかし、群衆はそれを見て驚き、このような権威を人間に与えた神を賛美した。
9 イエスはそこから出て行かれるとき、マタイという人が税関に座っているのを見て、「わたしについて来なさい」と言われた。するとマタイは立ち上がってイエスに従った。
10 さて、イエスが家で食事をしておられると、多くの取税人や罪人たちが来て、イエスや弟子たちと一緒に席に着いた。
11 すると、パリサイ人たちはそれを見て、弟子たちに言った。「なぜ、あなたがたの先生は、取税人や罪人たちと一緒に食事をされるのですか。」
12 しかし、イエスはそれを聞いて彼らに言われた、「健康な人には医者はいらない。いるのは病人である。」
13 しかし、あなたがたは行って、これがどういう意味かを学びなさい。「わたしが好むのはあわれみであって、いけにえではない。わたしは義人を招くためではなく、罪人を招くために来たのである。」
14 そのとき、ヨハネの弟子たちがイエスのもとに来て言った。「私たちとパリサイ人たちは断食を頻繁にしているのに、あなたの弟子たちはなぜ断食をしないのですか。」
15 イエスは彼らに言われた、「花婿が一緒にいる間は、花嫁の子らは悲しんでいられるだろうか。しかし、花婿が彼らから取り去られる日が来る。その時は、彼らは断食するであろう」。
16 だれも、古い着物に新しい布切れを継ぎ足そうとはしない。継ぎ足そうとする布切れが、着物から裂け、裂け目がさらにひどくなるからである。
17 また、人は新しいぶどう酒を古い皮袋に入れたりはしない。そうすると、皮袋は破れて、ぶどう酒は流れ出て、皮袋はだめになってしまう。しかし、新しいぶどう酒を新しい皮袋に入れれば、両方とも保存される。
18 イエスがこれらのことを彼らに話しておられると、ある役人が来て、イエスを拝して言った、「私の娘はもう死んでしまいました。しかし、来て、あなたの手を置いてください。そうすれば、娘は生き返ります」。
19 そこでイエスは立ち上がってイエスに従った。弟子たちも従った。
20 すると、十二年間も血の流出を患っている女が、後ろからイエスに近づき、その着物のすそに触れた。
21 彼女は心の中で、「もし彼の着物に触れさえすれば、私は救われるだろう」と思ったからである。
22 しかし、イエスは振り向いて、彼女を見て言われた。「娘よ、安心しなさい。あなたの信仰があなたを救ったのです。」すると、その女はそのときから癒された。
23 イエスは総督の家に入って、楽士たちと群衆が騒いでいるのを見て、
24 イエスは彼らに言われた、「場所を空けなさい。おとめは死んだのではなく、眠っているのです」。そして彼らはイエスをあざ笑った。
25 しかし、民衆が外に出ると、彼は中に入って彼女の手を取ると、その女は立ち上がった。
26 そして、このことの評判はその地方全体に広まった。

27 イエスがそこから立ち去られると、二人の盲人が
叫びながらついて来て、「ダビデの子よ、わたした
ちをあわれんでください」と言った。
28 イエスが家に入られると、盲人たちがイエスのも
とに来た。イエスは彼らに言われた、「わたしにそ
れができると信じますか」。彼らはイエスに言った、
「はい、主よ」。
29 それからイエスは彼らの目に触って言われた、
「あなたがたの信仰のとおりになるように。」
30 すると、彼らの目が開けた。そこでイエスは彼ら
に厳しく命じて言われた、「だれにもこのことが知
られないように気をつけなさい。」
31 しかし、彼らは去ってから、イエスの名声をその
地方全体に広めた。
32 彼らが出て行くと、悪霊に取りつかれた口のきけ
ない人がイエスのところに連れて来られた。
33 悪魔が追い出されると、口のきけない者がものを
言うようになった。群衆は驚いて言った、「イスラ
エルでこんなことはかつてなかった。」
34 しかし、パリサイ人たちは言った、「彼は悪霊の
頭によって悪霊を追い出しているのだ。」
35 イエスはすべての町や村を巡り歩き、会堂で教え、
御国の福音を宣べ伝え、民の中のあらゆる病気、あ
らゆるわずらいを癒された。
36 しかし、イエスは群衆を見て、彼らが羊飼いのい
ない羊のように弱り果てて散らされているのを見て、
深く憐れまれた。
37 そこで、イエスは弟子たちに言われた。「収穫は
豊かだが、働き手が少ない。
38 だから、収穫の主に、収穫のために働き手を送っ
てくださるように祈りなさい。

第 10 章

1 そこでイエスは十二弟子を呼び寄せて、汚れた霊を
追い出し、あらゆる病気、あらゆるわずらいを癒す
権威を彼らにお与えになった。
2 さて、十二使徒の名前は次のとおりである。第一の
使徒はペテロと呼ばれるシモンとその兄弟アンデレ、
ゼベダイの子ヤコブとその兄弟ヨハネである。
3 フィリポ、バルトロマイ、トマス、取税人マタイ、
アルファイの子ヤコブ、タダイという名のレバイオ、
4 カナン人シモンと、イエスを裏切ったイスカリオテ
のユダである。
5 イエスはこの十二人を遣わして、彼らに命じて言わ
れた、「異邦人の道に行ってはならない。またサマ
リア人の町にも、入ってはならない。
6 むしろ、イスラエルの家の失われた羊のところに行
きなさい。
7 そして、行って宣べ伝えなさい。『天の御国は近づ
いた。』
8 病人を癒し、重い皮膚病を患っている人を清め、死
人を生き返らせ、悪霊を追い出しなさい。ただで受
けたのだから、ただで与えなさい。
9 財布の中に金や銀や青銅を入れてはならない。
10 旅のために袋も持たず、二枚の上着も、履物も、
また杖も持たず。働く者は自分の食物を得るに値す
るからだ。
11 そして、どの町や村に入っても、そこにふさわし
い人がいるかどうか尋ねなさい。そして、そこを去
るまでそこにとどまっていなさい。
12 家に入るときには、あいさつをしなさい。
13 もしその家がふさわしいものであれば、あなたが
たの平和がその家に臨むように。もしそれがふさわ
しくないものであれば、あなたがたの平和があなた
方のもとに戻るように。
14 あなたがたを受け入れず、あなたがたの言葉を聞
かない者がいたなら、その家や町から出て行くとき、
足のちりを払い落としなさい。
15 よく言っておくが、裁きの日には、ソドムとゴモ
ラの地の方が、あの町よりも耐えやすいであろう。
16 見よ、わたしはあなたがたを、狼の真ん中に羊を
送り出すようなものである。だから、蛇のように賢
く、鳩のように素直であれ。
17 しかし、人々には気をつけなさい。彼らはあなた
がたを議会に引き渡し、会堂でむち打つでしょう。
18 そして、あなたたちはわたしのために総督たちや
王たちの前に引き出され、彼らと異邦人に対して証
言することになる。
19 しかし、引き渡されるときには、何をどう話そう
かと心配するな。何を話すべきかは、そのとき知ら
されるからである。
20 語るのはあなたがたではなく、あなたがたのうち
に語るあなたがたの父の霊である。
21 そして兄弟は兄弟を、父は子供を死に渡し、子供
たちは両親に反抗して、両親を殺させるであろう。
22 また、わたしの名のゆえに、あなたがたはすべて
の人に憎まれるであろう。しかし、最後まで耐え忍
ぶ者は救われるであろう。
23 しかし、この町で迫害を受けるときは、他の町へ
逃げなさい。よく言っておくが、人の子が来るまで
には、あなたがたはイスラエルの町々を回りきれな
いであろう。
24 弟子はその師匠以上ではなく、しもべはその主人
以上ではありません。
25 弟子が師匠のようであり、しもべが主人のようで
あれば十分です。もし家の主人がベルゼブルと呼ば
れているなら、ましてその家の者をベルゼブルと呼
ぶのはなおさらです。
26 それゆえ、彼らを恐れてはならない。隠されてい
るもので、現われないものはなく、隠されているも
ので、知られないものはないからである。
27 わたしが暗やみで話すことを、あなたがたは光の
中で語り、耳で聞くことを、あなたがたは屋上で宣
べ伝えなさい。
28 からだを殺しても、魂を殺すことのできない者ど
もを恐れるのではなく、むしろ、からだも魂も地獄
で滅ぼす力のある方を恐れなさい。

29 雀二羽は一アサリオンで売られているではないか。
あなたがたの父の許しがなければ、その一羽も地に
落ちることはない。
30 しかし、あなたがたの頭の毛までも、みな数えら
れている。
31 だから、恐れることはない。あなたがたはたくさ
んの雀よりも価値があるのだ。
32 だから、人々の前でわたしを公にする者はだれで
も、わたしも天にいますわたしの父の前でその人を
公にします。
33 しかし、だれでも人々の前でわたしを否定するな
ら、わたしも天にいますわたしの父の前でその人を
否定します。
34 わたしが地上に平和をもたらすために来たと思っ
てはなりません。わたしは平和ではなく、剣をもた
らすために来たのです。
35 わたしが来たのは、人をその父と、娘をその母と、
嫁をそのしゅうとめと争わせるためである。
36 そして、人の敵はその人の家の者となるであろう。
37 わたしよりも父や母を愛する者は、わたしにふさ
わしくありません。わたしよりも息子や娘を愛する
者も、わたしにふさわしくありません。
38 自分の十字架を負ってわたしについて来ない者は、
わたしにふさわしくありません。
39 自分の命を得ている者はそれを失い、わたしのた
めに自分の命を失った者は、それを見いだすであろ
う。
40 あなたがたを受け入れる者はわたしを受け入れる
のであり、わたしを受け入れる者はわたしをつかわ
した方を受け入れるのである。
41 預言者を預言者という名で受け入れる者は、預言
者の報いを受け、義人を義人という名で受け入れる
者は、義人の報いを受けるであろう。
42 そして、弟子であるというだけの名において、こ
れらの幼子たちの一人に冷たい水一杯でも飲ませて
くれる者は、よく言っておくが、その人は決して報
いを受け損なわれることはない。

第 11 章

1 さて、イエスは十二弟子たちに命じ終えると、町々
で教え、宣べ伝えるためにそこを去られた。
2 さて、ヨハネは獄中でキリストの働きについて聞い
て、二人の弟子を遣わして、
3 イエスは言われた。「あなたは来るべき方ですか。
それとも、ほかの方を待つべきでしょうか。」
4 イエスは答えて彼らに言われた、「行って、あなた
がたが見聞きしたことをヨハネに伝えなさい。
5 目の見えない人は見えるようになり、足の不自由な
人は歩けるようになり、重い皮膚病を患っている人
は清められ、耳の聞こえない人は聞こえ、死人は生
き返り、貧しい人々には福音が宣べ伝えられる。
6 わたしにつまずかない者は幸いである。
7 彼らが立ち去るとき、イエスはヨハネについて群衆
に語り始めた。「あなたがたは何を見に荒野へ出か
けたのか。風に揺れる葦か。」
8 しかし、あなたがたは何を見に出てきたのか。柔ら
かい衣を着た人か。見よ、柔らかい衣を着ている人
たちは王宮にいるのだ。
9 しかし、あなたがたは、何を見に出てきたのですか。
預言者ですか。そうです、あなたがたに言います。
預言者以上の者です。
10 この人については、「見よ、わたしはあなたの前
に使者を遣わす。彼はあなたの前に道を備えるであ
ろう」と書いてある。
11 よく聞きなさい。女から生まれた者の中で、バプ
テスマのヨハネより偉大な者は現れなかった。しか
し、天の御国で最も小さい者でも、彼よりは偉大で
ある。
12 バプテスマのヨハネの時代から今に至るまで、天
の王国は暴力を受けており、暴力を振るう者たちが
それを奪い取っているのです。
13 というのは、すべての預言者と律法はヨハネに至
るまで預言していたからである。
14 あなたがたが受け入れるなら、この人は、やがて
来るはずだったエリヤです。
15 聞く耳のある者は聞きなさい。
16 しかし、この世代を何にたとえようか。それは市
場に座って仲間に呼びかける子供たちのようだ。
17 また言った、「われわれはあなたがたに笛を吹い
たが、あなたがたは踊らなかった。われわれはあな
たがたに嘆いたが、あなたがたは悲しまなかっ
た。」
18 ヨハネは来ず、食べることも飲むこともしなかっ
たから、人々は『彼は悪霊に取りつかれている』と
言うのです。
19 人の子が来て食べたり飲んだりすると、人々は言
う、「見よ、この人は食いしん坊で、大酒を飲んで
いる。取税人や罪人たちの仲間だ。」しかし、知恵
はその子らによって正当化される。
20 そこでイエスは、その奇跡の多くを成し遂げた
町々が悔い改めなかったために、彼らを叱責し始め
た。
21 コラジンよ、あなたは災いを受け、ベツサイダよ、
あなたは災いを受けます。あなたの中で行われた力
あるわざが、もしティルスとシドンで行われていた
なら、彼らはとうの昔に荒布をまとい、灰をかぶっ
て悔い改めていたことでしょう。
22 しかし、わたしはあなたがたに言う。審判の日に
は、ティルスとシドンの方があなたがたよりも耐え
やすいであろう。
23 カペナウムよ、汝は天にまで高められたが、陰府
に落とされるであろう。汝の中で行われた力あるわ
ざが、もしソドムで行われていたなら、ソドムは今
日まで残っていたであろう。
24 しかし、わたしはあなたがたに言う。裁きの日に
は、ソドムの地の方が、あなたがたよりも耐えやす
いであろう。

25 そのとき、イエスは答えて言われた、「天地の主
なる父よ。あなたに感謝します。あなたはこれらの
ことを知恵のある者や賢い者に隠し、幼子たちに現
してくださいました。」
26 そのとおりです、父よ。それがあなたの目に良い
と思われたのです。
27 すべてのものは父からわたしに与えられている。
そして、父のほかには、子を知る者はいない。また、
子と、子が父をあらわそうと思う者のほかには、だ
れも父を知る者はいない。
28 すべて労苦し、重荷を負う者はわたしのもとに来
なさい。あなたがたを休ませてあげます。
29 わたしのくびきを負って、わたしに学びなさい。
わたしは柔和で心のへりくだった者だからです。そ
うすれば、あなたがたの魂に休みが与えられます。
30 わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽い
からです。

第 12 章

1 そのころ、イエスは安息日に麦畑の中を通られた。
弟子たちは空腹だったので、穂を摘んで食べ始めた。
2 ところが、パリサイ人たちはそれを見て、イエスに
言った。「ごらんなさい。あなたの弟子たちは、安
息日にしてはならないことをしています。」
3 しかし、イエスは彼らに言われた、「ダビデとその
供の者たちが飢えていたとき、彼らが何をしたかを、
あなたがたは読んだことがないのか。
4 彼はどのようにして神の家に入り、供えのパンを食
べたのか。それは彼も、彼と共にいた者たちも食べ
てはならないもので、祭司たちだけが食べることが
許されていた。
5 それとも、律法の中で読んだことがないのか。安息
日に宮で祭司たちが安息日を汚しても、罪はない。
6 しかし、わたしはあなたがたに言います。この場所
には神殿よりも偉大なものがあるのです。
7 しかし、もしあなたがたが、「わたしはあわれみを
好むのであって、いけにえを好むのではない」とい
う意味を知っていたなら、罪のない者を罪に定めな
かったであろう。
8 人の子は安息日の主である。
9 イエスはそこを去って、会堂にはいられた。
10 すると、そこに片手のなえた人がいた。人々は彼
を訴えようとして、「安息日に人を治すのは、律法
に定められているでしょうか」と尋ねた。
11 そこでイエスは彼らに言われた、「あなたがたの
うちに、一匹の羊を持っている人がいて、それが安
息日に穴に落ち込んだら、それをつかんで引き上げ
ないであろうか。
12 それでは、人は羊よりもどれほど優れているでし
ょうか。それゆえ、安息日に善を行なうことは正し
いことです。
13 そこでイエスはその人に、「手を伸ばしなさい」
と言われた。そこで彼が手を伸ばすと、手は元通り
になった。
14 そこで、パリサイ人たちは出て行って、どのよう
にしてイエスを殺そうかと協議した。
15 しかし、イエスはそれを知って、そこから立ち去
られた。すると、大勢の群衆がイエスに従った。そ
して、イエスは彼らをみな癒された。
16 そして、イエスを人々に知らせないようにと彼ら
に命じた。
17 それは、預言者イザヤによって言われたことが実
現するためであった。
18 見よ、わたしが選んだわたしの僕、わたしの愛す
る者、わたしの心にかなう者。わたしはわたしの霊
を彼の上に置く。彼は諸国民に公正を示すであろう。
19 彼は争うことも、叫ぶこともない。また、だれも
街路で彼の声を聞くことはない。
20 主は、勝利に導く裁きを下されるまで、傷んだ葦
を折らず、くすぶる灯心を消すこともない。
21 そして異邦人たちは彼の名に信頼するであろう。
22 そのとき、悪霊に取りつかれた盲目で口のきけな
い人が、イエスのところに連れて来られた。イエス
は彼を癒して、盲人と口のきけない人が、ものが言
え、見えるようになった。
23 民衆は皆驚いて言った、「この人はダビデの子で
はないか。」
24 しかし、パリサイ人たちはこれを聞いて言った、
「この人が悪霊を追い出しているのではなく、悪霊
の頭ベルゼブルによるのだ。」
25 イエスは彼らの考えを見抜いて言われた、「内部
で分裂した国はみな滅び、内部で分裂した町や家は
立ち行かなくなる。
26 そして、もしサタンがサタンを追い出すなら、サ
タンは内部で分裂するでしょう。それでは、彼の王
国はどうして存続するでしょうか。
27 もし私がベルゼブルによって悪霊を追い出してい
るのなら、あなたがたの子供たちはだれによって追
い出しているのですか。彼らがあなたがたを裁く者
となるでしょう。
28 しかし、わたしが神の霊によって悪霊を追い出し
ているのであれば、神の国はすでにあなたたちのと
ころに来ているのです。
29 あるいは、まず強い人を縛らなければ、どうして
強い人の家に入ってその財産を奪うことができよう
か。そうすれば、その人は彼の家を奪うであろう。
30 わたしと共にいない者はわたしに敵対する者であ
り、わたしと共に集めない者は散らす者である。
31 それゆえ、わたしはあなたがたに言います。人に
は、すべての罪も冒涜も赦されます。しかし、聖霊
に対する冒涜は、赦されません。
32 人の子に対して何か言う者は、だれでも赦される
であろう。しかし、聖霊に対して何か言う者は、こ
の世でも、また来るべき世でも、赦されることはな
いであろう。
33 木が良ければその実も良いが、木が悪ければその
実も悪くなる。木はその実によってわかるからであ
る。

34 まむしの子らよ。あなたたちは悪い者でありなが
ら、どうして良いことを語ることができようか。心
に満ちあふれていることを口は語るのだ。
35 善良な人は心の良い倉から良いものを取り出し、
悪い人は悪い倉から悪いものを取り出します。
36 しかし、わたしはあなたがたに言います。人はそ
の語るすべてのむだ話について、審判の日に言い開
きをしなければなりません。
37 あなたは、あなたの言葉によって義とされ、また
あなたの言葉によって罪とされるであろう。
38 すると、律法学者やパリサイ人のうちのある人々
が答えて言った。「先生、私たちはあなたからしる
しを見たいのです。」
39 しかし、イエスは答えて言われた、「邪悪で不道
徳な時代はしるしを求める。しかし、預言者ヨナの
しるしのほかには、何のしるしも与えられないであ
ろう。
40 ヨナが三日三晩、鯨の腹の中にいたように、人の
子も三日三晩、地の中心にいるであろう。
41 ニネベの人々は、この世代と共に裁きのときに立
ち上がり、この世代を罪に定めるであろう。なぜな
ら、彼らはヨナの説教を聞いて悔い改めたからであ
る。見よ、ヨナよりも偉大な者がここにいる。
42 南の女王は、この世代と共に裁きのときに立ち上
がり、この世代を罪に定めるであろう。彼女はソロ
モンの知恵を聞くために、地の果てから来たのであ
る。見よ、ソロモンよりも偉大な者がここにいる。
43 汚れた霊が人から出て行くと、彼は休み場を求め
て乾いた場所を歩き回るが、見つけることができな
い。
44 そこで彼は、「出て来た自分の家に帰ろう」と言
う。そして帰ってみると、そこは空っぽで、掃除さ
れ、飾り付けられていた。
45 そこで、彼は出て行って、自分よりも悪い他の七
つの霊を連れ、その中に入り込んで住みつく。その
人の後の姿は、初めよりもさらに悪い。この邪悪な
世代にも、そのようになるであろう。
46 イエスがまだ群衆に話しているうちに、見よ、イ
エスの母と兄弟たちが外に立って、イエスと話した
いと思っていた。
47 すると、ある人がイエスに言った。「あなたの母
上と兄弟たちが、あなたと話そうとして外に立って
います。」
48 しかしイエスは、自分を告げた者に答えて言われ
た。「わたしの母とはだれですか。わたしの兄弟と
はだれですか。」
49 そしてイエスは弟子たちのほうに手を伸ばして言
われた。「わたしの母、わたしの兄弟たちをご覧な
さい。」
50 天にいますわたしの父の御心を行う者はだれでも、
わたしの兄弟、また姉妹、また母なのです。

第 13 章

1 その日、イエスは家を出て、海辺に座っておられた。
2 大勢の群衆がイエスのもとに集まったので、イエス
は舟に乗って座られた。そして、群衆は皆岸に立っ
ていた。
3 そしてイエスは彼らに多くのことをたとえで語った。
「見よ、種まき人が種を蒔きに出かけた。
4 種を蒔いていると、道端に落ちた種もあったが、鳥
が来てそれを食べてしまった。
5 ある種は土の薄い石地に落ちたが、土が深くないの
ですぐに芽を出した。
6 そして、太陽が昇ると、それらは焼けてしまい、根
がないので枯れてしまいました。
7 ある種はいばらの中に落ちたが、いばらが生え出て、
それをふさいでしまった。
8 しかし、ほかの種は良い地に落ちて、百倍、六十倍、
三十倍の実を結びました。
9 聞く耳のある者は聞きなさい。
10 すると弟子たちが近寄って来てイエスに言った、
「なぜ彼らにたとえでお話しになるのですか」。
11 イエスは答えて言われた、「天の御国の奥義を知
ることは、あなたがたに許されているが、彼らには
許されていないからである。
12 持っている人はさらに与えられて豊かになり、持
っていない人は持っているものまでも取り上げられ
るであろう。
13 だから、わたしは彼らにたとえで話すのです。彼
らは見ても見ず、聞いても聞かず、悟ることもしな
いからです。
14 そして、彼らの中に、イザヤの預言が成就した。
それはこう言っている。「あなたがたは聞くには聞
いても、理解しない。見るには見ても、悟らな
い。」
15 この民の心は鈍くなり、耳は聞こえなくなり、目
は閉じられている。それは、彼らが目で見、耳で聞
き、心で悟り、悔い改めてわたしが彼らを癒すこと
ができないためである。
16 しかし、あなたがたの目は見ているので幸いであ
る。あなたがたの耳は聞いているから幸いである。
17 よくよくあなたがたに言うが、多くの預言者や義
人たちは、あなたがたが見ているものを見たいと願
ったが、見ることができず、あなたがたが聞いてい
るものを聞きたいと願ったが、聞くことができなか
った。
18 そこで、種まき人のたとえを聞きなさい。
19 だれでも御国のことばを聞いて悟らないと、悪い
者が来て、その人の心に蒔かれたものを奪い去りま
す。道端で種を蒔かれたのは、この人のことです。
20 しかし、石地に蒔かれた者とは、御言を聞いてす
ぐに喜んで受け入れる者のことである。
21 しかし、彼は自分自身の中に根を張っていないの
で、しばらくは耐えているだけです。なぜなら、御
言葉のために苦難や迫害が起こると、すぐにつまず
いてしまうからです。

22 いばらの中に種を蒔かれた者とは、御言を聞く者
のことである。しかし、この世の思い煩いや富の惑
わしが御言をふさぐので、実を結ばなくなる。
23 しかし、良い地に種を蒔くとは、御言を聞いて悟
る人のことです。その人は実を結び、あるものは百
倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍の実を結
びます。
24 イエスは、また別のたとえを彼らに語った。「天
の御国は、畑に良い種を蒔いた人のようなものであ
る。
25 ところが、人々が眠っている間に、敵が来て、麦
の中に毒麦を蒔いて立ち去った。
26 しかし、芽が出て実を結ぶと、毒麦も現れた。
27 そこで、家の主人の僕たちが来て言った。「ご主
人様、畑に蒔いた種は良いものではありませんか。
どうして毒麦が生えたのですか。」
28 彼は彼らに言った、「これは敵の仕業です」。家
来たちは彼に言った、「それでは、私たちが行って、
彼らを集めましょうか」。
29 しかしイエスは言われた。「いいえ、毒麦を集め
るときに、麦も一緒に抜いてしまうといけないから
です。」
30 収穫の時まで、両方とも一緒に育てておきなさい。
収穫の時が来たら、わたしは刈る者たちに言う、
『まず毒麦を集めて束ね、焼き捨てなさい。しかし
麦のほうはわたしの倉に集めなさい。』
31 イエスは、また別のたとえを彼らに示して言われ
た、「天の御国は、一粒のからし種のようなもので
ある。ある人がそれを取って、自分の畑に蒔いた。
32 それは、すべての種の中で最も小さいものである
が、成長すると、草の中で最も大きくなり、空の鳥
が来てその枝に巣を作るほどの木となる。
33 イエスは、また別のたとえを彼らに話された。
「天の御国はパン種のようなものである。女がそれ
を取って三斗の粉の中に混ぜると、全体が膨らんで
しまった。」
34 イエスはこれらのことをみな、たとえで群衆に話
された。たとえを用いずには、彼らに話されなかっ
た。
35 それは、預言者によって言われた言葉が成就する
ためである。「わたしは口を開いて譬を語り、世の
初めから隠されていたことを語る。」
36 それから、イエスは群衆を解散させて家に入られ
た。すると、弟子たちがみもとに近寄ってきて言っ
た、「畑の毒麦のたとえを説明してください。」
37 イエスは答えて彼らに言われた、「良い種をまく
者とは、人の子である。
38 畑は世界のことである。良い種は御国の子らであ
る。毒麦は悪い者の子らである。
39 それを蒔いた敵は悪魔であり、収穫は世の終わり
であり、刈り取る者は天使たちである。
40 だから、毒麦が集められて火で焼かれるように、
この世の終わりにも同じようなことが起こります。
41 人の子は天使たちを遣わし、天使たちは、つまず
きとなるものや不法を行う者をすべて、自分の王国
から集めさせます。
42 そして彼らを火の燃える炉に投げ込むであろう。
そこでは嘆きと歯ぎしりが起こるであろう。
43 そのとき、義人は父の王国で太陽のように輝くで
あろう。聞く耳のある者は聞きなさい。
44 また、天の御国は畑に隠してある宝のようなもの
である。人はそれを見つけると、それを隠し、喜び
のあまり、行って持ち物を全部売り払って、その畑
を買うのである。
45 また、天の御国は、良い真珠を探している商人の
ようなものです。
46 彼は非常に高価な真珠一つを見つけると、行って
持ち物を全部売り払ってそれを買いました。
47 また、天の御国は、海に投げ込まれて、あらゆる
種類のものを集める網のようなものである。
48 それがいっぱいになると、人々は岸に着いて座り、
良いものは器に集め、悪いものは捨てた。
49 世の終わりにも同じようなことが起こります。天
使たちが来て、正しい者の中から悪者を分け、
50 そして彼らを火の炉に投げ込むであろう。そこで
は嘆きと歯ぎしりが起こるであろう。
51 イエスは彼らに言われた、「あなたがたはこれら
のことがみな分かりましたか」。彼らは言った、
「はい、主よ」。
52 そこでイエスは彼らに言われた、「だから、天の
御国のことを学んでいる学者はみな、自分の倉から
新しいものも古いものも取り出す一家の主人に似て
いる。」
53 イエスはこれらのたとえ話を終えると、そこから
立ち去られた。
54 イエスは自分の国に帰ってから、会堂で人々を教
えられた。人々は驚いて言った、「この人は、この
ような知恵と、このような力あるわざとを、どこか
ら得たのか」。
55 この人は大工の息子ではないか。その母はマリア
というではないか。兄弟たちはヤコブ、ヨセ、シモ
ン、ユダではないか。
56 彼の姉妹たちも皆私たちと一緒にいるではありま
せんか。それなのに、この人はこれらすべてのもの
をどこから持ってきたのですか。
57 彼らはイエスにつまずいた。しかしイエスは彼ら
に言われた、「預言者は自分の故郷や自分の家以外
では敬われないことはない」。
58 しかし、彼らの不信仰のゆえに、イエスはそこで
多くの奇跡を行われなかった。

第 14 章

1 そのころ、領主ヘロデはイエスの評判を聞いて、
2 そして、僕たちに言った。「これはバプテスマのヨ
ハネである。死人の中からよみがえったのだ。だか
ら、彼のうちには力あるわざが現れているのだ。」

3 というのは、ヘロデは自分の兄弟フィリポの妻ヘロ
デヤのことで、ヨハネを捕えて縛り、牢に入れたか
らである。
4 ヨハネは彼に言った、「あなたが彼女をめとること
は許されていない。」
5 イエスは、イエスを殺そうとしたとき、群衆を恐れ
た。彼らはイエスを預言者とみなしていたからであ
る。
6 ところが、ヘロデの誕生日の祝賀のとき、ヘロデヤ
の娘が彼らの前で踊りを踊り、ヘロデを喜ばせた。
7 そこで彼は、彼女が求めるものは何でも与えると誓
って約束した。
8 彼女は、母親からあらかじめ教えられていたので、
こう言いました。「バプテスマのヨハネの首を盆に
載せて、ここに持ってきてください。」
9 王は残念に思ったが、誓いのため、また一緒に食事
をする人たちのために、彼女にそれを与えるように
命じた。
10 そこで彼は人をやって、獄中でヨハネの首をはね
させた。
11 彼の首は盆に載せられて、乙女に渡された。乙女
はそれを母親のところへ持って行った。
12 弟子たちが来て、死体を引き取り、葬り、そして
イエスに報告した。
13 イエスはそれを聞いて、舟で人里離れた所へ立ち
去られた。群衆もそれを聞いて、町々から歩いてイ
エスに従った。
14 イエスは出て行って、大勢の群衆を見て、彼らを
深く憐れみ、病人を癒された。
15 夕方になると、弟子たちがイエスのもとに来て言
った。「ここは寂しい所ですし、もう時間も過ぎま
した。群衆を解散させて、村々へ行って食べ物を買
うようにさせてください。」
16 しかし、イエスは彼らに言われた、「彼らが去る
必要はない。あなたがたが彼らに食べ物を与えなさ
い。」
17 彼らはイエスに言った、「ここにはパン五つと魚
二匹しかありません」。
18 彼は言った、「それをここに持って来なさい」。
19 それから、イエスは群衆に草の上に座るように命
じ、五つのパンと二匹の魚とを取り、天を仰いで祝
福し、パンを裂いて弟子たちに与えた。弟子たちは
群衆に渡した。
20 彼らはみな食べて満腹した。残ったパンくずを集
めると十二のかごにいっぱいになった。
21 そして食べた者は、女と子供を除いて男約五千人
であった。
22 そこでイエスは、ただちに弟子たちを強いて舟に
乗り込ませ、自分より先に向こう岸へ行かせ、その
間に群衆を解散させた。
23 イエスは群衆を解散させてから、祈るためにひと
り山に登られた。夕方になっても、イエスはそこに
ひとりでおられた。
24 しかし、船はすでに海の真ん中にあり、逆風のた
めに波に揺られていた。
25 夜の第四時ごろ、イエスは海の上を歩いて彼らの
ところに行かれた。
26 弟子たちは、イエスが海の上を歩いておられるの
を見て、幽霊だと言って、不安になり、恐怖のあま
り叫び声をあげた。
27 しかし、イエスはすぐに彼らに話しかけて言われ
た、「安心しなさい。わたしだ。恐れることはな
い。」
28 するとペテロが答えて言った。「主よ、あなたで
したら、わたしに命じて水の上を渡ってみもとに行
かせてください。」
29 そこでイエスは、「来なさい」と言われた。ペテ
ロは舟から降りて、水の上を歩いてイエスのもとへ
行った。
30 しかし、風が激しくなるのを見て、彼は恐れ、沈
みかけたので、「主よ、わたしを助けてください」
と叫んだ。
31 すると、イエスはすぐに手を伸ばして彼をつかみ、
こう言われた。「信仰の薄い者よ、なぜ疑ったのか。
32 彼らが舟に乗り込むと、風は止んだ。
33 すると、舟の中にいた者たちが近寄って来て、イ
エスを拝して言った、「まことに、あなたは神の子
です。」
34 そして彼らは渡って行って、ゲネサレの地に入っ
た。
35 その地方の人々はイエスのことを知って、その周
囲の地方全体に人を遣わし、病人をみなイエスのも
とに連れて来た。
36 そして、イエスの着物のふさにでも触れさせてく
ださいと願った。すると、触れた者たちはみな完全
に癒された。

第 15 章

1 そのとき、エルサレムの律法学者やパリサイ人たち
がイエスのもとに来て言った。
2 あなたの弟子たちはなぜ昔の人たちの言い伝えを破
るのですか。彼らはパンを食べるとき手を洗わない
のです。
3 しかしイエスは答えて彼らに言われた、「なぜ、あ
なたがたも神の戒めを、自分の言い伝えによって破
るのですか。
4 神はこう命じておられます。「あなたの父と母を敬
え。父または母をののしる者は死刑に処せられ
る。」
5 しかし、あなたがたは言う。「わたしからいただい
たものはすべて、贈り物です。」と父または母に言
う者は、
6 彼の父や母を敬わなければ、彼は自由になる。この
ように、あなたたちは神の戒めを、あなたたちの言
い伝えによって無効にしてしまったのだ。
7 偽善者たちよ、イザヤはあなたたちについてよく預
言してこう言った。
8 この民は口先ではわたしに近づき、唇ではわたしを
敬うが、その心はわたしから遠く離れている。

9 しかし、彼らは人間の戒めを教義として教えながら、
わたしを拝んでいるが、それはむなしいことである。
10 そこでイエスは群衆を呼び寄せて言われた。「聞
いて悟りなさい。
11 口に入るものは人を汚しません。かえって、口か
ら出るもの、これが人を汚します。
12 すると、弟子たちが近寄ってきてイエスに言った、
「パリサイ人たちがこの御言葉を聞いて、つまずい
たことをご存じですか」。
13 しかし、イエスは答えて言われた、「わたしの天
の父が植えなかった植物は、みな抜き取られるであ
ろう。」
14 彼らを放っておけ。彼らは盲人を導く盲人である。
もし盲人が盲人を導くなら、二人とも穴に落ちるで
あろう。
15 するとペテロが答えて言った。「このたとえを説
明してください。」
16 するとイエスは言われた、「あなたがたもまだ分
からないのか。
17 あなたがたはまだ悟らないのか。口から入るもの
は腹に入り、そして外へ吐き出されるのだ。
18 しかし、口から出るものは心から出て来るのであ
り、それが人を汚すのです。
19 悪い考え、殺人、姦淫、不品行、盗み、偽証、冒
涜などは心から出てくるからです。
20 これらは人を汚すものである。しかし、洗わない
手で食べることは人を汚すものではない。
21 それからイエスはそこを去って、ティルスとシド
ンの地方へ行かれた。
22 すると、その地方からカナンの女が出て来て、イ
エスに叫んで言った。「主よ、ダビデの子よ、わた
しをあわれんでください。娘が悪霊に悩まされてい
るのです。」
23 しかしイエスは、ひと言もお答えにならなかった。
そこで弟子たちが近寄って来て、こう願った。「彼
女を追い払ってください。叫びながらあとを追って
来ています。」
24 しかしイエスは答えて言われた、「わたしはイス
ラエルの家の失われた羊以外のところにはつかわさ
れていない」。
25 そこで彼女は近寄ってイエスを拝み、「主よ、わ
たしを助けてください」と言った。
26 しかしイエスは答えて言われた、「子供たちのパ
ンを取って小犬に投げ与えるのはよくない。」
27 彼女は言った。「主よ、それは本当です。しかし、
犬も主人の食卓から落ちるパンくずを食べるので
す。」
28 するとイエスは答えて言われた、「婦人よ、あな
たの信仰は立派だ。あなたの望みどおりになります
ように。」すると、その瞬間から娘は癒された。
29 イエスはそこを去って、ガリラヤの海に近づき、
山に登ってそこに座られた。
30 すると、大勢の群衆が、足の不自由な人、目の見
えない人、口のきけない人、体の不自由な人、その
他多くの者を連れてイエスのもとにやって来て、彼
らをイエスの足もとにひれ伏させたので、イエスは
彼らを癒された。
31 群衆は、口のきけない者がものを言い、体の不自
由な者が治り、足の不自由な者が歩けるようになり、
目の見えない者が見えるようになったのを見て驚き、
イスラエルの神を賛美した。
32 すると、イエスは弟子たちを呼び寄せて言われた、
「この群衆がかわいそうに思う。彼らはもう三日間
もわたしと一緒にいるのに、何も食べる物がない。
途中で弱り果ててしまう恐れがあるので、断食させ
ておくことはしない。」
33 すると弟子たちはイエスに言った、「荒野で、こ
んなに大勢の群衆に満腹させるほどのパンを、どこ
から手に入れたらよいでしょうか」。
34 イエスは彼らに言われた、「パンはいくつありま
すか」。彼らは言った、「七つあります。また、小
さな魚が少しあります」。
35 そしてイエスは群衆に地面に座るように命じられ
た。
36 そして、イエスは七つのパンと魚とを取り、感謝
をささげてからそれを裂き、弟子たちに与えた。弟
子たちは群衆に与えた。
37 彼らはみな食べて満腹した。残ったパンくずを集
めると七つの籠いっぱいになった。
38 そして食べた者は、女と子供を除いて、男四千人
であった。
39 そこでイエスは群衆を解散させ、舟に乗ってマグ
ダラの地方に行かれた。

第 16 章

1 パリサイ人たちもサドカイ人たちと一緒に来て、イ
エスを試そうとして、天からのしるしを見せていた
だくようにと願った。
2 イエスは答えて彼らに言われた、「夕方になると、
空が赤いから、天気は良くなるだろうとあなたがた
は言う。
3 朝になると、今日は悪天候になるだろう。空は赤く
曇っている。偽善者たちよ、あなたたちは空の様相
を見分けることができるのに、時の兆しを見分ける
ことができないのか。
4 邪悪で不道徳な時代はしるしを求めるが、預言者ヨ
ナのしるしのほかには、何のしるしも与えられない
であろう。そこでヨナは彼らを残して立ち去った。
5 弟子たちは向こう岸へ行ったとき、パンを持ってく
るのを忘れていた。
6 するとイエスは彼らに言われた、「パリサイ人やサ
ドカイ人のパン種に気をつけて、警戒しなさい。」
7 そこで彼らは互いに論じて言った。「それは、わた
したちがパンを持ってこなかったからだ。」
8 イエスはそれを知って、彼らに言われた。「信仰の
薄い者たちよ、なぜパンを持って来なかったからと
いって、互いに論じ合っているのか。

9 あなたがたはまだ悟らないのか。五つのパンを五千人に分け与え、いくつのかごに集めたか、思い出さないのか。
10 また、七つのパンを四千人に分け与えたが、幾つの籠に集めたか。
11 わたしがパンについて、パリサイ人やサドカイ人のパン種に注意しなさいと言ったのではないのに、どうしてあなたがたは気づかないのか。
12 そのとき彼らは、イエスがパン種のことではなく、パリサイ人やサドカイ人の教えに注意するようにと言われたのだということがわかった。
13 イエスはピリポ・カイサリア地方に来たとき、弟子たちに尋ねて言われた。「人々は人の子をだれだと言っているか。」
14 彼らは言った、「ある者は、あなたはバプテスマのヨハネだと言っています。また、他の者は、エリヤだ、あるいは、エレミヤ、あるいは預言者のひとりだと言っています。」
15 イエスは彼らに言われた、「それでは、あなたがたはわたしをだれだと言うか。」
16 シモン・ペテロは答えて言った。「あなたこそ、生ける神の子、キリストです。」
17 すると、イエスは答えて言われた、「シモン・バルヨナよ、あなたは幸いです。あなたにこの事をあらわしたのは、血肉ではなく、天にいますわたしの父です。」
18 わたしもあなたに言います。あなたはペテロです。わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てます。陰府の門もそれに打ち勝つことはできません。
19 そして、わたしはあなたに天の王国のかぎを授けます。あなたが地上でつなぐことは、天でもつながれ、あなたが地上で解くことは、天でも解かれるでしょう。
20 それから、イエスは弟子たちに、自分がイエスがキリストであることをだれにも言ってはならないと命じられた。
21 その時から、イエスは、ご自分がエルサレムへ行き、長老、祭司長、律法学者たちから多くの苦しみを受け、殺され、そして三日目によみがえらなければならないことを、弟子たちに示し始められた。
22 するとペテロはイエスを捕らえて、叱り始めた。「主よ、とんでもないことです。そんなことはあなたには起こりません。」
23 しかし、イエスは振り向いてペテロに言われた。「サタンよ、引き下がれ。あなたはわたしの邪魔者だ。あなたは神のことを思わず、人間のことを思っている。」
24 そのとき、イエスは弟子たちに言われた。「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負って、わたしに従って来なさい。
25 自分の命を救おうと思う者はそれを失い、わたしのために自分の命を失う者は、それを救うであろう。
26 人は、たとい全世界を手に入れても、自分の命を失ったら、何の得があろうか。人は、その命を買い戻すために、何を代価として与えることができようか。
27 人の子は父の栄光のうちに天使たちを従えて来るが、そのとき、各人にその行いに応じて報いを与えるであろう。
28 よく聞きなさい。ここに立っている人の中には、人の子がご自分の王国をもって来るのを見るまでは、決して死を味わわない者たちがいます。

第 17 章

1 六日の後、イエスはペテロ、ヤコブ、その兄弟ヨハネを連れて、ただ一人高い山に登り、
2 そして、彼らの目の前で姿が変わり、その顔は太陽のように輝き、その衣は光のように白くなった。
3 すると、モーセとエリヤが彼らに現れて、イエスと語り合った。
4 するとペテロがイエスに答えて言った、「主よ、わたしたちがここにいるのは、すばらしいことです。もしお望みでしたら、わたしたちはここに幕屋三つを建てましょう。あなたのために一つ、モーセのために一つ、エリヤのために一つです。」
5 イエスがまだ話しておられるうちに、見よ、輝く雲が彼らを覆い、そして見よ、雲の中から声がした、「これはわたしの愛する子、わたしの心にかなう者である。これに聞け」。
6 弟子たちはこれを聞いて、ひれ伏し、非常に恐れた。
7 するとイエスが近寄って来て、彼らに触れて言われた、「起きなさい。恐れることはない。」
8 彼らが目を上げて見ると、ただイエスのほかにはだれも見えなかった。
9 彼らが山を下りるとき、イエスは彼らに命じて言われた。「人の子が死人の中からよみがえるまでは、この夢をだれにも話してはならない。」
10 すると弟子たちはイエスに尋ねた。「それでは、なぜ律法学者たちは、まずエリヤが来なければならないと言っているのですか。」
11 するとイエスは答えて彼らに言われた、「確かに、まずエリヤが来て、すべてのことを元どおりにするであろう」。
12 しかし、わたしはあなたがたに言います。エリヤはすでに来ています。人々は彼を知らないで、自分のしたいように彼にしたのです。人の子も同じように彼らから苦しみを受けるでしょう。
13 そのとき、弟子たちは、イエスがバプテスマのヨハネのことを話しておられるのだと悟った。
14 彼らが群衆のところに来ると、ある人がイエスのもとに来てひざまずき、こう言った。
15 主よ、私の息子をあわれんでください。彼は気が狂い、ひどく苦しんでいます。何度も火の中に落ち、何度も水の中に落ちているのです。
16 そこで私は彼をあなたの弟子たちのところに連れて行きましたが、彼らは彼を治すことができませんでした。

17 すると、イエスは答えて言われた、「ああ、信仰
のない、曲がった時代よ。いつまで、わたしはあな
たがたと一緒にいなければならないのか。いつまで、
あなたがたを我慢しなければならないのか。彼をこ
こに連れて来なさい。」
18 イエスは悪魔をしかられると、悪魔は彼から出て
行った。すると、その子はそのときから癒された。
19 そのとき、弟子たちはイエスのもとに来て言った、
「なぜ私たちは彼を追い出せなかったのですか。」
20 イエスは彼らに言われた、「それはあなたがたの
信仰がないからだ。よく聞きなさい。もし、からし
種一粒ほどの信仰があれば、この山にむかって、
『ここからあそこに移れ』と言えば、移るであろう。
そして、何事もあなたがたにできないことはないで
あろう。」
21 しかし、この種のものは、祈りと断食とによって
でなければ、追い出すことができません。
22 彼らがガリラヤに滞在していたとき、イエスは彼
らに言われた、「人の子は人々の手に引き渡される
であろう。
23 彼らは彼を殺しますが、三日目に彼は復活します。
彼らは非常に悲しんだ。
24 彼らがカペナウムに着くと、税金を徴収する者た
ちがペテロのところに来て言った、「あなたがたの
主人は税金を払わないのか」。
25 彼は、「はい」と言った。彼が家に入ると、イエ
スは彼を止めて言われた、「シモン、あなたはどう
思うか。地上の王たちはだれから税金や貢物を取っ
ているのか。自分の子どもからか、それとも他国人
からか。」
26 ペテロはイエスに言った、「旅人たちからです」。
イエスは彼に言われた、「それでは子供たちは自由
になる」。
27 しかし、わたしたちが彼らを怒らせないように、
あなたは海へ行き、釣り針を投げて、最初に釣れた
魚を釣りなさい。その口を開けば、一枚の金貨が見
つかるでしょう。それを取って、わたしとあなたの
分として彼らに与えなさい。

第 18 章

1 そのとき、弟子たちがイエスのもとに来て言った、
「天の御国で一番偉いのはだれですか。」
2 そこでイエスは幼子を呼び寄せ、彼らの中に立たせ
て、
3 そして言った、「よく聞きなさい。心を入れ替えて
幼子のようになるのでなければ、天の御国に入れま
せん。」
4 だから、この幼子のように自分を低くする者が、天
の御国で一番偉い人です。
5 そして、わたしの名のゆえにこのような幼子の一人
を受け入れる者は、わたしを受け入れるのである。
6 しかし、わたしを信じるこれらの幼子たちの一人で
も罪を犯させる者は、その首に石臼をかけられて海
の深みに沈められた方が、その人の益となる。
7 罪過のゆえに、世は災いである。罪過は必ず起こる。
しかし、罪過を起こすその人は災いである。
8 だから、もしあなたの手や足があなたを罪に陥れる
なら、それを切り落として捨てなさい。両手両足が
そろったまま永遠の火に投げ込まれるよりは、不具
や不具のままで命に入るほうがあなたにとってよい
のです。
9 もしあなたの目があなたを罪に陥れるなら、それを
えぐり出して捨てなさい。両目がそろったまま地獄
の火に投げ込まれるよりは、片目でも命に入る方が
あなたにとってよいのです。
10 これらの幼子たちを一人でも軽んじないように気
をつけなさい。あなたがたに言いますが、彼らの天
使たちは、天にいますわたしの父の御顔をいつも天
で仰いでいるのです。
11 人の子は失われたものを救うために来たのです。
12 あなたがたはどう思いますか。ある人が百匹の羊
を飼っていて、その一匹が迷い出たとしたら、その
人は九十九匹を残して山へ行き、迷った一匹を捜し
出さないでしょうか。
13 そして、もしそれを見つけたら、よく言っておく
が、その人は迷わなかった九十九匹の羊よりもその
一匹の羊のことを喜ぶであろう。
14 そのように、これらの幼子たちの一人でも滅びる
ことは、天にいますあなたがたの父の御心ではない。
15 また、もしあなたの兄弟があなたに対して罪を犯
したなら、あなたと彼とだけの間で行って、彼の罪
を告げなさい。もし彼があなたの言うことを聞き入
れるなら、あなたはあなたの兄弟を得たのです。
16 しかし、もし彼があなたの言うことを聞かないな
ら、あと一人か二人を連れて行きなさい。二人か三
人の証人の口によって、すべての言葉が確定するで
あろう。
17 もし彼が彼らの言うことを聞かないなら、教会に
告げなさい。しかし、もし彼が教会の言うことを聞
かないなら、あなたにとって彼を異邦人や取税人と
同じ扱いにしなさい。
18 よく聞きなさい。あなたがたが地上でつなぐこと
は、天でもつながれ、あなたがたが地上で解くこと
は、天でも解かれるであろう。
19 また、あなたがたに言います。あなたがたのうち
二人が、どんな事でも地上で心を一つにして祈るな
ら、天にいますわたしの父はそれをかなえてくださ
います。
20 二人または三人がわたしの名によって集まってい
るところには、わたしもその中にいるのである。
21 そのとき、ペテロがイエスのもとに来て言った。
「主よ、兄弟が私に対して罪を犯した場合、何回赦
すべきでしょうか。七回まででしょうか。」
22 イエスは彼に言われた。「わたしはあなたに、七
たびまでとは言わない。七十回七たびまでとしなさ
い。」
23 それゆえ、天の王国は、僕たちのことを計算に入
れるある王にたとえられます。

24 彼が計算を始めると、一万タラントの負債のある
者が連れて来られた。
25 しかし、彼には返済する能力がなかったので、主
人は彼と彼の妻子、および彼が所有するすべてのも
のを売って返済するように命じました。
26 そこで、その僕はひれ伏して主を拝し、「ご主人
様、どうか私にご猶予を下さい。そうすれば、全部
お返ししますから」と言った。
27 すると、その僕の主人は哀れに思って、彼を赦し、
負債を免除してやった。
28 ところが、その僕は出て行って、百デナリの借金
をしている仲間の一人を見つけ、彼に手をかけて首
を絞め、「借金を返せ」と言った。
29 そこで、その仲間は彼の足もとにひれ伏して、懇
願して言った。「どうかお待ちください。そうすれ
ば、全部お返ししますから。」
30 しかし彼は聞き入れず、行って、借金を返すまで
彼を牢に入れた。
31 そこで、仲間たちはこの出来事を見て非常に悲し
み、主人のところへ行って、この出来事をすべて告
げた。
32 そこで主人は彼を呼び寄せて言った。「悪い僕よ、
あなたの望みどおりに、あの負債を全部ゆるしてや
ったのだ。
33 私があなたを憐れんだように、あなたも仲間を憐
れむべきではなかったのか。
34 主人は怒り、借金をすべて返済するまで彼を拷問
官たちに引き渡した。
35 あなたがたも、もし心から兄弟の過ちを赦さない
ならば、わたしの天の父もあなたがたに対して同じ
ようになさるであろう。

第 19 章

1 さて、イエスはこれらの言葉を語り終えると、ガリ
ラヤを去って、ヨルダン川の向こうのユダヤ地方へ
行かれた。
2 大勢の群衆がイエスに従ったので、イエスはそこで
彼らを癒された。
3 パリサイ人たちもイエスのところにきて、イエスを
試そうとして言った、「どんな理由があっても、夫
がその妻を離縁することは、律法にかなっています
か」。
4 そこでイエスは答えて言われた、「あなたがたはま
だ読んだことがないのか。創造主は初めに人を男と
女に創造された。
5 また言われた、「それゆえ、人は父母を離れ、妻と
結ばれ、ふたりの者は一体となるべきである」。
6 それゆえ、彼らはもはやふたりではなく、一体なの
です。神が結び合わせたものを、人は引き離しては
ならないのです。
7 彼らはイエスに言った、「それでは、なぜモーセは
離縁状を渡して妻を離縁せよと命じたのですか。」
8 イエスは彼らに言われた、「モーセはあなたがたの
心がかたくななので、妻を離縁することを許したの
である。初めからそうであったわけではない。
9 そこで、わたしはあなたがたに言う。不品行のゆえ
でないのに、自分の妻を離縁して他の女をめとる者
は、姦淫を行うのである。離縁された女をめとる者
も、姦淫を行うのである。
10 弟子たちはイエスに言った。「夫がその妻に対し
てそのような態度を取っているなら、結婚するのは
良くありません。」
11 しかし、イエスは彼らに言われた、「この言葉は、
与えられた者のほかには、すべての人が受け入れる
ことはできない。」
12 母の胎内から去勢された者もいるし、人から去勢
された者もいるし、また、天の御国のために自ら去
勢した者もいる。受けられる者は受けなさい。
13 そのとき、幼子たちがみもとに連れて来られ、イ
エスに手を置いて祈っていただくために来たが、弟
子たちは彼らをしかった。
14 しかし、イエスは言われた、「幼子たちがわたし
のところに来るのを妨げてはならない。天の国はこ
のような者の国である。」
15 そしてイエスは彼らの上に手を置いて、そこから
立ち去られた。
16 すると、ある人がイエスに近寄って来て言った、
「よい先生よ、永遠の命を得るためには、どんなよ
いことをしたらよいでしょうか」。
17 するとイエスは言われた、「なぜわたしを善い者
と呼ぶのか。神以外には善い者はいない。しかし、
命に入りたいなら、戒めを守りなさい。」
18 彼は言った、「どれですか」。イエスは言われた、
「殺してはならない、姦淫してはならない、盗んで
はならない、偽証してはならない、
19 あなたの父と母を敬いなさい。また、あなたの隣
人をあなた自身のように愛しなさい。
20 若者はイエスに言った。「わたしは若い時からこ
れらのことをみな守ってきました。まだ何か足りな
いことがあるでしょうか。」
21 イエスは彼に言われた、「もしあなたが完全にな
りたいなら、行って、あなたの持っているものを売
り払い、貧しい人々に与えなさい。そうすれば、天
に宝を持つようになる。そして、わたしに従ってき
なさい。」
22 しかし、若者はそれを聞いて悲しんで立ち去った。
彼には多くの財産があったからである。
23 すると、イエスは弟子たちに言われた。「よく聞
きなさい。金持ちが天の御国に入ることは難し
い。」
24 また、わたしはあなたがたに言います。金持ちが
神の国に入るよりは、らくだが針の穴を通る方がも
っと簡単です。
25 弟子たちはこれを聞いて非常に驚いて言った、
「それでは、だれが救われるのでしょうか。」
26 しかし、イエスは彼らを見て言われた、「人には
それはできない。しかし、神には何でもできる。」

27 するとペテロが答えて言った、「ごらんなさい。
わたしたちはすべてを捨ててあなたに従ってまいり
ました。それでは、わたしたちに何が得られるので
しょうか。」
28 イエスは彼らに言われた、「よく聞きなさい。わ
たしに従ってきたあなたがたは、新生して人の子が
栄光の座に着くとき、あなたがたも十二の座に着い
て、イスラエルの十二部族をさばくであろう。」
29 また、わたしの名のために、家、兄弟、姉妹、父、
母、妻、子供、もしくは畑を捨てた者は、その百倍
を受け、また永遠の命を受け継ぐであろう。
30 しかし、多くの先の者は後になり、後の者は先に
なるでしょう。

第 20 章

1 天の御国は、ある一家の主人が自分のぶどう園に労
働者を雇うために朝早くから出かけたのと同じよう
なものである。
2 そして、彼は労働者たちと一日一デナリの約束を交
わし、彼らをぶどう園に送り出した。
3 イエスは午後三時ごろに出て行き、市場で何もせず
に立っている人々を見て、
4 そして彼らに言った。「あなたたちもぶどう園に行
きなさい。わたしは正当なものをあなたたちに与え
よう。」そして彼らは去って行った。
5 彼はまた、午後六時ごろと午後九時ごろにも出て行
って、同じようにした。
6 十一時ごろ、彼は出て行って、ほかの人々が何もせ
ずに立っているのを見つけて、彼らに言った、「な
ぜ一日中何もせずにここに立っているのか。
7 彼らは言った、「だれもわたしたちを雇ってくれな
いからです」。彼は言った、「あなたがたもぶどう
園に行きなさい。正当な報酬は受け取れます」。
8 夕方になって、ぶどう園の主人は管理人に言った。
「労働者たちを呼んで、最後の者から最初の者まで
賃金を与えなさい。」
9 十一時ごろに雇われた者たちが来て、一人一人一デ
ナリを受け取った。
10 ところが、最初の人たちが来たとき、彼らはもっ
と多くもらえると思っていたので、同じように、一
人一人一デナリずつ受け取った。
11 そして彼らはそれを受け取ると、家の主人に対し
て不平を言った。
12 こう言われました。「この最後の者たちは、たっ
た一時間しか働いていませんが、あなたは彼らを、
一日中重荷と暑さに耐えた私たちと同等にされまし
た。」
13 しかし彼は、そのうちのひとりに答えて言った。
「友よ、わたしはあなたを不当に扱っていません。
あなたはわたしと一デナリで契約したではありませ
んか。
14 それを取って、あなたの所へ行きなさい。わたし
は、あなたと同じように、この最後の者にも与えよ
う。
15 わたし自身のものをわたしの思うようにするのは、
わたしの許しではないのか。わたしが善良であるか
らといって、あなたの目に悪意があるのか。
16 だから、最後の者が先になり、最初の者が後にな
る。招かれる者は多いが、選ばれる者は少ないから
である。
17 イエスはエルサレムに上って行かれる途中、十二
人の弟子たちを呼び集めて言われた。
18 見よ、わたしたちはエルサレムへ上って行く。そ
して、人の子は祭司長たち、律法学者たちに引き渡
され、彼らは彼を死刑に処するであろう。
19 そして、彼を異邦人に引き渡して、あざけらせ、
むち打たせ、十字架につけさせるであろう。そして、
彼は三日目によみがえるであろう。
20 そのとき、ゼベダイの子らの母が、その子らと一
緒にイエスのもとに来て、イエスを拝み、あること
を願った。
21 彼は彼女に言った、「あなたは何を望むのです
か」。彼女は言った、「どうか、私のこの二人の息
子が、あなたの王国で、一人はあなたの右に、一人
は左に座るようにしてください」。
22 しかし、イエスは答えて言われた、「あなたがた
は、自分が何を求めているのか、わかっていない。
わたしが飲もうとしている杯を飲むことができ、わ
たしが受けるバプテスマを受けることができる
か。」彼らはイエスに言った、「できます」。
23 そしてイエスは彼らに言われた、「確かに、あな
たたちはわたしの杯を飲み、わたしが受けているの
と同じバプテスマを受けるであろう。しかし、わた
しの右や左に座ることは、わたしの権限ではない。
それは、わたしの父によって用意されている人々に
与えられるのである。」
24 十人はこれを聞いて、二人の兄弟に対して憤慨し
た。
25 しかし、イエスは彼らを呼び寄せて言われた、
「あなたがたも知っているとおり、異邦人の君主た
ちはその民の上に支配権を振りかざし、偉い人たち
は民の上に権威をふるいます。
26 しかし、あなたがたの間ではそうであってはなり
ません。あなたがたの間で偉くなりたいと思う者は、
あなたがたに仕える者となりなさい。
27 あなたがたの間で指導者になりたいと思う者は、
あなたがたに仕える者になりなさい。
28 人の子も仕えられるためではなく仕えるために、
また多くの人のための、贖いの代価として自分の命
を与えるために来たのです。
29 彼らがエリコを出発すると、大勢の群衆がイエス
に従った。
30 すると、二人の盲人が道端に座っていたが、イエ
スが通り過ぎると聞いて、叫んで言った。「主よ、
ダビデの子よ。わたしたちをあわれんでくださ
い。」
31 群衆は彼らを叱り、黙らせようとしたが、彼らは
ますます叫び続けて言った。「主よ、ダビデの子よ。
わたしたちをあわれんでください。」

32 するとイエスは立ち止まり、彼らを呼び寄せて言
われた、「わたしに何をしてほしいのか」。
33 彼らはイエスに言った。「主よ、わたしたちの目
が開けますように。」
34 そこでイエスは彼らを深く憐れんで、彼らの目に
触られた。すると、彼らはすぐに見えるようになり、
イエスに従った。

第 21 章

1 彼らがエルサレムに近づき、オリーブ山のベテパゲ
に着いたとき、イエスは二人の弟子を遣わして、
2 彼らに言った。「向こうの村へ行きなさい。すると、
すぐに、ろばが一頭つながれていて、子ろばも一緒
にいるのが見つかるでしょう。それを解いて、わた
しのところに連れて来なさい。」
3 もしだれかがあなたがたに何か言ったら、『主がお
入り用なのです』と言いなさい。そうすれば、主は
すぐに彼らをつかわして下さるでしょう。
4 このすべてのことは、預言者によって言われたこと
が実現するためであった。
5 シオンの娘に告げよ。見よ、あなたの王があなたの
ところに来る。柔和な王で、ろばに乗って。しかも、
ろばの子、すなわち子ろばに乗って。
6 弟子たちは行って、イエスが命じられたとおりにし
た。
7 そして、ろばと子ろばを連れて来て、その上に着物
を着せ、イエスをその上に乗せた。
8 そして、非常に大勢の群衆が自分たちの上着を道に
敷き、また、ほかの人々は木の枝を切り取ってきて、
道に敷いた。
9 そして、その前を行く群衆も、後に従う群衆も叫ん
で言った。「ダビデの子にホサナ。主の名によって
来られる方に祝福あれ。いと高きところにホサ
ナ。」
10 イエスがエルサレムに着くと、町中の人が驚き騒
ぎ、「これはいったい、いったい何者なのだろう」
と言った。
11 すると群衆は言った、「これはガリラヤのナザレ
の預言者イエスだ」。
12 それからイエスは神殿に入り、神殿内で売り買い
していた人々を皆追い出し、両替人の台や鳩を売っ
ていた者たちの腰掛けを倒し、
13 彼らに言った、「『わたしの家は祈りの家ととな
えられる』と書いてある。それだのに、あなたがた
はそれを強盗の巣にしている。」
14 すると、盲人や足の不自由な人々が宮の中でイエ
スのもとに来たので、イエスは彼らを癒された。
15 祭司長たちや律法学者たちは、イエスがなさった
不思議なわざと、宮で子供たちが「ダビデの子にホ
サナ」と叫んでいるのを見て、非常に憤慨し、
16 イエスは言われた、「あの人たちが何と言ってい
るか、聞いていますか」。するとイエスは言われた、
「そうだ。あなたがたはまだ読んだことがないのか、
『幼子や乳飲み子の口に、賛美の言葉を述べられ
た』とあるではないか。
17 そこで、イエスは彼らを残して町を出てベタニア
に行き、そこに宿られた。
18 朝になって町に帰ると、イエスは空腹を覚えた。
19 イエスは道にいちじくの木を見つけて、そこに行
ってみると、葉のほかは何も見当たらなかったので、
その木に、「今後、永久に、実を結ばないように」
と言われた。すると、いちじくの木はすぐに枯れて
しまった。
20 弟子たちはそれを見て驚いて言った。「いちじく
の木はこんなに早く枯れてしまったのか。」
21 イエスは答えて彼らに言われた、「よく聞きなさ
い。もし信仰を持ち、疑わなければ、いちじくの木
になされたようなことができるばかりでなく、この
山にむかって、『動いて海にはいれ』と言えば、そ
のとおりになります。」
22 また、祈りの中で信じて求めるものは、何でも与
えられるであろう。
23 イエスが宮にはいられたとき、祭司長たち、民の
長老たちが、イエスが教えておられるところに近寄
ってきて言った、「何の権威によってこれらのこと
をするのですか。だれがあなたにその権威を与えた
のですか。」
24 するとイエスは答えて彼らに言われた、「わたし
もあなたがたに一つのことを尋ねます。あなたがた
が答えるなら、わたしも同じように、何の権威によ
ってこれらのことをするのか、あなたがたに言いま
しょう。」
25 ヨハネのバプテスマはどこから来たのか。天から
か、それとも人からか。」彼らは互いに論じて言っ
た。「もし『天からだ』と言えば、『では、なぜ彼
を信じなかったのか』とイエスは言うだろう。」
26 しかし、もし私たちが「人間」と言うなら、私た
ちは民衆を恐れます。なぜなら、すべての人がヨハ
ネを預言者として信じているからです。
27 彼らはイエスに答えて言った、「私たちには分か
りません」。するとイエスは彼らに言われた、「わ
たしも何の権威によってこれらの事をするのか、あ
なたたちには言いません」。
28 しかし、あなたがたはどう思うか。ある人に二人
の息子があった。彼は長男のところに来て言った。
「息子よ、きょう、わたしのぶどう園に行って働き
なさい。」
29 彼は答えて、「いいえ、そうしません」と言った
が、後になって悔い改めて出て行った。
30 そこで彼はもう一人の弟子のところに来て、同じ
ように言った。すると弟子は答えて、「先生、行き
ます」と言ったが、結局行かなかった。
31 ふたりのうちどちらが父の意志を行なったか。」
彼らはイエスに、「最初の者です」と答えた。イエ
スは彼らに言われた、「よく聞きなさい。取税人や
遊女は、あなたがたより先に神の国にはいる。」
32 ヨハネは義の道を説いてあなたがたのところに来
たのに、あなたがたは彼を信じなかった。しかし、

取税人や遊女たちは彼を信じた。あなたがたはそれ
を見ても、後になって悔い改めて彼を信じようとは
しなかった。
33 また別のたとえを聞きなさい。ある家の主人がぶ
どう園を作り、周囲に垣を巡らし、その中に酒ぶね
を掘り、やぐらを建てて、それを農夫たちに貸し出
して遠い国へ出かけて行った。
34 収穫の時期が近づいたので、彼はその収穫物を受
け取ろうと、僕たちを農夫たちのところへ遣わした。
35 農夫たちは彼の僕たちを捕らえ、一人は殴り、一
人は殺し、一人は石で打ち殺した。
36 彼はまた、最初の僕たちよりも多くの僕たちを遣
わしたが、彼らも同じようにした。
37 しかし、最後に彼は自分の息子を彼らのもとに遣
わして言った。「彼らは私の息子を敬うであろ
う。」
38 ところが、農夫たちはその息子を見て、互いに言
った。「こいつは跡継ぎだ。さあ、こいつを殺して、
その遺産を奪い取ろう。」
39 彼らは彼を捕らえて、ぶどう園の外に追い出し、
殺した。
40 それで、ぶどう園の主人が帰ってきたら、あの農
夫たちをどうするつもりですか。
41 彼らは彼に言った、「彼はあの邪悪な者たちを惨
めに滅ぼし、季節ごとに収穫物を返す他の農夫たち
にぶどう園を貸すでしょう。」
42 イエスは彼らに言われた。「あなたがたは聖書で
読んだことがないのか。『家造りらの捨てた石、そ
れが隅の親石となった。これは主のなされたことで
あって、わたしたちの目には不思議なことであ
る。』
43 それゆえ、わたしはあなたがたに言います。神の
国はあなたがたから取り上げられ、神の実を結ぶ国
民に与えられるのです。
44 この石の上に落ちる者は打ち砕かれ、この石がだ
れかの上に落ちる者は粉々に砕かれるであろう。
45 祭司長たちやパリサイ人たちは、イエスのたとえ
話を聞いて、自分たちについて語られていることを
悟った。
46 しかし、彼らはイエスを捕えようとしたが、群衆
を恐れた。群衆はイエスを預言者だと思っていたか
らである。

第 22 章

1 そこでイエスは再びたとえを用いて彼らに答えて言
われた。
2 天の御国は、ある王がその息子のために結婚を催し
たのと似ています。
3 そして、婚礼に招かれていた人々を呼びに家来たち
を遣わしたが、彼らは来ようとしなかった。
4 そこで彼はまた、ほかの僕たちをつかわして言った。
「招かれた人たちにこう言いなさい。『わたしは食
事の用意をしました。牛や肥えた家畜もほふって、
すべての準備が整いました。婚宴においでなさ
い』」。
5 しかし彼らはそれを軽視し、一人は畑へ、一人は商
売へそれぞれ出かけて行った。
6 そして残りの者たちは彼の家来たちを捕らえ、彼ら
をひどく虐待し、殺した。
7 しかし、王はこれを聞いて怒り、軍隊を派遣して、
その殺人者たちを滅ぼし、その町を焼き払った。
8 そこで彼は家来たちに言った。「婚礼の用意はでき
ているが、招待された人たちはふさわしくなかっ
た。」
9 だから、道に出て行って、出会った人すべてを結婚
に招き入れなさい。
10 そこで、召使たちは道に出て行って、悪い者も良
い者も、見つけた者をみな集めた。そして、婚礼に
は客が勢ぞろいした。
11 王が客を見るために入って来たとき、そこに婚礼
の衣服を着ていない男がいた。
12 そこで彼は言った、「友よ、どうして婚礼の衣を
着ないでここに入ってきたのか」。彼は何も言えな
かった。
13 そこで王は家来たちに言った。「彼の手足を縛っ
て連れ出し、外の暗闇に投げ捨てよ。そこでは泣き
叫んだり歯ぎしりしたりするであろう。」
14 招かれる者は多いが、選ばれる者は少ない。
15 そこで、パリサイ人たちは出かけて行って、どの
ようにしてイエスを言葉で惑わそうかと相談した。
16 そこで彼らは、ヘロデ党員たちと一緒に弟子たち
をイエスのもとに遣わして言わせた。「先生、私た
ちはあなたが真実な方で、真理をもって神の道を教
え、また、だれにもかまわず、人の顔色を伺わない
ことを知っています。」
17 それで、わたしたちに答えてください。あなたは
どう思いますか。皇帝に税金を納めるのは、律法に
かなうことですか、それともいけないことですか。
18 しかし、イエスは彼らの邪悪さに気づいて言われ
た、「偽善者たちよ、なぜわたしを試みるのか。
19「貢ぎ金を見せなさい。」彼らは一デナリを彼に
持って来た。
20 そこでイエスは彼らに言われた、「この肖像、ま
たこの銘は、だれのものか」。
21 彼らはイエスに、「カイザルのものです」と言っ
た。そこでイエスは彼らに言われた、「それゆえ、
カイザルのものはカイザルに、神のものは神に返し
なさい。」
22 彼らはこれらの言葉を聞いて驚き、イエスを残し
て立ち去った。
23 その日、復活はないと主張するサドカイ派の人々
がイエスのもとに来て、こう尋ねた。
24 主よ、モーセは言いました、「もし人が子供を残
さずに死んだ場合、その兄弟がその妻をめとって、
その兄弟のために子孫を残さなければならない。」
25 さて、わたしたちには七人の兄弟がいました。長
男は妻をめとりましたが、死んでしまい、子供がな
かったので、その妻を弟に残しました。

26 第二、第三、第七に至るまで同様に。
27 そして最後に、その女も死んだ。
28 それで、復活のとき、彼女は七人のうちのだれの
妻となるのでしょうか。彼らはみな彼女を妻にした
のです。
29 イエスは答えて彼らに言われた、「あなたがたは
聖書も神の力も知らないから、誤っている。」
30 復活の時には、彼らはめとることも、とつぐこと
もなく、天にいる神の御使いたちのようになるから
です。
31 しかし、死者の復活については、神があなたたち
に言われたことを読んだことがないのですか。
32 わたしはアブラハムの神、イサクの神、ヤコブの
神である。神は死んだ者の神ではなく、生きている
者の神である。
33 群衆はこれを聞いて、イエスの教えに驚いた。
34 ところが、パリサイ人たちは、イエスがサドカイ
人たちを黙らせたと聞いて、集まってきた。
35 すると、彼らのうちの一人の律法学者が、イエス
を試そうとして、こう言った。
36 先生、律法の中で、どの戒めが一番大切でしょう
か。
37 イエスは彼に言われた、「心を尽くし、精神を尽
くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛せ
よ。」
38 これが最も重要な第一の戒めです。
39 第二もこれと同様である、「あなたの隣人をあな
た自身のように愛しなさい。」
40 この二つの戒めに、律法全体と預言者がかかって
います。
41 パリサイ人たちが集まっていたとき、イエスは彼
らに尋ねた。
42 そこで彼らは言った。「あなたがたはキリストを
どう思うか。だれの子なのか。」彼らは言った。
「ダビデの子です。」
43 イエスは彼らに言われた、「それでは、どうして
ダビデは霊の中で彼を主と呼んでいるのか、
44 主はわが主に言われた、「わたしがあなたの敵を
あなたの足台とするまでは、わたしの右に座してい
なさい。」
45 ダビデが彼を主と呼ぶのなら、どうして彼はダビ
デの子なのだろうか。
46 だれも彼に一言も答えることができず、またその
日から、だれも彼に質問する勇気もなかった。

第 23 章

1 そこでイエスは群衆と弟子たちに言われた。
2 律法学者とパリサイ人たちはモーセの座に座ってい
る。
3 だから、彼らがあなたがたに守るように命じる事は
みな、守り行ないなさい。しかし、彼らの行いには
倣ってはいけません。彼らは言うだけで、行わない
からです。
4 彼らは重くて負うのがつらい荷を縛って人々の肩に
負わせるが、彼ら自身は指一本でもそれを動かすこ
とはできない。
5 しかし、彼らが行うすべてのことは、人々に見せる
ためである。彼らは経札を広くし、衣服の縁を大き
くし、
6 宴会では上座を、会堂では上座を好みなさい。
7 市場ではあいさつを交わし、人々から「ラビ、ラ
ビ」と呼ばれなさい。
8 しかし、あなたたちはラビと呼ばれてはいけません。
あなたたちの先生はただひとり、キリストであり、
あなたたちはみな兄弟なのです。
9 地上のだれをも父と呼んではならない。あなたがた
の父はただひとり、天にいます父である。
10 また、あなたがたは先生と呼ばれてはいけません。
あなたがたの先生はただひとり、キリストなのです。
11 しかし、あなたがたのうちで一番偉い人は、あな
たがたに仕える者となるべきです。
12 だれでも、自分を高くする者は低くされ、自分を
低くする者は高くされるであろう。
13 しかし、偽善なる律法学者、パリサイ人よ。あな
たたちは災いである。人々に対して天の御国を閉ざ
している。あなたたち自身は中に入ろうとせず、ま
た、入ろうとする者たちも中に入れない。
14 偽善者である律法学者、パリサイ人よ。あなた方
は災いである。あなた方は未亡人の家を食い物にし、
見せかけのために長い祈りをする。それゆえ、あな
た方はさらに重い罰を受けるであろう。
15 偽善者である律法学者、パリサイ人よ。あなた方
は災いである。あなた方は一人の改宗者を得るため
に海と陸を巡り歩き、改宗者ができたら、自分達よ
りも二倍もひどい地獄の子にするのだ。
16 わざわいである。盲目の導き手たちよ。彼らは言
う。「神殿をさして誓う者は、何の罪もない。しか
し、神殿の黄金をさして誓う者は、負債を負う。」
17 愚かな者、盲目の者よ。黄金と、黄金を聖別する
神殿と、どちらが偉大か。
18 また、祭壇をさして誓う者は、何の罪もない。し
かし、祭壇の上にある供え物をさして誓う者は、罪
を犯す。」
19 愚かな者、盲目の者よ。供え物と、供え物を聖別
する祭壇と、どちらが大切なのか。
20 だから、祭壇をさして誓う者は、祭壇と、その上
にあるすべての物とをさして誓うのである。
21 神殿をさして誓う者は、神殿とそこに住む者とを
さして誓うのです。
22 天をさして誓う者は、神の御座とそこに座してお
られる方をさして誓うのです。
23 偽善者である律法学者、パリサイ人よ。あなた方
は災いである。はっか、いのんど、クミンの十分の
一を納めながら、律法の中でもっと重要な公正とあ
われみと忠実とを無視している。あなた方はこれら
のことを行うべきであり、他のことも怠ってはなら
なかった。

24 あなたたち盲目の案内人よ、ブヨを濾してラクダ
を飲み込む。
25 偽善なる律法学者、パリサイ人よ。あなた方は災
いだ。杯や皿の外側はきよめるが、内側は強奪と放
縦で満ちている。
26 盲目のパリサイ人よ、まず杯と皿の内側をきよめ
なさい。そうすれば、外側もきよくなるでしょう。
27 偽善なる律法学者、パリサイ人よ。あなた方は災
いだ。白く塗った墓のようなものである。外側は美
しく見えるが、内側は死人の骨やあらゆる汚れで満
ちている。
28 あなたがたも同じように、外面は人々に正しく見
えますが、内面は偽善と不法で満ちています。
29 偽善なる律法学者、パリサイ人よ、あなた方は災
いである。あなた方は預言者の墓を建て、義人の墓
を飾る。
30 また、こう言いなさい。「もし私たちが先祖の時
代に生きていたなら、預言者たちの血に彼らととも
に加わることはなかったでしょう。」
31 それゆえ、あなたがたは、預言者たちを殺した者
たちの子孫であることの証人となるのです。
32 あなたがたは、先祖の定めた量を満たしなさい。
33 蛇よ、まむしの子孫よ、どうして地獄の罰を逃れ
ることができようか。
34 それゆえ、見よ、わたしは預言者、知者、律法学
者をあなたがたにつかわす。あなたがたは彼らのう
ちのある者を殺し、十字架につけ、またある者を会
堂でむち打ち、町から町へと迫害するであろう。
35 そうすれば、義人アベルの血から、神殿と祭壇の
間で殺したバラキヤの子ザカリヤの血に至るまで、
地上で流されたすべての義人の血が、あなたたちに
降りかかるであろう。
36 よく言っておくが、これらのことはみなこの世代
に起こるであろう。
37 ああ、エルサレム、エルサレム、預言者たちを殺
し、おまえにつかわされた者たちを石で打ち殺す者
よ。雌鶏がそのひなを翼の下に集めるように、わた
しはおまえの子らを何度集めようとしたことか。し
かしおまえたちは応じなかった。
38 見よ、あなたがたの家は荒れ果てたまま残される。
39 あなたがたに言います。あなたがたが、「主の名
によって来られる方に祝福あれ」と言うまでは、あ
なたがたは今後決してわたしを見ることはないでし
ょう。

第 24 章

1 イエスは出て宮を去られた。すると弟子たちが宮の
建物を見せるためにイエスのもとに来た。
2 イエスは彼らに言われた、「あなたがたは、これら
のことがみな見られないのか。よく聞きなさい。こ
こには、くずされない石一つとして、他の石の上に
残ることはないであろう」。
3 イエスがオリーブ山に座っておられると、弟子たち
がひそかにみもとに来て言った。「お話しください。
そのようなことはいつ起こるのですか。また、あな
たの来臨や世の終わりには、どんな前兆があります
か。」
4 するとイエスは答えて彼らに言われた、「人に惑わ
されないように気をつけなさい。」
5 多くの者がわたしの名を名のって現れ、『わたしは
キリストだ』と言って、多くの人を惑わすでしょう。
6 また、戦争や戦争のうわさを聞くでしょう。慌てな
いように気をつけなさい。これらのことはすべて起
こらなければなりませんが、終わりはまだ来ていま
せん。
7 国民は国民に、王国は王国に敵対して立ち上がり、
あちこちに飢饉や疫病や地震が起こるからです。
8 これらはすべて苦難の始まりです。
9 そのとき、人々はあなたがたを苦しめるために引き
渡し、あなたがたを殺すであろう。また、わたしの
名のゆえに、あなたがたはすべての国々から憎まれ
るであろう。
10 そのとき、多くの人がつまずき、互いに裏切り、
憎み合うであろう。
11 多くの偽預言者が起こって、多くの人を惑わすで
しょう。
12 そして、不法がはびこるので、多くの人の愛は冷
えるであろう。
13 しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われるのです。
14 そして、この御国の福音は、すべての国民に対す
る証しとして、全世界に宣べ伝えられるであろう。
それから、終わりが来るであろう。
15 それゆえ、預言者ダニエルによって語られた荒廃
をもたらす忌まわしいものが聖なる場所に立つのを
見たら、読む者は悟りなさい。
16 そのとき、ユダヤにいる人々は山へ逃げよ。
17 屋上にいる者は、家から何かを取り出そうとして
降りて来るな。
18 畑にいる者は、着物を取りに戻ってはならない。
19 その日には、身重の者と乳飲み子を持つ者とに災
いが臨む。
20 しかし、逃げるのが冬や安息日にならないように
祈りなさい。
21 その時、世の初めから今に至るまで、かつてなか
ったような、また今後もないような、大きな苦難が
起るからである。
22 もしその日々が縮められなければ、ひとりも救わ
れないであろう。しかし、選ばれた者たちのために
は、その日々が縮められるであろう。
23 そのとき、だれかがあなたがたに、『見よ、ここ
にキリストがいる』、また、『あそこにキリストが
いる』と言っても、それを信じてはならない。
24 偽キリストたちや、偽預言者たちが起こって、大
いなるしるしと不思議な業を行い、できれば、選民
をも惑わそうとするであろう。
25 見よ、わたしは前にあなたたちに言った。
26 それゆえ、人々があなたたちに、『見よ、彼は荒
野にいる』と言っても、出て行ってはならない。

『見よ、彼は隠れた部屋にいます』と言っても、信
じてはならない。
27 いなずまが東から西にひらめき渡るように、人の
子も現れるであろう。
28 死体のあるところには、鷲が集まるからである。
29 その日の苦難の後、すぐに太陽は暗くなり、月は
光を放たず、星は天から落ち、天の力は揺り動かさ
れるであろう。
30 そのとき、人の子のしるしが天に現れるであろう。
そのとき、地上のすべての部族は嘆き、そして、人
の子が力と大いなる栄光とをもって天の雲に乗って
来るのを、人々は見るであろう。
31 そして、彼は大きなラッパの音とともに天使たち
を遣わし、彼らは天の果てから果てまで、四方から
選ばれた者たちを集めるであろう。
32 いちじくの木のたとえを学びなさい。枝が柔らか
くなり、葉が出ると、夏の近いことがわかります。
33 そのように、あなたがたも、これらのことがすべ
て起こるのを見たら、人の子が戸口まで近づいてい
ると知りなさい。
34 よく聞きなさい。これらのことがすべて起こるま
では、この世代は決して過ぎ去らない。
35 天地は滅びるであろう。しかし、わたしの言葉は
滅びない。
36 しかし、その日、その時は、だれも知らず、天の
御使いたちも知らない、ただ父だけが知っている。
37 しかし、ノアの時代がどのようなものであったか
と同じように、人の子の到来もそうなるであろう。
38 洪水の前の日々と同じように、人々は食べたり飲
んだり、めとったり嫁いだりしていたが、ノアが箱
舟に入った日まで、
39 洪水が来て、彼らをみなさらってしまうまで、彼
らは知らなかった。人の子の出現もまた、そのよう
になるであろう。
40 そのとき、畑に二人の者がいると、一人は連れ去
られ、他の一人は残される。
41 二人の女が臼をひいていると、一人は連れて行か
れ、他の一人は残される。
42 だから、目を覚ましていなさい。あなたがたの主
がいつ来られるか、あなたがたにはわからないから
である。
43 しかし、このことを知っておきなさい。もし家の
主人が、泥棒がいつ来るか知っていたなら、目を覚
まして自分の家に押し入られるのを許さなかったで
あろう。
44 だから、あなたがたも用意をしていなさい。思い
がけない時に人の子が来るからである。
45 それでは、主人がその家の管理人に任じて、時宜
にかなった食物を与えさせる忠実で賢い僕は、いっ
たいだれであろうか。
46 主人が帰ってきたとき、そのようにしているのを
見られる僕は幸いである。
47 よく聞きなさい。彼は彼を自分のすべての財産の
管理人にするであろう。
48 しかし、もしその悪い僕が心の中で、「主人は来
るのが遅い」と思っても、
49 そして、仲間の僕たちを打ち始め、酔った者たち
と一緒に食べたり飲んだりし始めるでしょう。
50 その僕の主人は、彼が思いもよらない日に、彼が
気づかない時に帰って来る。
51 そして、彼を切り裂き、偽善者たちと同じ分を与
えるであろう。そこでは泣き叫び、歯ぎしりするで
あろう。

第 25 章

1 そこで、天の王国は、それぞれあかりを手にして、
花婿を迎えに出かけた十人の処女にたとえられます。
2 そのうちの五人は賢く、五人は愚かであった。
3 愚かな者たちは、ともしびは持っていたが、油を持
っていなかった。
4 しかし、賢い者たちは、ともしびの入った容器に油
を入れていました。
5 花婿が遅れている間に、彼らはみな居眠りして眠っ
てしまった。
6 夜中に、「さあ、花婿だ。迎えに出なさい」と呼ぶ
声がした。
7 すると、処女たちは皆起きて、自分のランプを整え
た。
8 すると、愚かな者たちは賢い者たちに言った。「油
を分けてください。私たちのともしびは消えてしま
いました。」
9 しかし、賢い者たちは答えて言った。「そうしては
いけません。私たちとあなたがたとで足りなくなる
かもしれません。むしろ、商人のところに行って、
自分の分を買いなさい。」
10 彼女たちが買いに出かけている間に、花婿が到着
した。用意のできていた女たちは花婿と一緒に婚宴
の場に入り、戸が閉められた。
11 その後、ほかの処女たちも来て、「主よ、主よ、
開けてください」と言った。
12 しかしイエスは答えて言われた、「よく聞きなさ
い。わたしはあなたがたを知らない。」
13 だから、目を覚ましていなさい。人の子が来る日、
その時が、あなたがたには分からないからである。
14 天の御国は、遠い国へ旅立つ人が、僕たちを呼び
寄せて財産を預けるようなものである。
15 そこで彼は、それぞれの能力に応じて、ある人に
は五タラント、ある人には二タラント、ある人には
一タラントを与え、すぐに旅立った。
16 そこで、五タラントを受け取った者は行って、そ
れで商売をして、さらに五タラントをもうけた。
17 同じように、二つ受け取った者は、さらに二つも
得ました。
18 しかし、一金を受け取った者は行って地を掘り、
主人の金を隠した。
19 長い年月が経ってから、僕たちの主人が帰って来
て、彼らと計算をしました。

20 そこで、五タラントを預かった者が来て、ほかの
五タラントを持って来て言った。『ご主人様、あな
たは私に五タラントをお預けになりましたが、それ
に加えて、さらに五タラント儲けました。』
21 主人は彼に言った。「よくやった、良い忠実な僕
よ。あなたはわずかなものに忠実であったから、多
くのものを管理させよう。主人とともに喜んでくだ
さい。」
22 二タラントを預かった者も来て言った。「ご主人
様、あなたは私に二タラントをお預けになりました
が、そのほかに二タラントもうけました。」
23 主人は彼に言った。「よくやった。良い忠実な僕
よ。あなたはわずかなものに忠実であったから、多
くのものを管理させよう。主人とともに喜んでくだ
さい。」
24 すると、一タラントを渡された者が来て言った。
「ご主人様、わたしはあなたが蒔かなかった所から
刈り取り、散らさなかった所から集める厳しい人だ
ということを承知していました。
25 わたしは恐れて、あなたのタラントを地の中に隠
しておきました。見よ、あなたのものはそこにあり
ます。
26 主人は答えて言った。「悪い怠惰な僕よ、わたし
が蒔かなかった所で刈り取り、散らさなかった所で
集めることを、あなたは知っていたはずだ。
27 それなら、わたしの金を両替屋に預けておけばよ
かった。そうすれば、わたしが帰ってきたときに、
利息をつけて自分の金を受け取れたはずだ。
28 だから、そのタラントを彼から取り上げて、十タ
ラントを持っている者に与えなさい。
29 すべて持っている人はさらに与えられて豊かにな
るが、持っていない人は持っているものまでも取り
上げられるであろう。
30 そして、この役に立たない僕を外の暗闇に追い出
せ。そこでは泣き叫んだり、歯ぎしりしたりするこ
とだろう。
31 人の子が栄光のうちにすべての聖なる天使たちを
従えて来るとき、彼は栄光の王座に着くであろう。
32 そして、すべての国々が彼の前に集められ、羊飼
いが羊と山羊を分けるように、彼は彼らをより分け
られるであろう。
33 そして彼は羊を右に置き、山羊を左に置くであろ
う。
34 そのとき、王は右にいる人々に言うであろう。
「わたしの父に祝福された人たちよ。さあ、世の初
めからあなたがたのために用意されている御国を受
け継ぎなさい。
35 あなたがたは、わたしが空腹だったときに食べ物
を与え、渇いていたときに飲み物を与え、旅人であ
ったときに宿を貸してくれた。
36 あなたがたは、わたしが裸であったときにわたし
に着せ、病気であったときにわたしを見舞い、獄に
いたときにわたしを訪ねてくれた。
37 そのとき、義人たちは答えて言うであろう、『主
よ、いつ私たちは、あなたが空腹であるのを見て食
物をめぐみ、かわいているのを見て飲ませましたか。
38 いつ私たちは、あなたが旅人であるのを見て宿を
貸し、裸であるのを見て着せましたか。
39 また、いつ私たちは、あなたが病気であったり、
獄にいたりするのを見て、あなたのところに参りま
したか。
40 すると、王は答えて彼らに言うであろう、「よく
聞きなさい。わたしの兄弟であるこれらの最も小さ
い者のひとりにしたのは、すなわち、わたしにした
のである。」
41 それから、左にいる者たちにも言うであろう。
「呪われた者たちよ、わたしから離れ、悪魔とその
使いたちのために用意されている永遠の火にはいっ
てしまえ。
42 わたしは飢えていたのに、あなたがたはわたしに
食べ物を与えず、渇いていたのに、わたしに飲み物
を与えなかった。
43 わたしが旅人であったとき、あなたがたはわたし
を宿に泊めてくれず、裸であったとき、わたしに着
せるものを与えず、病気であったとき、獄にいたと
き、わたしを訪問してくれなかった。
44 そのとき、彼らも答えて言うであろう、『主よ、
いつ私たちは、あなたが飢えていたり、渇いていた
り、旅人であったり、裸であったり、病気であった
り、獄におられたのを見て、あなたに奉仕しなかっ
たでしょうか。』
45 そのとき、イエスは彼らに答えて言うであろう、
「よく聞きなさい。これらの最も小さい者のひとり
にしなかったのは、すなわち、わたしにしなかった
のである。」
46 そして、これらの人々は永遠の刑罰を受け、義人
は永遠の命を受けるであろう。

第 26 章

1 イエスはこれらのことをすべて語り終えると、弟子
たちに言われた。
2 あなたがたは知っているとおり、二日後には過越の
祭りがあり、人の子は十字架につけられるために引
き渡されるのです。
3 そこで、祭司長たち、律法学者たち、民の長老たち
は、カヤパと呼ばれる大祭司の官邸に集まった。
4 彼らは、巧妙な計略でイエスを捕らえて殺そうと相
談した。
5 しかし彼らは言った、「祭の日にはやめなさい。民
衆の間に騒動が起きるかもしれないから」。
6 さて、イエスがベタニアで、らい病人シモンの家に
おられたとき、
7 イエスが食事をしておられたとき、ひとりの女が、
非常に高価な香油の入った石膏のつぼを持ってイエ
スのところに来て、その香油をイエスの頭に注ぎか
けた。

8 しかし、弟子たちはそれを見て憤慨し、こう言った。「何のためにこんな無駄遣いをするのか。」
9 この香油は高く売れて、貧しい人々に施すことができたかもしれないのに。
10 イエスはそれを知って、彼らに言われた。「なぜこの女を困らせるのか。この女はわたしに良いことをしてくれたのだ。」
11 貧しい人たちはいつもあなたがたと一緒にいるが、わたしはいつも一緒にいるわけではない。
12 彼女がこの香油を私の体に注いだのは、私の埋葬のためだったのです。
13 よく聞きなさい。全世界のどこででも、この福音が宣べ伝えられる所には、この女のした事も記念として語られるであろう。
14 そこで、十二人の中のひとり、イスカリオテのユダという者が祭司長たちのところへ行き、
15 そして彼らに言った、「いくらくれれば、彼をあなたたちに引き渡せるだろうか」。彼らは銀貨三十枚で彼と契約を結んだ。
16 そしてその時から、彼はイエスを裏切る機会を伺っていた。
17 さて、除酵祭の第一日に、弟子たちがイエスのもとに来て言った、「過越の食事をなさるために、どこに用意しましょうか」。
18 そこでイエスは言われた。「町に入って、その人のところへ行き、こう言いなさい。『先生が、『わたしの時が近づいた。あなたの家で弟子たちと一緒に過越の祭りを執り行おう』とおっしゃっています。」
19 弟子たちはイエスが命じられたとおりにして、過越の食事の準備をしました。
20 夕方になって、イエスは十二人とともに席に着かれた。
21 彼らが食事をしているとき、イエスは言われた。「よく聞きなさい。あなたたちのうちのひとりが、わたしを裏切ろうとしている。」
22 彼らは非常に悲しみ、ひとりひとりがイエスに言った、「主よ、まさか私ではないでしょう」。
23 するとイエスは答えて言われた。「わたしと一緒に鉢に手を浸す者が、わたしを裏切る者です。」
24 人の子は、自分について書かれているとおりに去って行きます。しかし、人の子を裏切るその人は災いです。その人は生まれなかった方がよかったのです。
25 すると、イエスを裏切ったユダが答えて言った。「先生、それは私ですか。」イエスは言った。「あなたがおっしゃったのです。」
26 一同が食事をしているとき、イエスはパンを取り、祝福して裂き、弟子たちに与えて言われた。「取って食べなさい。これはわたしの体である。」
27 それから、杯を取り、感謝をささげてから、弟子たちに与えて言われた、「みな、これから飲みなさい。
28 これは、罪の赦しを得させるために、多くの人のために流されるわたしの契約の血です。
29 しかし、わたしはあなたがたに言います。わたしの父の王国であなたがたと共に新しいものを飲むその日まで、わたしは今後決してぶどうの実から作ったものを飲むことはありません。
30 彼らは賛美歌を歌い終えると、オリーブ山へ出かけて行った。
31 すると、イエスは彼らに言われた、「今夜、あなたがたはみなわたしのことでつまずくであろう。『わたしは羊飼いを打つ。すると、羊の群れは散らされるであろう』と書いてあるからである。
32 しかし、わたしは復活した後、あなたがたより先にガリラヤへ行きます。
33 ペテロは答えて言った、「たといみんながあなたのことでつまずくとしても、わたしは決してつまずきません。」
34 イエスは彼に言われた。「よく聞きなさい。今夜、鶏が鳴く前に、あなたは三度わたしを知らないと言うでしょう。」
35 ペテロはイエスに言った。「たとえあなたと一緒に死ぬことになっても、あなたを知らないとは言いません。」弟子たちも皆同じように言った。
36 それから、イエスは彼らと一緒にゲッセマネという所に来て、弟子たちに言われた。「わたしが向こうへ行って祈っている間、ここに座っていなさい。」
37 そして、イエスはペテロとゼベダイの子二人を連れて行かれたが、悲しみに暮れ、非常に悲しみに暮れ始めた。
38 そこでイエスは彼らに言われた。「わたしの魂は悲しみのあまり死んでしまいそうです。あなたがたはここにとどまって、わたしと一緒に目を覚ましていなさい。」
39 それから、イエスは少し進んで行き、ひれ伏して祈って言われた。「わが父よ、もしできることでしたらどうか、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、わたしの思いのままにではなく、みこころのままになさってください。」
40 それから、イエスは弟子たちのところに来て、彼らが眠っているのをごらんになり、ペテロに言われた。「あなたがたは、ひと時間もわたしと一緒に目を覚ましていられなかったのか。
41 誘惑に陥らないように、目を覚まして祈りなさい。心は熱くても、肉体は弱いのです。
42 イエスは二度目にまた出て行って、祈って言われた。「父よ、この杯をわたしから過ぎ去らせることができないのでしたら、どうか、みこころが行われますように。」
43 イエスが戻って来てごらんになると、彼らはまた眠っていた。彼らの目は重かったからである。
44 そこでイエスは彼らを残して、また立ち去り、同じことばで三度目に祈られた。
45 それから、イエスは弟子たちのところに来て言われた。「眠って休みなさい。見よ、時が近づいた。人の子は罪人たちの手に引き渡される。」

46 さあ、立ちなさい。行こう。見よ、わたしを裏切
る者が近づいている。
47 イエスがまだ話しておられるうちに、十二人の一
人であるユダがやって来た。また、祭司長たち、民
の長老たちから遣わされた大勢の群衆も、剣や杖を
持って彼と共に来た。
48 イエスを裏切る者は、彼らに合図をして言った。
「わたしが接吻する者がその人だ。その人をしっか
りつかみなさい。」
49 そこで彼はすぐにイエスのもとに来て、「先生、
おめでとう」と言って、イエスに接吻した。
50 するとイエスは彼に言われた、「友よ、なぜ来た
のか。」すると彼らは近寄って来て、イエスに手を
かけて捕らえた。
51 すると、見よ、イエスと一緒にいた者のひとりが
手を伸ばし、剣を抜いて、大祭司の僕に切りかかり、
その耳を切り落とした。
52 するとイエスは彼に言われた、「あなたの剣を元
の所に納めなさい。剣を取る者はみな、剣で滅びる
からです。」
53 あなたは、わたしが今父に祈って、父が今にも十
二軍団以上の天使をわたしに与えて下さることがで
きないと思うのか。
54 しかし、それでは、こうなるはずだと書いてある
聖書の言葉は、どのようにして成就するのでしょう
か。
55 そのとき、イエスは群衆に言われた。「あなたた
ちは、剣や棒を持って盗賊に襲いかかるように、わ
たしを捕えに来たのか。わたしは毎日、神殿であな
たたちと一緒に座って教えていたのに、あなたたち
はわたしを捕えなかった。」
56 しかし、このことはすべて、預言者たちの聖書の
言葉が成就するためであった。そこで、弟子たちは
皆イエスを見捨てて逃げ去った。
57 そして、イエスを捕らえた者たちは、律法学者や
長老たちが集まっていた大祭司カヤパのところへイ
エスを連れて行った。
58 しかしペテロは、最後を見届けるために、遠くか
らイエスに従って大祭司の官邸に行き、中に入って
下役たちと一緒に座っていた。
59 さて、祭司長たち、長老たち、全議会は、イエス
を死刑にするために、イエスに不利な偽証人を探し
た。
60 しかし、偽証人は一人も見つからなかった。多く
の偽証人が来たが、一人も見つからなかった。最後
に二人の偽証人が現れた。
61 そして言った、「この男は、『私は神の神殿を打
ち壊して三日で建てることができる』と言いました。
62 そこで大祭司は立ち上がってイエスに言った。
「何も答えないのか。これらの人々があなたに対し
て証言しているのは、何のことか。」
63 しかし、イエスは黙っておられた。すると大祭司
は答えて言った、「生ける神にかけて誓う。あなた
は神の子、キリストなのかどうか、私たちに告げな
さい。」
64 イエスは彼に言われた、「あなたは言った。しか
し、わたしはあなたに言う。あなたがたは、後世に
人の子が力ある方の右に座り、天の雲に乗って来る
のを目にするであろう」。
65 そこで、大祭司は衣を引き裂いて言った。「彼は
神を汚す言葉を言った。これ以上、証人など必要だ
ろうか。見よ、あなたがたは今、彼の神を汚す言葉
を聞いたのだ。」
66 あなたがたはどう思うか。彼らは答えて言った、
「彼は死刑に処せられる。」
67 それから彼らは彼の顔につばきをかけ、彼を殴り、
また他の者は手のひらで彼を殴り、
68 言った。「キリストよ、預言してみなさい。あな
たを打った者はだれか。」
69 さて、ペテロは宮殿の外に座っていた。すると、
一人の女中が彼のもとに来て言った、「あなたもガ
リラヤのイエスと一緒でしたね。」
70 しかし彼は皆の前でそれを否定して言った、「あ
なたが何を言っているのか私には分かりません。」
71 彼が廊下に出ると、ほかの女中が彼を見て、そこ
にいた人たちに言った、「この人もナザレ人イエス
と一緒でした。」
72 彼はまた誓って否定した。「私はその人を知りま
せん。」
73 しばらくして、そばに立っていた人々がペテロの
もとに来て言った。「あなたも確かに彼らの仲間だ。
あなたの言葉があなたの正体を物語っている。」
74 そこで彼は呪い、誓い始め、「私はそんな男を知
らない」と言った。すると、すぐに鶏が鳴いた。
75 ペテロは、「鶏が鳴く前に、あなたは三度私を知
らないと言うだろう」と言われたイエスの言葉を思
い出した。そして外に出て、激しく泣いた。

第 27 章

1 夜が明けると、祭司長たち、民の長老たちは皆、イ
エスを殺そうと相談した。
2 そして、彼らはイエスを縛って引いて行き、総督ピ
ラトに引き渡した。
3 イエスを裏切ったユダは、イエスが有罪とされたの
を知って悔い改め、銀貨三十枚を祭司長たち、長老
たちに返して、
4 彼らは言った、「わたしは罪のない者の血を売り渡
し、罪を犯しました。」すると彼らは言った、「そ
れはわれわれに何の関係があるのですか。あなたが
それを処理してください。」
5 そして彼は銀貨を神殿に投げ捨てて立ち去り、首を
吊って自殺した。
6 祭司長たちは銀貨を取り上げて言った、「それは血
の代価だから、それを金庫に入れるのは律法に反す
る。」
7 そこで彼らは相談して、陶器師の畑を買い、異邦人
を埋葬することにした。
8 それで、その畑は今日まで、「血の畑」と呼ばれて
いる。

9 こうして、預言者エレミヤによって言われたことが
成就した。「彼らは、イスラエルの子らが値踏みし
た者の値段である銀貨三十枚を取った。
10 主がわたしに命じられたとおり、わたしはそれを
陶器師の畑のために与えた。
11 イエスは総督の前に立たれた。総督はイエスに尋
ねた。「あなたはユダヤ人の王ですか。」イエスは
彼に言われた。「あなたがそう言うのです。」
12 祭司長たちや長老たちから訴えられたとき、イエ
スは何も答えなかった。
13 そこでピラトはイエスに言った。「彼らがあなた
に対してどれほど多くの証言をしているか、聞こえ
ないのか。」
14 しかし、彼は一言も答えなかった。そのため総督
は非常に驚いた。
15 さて、その祭りの時には、総督は民衆が望む囚人
を一人釈放するのが常であった。
16 当時、彼らにはバラバという名の著名な囚人がい
た。
17 そこで、彼らが集まったとき、ピラトは彼らに言
った。「あなたがたはだれを釈放してほしいのか。
バラバか、それとも、キリストと呼ばれているイエ
スか。」
18 彼らが彼を引き渡したのは、ねたみのためである
ことを彼は知っていたからである。
19 彼が裁判の席に着いたとき、彼の妻は彼に人をや
って言わせた。「あの義人とは関わらないでくださ
い。私は今日、夢の中で彼のことで多くの苦しみを
受けました。」
20 しかし、祭司長たちや長老たちは、バラバに訴え
てイエスを殺すようにと群衆を説き伏せた。
21 総督は答えて彼らに言った、「二人のうちどちら
を釈放してほしいのか」。彼らは「バラバです」と
答えた。
22 ピラトは彼らに言った、「それでは、キリストと
いわれるイエスは、どうしたらよいか。」彼らはみ
なピラトに言った、「十字架につけよ」。
23 総督は言った、「なぜ、彼は悪事をしたのか。」
しかし、彼らはますます叫び声をあげて、「十字架
につけよ」と言った。
24 ピラトは、何も成し遂げられず、かえって騒ぎが
起こりそうだと見て、水を取り、群衆の前で手を洗
い、こう言った。「この義人の血について、私には
責任がない。あなたがたに責任を負わせなさい。」
25 すると民は皆答えて言った。「彼の血の責任は
我々と我々の子孫の上にかかっている。」
26 そこで、彼はバラバを彼らに釈放し、イエスを鞭
打った後、十字架につけるために引き渡した。
27 そこで、総督の兵士たちはイエスを広間に連れて
行き、全軍の兵士たちをイエスのもとに集めた。
28 彼らはイエスの衣服を脱がせて、緋色の衣を着せ
た。
29 そして、いばらで冠を編んでイエスの頭に載せ、
右手に葦の棒を持たせ、イエスの前にひざまずいて
嘲り、「ユダヤ人の王、万歳」と言った。
30 彼らはイエスにつばきをかけ、葦の棒を取り、イ
エスの頭をたたいた。
31 そして、彼らはイエスを嘲笑した後、イエスの着
物を脱がせて、イエスの元の着物を着せ、十字架に
つけるために連れ去った。
32 彼らが出て行くと、シモンという名のキレネ人に
出会ったので、彼にイエスの十字架を無理やり担が
せた。
33 そして彼らはゴルゴタと呼ばれる場所、すなわち、
頭蓋骨の場所に到着した。
34 彼らは彼に、苦みを混ぜた酢を飲ませたが、彼は
それを味わってから、飲もうとはしなかった。
35 そして彼らはイエスを十字架につけ、くじを引い
てその着物を分けた。それは、預言者によって言わ
れた言葉が実現するためであった。「彼らはわたし
の着物を分け合い、わたしの着物のことでくじを引
いた。」
36 彼らはそこに座ってイエスを監視していた。
37 そして、イエスの頭の上に、「これはユダヤ人の
王、イエスである」と書いた罪状書きを掲げた。
38 そのとき、イエスと一緒に二人の強盗が十字架に
つけられた。一人は右に、もう一人は左に。
39 通りがかる者たちは頭を振りながら彼をののしり、
40 そして言った、「神殿を打ち壊し、三日で建てる
者よ、自分を救ってみろ。もしあなたが神の子なら、
十字架から降りて来なさい。」
41 祭司長たちも同じように、律法学者や長老たちと
一緒になってイエスをあざ笑って言った。
42 彼は他の人々を救ったが、自分自身を救うことは
できない。もし彼がイスラエルの王であるなら、今
すぐ十字架から降りて来なさい。そうすれば私たち
は彼を信じよう。
43 彼は神に信頼していた。もし神が彼をお救いにな
るなら、今彼をお救いください。彼は、「私は神の
子です」と言ったのです。
44 イエスと一緒に十字架につけられた強盗たちも、
それをイエスの歯に投げつけた。
45 さて、午後三時から午後九時まで、全地は暗くな
った。
46 そして、午後三時ごろに、イエスは大声で叫んで
言われた、「エリ、エリ、レマ、サバクタニ。これ
は、「わが神、わが神、なぜ私をお見捨てになった
のですか」という意味です。
47 そこに立っていた人々の中には、これを聞いて、
「この人はエリヤを呼んでいる」と言う者もいた。
48 すると、彼らのうちのひとりがすぐに走り寄って、
海綿を取って酢水に浸し、葦の棒につけてイエスに
飲ませた。
49 ほかの人たちは言った。「待って、エリヤが彼を
救いに来るかどうか、見ていよう。」
50 イエスは、再び大声で叫んでから息を引き取られ
た。
51 すると、見よ、神殿の垂れ幕が上から下まで真っ
二つに裂け、地は震え、岩は裂けた。

52 そして墓が開かれ、眠っていた多くの聖徒たちの
死体がよみがえり、
53 そして復活後、墓から出て来て、聖なる都に入り、
多くの人々に現れました。
54 百人隊長と彼と一緒にイエスの番をしていた人々
は、地震や起こったことを見て、非常に恐れて、
「本当に、この人は神の子であった」と言った。
55 そこには、ガリラヤからイエスに従って仕えてい
た多くの婦人たちが遠くから見ていた。
56 その中には、マグダラのマリア、ヤコブとヨセフ
の母マリア、ゼベダイの子らの母がいた。
57 夕方になると、アリマタヤの金持ちで、ヨセフと
いう人がやって来た。彼もまたイエスの弟子であっ
た。
58 彼はピラトのところに行き、イエスの遺体の引き
渡しを願い出た。そこでピラトは遺体を引き渡すよ
うに命じた。
59 ヨセフは遺体を引き取り、それをきれいな亜麻布
で包み、
60 そして、岩に掘った自分の新しい墓にそれを納め、
墓の入り口に大きな石を転がしておいて立ち去った。
61 そこにはマグダラのマリアともう一人のマリアが
いて、墓の向かい側に座っていた。
62 翌日、すなわち準備の日の翌日、祭司長たちとパ
リサイ人たちがピラトのもとに集まって、
63 言った。「主よ、あの欺く者がまだ生きていたと
き、『三日の後にわたしはよみがえる』と言ってい
たことを、私たちは覚えています。
64 だから、三日目まで墓の番をするように命じなさ
い。そうしないと、弟子たちが夜中にやって来て、
イエスを盗み出し、民衆に「イエスは死人の中から
よみがえった」と言うかもしれません。こうして、
この後の誤りは最初の誤りよりもひどくなるでしょ
う。
65 ピラトは彼らに言った。「あなたたちには見張り
がいる。行って、できるだけ見張って行きなさ
い。」
66 そこで彼らは行って、墓の番をし、石に封印を施
し、番人を置いた。

第 28 章

1 安息日が終わり、週の初めの日の明け方ごろ、マグ
ダラのマリアともう一人のマリアが墓を見に来た。
2 すると、見よ、大きな地震が起こった。主の使いが
天から下って来て、石を戸口から転がし、その上に
座ったからである。
3 彼の顔は稲妻のようであり、彼の衣は雪のように白
かった。
4 番人たちは彼を恐れて震え上がり、死んだようにな
ってしまった。
5 すると、御使いは婦人たちに答えて言った。「恐れ
ることはありません。十字架につけられたイエスを
あなたがたが捜していることを、私は知っていま
す。」
6 彼は、ここにはおられない。彼が言われたとおり、
復活したのだ。さあ、主が横たわっておられた場所
を見に来なさい。
7 だから、急いで行って、弟子たちにこう告げなさい。
「イエスは死人の中からよみがえられた。見よ、イ
エスはあなたたちより先にガリラヤへ行かれる。あ
なたたちはそこでイエスに会うであろう。見よ、わ
たしはあなたたちに告げておいたのだ。」
8 そこで、彼らは恐れと大いなる喜びをもって急いで
墓から立ち去り、弟子たちに知らせを伝えるために
走って行った。
9 彼らが弟子たちに知らせるために出かけると、イエ
スが彼らに出会って、「万歳」と言われた。そこで
彼らは近寄ってイエスの足を抱き、拝んだ。
10 すると、イエスは彼らに言われた、「恐れること
はない。行って、わたしの兄弟たちに、ガリラヤへ
行きなさい。そこでわたしに会うであろう、と告げ
なさい。」
11 彼らが出かけて行くと、番兵のうちのある者が都
に入って来て、起こったことをすべて祭司長たちに
告げた。
12 彼らは長老たちと集まって協議し、兵士たちに多
額の金を与えた。
13 言った。「言いなさい。『弟子たちが夜中に来て、
わたしたちが眠っている間に、イエスを盗み出した
のです。』
14 もしこのことが総督の耳に入ったら、私たちは総
督を説得して、あなたたちの安全を確保します。
15 そこで彼らは金を受け取って、教えられたとおり
にした。このことわざは今日までユダヤ人の間で言
い伝えられている。
16 それから、十一人の弟子たちはガリラヤへ行き、
イエスが彼らに命じておられた山へ行った。
17 彼らはイエスを見ると、ひれ伏したが、疑う者も
いた。
18 するとイエスが来て彼らに言われた、「わたしは
天においても地においても、いっさいの権威を授け
られている。」
19 それゆえ、あなたがたは行って、すべての国民を
弟子として、父と子と聖霊の名によって彼らにバプ
テスマを施しなさい。
20 わたしがあなたがたに命じておいたすべてのこと
を守るように、彼らを教えなさい。見よ、わたしは
世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。ア
ーメン。

マルコによる福音書

第 1 章

1 神の子イエス・キリストの福音の始まり。
2 預言者たちにこう書いてある。「見よ、わたしはあ
なたの前に使者を遣わす。彼はあなたの前に道を備
えるであろう。」
3 荒野で叫ぶ者の声がする。「主の道を整え、その道
筋をまっすぐにせよ。」
4 ヨハネは荒野でバプテスマを施し、罪の赦しを得さ
せる悔い改めのバプテスマを宣べ伝えた。
5 そこで、ユダヤ全土とエルサレムの人々が彼のもと
に出て来て、みな自分の罪を告白し、ヨルダン川で
彼からバプテスマを受けた。
6 ヨハネはらくだの毛皮の衣を着て、腰に皮の帯を締
め、いなごと野蜜を食べていた。
7 そして、宣べ伝えて言った。「わたしよりも力のあ
る方が、わたしのあとから来られる。わたしは身を
かがめて、その方のくつのひもを解く値うちもな
い。」
8 わたしはあなたたちに水でバプテスマを授けた。し
かし、彼は聖霊であなたたちにバプテスマを授ける
であろう。
9 そのころ、イエスはガリラヤのナザレから来て、ヨ
ルダン川でヨハネからバプテスマを受けた。
10 そして、イエスが水から上がるとすぐに、天が開
けて、鳩のような御霊が自分の上に下って来るのを
御覧になった。
11 すると、天から声が聞こえてこう言った。「あな
たはわたしの愛する子、わたしの心にかなう者。」
12 すると、すぐに御霊が彼を荒野へ追いやった。
13 そしてイエスは四十日間荒野にいて、サタンの誘
惑を受け、野獣たちと共にいたが、天使たちはイエ
スに仕えた。
14 ヨハネが捕らえられた後、イエスはガリラヤに行
き、神の国の福音を宣べ伝えて、
15 そしてこう言われました。「時は満ち、神の国は
近づいた。悔い改めて福音を信じなさい。」
16 さて、イエスはガリラヤ湖のほとりを歩いておら
れたとき、シモンとその兄弟アンデレが海に網を打
っているのをごらんになった。彼らは漁師であった。
17 イエスは彼らに言われた。「わたしについて来な
さい。あなたがたを、人間をとる漁師にしてあげよ
う。」
18 彼らはすぐに網を捨ててイエスに従った。
19 それから、イエスはそこから少し進んで行かれる
と、ゼベダイの子ヤコブとその兄弟ヨハネが、舟の
中で網を繕っているのをごらんになった。
20 そこでイエスはすぐに彼らを呼び、彼らは父ゼベ
ダイを雇い人たちと一緒に舟に残して、イエスのあ
とについて行った。
21 それから彼らはカペナウムに行き、安息日にすぐ
に会堂に入って教え始めた。
22 彼らはイエスの教えに驚いた。なぜなら、イエス
は律法学者たちのようにではなく、権威ある者のよ
うに教えられたからである。
23 ところが、彼らの会堂に汚れた霊につかれた人が
いて、叫んで言った。
24 こう言った。「わたしたちを放っておいてくださ
い。ナザレのイエスよ。わたしたちとなんの係わり
があるのですか。わたしたちを滅ぼすために来たの
ですか。あなたがどなたであるか、わたしは知って
います。あなたは神の聖者です。」
25 するとイエスは彼を叱って言われた。「黙れ、彼
から出て行け。」
26 すると、汚れた霊は彼を引き裂き、大声で叫んで、
彼から出て行った。
27 すると、彼らはみな驚いて、互いに論じ合った。
「これは、いったい何事だ。これは、いったい何の
新しい教えなのか。権威をもって、汚れた霊にさえ
命じられると、彼らは従うのだ。」
28 そして、イエスの評判はたちまちガリラヤの周囲
の全地方に広まった。
29 それから、彼らは会堂を出て、シモンとアンデレ、
およびヤコブとヨハネの家に入った。
30 ところが、シモンのしゅうとめが熱病で寝ていた
ので、人々はすぐにそのことをシモンに告げた。
31 そこでイエスは近寄って彼女の手を取って起こさ
れた。すると、熱はすぐにひき、彼女は彼らに仕え
た。
32 夕方になって日が沈むと、人々は病人や悪霊に取
りつかれた者をみな、イエスのもとに連れて来た。
33 そして町中の人が戸口に集まった。
34 そして、イエスは、さまざまな病気にかかってい
る多くの人々を癒し、また多くの悪霊を追い出され
た。そして、悪霊たちがイエスを知っていたので、
何も言うことを許されなかった。
35 朝になって、夜明け前に起きて、寂しい所へ行き、
そこで祈った。
36 シモンと彼と一緒にいた人々はイエスに従った。
37 彼らは彼を見つけて言った、「みんながあなたを
捜しています。」
38 そこでイエスは彼らに言われた。「近くの町々へ
行きましょう。そこでも宣べ伝えることができるか
らです。そのためにわたしは出てきたのです。」
39 そして、イエスはガリラヤ全土の諸会堂で宣べ伝
え、悪霊を追い出されました。
40 すると、ひとりの重い皮膚病人がイエスのもとに
来て、ひざまずいて願い、言った。「お心ならば、
わたしを清くすることがおできになります。」
41 イエスは深く憐れみを感じ、手を伸ばして彼に触
れ、「そうしてあげよう。清くなれ」と言われた。
42 彼がそう言うと、すぐにらい病は消えて、彼は清
くなった。
43 そこでイエスは彼を厳しく戒めて、すぐに追い払
われた。
44 彼に言った、「だれにも何も言わないように注意
しなさい。ただ行って、自分を祭司に見せ、モーセ

が命じた物をあなたの清めのためにささげなさい。それが人々への証拠となるのです」。
45 しかし、彼は出て行って、このことを大いに言い広め、また、このことを言い広め始めたので、イエスはもはや公然と町に入ることができず、外の寂しい所におられた。そして、人々は四方八方からイエスのもとに集まった。

第 2 章

1 それから数日後、イエスは再びカペナウムに入られた。そして、イエスが家におられることが噂になった。
2 するとすぐに大勢の人が集まってきたので、戸口のまわりにも、彼らを迎える場所がないほどであった。しかしイエスは彼らに御言葉を宣べ伝えた。
3 すると、人々は四人の子から生まれた中風の人を連れて、イエスのもとに来た。
4 彼らは、群衆が迫ってイエスのところに近づくことができなかったので、イエスのいる場所の屋根をはがし、それを打ち壊して、中風の病人が寝ている床をつり降ろした。
5 イエスは彼らの信仰を見て、中風の人に言われた。「子よ、あなたの罪は赦された。」
6 ところが、律法学者の中には、心の中で論じていた者もいた。
7 この人はなぜ、このように神を冒涜する言葉を語るのか。神以外に、だれが罪を赦すことができるだろうか。
8 イエスは、彼らが心の中でこのように論じていることをすぐに悟って、彼らに言われた。「なぜ、心の中でそんなことを論じているのか。
9 中風の人に、「あなたの罪は赦されました」と言うのと、「起き上がり、床を取り上げて歩きなさい」と言うのとでは、どちらが易しいでしょうか。
10 しかし、人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることを、あなたがたに知らせるために、イエスは中風の人にこう言われました。
11 わたしはあなたに言う。起きて、床を取り上げて、あなたの家に帰りなさい。
12 すると、彼はすぐに起き上がり、床を取り上げて、みんなの前から出て行った。みんなは驚き、神を賛美して言った、「私たちはこんなふうには見たことがなかった。」
13 それからイエスは再び海辺へ出て行かれた。すると群衆が皆イエスのもとに集まったので、イエスは彼らに教え始められた。
14 イエスは通りかかったとき、アルファイの子レビが税関に座っているのを見て、「わたしについて来なさい」と言われた。すると、レビは立ち上がって従った。
15 さて、イエスが家で食事をしておられると、多くの取税人や罪人たちもイエスや弟子たちと一緒に座っていた。人数が多かったので、彼らはイエスに従っていた。
16 律法学者やパリサイ人たちは、イエスが取税人や罪人たちと一緒に食事をしているのを見て、弟子たちに言った。「どうして、取税人や罪人たちと一緒に食べたり飲んだりするのか。」
17 イエスはこれを聞いて彼らに言われた、「健康な人には医者はいらない。いるのは病人である。わたしが来たのは、義人を招くためではなく、罪人を招くためである。」
18 ヨハネの弟子たちとパリサイ人たちとは断食をしていたが、イエスのもとにきて言った、「なぜ、ヨハネの弟子たちとパリサイ人たちは断食をしているのに、あなたの弟子たちは断食をしないのですか。」
19 イエスは彼らに言われた、「花婿が一緒にいるのに、花嫁の子らは断食できるだろうか。花婿が一緒にいる間は、断食することはできない。」
20 しかし、花婿が彼らから取り去られる日が来ます。その時、彼らはその日に断食をするでしょう。
21 また、だれも新しい布切れを古い着物に縫い付けることはない。そうしないと、新しい布切れが古い着物を引き裂いて、裂け目がさらにひどくなる。
22 また、だれも新しいぶどう酒を古い皮袋に入れたりはしない。そうしないと、新しいぶどう酒は皮袋を破り、ぶどう酒はこぼれ、皮袋は傷んでしまう。しかし、新しいぶどう酒は新しい皮袋に入れられなければならない。
23 さて、安息日にイエスが麦畑を通って行かれたとき、弟子たちは歩きながら麦の穂を摘み始めた。
24 するとパリサイ人たちはイエスに言った、「ごらんなさい。なぜ彼らは安息日にしてはならないことをするのですか。」
25 そこでイエスは彼らに言われた、「ダビデとその供の者たちが困窮して飢えたとき、ダビデが何をしたかを、あなたがたはまだ読んだことがないのか。
26 彼は大祭司アビヤタルの時代に神の家に入り、祭司以外には食べてはならない供えのパンを食べ、また供えの者たちにも与えた。
27 そこでイエスは彼らに言われた、「安息日は人のために定められたのであって、人が安息日のために定められたのではない。
28 それゆえ、人の子は安息日の主でもあるのです。

第 3 章

1 それからイエスは再び会堂にはいられた。そこには片手の萎えた人がいた。
2 彼らは、イエスが安息日にその人を癒すかどうかを監視して、告発しようとした。
3 そこでイエスは、片手の萎えた人に、「立ちなさい」と言われた。
4 そこでイエスは彼らに言われた、「安息日に善を行うことと、悪を行うことと、命を救うことと、殺すこととが、律法にかなっておられるか。」しかし彼らは黙っていた。

5 イエスは、彼らの心のかたくなさを悲しみ、怒りを
もって彼らを見回して、その人に、「手を伸ばしな
さい」と言われた。そこで彼が手を伸ばすと、その
手はもう一方の手と同じように治った。
6 そこで、パリサイ人たちは出て行って、すぐにヘロ
デ党の人たちと相談し、どのようにしてイエスを殺
そうかと考えた。
7 しかし、イエスは弟子たちとともに海辺に退かれた。
ガリラヤやユダヤから大勢の群衆がイエスに従った。
8 エルサレム、イドマヤ、ヨルダン川の向こう側、ま
たティルスとシドンのあたりからも、大群衆が、イ
エスがなさったすばらしいみわざを聞いて、イエス
のもとにやって来た。
9 そこでイエスは、群衆が押し寄せて来ないように、
小舟を先に用意しておくようにと弟子たちに言われ
た。
10 イエスは多くの人を癒されたので、病気にかかっ
ている人々はみな、イエスに触れようとして押し寄
せてきた。
11 すると、汚れた霊どもはイエスを見ると、み前に
ひれ伏して叫んで言った、「あなたは神の子で
す。」
12 そしてイエスは、ご自分のことを知らせないよう
にと彼らに厳しく命じられた。
13 そこでイエスは山に登って、御心のままに人を呼
ばせられた。すると彼らはイエスのもとに来た。
14 そこでイエスは十二人を任命し、自分と共にいる
ようにし、また宣教に遣わすようにされた。
15 また、病気を癒し、悪霊を追い出す力も与えられ
ました。
16 そしてシモンにペテロというあだ名を付けた。
17 ゼベダイの子ヤコブとヤコブの兄弟ヨハネがいた。
ヤコブは彼らにボアネルゲス、すなわち「雷の子
ら」というあだ名を付けた。
18 アンデレ、ピリポ、バルトロマイ、マタイ、トマ
ス、アルファイの子ヤコブ、タダイ、カナン人シモ
ン、
19 それから、イエスを裏切ったイスカリオテのユダ
も来た。そして彼らは家に入った。
20 群衆は再び集まったが、パンを食べることさえで
きなかった。
21 友人たちはそれを聞いて、彼を捕らえようと出て
行った。彼らは「彼は気が狂っている」と思ったか
らである。
22 エルサレムから下って来た律法学者たちは言った、
「彼はベルゼブルに取りつかれている。そして、悪
霊の頭によって悪霊を追い出しているのだ。」
23 そこでイエスは彼らを呼び寄せて、たとえで言わ
れた、「サタンがサタンを追い出すことができよう
か。
24 王国が内部分裂すれば、その王国は存続できませ
ん。
25 家が内部で分裂すれば、その家は立ち行かなくな
ります。
26 そして、もしサタンが内部で立ち上がって分裂す
るなら、彼は立つことができず、終わりを迎えます。
27 だれも、強い人の家に入ってその財産を奪うこと
はできない。まず強い人を縛り、それからその家を
奪うからである。
28 よくよくあなたがたに言う。人の子らの罪はすべ
て赦される。また、どんな冒涜も赦される。
29 しかし、聖霊を冒涜する者は決して赦されず、永
遠の滅びの危険にさらされます。
30 彼らは、「彼は汚れた霊に取りつかれている」と
言ったからである。
31 そのとき、イエスの兄弟たちと母が来て、外に立
って、イエスを呼び寄せるために人をやった。
32 群衆はイエスの周りに座って、イエスに言った。
「ごらんなさい。あなたの母上と兄弟たちが外であ
なたを捜しています。」
33 そこでイエスは彼らに答えて言われた、「わたし
の母、またわたしの兄弟とはだれですか。
34 そしてイエスは、周りに座っている人たちを見回
して言われた。「ごらんなさい。わたしの母、わた
しの兄弟たちです。」
35 神の御心を行う者はだれでも、わたしの兄弟、わ
たしの姉妹、また母なのです。

第 4 章

1 それからイエスは再び海辺で教え始められた。する
と、大勢の群衆がみもとに集まったので、イエスは
舟に乗り、海の中に座られた。そして、群衆はみな
海辺の陸にいた。
2 そしてイエスはたとえ話で多くのことを教え、教え
の中で彼らに言われた。
3 聞きなさい。見よ、種まき人が種を蒔くために出て
来た。
4 種を蒔いていると、ある種は道端に落ち、空の鳥が
来てそれを食べてしまった。
5 また、ある種は土の薄い石地に落ちたが、土が浅い
ので、すぐに芽を出した。
6 しかし、太陽が昇ると焼けてしまい、根がないので
枯れてしまいました。
7 ある種はいばらの中に落ちたが、いばらが伸びてそ
れをふさいでしまい、実を結ばなかった。
8 ほかの種は良い地に落ちて、実を結び、芽を出して
増え、あるものは三十、あるものは六十、あるもの
は百の実を結びました。
9 そこでイエスは彼らに言われた、「聞く耳のある者
は聞きなさい」。
10 イエスがひとりになったとき、周りにいた十二弟
子といっしょに、そのたとえについて尋ねた。
11 そこでイエスは彼らに言われた、「神の国の奥義
を知ることは、あなたがたに許されている。しかし、
外にいる人たちには、これらのことはみな、たとえ
で語られるのである。
12 それは、彼らが見ても理解せず、聞いても悟らず、
いつか悔い改めて罪が赦されないためである。

13 そこでイエスは彼らに言われた、「あなたがたはこのたとえが分からないのか。それではどうしてすべてのたとえが分かるのか。
14 種を蒔く者は御言葉を蒔く。
15 道端に御言が蒔かれるのは、このような人たちのためです。しかし、彼らが御言を聞くと、すぐにサタンが来て、彼らの心に蒔かれた御言を奪い去ってしまいます。
16 同じように、石地に蒔かれた者たちもそうですが、彼らは御言を聞くと、すぐに喜んで受け入れます。
17 彼らは自分自身の中に根を持っていないので、しばらくは続くだけです。その後、御言葉のために苦難や迫害が起こると、すぐにつまずいてしまいます。
18 茨の中に蒔かれるのは、このような人たちである。御言葉を聞くが、
19 この世の思い煩いや、富の惑わし、その他いろいろな欲が入り込んで来て、御言をふさぎ、実を結ばなくなってしまいます。
20 良い地に蒔かれたとは、こういう人たちのことである。彼らは御言を聞いて受け入れ、ある者は三十倍、ある者は六十倍、ある者は百倍の実を結ぶ。
21 そこでイエスは彼らに言われた、「あかりは枡の下や寝台の下に置くために持って来られるのか。燭台の上に置くためではないのか。
22 隠されているもので、あらわにならないものはなく、秘密にされているもので、明らかにならないものはないからです。
23 聞く耳のある者は、聞きなさい。
24 そこでイエスは彼らに言われた、「あなたがたは聞くことに気をつけなさい。あなたがたの量るその量りで、自分にも量り与えられ、また、聞く者には、さらに与えられるであろう。」
25 持っている人にはさらに与えられ、持っていない人は持っているものまでも取り上げられるであろう。
26 イエスは言われた、「神の国は、人が地に種を蒔くようなものである。
27 夜も昼も眠ったり起きたりして、種が芽を出し、成長するのを、彼は知らない。
28 地は自ら実りを生み出す。まず芽、次に穂、そして穂の中に実った穀物が出てくる。
29 しかし、実がなると、すぐに鎌を入れます。収穫の時が来たからです。
30 そこでイエスは言われた、「神の国を何にたとえようか。何にたとえようか。
31 それは、一粒のからし種のようなものです。地に蒔かれると、地にあるすべての種よりも少なくなります。
32 しかし、蒔かれると、それは成長し、すべての野菜よりも大きくなり、大きな枝を張り、空の鳥がその陰に宿るほどになります。
33 そして、イエスは、彼らの聞く力に応じて、多くのこのようなたとえ話で御言葉を語られた。
34 しかし、たとえ話を用いずには彼らに語られず、彼らが二人きりになったとき、イエスは弟子たちにすべてを説明された。
35 その日、夕方になったので、イエスは彼らに言われた。「向こう岸へ渡ろう。」
36 そこで、群衆を解散させた後、イエスを舟に乗せたまま引き上げた。また、他の小舟もイエスと一緒であった。
37 すると、激しい風が起こり、波が船に打ち寄せて、船は満杯になった。
38 イエスは舟の後ろの方で枕をして眠っておられたが、人々はイエスを起こして言った。「先生、私たちがおぼれてしまっても、おかしくないのですか。」
39 そこでイエスは起き上がって風をしかり、海に「静まれ、静まれ」と言われた。すると風は止み、大なぎになった。
40 そこでイエスは彼らに言われた、「なぜそんなに恐れているのか。どうして信仰がないのか。
41 彼らは非常に恐れて、互いに言った。「風や海さえも従わせるこの人は、いったい何者なのだろう。」

第 5 章

1 彼らは海の向こう岸、ガダラ人の地方に渡った。
2 イエスが舟から上がられると、すぐに汚れた霊につかれた人が墓場から出てきてイエスを迎えた。
3 彼は墓場の間に住んでいたので、だれも彼を縛ることはできず、鎖で縛ることもできなかった。
4 彼は何度も足かせや鎖でつながれていたが、鎖は彼によって引きちぎられ、足かせは粉々に砕かれ、だれも彼を従わせることができなかった。
5 そして、イエスは昼も夜も山や墓場にいて、泣き叫んだり、石で自分の体を傷つけたりしていた。
6 しかし、彼は遠くからイエスを見て、走り寄って拝み、
7 そして大声で叫んで言った。「いと高き神の子イエスよ、わたしとあなたと何のかかわりがあるのですか。神にかけて誓います。わたしを苦しめないでください。」
8 イエスは彼に言われた、「汚れた霊よ、人から出て行け」。
9 そこで彼は彼に尋ねた、「あなたの名前は何というのですか。」彼は答えた、「私の名はレギオンです。私たちは大勢いるからです。」
10 彼は、彼らをこの地方から追い出さないでほしいと、しきりに懇願した。
11 さて、山々の近くに豚の大群が飼われていた。
12 すると、悪霊どもは皆、イエスに願って言った。「わたしたちを豚の中に送り込んで、豚の中に入り込ませてください。」
13 そこで、イエスはただちに彼らを許された。すると、汚れた霊は出て行って豚の中に入った。そして、豚の群れは崖を下って海に駆け下り、二千頭ほどあったが、海に飲み込まれてしまった。

14 豚を飼っていた者たちは逃げて、町や村にこのこ
とを告げ知らせ、一体何が起こったのか見に出て行
った。
15 彼らはイエスのもとに来て、悪霊に取りつかれて
レギオンを飼っていた人が着物を着て正気で座って
いるのを見て、恐れた。
16 それを見た人たちは、悪魔に取りつかれた者に起
こったことと、豚のこととを彼らに話した。
17 そこで彼らは、イエスに自分たちの地方から立ち
去っていただくよう祈り始めた。
18 イエスが舟に乗り込まれると、悪魔に取りつかれ
ていた者が、イエスと一緒にいさせてくださらない
かと祈った。
19 しかし、イエスはそれを許さず、こう言われた。
「あなたの友人たちのところへ帰って、主があなた
にどんなに大きなことをしてくださり、どんなにあ
われんでくださったかを、彼らに伝えなさい。」
20 そこでパウロは立ち去って、イエスが自分のため
にしてくださったすばらしいわざをデカポリスで言
い広め始めた。すると、すべての人々が驚いた。
21 イエスが再び舟で向こう岸へ渡られると、大勢の
群衆がみもとに集まった。そしてイエスは海の近く
におられた。
22 すると、会堂長のひとり、ヤイロという人がやっ
て来て、彼を見ると、その足もとにひれ伏して、
23 そして、強く願って言った。「私の幼い娘が死に
そうです。どうか来て、手を置いて娘をいやしてく
ださい。そうすれば娘は生き返るでしょう。」
24 イエスは彼と一緒に出かけられたが、大勢の群衆
がイエスに従い、群がってきた。
25 十二年間も血の流出を患っていたある女が、
26 彼女は多くの医者にかかって多くの苦しみを受け、
持っていたすべてのものを使い果たしたが、少しも
良くならず、むしろ悪くなっていった。
27 彼女はイエスのことを聞いて、群衆の中に紛れて
後ろから来て、イエスの衣に触った。
28 彼女は、「もし彼の着物に触れることができれば、
私は癒されるでしょう」と言った。
29 すると、すぐに血の泉は乾き、彼女はその病気が
治ったことを自分の体に感じた。
30 するとイエスは、彼の中から力が出て行ったこと
をすぐに悟り、群衆の中で彼を振り向かせ、こう言
われた。「わたしの服にさわったのはだれか。」
31 すると弟子たちはイエスに言った。「群衆があな
たに群がっているのを見て、『だれがわたしにさわ
ったのか』とおっしゃるのですか。」
32 そしてイエスは、このことをした女を捜し回され
た。
33 しかし、女は自分の身に起こったことを知って恐
れおののき、イエスの前に進み出てひれ伏し、すべ
てをありのままに話した。
34 イエスは彼女に言われた。「娘よ、あなたの信仰
があなたを救ったのです。安心して行きなさい。あ
なたの病気は治りますように。」
35 イエスがまだ話しておられるうちに、会堂司の家
からある人たちが来て言った、「あなたの娘は亡く
なりました。なぜこれ以上先生を煩わせるのです
か」。
36 イエスは、その言葉を聞いてすぐに会堂長に言わ
れた。「恐れることはない。ただ信じなさい。」
37 そして、ペテロとヤコブとヤコブの兄弟ヨハネの
ほかは、だれもイエスについて来ることをお許しに
ならなかった。
38 そして、イエスは会堂長の家に行き、騒ぎと、激
しく泣いたり嘆いたりしている人々とを見て、
39 イエスは中に入って彼らに言われた、「なぜ騒ぎ
立てて泣いているのか。娘は死んだのではなく、眠
っているだけである」。
40 彼らは彼をあざ笑った。しかし彼は彼らを皆追い
出すと、娘の父と母、および一緒にいた者たちを連
れて、娘が寝ていた場所に入った。
41 そこでイエスは乙女の手を取って言われた。「タ
リタ・クミ。」これは訳せば、「乙女よ、私はあなた
に言う、起きなさい」という意味である。
42 すると、その娘はすぐに起き上がって歩き出した。
彼女は十二歳であった。彼らは非常に驚いて驚いた。
43 そしてイエスは、だれにも知られないようにと彼
らに厳しく命じ、また、彼女に食べ物を与えるよう
に命じた。

第 6 章

1 そこでイエスはそこから出て、自分の国へ帰られた。
弟子たちも従って行った。
2 安息日が来ると、イエスは会堂で教えはじめられた。
聞いていた多くの人々は驚いて言った、「この人は
これらのことをどこから得たのか。また、この人に
与えられた知恵は何なのか。このような力あるわざ
が彼の手によってなされるのは」。
3 この人は大工ではありませんか。マリアの子で、ヤ
コブ、ヨセ、ユダ、シモンの兄弟です。姉妹たちも
私たちと一緒にここにいるではありませんか。」そ
こで、彼らはイエスに腹を立てた。
4 しかし、イエスは彼らに言われた、「預言者が敬わ
れないことはない。ただ、自分の故郷、親族、自分
の家の中では敬われるのである。」
5 そして、イエスはそこでは、数人の病人に手を置い
て癒すこと以外、何の奇跡も行うことができません
でした。
6 イエスは彼らの不信仰に驚き、村々を巡って教え始
めた。
7 そこでイエスは十二人を呼び寄せ、二人ずつ遣わし
始め、彼らに汚れた霊を追い出す権威をお与えにな
った。
8 そして、旅のために杖一本のほかは何も持たないよ
うに、また袋もパンも財布の中の金も持たないよう
にと命じた。
9 しかし、履物を履きなさい。二枚重ねの上着を着て
はいけません。

10 そこでイエスは彼らに言われた、「あなたがたは、
どこの家に入ったとしても、そこから出るまでは、
そこにとどまっていなさい。
11 あなたがたを受け入れず、あなたがたの言うこと
を聞かない者がいれば、そこから立ち去るとき、彼
らに対する証拠として足の裏のちりを払い落としな
さい。よく聞きなさい。裁きの日には、ソドムとゴ
モラの方があの町よりも耐えやすいでしょう。
12 そこで彼らは出て行って、人々に悔い改めを宣べ
伝えた。
13 そして、彼らは多くの悪霊を追い出し、また多く
の病人に油を塗って癒した。
14 ヘロデ王は彼のことを聞いて、（その名が広まっ
ていたため）「バプテスマのヨハネは死人の中から
よみがえった。彼のうちには力あるわざが現れてい
る」と言った。
15 ほかの人たちは、「それはエリヤだ」と言い、ま
たほかの人たちは、「それは預言者だ、あるいは預
言者のひとりだ」と言いました。
16 しかし、ヘロデはそれを聞いて、「私が首を切っ
たヨハネが、死人の中からよみがえったのだ」と言
った。
17 というのは、ヘロデは自分の兄弟フィリポの妻ヘ
ロデヤのことで、人をやってヨハネを捕え、牢につ
ないでいたからである。ヘロデはヘロデヤをめとっ
ていたからである。
18 ヨハネはヘロデに、「あなたの兄弟の妻をめとる
ことは、律法で禁じられている」と言った。
19 それでヘロデヤはパウロに恨みを抱き、彼を殺そ
うとしたが、できなかった。
20 ヘロデは、ヨハネが正しい人で聖なる者であるこ
とを知っていたので、彼を恐れ、彼を監視し、また
彼の話を聞く時には多くのことを行い、また喜んで
彼の話に耳を傾けた。
21 さて、都合のよい日が来て、ヘロデは自分の誕生
日を祝って、大臣たちや高官たち、ガリラヤの有力
者たちを招いて晩餐会を催した。
22 ヘロデヤの娘が来て踊り、ヘロデとその同席者た
ちを喜ばせたので、王はその娘に言った。「何でも
欲しいものを求めなさい。与えよう。」
23 彼は彼女に誓った。「あなたが私に求めるものは
何でも、私の王国の半分でも与えよう。」
24 彼女は出て行って、母に言った、「何をお願いし
たらよいでしょうか。」母は言った、「バプテスマ
のヨハネの首をください。」
25 そこで彼女は急いで王のもとに行き、願って言っ
た。「バプテスマのヨハネの首を盆に載せて、すぐ
に私に下さるようお願いします。」
26 王は非常に残念に思ったが、誓いのため、また王
とともに座っていた人々のために、彼女を拒絶する
ことはできなかった。
27 そこで王は直ちに死刑執行人を遣わし、その首を
持って来るように命じた。死刑執行人は行って牢獄
でその首をはねた。
28 そして、その首を盆に載せて持って来て、それを
乙女に与えた。乙女はそれを母親に渡した。
29 弟子たちはそれを聞いて、来てイエスの遺体を引
き取り、墓に納めた。
30 使徒たちはイエスのもとに集まり、自分たちのし
たことも、教えたことも、すべてイエスに報告した。
31 そこでイエスは彼らに言われた。「あなたがたは、
人里離れた所へ行って、しばらく休みなさい。出入
りする人が多くて、食事をする暇もなかったので
す。」
32 そして彼らはひそかに船に乗って寂しい所へ出発
した。
33 民衆は彼らが出発するのを見て、多くの人が彼だ
とわかり、すべての町からそこへ歩いて走り、彼ら
より先に進んで、彼のもとに集まった。
34 イエスは出て来て、大勢の群衆を見て、彼らが羊
飼いのいない羊のような状態であるのを深く憐れみ、
いろいろなことを教え始められた。
35 日もすっかり傾いたので、弟子たちがイエスのも
とに来て言った。「ここは寂しい所ですし、もう時
も過ぎました。
36 彼らを解散させて、周囲の地方や村々へ行って、
パンを買わせなさい。彼らには食べる物がないので
す。
37 イエスは答えて彼らに言われた、「あなたがたが
彼らに食べ物を与えなさい」。彼らは言った、「わ
たしたちが行って二百デナリのパンを買ってきて、
彼らに食べさせましょうか」。
38 イエスは彼らに言われた、「パンはいくつあるか。
行って見なさい」。彼らは知って、「五つあります。
それに魚が二匹あります」と言った。
39 そしてイエスは、皆を組に分けて青草の上に座ら
せるように命じられた。
40 そして彼らは、百人ずつ、五十人ずつ、列をなし
て座った。
41 そして、イエスは五つのパンと二匹の魚とを取り、
天を仰いで祝福し、パンを裂いて弟子たちに渡し、
配らせた。また、二匹の魚は皆に分け与えた。
42 彼らはみな食べて満腹した。
43 そして、彼らはパンくずと魚を集めて十二のかご
いっぱいにした。
44 そして、パンを食べた者はおよそ五千人であった。
45 そこでイエスは、ただちに弟子たちを強いて舟に
乗り込ませ、向こう岸のベツサイダへ行かせ、その
間に群衆を解散させた。
46 イエスは彼らを解散させてから、祈るために山へ
行かれた。
47 夕方になると、舟は海の真ん中にあり、イエスだ
けが陸に残っていた。
48 イエスは、彼らが漕ぎの苦役をしているのをご覧
になった。風が逆風であったからである。そして、
夜の第四の見張りのころ、イエスは海の上を歩いて
彼らのところへ行き、彼らのそばを通り過ぎようと
された。

49 しかし、イエスが海の上を歩いておられるのを見て、彼らはそれが霊であろうと思い、叫び声をあげた。
50 人々はみなイエスを見て、不安になった。しかしイエスはすぐに彼らに話しかけて言われた、「安心しなさい。わたしだ。恐れることはない。」
51 そこでイエスは彼らのところへ舟で上って行かれた。すると風は止んだ。彼らは心の中で非常に驚き、不思議に思った。
52 彼らはパンの奇跡に気づかなかった。彼らの心はかたくなになっていたからである。
53 こうして彼らは渡り終えて、ゲネサレの地に入り、岸に着いた。
54 彼らが船から上がると、すぐにイエスだと分かりました。
55 そして、その地方全体を巡り歩き、イエスがおられると聞いた所に、病人を床についたまま運び始めた。
56 イエスが村や町や地方に入って行かれると、人々は病人を通りに寝かせ、イエスの着物のふさでも触れさせてくださいと願った。そして、イエスに触れた者はみな癒された。

第 7 章

1 そのとき、パリサイ人たちと数人の律法学者たちがエルサレムからイエスのもとに集まってきた。
2 そして、弟子たちのうちのある者が汚れた、つまり洗っていない手でパンを食べているのを見て、彼らは非難した。
3 パリサイ人をはじめすべてのユダヤ人は、昔の人たちの言い伝えを守り、手を何度も洗わないと食事をしない。
4 彼らは市場から帰ってきて、身を洗わないでは食事をしない。そのほかにも、杯や壺、青銅の器や机を洗うなど、守らなければならない仕事がたくさんある。
5 そこで、パリサイ人や律法学者たちはイエスに尋ねた。「なぜ、あなたの弟子たちは昔の人たちの言い伝えに従って歩まず、洗わない手でパンを食べるのですか。」
6 イエスは答えて言われた、「あなたがた偽善者について、イザヤはよく預言している。『この民は口先ではわたしを敬うが、その心はわたしから遠く離れている。』
7 しかし、彼らは人間の戒めを教義として教えながら、むなしくわたしを拝んでいる。
8 あなたがたは、神の戒めを捨てて、鍋や杯を洗うといった人間の言い伝えを固守し、そのほかにも同じようなことを数多く行っています。
9 そこでイエスは彼らに言われた。「あなたたちは、自分たちの言い伝えを守るために、神の戒めを完全に無視している。」
10 モーセはこう言っています。「あなたの父と母を敬え。父または母を呪う者は死刑に処せられよ。」
11 しかし、あなたがたは言う、「もし人が父または母に、『これはコルバン、すなわち贈り物です。私からあなたが得るものはすべて贈ります』と言うならば、その人は免除されるであろう」。
12 あなたがたは、彼が父や母に対して、もはや何もすることを許さない。
13 あなたがたは、伝えてきた言い伝えによって神の言葉を無にしています。また、同じようなことを数多く行っています。
14 そして、彼はすべての民を呼び寄せて彼らに言った、「あなたがたひとりひとりはわたしの言うことをよく聞いて、悟りなさい。
15 外から人の中に入り込んで人を汚すものは何一つない。人から出て来るもの、それが人を汚すのである。
16 聞く耳のある者は、聞きなさい。
17 イエスが群衆を離れて家の中に入ると、弟子たちはこのたとえについて尋ねた。
18 そこでイエスは彼らに言われた、「あなたがたも、このように悟らないのか。外から人の体内に入るものは、何であれ人を汚すことができないということを、知らないのか。
19 それは彼の心にはいらず、腹にはいり、そして外へ出て行って、すべての食物を清めるからである。
20 イエスは言われた、「人から出てくるものが、人を汚すのです。」
21 なぜなら、内側から、すなわち人の心から、悪い考え、姦淫、不品行、殺人、
22 盗み、貪欲、悪事、欺き、好色、悪意、冒涜、高慢、愚かさ。
23 これらの悪いものはすべて内側から出て来て、人を汚すのです。
24 そこから彼は立ち上がって、ティルスとシドンの地方に行き、ある家に入ったが、誰にも知られないようにしたが、隠れることはできなかった。
25 ある女が、汚れた霊に取りつかれた幼い娘を宿していたが、イエスのことを聞き、来てイエスの足もとにひれ伏した。
26 その女はギリシア人で、スロ・フェニキア出身であった。彼女は、娘から悪魔を追い出して下さるようイエスに懇願した。
27 しかし、イエスは彼女に言われた、「まず子供たちに満腹させなさい。子供たちのパンを取って小犬に投げてやるのはよくない。」
28 彼女は答えて言った、「主よ、そのとおりです。しかし、食卓の下の小犬も子供たちのパンくずを食べます。」
29 そこでイエスは彼女に言われた、「その言葉を聞いて、立ち去りなさい。あなたの娘から悪魔は出て行ったのです。」
30 彼女が家に帰ってみると、悪魔は出て行って、娘は床に横たわっていた。
31 それから、イエスは再びティルスとシドンの地方を去り、デカポリスの地方の真ん中を通ってガリラヤの海に来られた。

32 そこで人々は、耳が聞こえず、口がきけない者をイエスのところに連れて来て、その上に手を置いてくださるよう懇願した。
33 そこでイエスは、彼を群衆の中から連れ出し、その両耳に指を入れ、つばきをつけてその舌に触れられた。
34 そしてイエスは天を仰いで、息をついて言われた。「エパタ。これは、『開け』という意味です。」
35 すると、すぐに彼の耳が開き、舌のひもが解けて、はっきりと話せるようになった。
36 そして、イエスは彼らに、だれにも話さないようにと命じられた。しかし、命じれば命じるほど、彼らはますますそれを言いふらした。
37 彼らは非常に驚いて言った、「彼はすべてをみごとに行われた。彼は耳しい者を聞かせ、口のきけない者を話せるようにされるのだ。」

第 8 章

1 そのころ、群衆が非常に多く、食べるものもなかったので、イエスは弟子たちを呼び寄せて言われた。
2 わたしは群衆を哀れに思う。彼らはもう三日間わたしと一緒にいるのに、食べる物がないのだ。
3 わたしが彼らを空腹のままそれぞれの家に帰らせたとしても、彼らは途中で衰弱するであろう。彼らの中には遠くから来た者も何人かいるからである。
4 すると弟子たちはイエスに答えた。「この荒野で、どうしてこの人たちにパンを与えて満腹させることができましょうか。」
5 そこでイエスは彼らに、「パンはいくつありますか」と尋ねられた。彼らは、「七つあります」と答えた。
6 そこでイエスは、民衆に地に座るように命じ、七つのパンを取り、感謝をささげてそれを裂き、弟子たちに渡して民衆に配らせた。弟子たちはそれを民衆に配った。
7 彼らは小さな魚を少しだけ持っていた。イエスはそれを祝福して、それをも彼らの前に置くように命じた。
8 そこで彼らは食べて満腹した。残ったパンくずを集めると七つの籠になった。
9 食べた者はおよそ四千人であった。そこでイエスは彼らを解散させた。
10 それから、イエスはすぐに弟子たちと一緒に船に乗り、ダルマヌタ地方へ行かれた。
11 すると、パリサイ人たちが進み出て、イエスを試そうとして、天からのしるしを求めて、質問し始めた。
12 そこでイエスは心の中で深く嘆息して言われた、「なぜこの世代の人々はしるしを求めるのか。よく聞きなさい。この世代にはしるしは与えられないであろう」。
13 そこでイエスは彼らを残して、再び舟に乗り、向こう岸へ出発された。
14 弟子たちはパンを持ってくるのを忘れていたし、船の中にもパン一つしか持っていなかった。
15 そこでイエスは彼らに命じて言われた、「パリサイ人のパン種とヘロデのパン種とに気をつけなさい」。
16 そこで彼らは互いに論じ合った。「それは、私たちにはパンがないからだ。」
17 イエスはそれを知って、彼らに言われた、「なぜ、パンがないと論じるのか。まだ悟らないのか、悟らないのか。心はまだかたくなになっているのか。
18 目があっても見ないのか。耳があっても聞かないのか。覚えていないのか。
19 わたしが五つのパンを裂いて五千人に分けたとき、パンくずを何籠集めましたか。」彼らは答えます、「十二籠です。」
20 四千人のうちの七人が、パンくずを何籠集めたか。」彼らは答えた、「七籠」。
21 そこでイエスは彼らに言われた、「なぜ分からないのか。
22 それからイエスはベツサイダに来られた。すると、人々は盲人をみもとに連れて来て、さわっていただくように願った。
23 そこでイエスは、その盲人の手を取って町の外に連れ出し、その両目につばきをし、両手をその人の上に置いて、「何か見えるか」と尋ねられた。
24 そして彼は目を上げて言った、「わたしは人々が歩いている木々のように見えます。」
25 それから、イエスは再び両手を彼の目に当て、彼に見上がらせられた。すると彼は元気を取り戻し、すべての人がはっきりと見えるようになった。
26 そこで彼は彼を家に帰らせて言った、「町に入ってはならないし、町のだれにもこのことを告げてはならない。」
27 イエスは弟子たちと一緒にピリポ・カイサリアの町々へ出かけ、その途中で弟子たちに尋ねて言われた、「人々はわたしのことをだれと言っているか」。
28 彼らは、「バプテスマのヨハネだ」と答えたが、ある者は「エリヤだ」と言い、また他の者は「預言者のひとりだ」と言った。
29 そこでイエスは彼らに言われた、「それでは、あなたがたはわたしをだれだと言うのか。」するとペテロが答えて言った、「あなたこそキリストです。」
30 そしてイエスは、自分のことをだれにも話さないようにと彼らに命じられた。
31 それからイエスは、人の子は必ず多くの苦しみを受け、長老、祭司長、律法学者たちから拒絶され、殺され、そして三日の後によみがえらなければならない、と彼らに教えはじめられた。
32 そしてイエスは公然とその言葉を語った。するとペテロはイエスを捕らえて叱り始めた。
33 しかし、イエスは振り返って弟子たちを眺めながら、ペテロを叱りつけて言われた。「サタンよ、引き下がれ。あなたは神のことを思わず、人間のことを思っている。」

34 それから、イエスは群衆と弟子たちを呼び寄せて
言われた、「わたしについて来たいと思う者は、自
分を捨て、自分の十字架を負って、わたしに従って
来なさい。
35 自分の命を救おうと思う者はそれを失い、わたし
のため、また福音のために自分の命を失う者は、そ
れを救うのです。
36 人は、たとい全世界を手に入れても、自分の命を
失ったら、何の得があろうか。
37 また、人は何を支払って自分の命を買い戻すこと
ができようか。
38 だから、この姦淫と罪の時代にあって、わたしと
わたしの言葉とを恥じる者は、人の子もまた、父の
栄光のうちに聖なる御使いたちと共に来るとき、そ
の人を恥じるであろう。

第 9 章

1 イエスは彼らに言われた、「よく聞きなさい。ここ
に立っている人々の中には、神の国が力をもって来
るのを見るまでは、決して死を味わわない者がい
る。」
2 六日の後、イエスはペテロ、ヤコブ、ヨハネだけを
連れて高い山に登られた。すると、イエスは彼らの
目の前で姿が変わった。
3 そして、彼の衣は光り輝き、雪のように真っ白にな
った。地上のどんな布さらしもそれを白くすること
ができないほどであった。
4 すると、エリヤがモーセとともに彼らに現れ、彼ら
はイエスと語り合った。
5 するとペテロがイエスに答えて言った。「先生、わ
たしたちがここにいるのは、すばらしいことです。
それで幕屋を三つ造ろうではありませんか。あなた
のために一つ、モーセのために一つ、エリヤのため
に一つ。」
6 イエスはなんと答えてよいか分からなかった。彼ら
は非常に恐れていたからである。
7 すると、雲が彼らを覆い、その雲の中から声が聞こ
えて言った、「これはわたしの愛する子である。こ
れに聞け」。
8 すると突然、彼らは辺りを見回したが、ただイエス
だけが自分たちと一緒におられるほかは、だれも見
えなかった。
9 彼らが山を下りるとき、イエスは、人の子が死人の
中からよみがえるまでは、自分たちが見たことをだ
れにも話してはならないと命じられた。
10 彼らはその言葉を心に留め、死人の中からよみが
えるとはどういうことかと互いに論じ合った。
11 そこで彼らはイエスに尋ねた、「なぜ律法学者た
ちは、まずエリヤが来なければならないと言ってい
るのですか。」
12 そこでイエスは答えて言われた、「確かにエリヤ
がまず来て、すべてのことを元通りにします。人の
子については、多くの苦しみを受け、また蔑まれな
ければならないと書いてあります。」
13 しかし、わたしはあなたがたに言います。エリヤ
は確かに来ました。そして、彼について書かれてい
るとおり、人々は彼らの望むことをすべて彼に対し
て行いました。
14 イエスが弟子たちのところに来ると、大勢の群衆
が彼らの周りにいて、律法学者たちが彼らと質問し
ているのをごらんになった。
15 すると、群衆は皆、イエスを見て非常に驚き、走
り寄って挨拶した。
16 そこでイエスは律法学者たちに尋ねられた。「彼
らと何を議論するのか。」
17 すると、群衆の中のひとりが答えて言った。「先
生、わたしは、口のきけない霊につかれている息子
を、あなたのところに連れてまいりました。
18 そして、彼はどこへ行っても、彼を引き裂き、彼
は泡を吹き、歯ぎしりし、衰弱します。そこで、私
はあなたの弟子たちに、彼を追い出すように言いま
したが、彼らはできませんでした。
19 主は答えて言われた、「ああ、信仰のない時代よ。
いつまで、わたしはあなたがたと一緒にいなければ
ならないのか。いつまで、あなたがたを我慢しなけ
ればならないのか。彼をわたしのところに連れて来
なさい。」
20 彼らは彼をイエスのところに連れて来たが、イエ
スが彼を見ると、すぐにその霊が彼を襲った。それ
でイエスは地に倒れ、泡を吹きながら転げ回った。
21 彼は父に尋ねた。「こんなことが起こったのはい
つ以来ですか。」父は答えた。「子供のことで
す。」
22 そして、神は彼を何度も火や水の中に投げ込んで
滅ぼそうとしました。しかし、あなたが何かできる
ことがあれば、どうか私たちをあわれんで助けてく
ださい。
23 イエスは彼に言われた、「信じることができれば、
信じる者にはすべてできる。」
24 すると、その子の父親はすぐに叫び、涙を流しな
がら言った。「主よ、私は信じます。不信仰なわた
しを、お助けください。」
25 イエスは、群衆が走って集まって来るのを見て、
汚れた霊を叱りつけて言われた。「口がきけず、耳
が聞こえない霊よ、お前に命じる。この人から出て
行き、二度とこの人の中にはいるな。」
26 すると、その霊が叫び声をあげて、彼を激しく引
き裂き、彼から出て行った。すると彼は死んだ者の
ようになったので、多くの人が、「彼は死んだ」と
言った。
27 しかし、イエスは彼の手を取って起こすと、彼は
立ち上がった。
28 イエスが家に入られると、弟子たちはひそかに尋
ねた。「なぜ私たちは彼を追い出せなかったのです
か。」
29 そこでイエスは彼らに言われた。「この種のもの
は、祈りと断食とによらなければ、何によっても追
い出すことはできない。」

30 彼らはそこから出発してガリラヤを通過した。イ
エスはだれにもそのことを知られないようにされた。
31 イエスは弟子たちに教えて言われた、「人の子は
人々の手に引き渡され、彼らは彼を殺すでしょう。
そして、殺されてから三日目によみがえります。」
32 しかし、彼らはその言葉が理解できず、尋ねるこ
とも恐れた。
33 それからイエスはカペナウムに着き、家の中に入
ってから弟子たちに尋ねた。「道中であなたがたの
間で論じ合っていたのは、何だったのか。」
34 しかし彼らは黙っていた。途中で、だれが一番偉
いのかと、互いに論じ合っていたからである。
35 それからイエスは座り、十二人を呼び寄せて言わ
れた、「だれでも先になりたいと思うなら、すべて
の人の後になり、すべての人に仕える者になりなさ
い。」
36 そこでイエスは幼子を連れて来て、彼らの真ん中
に立たせ、抱きかかえて彼らに言われた。
37 このような子供たちの一人をわたしの名のゆえに
受け入れる者は、わたしを受け入れるのである。わ
たしを受け入れる者は、わたしではなく、わたしを
つかわした方を受け入れるのである。
38 すると、ヨハネが答えて言った。「先生、あなた
の名を使って悪霊を追い出している者を見ましたが、
彼は私たちについて来ませんでした。私たちについ
て来なかったから、私たちは彼を止めたのです。」
39 しかし、イエスは言われた。「止めてはならない。
わたしの名によって奇跡を行いながら、軽々しくわ
たしのことを悪く言う者はいないからである。」
40 わたしたちに敵対しない者は、わたしたちの味方
である。
41 あなたがたがキリストに属しているという理由で、
わたしの名によって、あなたがたに一杯の水でも飲
ませてくれる者は、よく言っておくが、その報いを
受け損なわれることはない。
42 そして、わたしを信じるこれらの幼子たちの一人
でも罪を犯させる者は、その首に石臼をかけられて
海に投げ込まれた方がましです。
43 もしあなたの手があなたを罪に陥れるなら、それ
を切り落としなさい。両手がそろったまま地獄の消
えることのない火に落ちるよりは、片手のまま命に
入るほうがあなたにとってよいのです。
44 そこでは、彼らの虫は死なず、火は消えない。
45 もしあなたの足があなたを罪に陥れるなら、それ
を切り捨てなさい。両足がそろったまま地獄の消え
ることのない火に投げ込まれるよりは、足が不自由
でも命に入るほうがあなたにとってよいのです。
46 そこでは、虫は死なず、火は消えない。
47 もしあなたの片目があなたを罪に陥れるなら、そ
れをえぐり出しなさい。両目がそろったまま地獄の
火に投げ込まれるよりは、片目でも神の国に入るほ
うがあなたにとってよいのです。
48 そこでは、虫は死なず、火は消えない。
49 すべての人は火で塩漬けにされ、すべての犠牲は
塩で塩漬けにされるからです。
50 塩は良いものである。しかし、もし塩が塩気を失
ったら、何でそれを味付けするのか。あなたがた自
身の内に塩を持ち、互いに平和を保ちなさい。

第 10 章

1 そこでイエスはそこから立ち去って、ヨルダン川の
向こう岸のユダヤ地方に行かれた。人々は再びイエ
スのもとに来たので、イエスはいつものように、再
び彼らを教え始めた。
2 すると、パリサイ人たちがイエスのところに来て、
「夫が自分の妻を離縁するのは、律法にかなってい
ますか」と尋ね、イエスを誘惑した。
3 そこでイエスは彼らに答えて言われた、「モーセは
あなたたちに何と命じたか。
4 彼らは言った、「モーセは離婚証書を書いて彼女を
離縁することを許したのです」。
5 するとイエスは答えて言われた、「あなたがたの心
がかたくななので、神はこの戒めをあなたがたに書
いたのです。」
6 しかし、創造の初めから、神は彼らを男と女に造ら
れました。
7 それゆえ、人は父母を離れ、妻と結ばれるのである。
8 そして、ふたりは一体となるのです。そのとき、彼
らはもはやふたりではなく、一体なのです。
9 だから、神が結び合わせたものを、人は離してはな
らない。
10 家の中で、弟子たちはまた同じことをイエスに尋
ねた。
11 そこでイエスは彼らに言われた、「だれでも自分
の妻を出して他の女をめとる者は、その妻に対して
姦淫を犯すのである。
12 女が夫を離縁して他の女と結婚するなら、姦淫を
犯すことになる。
13 そこで、イエスに触れていただくために、人々が
幼子たちをみもとに連れて来たが、弟子たちは連れ
てきた者たちをしかった。
14 しかし、イエスはそれを見て、非常に憤慨し、彼
らに言われた、「幼子たちがわたしのところに来る
ことをそのままにしておきなさい。止めてはならな
い。神の国はこのような者の国である。」
15 よく聞きなさい。幼子のように神の国を受け入れ
る者でなければ、そこには入れません。
16 そしてイエスは彼らを抱き上げ、その上に手を置
いて祝福された。
17 イエスが道に出て行かれると、ある人が走り寄っ
てきて、みもとにひざまずき、尋ねた。「よい先生
よ、永遠の命を受け継ぐためには、何をしたらよい
でしょうか。」
18 するとイエスは彼に言われた、「なぜわたしを善
い者と呼ぶのか。神以外には善い者はいない。」
19 あなたは戒めを知っている。姦淫するな、殺すな、
盗むな、偽証するな、騙すな、父母を敬え。
20 そこで彼は答えて言った、「先生、私は若い時か
ら、これらのことをみな守ってきました。」

21 すると、イエスは彼を見て、愛し、言われた、
「あなたに足りないものが一つある。行って、持っ
ているものをみな売り払って、貧しい人々に施しな
さい。そうすれば、天に宝が積めるようになる。そ
して、来て、十字架を負って、私に従ってきなさ
い。」
22 彼はこの言葉を聞いて悲しみ、悲しみながら立ち
去った。彼は多くの財産を持っていたからである。
23 イエスは周囲を見回して弟子たちに言われた、
「富を持っている者が神の国に入るのは、なんと難
しいことだろう」。
24 弟子たちはイエスの言葉に驚いた。しかし、イエ
スは再び答えて言われた、「子たちよ、富を頼みと
する者が神の国に入るのは、なんと難しいことか。
25 金持ちが神の国に入るよりは、らくだが針の穴を
通る方がもっと簡単である。
26 そこで彼らは非常に驚いて、互に言った、「それ
では、だれが救われるのだろうか。」
27 イエスは彼らを見つめて言われた、「人にはそれ
はできない。しかし神にはできないことはない。神
には何でもできるからである。」
28 するとペテロはイエスに言いはじめた。「ごらん
なさい。わたしたちはすべてを捨ててあなたに従っ
てまいりました。」
29 するとイエスは答えて言われた、「よく聞きなさ
い。わたしのために、また福音のために、家、兄弟、
姉妹、父、母、妻、子、もしくは畑を捨てた者は、
ひとりもいない。
30 しかし、彼は今、迫害を受けながらも、家、兄弟、
姉妹、母、子供、畑を百倍も受け、また、来るべき
世では永遠の命を受けるであろう。
31 しかし、多くの先の者は後になり、後の者は先に
なるであろう。
32 彼らはエルサレムへ上って行く途中、イエスが先
頭に立って行かれた。彼らは驚き、ついて行きなが
ら恐れた。そこでイエスは再び十二人を呼び寄せ、
自分の身に起こることを語り始めた。
33 こう言います。「見よ、わたしたちはエルサレム
へ上って行きます。人の子は祭司長たち、律法学者
たちに引き渡されます。彼らは彼を死刑に定め、異
邦人に引き渡します。
34 彼らは彼を嘲笑し、鞭打ち、つばきをかけ、殺す
であろう。しかし、彼は三日目によみがえるであろ
う。
35 すると、ゼベダイの子ヤコブとヨハネがイエスの
もとに来て言った。「先生、わたしたちのお願いは
何でもかなえてくださるようお願いします。」
36 そこでイエスは彼らに言われた、「わたしに何を
してもらいたいのか」。
37 彼らはイエスに言った。「あなたの栄光の中で、
わたしたちにひとりをあなたの右に、ひとりを左に
座らせてください。」
38 しかし、イエスは彼らに言われた、「あなたがた
は、何を求めているのか、わかっていない。わたし
が飲む杯を飲むことができるか。わたしが受けるバ
プテスマを受けることができるか。」
39 彼らはイエスに言った、「できます」。するとイ
エスは彼らに言われた、「確かに、あなたがたはわ
たしが飲む杯を飲むであろう。また、わたしが受け
るバプテスマで、あなたがたもバプテスマを受ける
であろう」。
40 しかし、わたしの右や左に座ることは、わたしが
与えることではない。それは、用意されている人々
に与えられるのである。
41 十人の者はこれを聞いて、ヤコブとヨハネに対し
て非常に不快感を抱き始めた。
42 しかし、イエスは彼らを呼び寄せて言われた、
「あなたがたも知っているとおり、異邦人の支配者
とみなされている人たちは、その人たちの上に君臨
し、偉い人たちは、その人たちの上に権威をふるい
ます。
43 しかし、あなたがたの間ではそうであってはなり
ません。あなたがたの間で偉くなりたいと思う者は、
あなたがたに仕える者となりなさい。
44 あなたがたのうちで、かしらになりたいと思う者
は、すべての人に仕える者になりなさい。
45 人の子も仕えられるためではなく、かえって仕え
るため、また多くの人のための、贖いの代価として
自分の命を与えるために来たのです。
46 彼らはエリコに着いた。イエスが弟子たちや大勢
の群衆と一緒にエリコから出て行かれると、ティマ
イオスの子である盲人のバルテマイが道端に座って
物乞いをしていた。
47 そして、それがナザレのイエスであると聞いて、
彼は叫び出し、「ダビデの子イエスよ、私をあわれ
んでください」と言った。
48 多くの人が彼に黙っているように命じたが、彼は
ますます激しく叫び続けた。「ダビデの子よ、私を
あわれんでください。」
49 するとイエスは立ち止まって、その人を呼ぶよう
に命じられた。すると人々はその盲人を呼んで言っ
た、「安心しなさい。起きなさい。あなたを呼んで
いるのです」。
50 そこで彼は上着を脱ぎ捨てて立ち上がり、イエス
のもとに来た。
51 するとイエスは答えて言われた、「わたしに何を
してほしいのか」。盲人は言った、「主よ、見える
ようになるようにしてください」。
52 するとイエスは彼に言われた、「行きなさい。あ
なたの信仰があなたを救ったのです。」すると彼は
すぐに見えるようになり、イエスに従って道を進ん
だ。

第 11 章

1 彼らがエルサレムに近づき、オリーブ山のふもとに
あるベテパゲとベタニアに着いたとき、イエスは二
人の弟子を遣わして、

2 彼らに言った、「向こうの村へ行きなさい。そこに
入ると、まだだれも乗ったことのない子ろばがつな
がれているのが見つかるでしょう。それを解いて連
れて来なさい。」
3 もしだれかがあなたがたに、『なぜそんなことをす
るのですか』と言うなら、『主が彼を必要としてい
るのです』と言いなさい。そうすれば、主はすぐに
彼をここにつかわされるでしょう。
4 そこで彼らは出かけて行って、二つの道が交わる所
の戸口につながれている子ろばを見つけたので、そ
れを解き放った。
5 すると、そこに立っていたある人たちが彼らに言っ
た、「あの子ろばを解いて、どうするのですか」。
6 彼らはイエスが命じられたとおりに答えたので、彼
らを去らせた。
7 そこで彼らは子ろばをイエスのもとに連れて来て、
その上に自分たちの上着をかけると、イエスはその
上にお乗りになった。
8 そして、多くの人々は道に上着を敷き、また、木の
枝を切り取って道に敷き詰めた。
9 先に行く者も、あとに従う者も叫んで言った、「ホ
サナ。主の名によってきたる者に祝福あれ。
10 主の名によって来る、私たちの父ダビデの王国に
祝福がありますように。いと高きところにホサナ。
11 それからイエスはエルサレムに入り、宮にはいら
れた。そして、すべてのものを見回してから、夕刻
になったので、十二弟子と一緒にベタニアへ出かけ
て行かれた。
12 翌日、彼らがベタニアから帰って来たとき、イエ
スは空腹であった。
13 イエスは、はるか遠くに葉の茂ったいちじくの木
を見つけて、そこに何かあるのではないかと行って
みた。そして、そこに行ってみると、葉のほかは何
も見つからなかった。いちじくの季節はまだ来てい
なかったからである。
14 するとイエスは答えて言われた、「今後永久に、
だれもお前の実を食べることはできない。」弟子た
ちはそれを聞いた。
15 彼らはエルサレムに着いた。イエスは宮に入り、
宮で売り買いしていた人々を追い出し、両替人の台
や鳩を売っていた人々の腰掛けを倒し始めた。
16 そして、だれも神殿の中に器を運び入れることを
許さなかった。
17 そこでイエスは彼らに教えて言われた、「『わた
しの家は、すべての国民に、祈りの家と呼ばれるべ
きである』と書いてあるではないか。それなのに、
あなたがたはそれを強盗の巣にしている。」
18 律法学者や祭司長たちはこれを聞いて、イエスを
殺そうと考え始めた。民衆は皆イエスの教えに驚い
たので、彼らはイエスを恐れていたからである。
19 夕方になると、イエスは町から出て行かれた。
20 朝になって、彼らが通りかかったとき、いちじく
の木が根元から枯れているのが見えました。
21 するとペテロは思い出してイエスに言った。「先
生、ごらんなさい。あなたが呪われたいちじくの木
は枯れてしまいました。」
22 するとイエスは彼らに答えて言われた、「神を信
じなさい。」
23 よくよくあなたがたに言うが、だれでもこの山に
向かって、『動いて海に投げ込まれよ』と言って、
心の中で疑わず、自分の言ったことは必ず実現する
と信じるならば、その言ったことは必ず実現する。
24 だから、私はあなた方に言います。何でも祈ると
き、あなたがたが願うものは、すでに受けていると
信じなさい。そうすれば、そのとおりになります。
25 また、祈るとき、だれに対しても何か恨み事があ
るなら、赦しなさい。そうすれば、天におられるあ
なたがたの父も、あなたがたの罪を赦して下さるで
あろう。
26 しかし、もしあなたがたが赦さないならば、天に
いますあなたがたの父もあなたがたの罪を赦して下
さらないであろう。
27 彼らは再びエルサレムに来た。イエスが宮の中を
歩いておられると、祭司長、律法学者、長老たちが
近寄って来て、
28 彼に言いなさい、『何の権威によってこれらのこ
とをするのですか。だれがあなたにこれらのことを
する権威を与えたのですか。』
29 するとイエスは答えて彼らに言われた、「わたし
もあなたがたに一つ尋ねよう。答えなさい。そうす
れば、何の権威によってわたしがこれらの事をする
のか、あなたがたに言いましょう。」
30 ヨハネのバプテスマは天からのものだったか、そ
れとも人からのものだったか。私に答えなさい。
31 そこで彼らは互いに論じて言った。「もし私たち
が『天からだ』と言えば、イエスは、『では、なぜ
彼を信じなかったのか』と言うだろう。」
32 しかし、もし人間から恐れられたとすれば、彼ら
は民衆を恐れたのです。なぜなら、すべての人がヨ
ハネを、まことに預言者であるとみなしていたから
です。
33 彼らはイエスに答えて言った、「私たちには分か
りません」。イエスは答えて彼らに言われた、「わ
たしも何の権威によってこれらの事をするのか、あ
なたたちには言いません」。

第 12 章

1 そこでイエスはたとえをもって彼らに語りはじめら
れた。ある人がぶどう園を作り、垣を巡らし、ぶど
う酒の貯蔵場所を掘り、やぐらを建てて、それを農
夫たちに貸し出して遠い国へ出かけた。
2 そして季節になると、彼は農夫たちからぶどう園の
収穫物を受け取ろうと、ひとりの僕を農夫たちのと
ころに送った。
3 彼らは彼を捕らえて殴り、何も持たせずに追い払っ
た。

4 そこで彼はまた別の僕を彼らのところに遣わしたが、
彼らは彼に石を投げつけ、頭に傷を負わせ、ひどい
扱いをさせて追い払った。
5 そこで、彼はまた別の者を遣わしたが、彼らはその
者を殺し、また他の多くの者も殺した。
6 それで、彼には愛する息子がまだ一人いたので、彼
らは私の息子を敬うであろうと言って、その息子も
最後に彼らのところに送りました。
7 しかし、農夫たちは互いに言った。「これが相続人
だ。さあ、彼を殺して、相続財産は我々のものにし
よう。」
8 彼らは彼を捕らえて殺し、ぶどう園の外に追い出し
た。
9 それで、ぶどう園の主人は、どうするのでしょうか。
彼は来て、農夫たちを滅ぼし、ぶどう園をほかの者
に与えるでしょう。
10 あなたがたは、この聖書のことばを読んだことが
ないのか。『家を建てる者たちの捨てた石が、隅の
親石となった。
11 これは主のなさったことであり、わたしたちの目
には不思議なことではないか。
12 彼らはイエスを捕えようとしたが、群衆を恐れた。
イエスがこのたとえ話を自分たちに不利なものとし
て語ったことを知っていたからである。そこで彼ら
はイエスを捨てて立ち去った。
13 そこで彼らは、イエスの言葉を捕らえようと、パ
リサイ人とヘロデ党員たちをイエスのもとにつかわ
した。
14 彼らは着いてから、イエスに言った。「先生、私
たちはあなたが真実な方で、だれのこともかまわな
いと承知しております。あなたは人の顔色を伺わず、
真実をもって神の道を教えられるからです。皇帝に
税金を納めてよいのでしょうか、悪いのでしょう
か。」
15 与えましょうか、与えないようにしましょうか。
しかし、イエスは彼らの偽善を知って、彼らに言っ
た。「なぜわたしを試みるのか。デナリを持ってき
て見せなさい。」
16 彼らはそれを持って来た。イエスは彼らに言われ
た、「これはだれの肖像、だれの銘ですか」。彼ら
は言った、「皇帝のものです」。
17 するとイエスは答えて言われた、「皇帝のものは
皇帝に、神のものは神に返しなさい。」彼らはイエ
スに驚いた。
18 そのとき、復活はないと主張するサドカイ人たち
がイエスのもとに来て、こう尋ねた。
19 先生、モーセは私たちにこう書いています。「も
しある人の兄弟が妻を残して死に、子供が残らなか
ったら、その兄弟は妻を迎えて、兄弟のために子孫
を残さなければならない。」
20 さて、七人の兄弟がいた。長男は妻をめとったが、
子孫を残さずに死んだ。
21 二番目の者も彼女をめとったが、子孫を残さずに
死に、三番目の者も同様であった。
22 そして七人は彼女を産んだが、子孫を残さなかっ
た。最後にその女も死んだ。
23 それで、復活のとき、彼らがよみがえるとき、彼
女は彼らのうちのだれの妻となるのでしょうか。七
人は彼女を妻にしていたのです。
24 するとイエスは答えて言われた、「あなたがたは、
聖書も神の力も知らないから、思い違いをしている
のではないのか。
25 彼らが死人の中からよみがえるとき、彼らはめと
ることも、とつぐこともなく、天にいる御使いたち
のようになるからです。
26 死者がよみがえることについては、あなたがたは
モーセの書で読んだことがないのか。柴の中で神が
モーセにこう言われた。「わたしはアブラハムの神、
イサクの神、ヤコブの神である。」
27 神は死んだ者の神ではなく、生きている者の神で
ある。それゆえ、あなた方は大いに誤解している。
28 すると、律法学者のひとりが近寄って来て、彼ら
が論じ合っているのを聞き、イエスがうまく答えた
のを知って、イエスに尋ねた。「すべての戒めの中
で、どれが第一ですか。」
29 イエスは答えて言われた、「第一の戒めはこれで
ある、『イスラエルよ、聞け。われらの神、主は唯
一の主である。
30 心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くし、力を
尽くして、あなたの神である主を愛せよ。これが第
一の戒めである。
31 第二もこれと同様である、「あなたの隣人をあな
た自身のように愛しなさい。」これより大事な戒め
は、ほかにありません。
32 すると、その律法学者はイエスに言った。「先生、
おっしゃるのは真実です。神は唯一であって、ほか
に神はいないのです。
33 心を尽くし、理解を尽くし、精神を尽くし、力を
尽くして神を愛し、また隣人を自分自身のように愛
することは、すべての全焼の供え物や犠牲よりもす
ぐれたものである。
34 イエスは彼が慎重に答えるのを見て、彼に言われ
た、「あなたは神の王国から遠くない。」そして、
その後、だれも彼に質問する勇気がなかった。
35 イエスは宮で教えておられたとき、答えて言われ
た。「律法学者たちは、キリストはダビデの子であ
ると言っているが、それはなぜか。
36 ダビデ自身が聖霊によってこう言っています。
「主は私の主に言われた。『わたしがあなたの敵を
あなたの足台とするまで、わたしの右に座していな
さい。』
37 ダビデ自身が彼を主と呼んでいるのに、どうして
彼はダビデの子なのだろうか。民衆は喜んで彼の言
うことを聞いた。
38 そしてイエスは教えの中で彼らに言われた、「長
い衣を着て出かけたり、市場であいさつを受けたり
することを好む律法学者たちに気をつけなさい。
39 また会堂の上座、宴会の上座。

40 やもめたちの家を食い物にし、見せかけのために
長い祈りをする者たちは、さらに重い罰を受けるで
あろう。
41 イエスは、宝箱に向かって座り、人々が宝箱に金
を投げ入れる様子を見ておられた。多くの金持ちは、
たくさん投げ入れた。
42 すると、ある貧しいやもめが来て、一コドラント
に等しいレプタ二つを投げ入れた。
43 そこでイエスは弟子たちを呼び寄せて言われた、
「よく聞きなさい。この貧しいやもめは、献金箱に
投げ入れた人たちのうちだれよりも多く入れたのだ。
44 彼らはみな、ありあまる中から投げ入れたが、彼
女は乏しい中から、持っていたすべてのもの、生活
費のすべてを投げ入れた。

第 13 章

1 イエスが神殿から出て行かれると、弟子の一人がイ
エスに言った。「先生、ここには、なんと美しい石
や、なんと美しい建物があるのでしょう。」
2 するとイエスは答えて言われた、「これらの大きな
建物を見たか。くずされない石は一つも残らないで
あろう」。
3 イエスが神殿の向かいのオリーブ山に座っておられ
たとき、ペテロ、ヤコブ、ヨハネ、アンデレがひそ
かにイエスに尋ねた。
4 教えてください。これらのことはいつ起こるのでし
ょうか。また、これらのことがすべて起こるとき、
その前兆は何でしょうか。
5 イエスは彼らに答えて言われた、「人に惑わされな
いように気をつけなさい。
6 多くの者がわたしの名を名のって現れ、『わたしは
キリストだ』と言って、多くの人を惑わすでしょう。
7 また、戦争のことや戦争のうわさを聞いても、慌て
てはいけません。そのようなことは必ず起こるので
す。しかし、終わりはまだ来ていないのです。
8 国民は国民に、王国は王国に敵対して立ち上がり、
あちこちに地震が起こり、飢饉や苦難が起こるでし
ょう。これらは悲しみの始まりです。
9 しかし、あなたたちは気をつけなさい。彼らはあな
たたちを議会に引き渡し、会堂でむち打たれ、また、
わたしのゆえに、役人や王たちの前に引き出されて、
彼らに対する証言を得るであろう。
10 そして、福音はまずすべての国々に宣べ伝えられ
なければなりません。
11 しかし、人々があなたたちを捕らえて引き渡すと
き、何を話そうかと前もって思い煩ったり、思い巡
らしたりしてはいけません。ただ、そのとき与えら
れることを話してください。話すのはあなたたちで
はなく、聖霊なのです。
12 今、兄弟は兄弟を、父は子を死に渡し、子供たち
は両親に逆らって立ち上がり、両親を死に至らしめ
るであろう。
13 また、わたしの名のゆえに、あなたがたはすべて
の人に憎まれるであろう。しかし、最後まで耐え忍
ぶ者は救われるであろう。
14 しかし、預言者ダニエルによって語られた荒廃を
もたらす忌まわしいものが、あってはならない所に
立つのを見たら（読む者は悟りなさい）、そのとき
ユダヤにいる者は山に逃げなさい。
15 屋上にいる者は、家の中に降りて行ってはならな
い。また、家の中に入って、家から何かを取り出し
てはならない。
16 畑にいる者は、着物を拾うために引き返してはな
らない。
17 しかし、その日には、身重の者と乳飲み子を持つ
者とは災いである。
18 あなたがたは冬に逃げないように祈りなさい。
19 その日には、神が創造された天地創造の初めから
今に至るまで、かつてなかったような、またこれか
らもないような苦難があるからである。
20 もし主がその日数を短くされなかったなら、ひと
りも救われなかったであろう。しかし、主は選ばれ
た者たちのために、その日数を短くされたのである。
21 そのとき、だれかがあなたがたに、『見よ、ここ
にキリストがいる』とか、『見よ、あそこにいる』
と言っても、それを信じてはならない。
22 偽キリストたちや、偽預言者たちが起こって、で
きれば、選ばれた者たちをも惑わそうとして、しる
しや不思議なわざを行うであろう。
23 しかし、気をつけなさい。見よ、わたしはすべて
のことをあなたたちに予告した。
24 しかし、その苦難の後に、太陽は暗くなり、月は
光を放たなくなる。
25 そして、天の星は落ち、天にある万有は揺り動か
されるであろう。
26 そのとき、人々は人の子が大いなる力と栄光とを
帯びて雲に乗って来るのを目にするであろう。
27 そのとき、神は御使いたちを遣わし、四方から、
地の果てから天の果てまで、選民を集めるであろう。
28 いちじくの木のたとえを学びなさい。枝が柔らか
くなり、葉が出ると、夏の近いことがわかります。
29 同じように、あなたがたも、これらの事が起こる
のを見たら、それが戸口まで近づいていると知りな
さい。
30 よく言っておくが、これらのことがすべて起こる
までは、この世代は決して過ぎ去らないであろう。
31 天地は滅びるであろう。しかし、わたしの言葉は
決して滅びない。
32 しかし、その日、その時は、だれも知らず、天に
いる天使たちも、また子も知らない、ただ父だけが
知っている。
33 気をつけて目を覚まして祈りなさい。その時がい
つなのか、あなた方は知らないからです。
34 人の子は、家を出て遠くの旅に出る人のようなも
のである。彼は僕たちに権限を与え、おのおのにそ
の仕事をさせ、門番には番をするように命じた。

35 だから、目を覚ましていなさい。家の主人がいつ帰って来るか、夕方か、夜中か、鶏の鳴くころか、明け方か、あなたがたには分からないからである。
36 突然帰って来て、あなたがたが眠っているのを見つけるかもしれないから。
37 わたしがあなたたちに言うことは、すべての人に言うのです。目を覚ましていなさい。

第 14 章

1 二日後、過越祭と除酵祭が始まったので、祭司長たち、律法学者たちは、どうしたらイエスを捕らえて殺すことができるかと計らった。
2 しかし彼らは言った、「祭りの日にはやめなさい。民衆の騒ぎが起きるかもしれないから」。
3 イエスがベタニアで、らい病人シモンの家で食事をしておられたとき、ひとりの女が、非常に高価なナルドの香油の入った石膏のつぼを持って来て、そのつぼを割って、イエスの頭に注ぎかけた。
4 すると、ある者たちは心の中で憤慨して言った、「なぜ香油を無駄にしたのか」。
5 それを三百デナリ以上で売って、貧しい人々に施すこともできたのに、人々は彼女に対して不平を言った。
6 イエスは言われた、「彼女をそのままにしておきなさい。なぜ彼女を煩わせるのか。彼女はわたしに良いことをしてくれたのだ。」
7 貧しい人たちはいつもあなたがたと一緒にいるので、あなたがたが望むときにはいつでも彼らに善行を施すことができます。しかし、わたしはいつも一緒にいるわけではありません。
8 彼女はできる限りのことをしてくれました。埋葬の前に私の遺体に香油を塗るために来てくれたのです。
9 よく聞きなさい。全世界のどこででも、この福音が宣べ伝えられる所には、この女のした事も記念として語られるであろう。
10 そこで、十二人の一人であるイスカリオテのユダは、イエスを祭司長たちに引き渡すために、祭司長たちのところへ行きました。
11 彼らはそれを聞いて喜び、金を与えると約束した。そこでパウロは、都合よくイエスを裏切る方法を探した。
12 過越のパンを屠る最初の日に、弟子たちはイエスに言った、「過越の食事をなさるために、どこにわたしたちは用意をしたらよいでしょうか」。
13 そこでイエスは二人の弟子をつかわして言われた、「町へ行きなさい。すると、水がめを担いだ人に出会うでしょう。彼について行きなさい。」
14 彼がどこへ行っても、家の主人にこう言いなさい。『先生がこう言っています。『弟子たちと過越の食事をする客間はどこか』」
15 そして、彼は準備の整った大きな階上の部屋をあなたたちに見せるでしょう。そこに私たちのために用意をしておいてください。
16 そこで弟子たちは出かけて町に入り、イエスが言われたとおりのことを見つけたので、過越の食事の用意をした。
17 夕方になると、イエスは十二人と共に来られた。
18 彼らが座って食事をしているとき、イエスは言われた。「よく聞きなさい。わたしと一緒に食事をしている者が、わたしを裏切ろうとしている。」
19 彼らは悲しみ始め、ひとりひとりに、「それは私ですか」と言い、またひとりは、「それは私ですか」と言った。
20 そこでイエスは答えて言われた、「わたしと一緒に鉢にひたしている者は、十二人のうちのひとりだ」。
21 人の子は、その人について書かれているとおりに去って行きます。しかし、人の子を裏切るその人は災いです。その人は生まれなかった方がよかったでしょう。
22 そして彼らが食事をしているとき、イエスはパンを取り、祝福してこれを裂き、彼らに与えて言われた、「取って食べなさい。これはわたしの体である」。
23 そして、杯を取り、感謝をささげてから、弟子たちに渡された。一同はそれを飲んだ。
24 そしてイエスは彼らに言われた、「これは多くの人のために流されるわたしの契約の血である。
25 よく聞きなさい。神の国で新しいものを飲むその日まで、わたしはもはやぶどうの実から作ったものを飲むことはありません。
26 そして、彼らは賛美歌を歌い終えると、オリーブ山へ出かけて行った。
27 イエスは彼らに言われた、「今夜、あなたがたは皆、わたしのことでつまずくであろう。『わたしは羊飼いを打つ。すると、羊は散らされるであろう』と書いてあるからである。」
28 しかし、わたしは復活した後、あなたがたより先にガリラヤへ行きます。
29 しかし、ペテロはイエスに言った。「たとえみんながつまずいても、わたしはつまずきません。」
30 するとイエスは彼に言われた、「よく聞きなさい。きょう、今夜、鶏が二度鳴く前に、あなたは三度わたしを知らないと言うでしょう。」
31 しかし、イエスはますます熱心に言われた。「たといあなたと一緒に死ぬことになっても、決してあなたを知らないなどとは言いません。」彼らもみな同じように言った。
32 そして彼らはゲッセマネという所に来た。そこでイエスは弟子たちに言われた。「わたしが祈っている間、ここに座っていなさい。」
33 そこでイエスはペテロ、ヤコブ、ヨハネを連れて行かれたが、非常に驚き、また悲しみに暮れ始めた。
34 そして彼らに言った、「わたしの魂は悲しみのあまり死んでしまいそうです。あなたがたはここに留まって目を覚ましていなさい。」

35 そしてイエスは少し進み出て、地面にひれ伏し、
もしできることなら、この時が過ぎ去るようにと祈
った。
36 そしてイエスは言われた。「アバ、父よ、あなた
には何でもできます。この杯をわたしから取りのけ
てください。しかし、わたしの思いではなく、あな
たの思いのままになさってください。」
37 イエスは帰って来て、彼らが眠っているのをごら
んになり、ペテロに言われた。「シモン、眠ってい
るのか。ひと時間も目を覚ましていられなかったの
か。」
38 誘惑に陥らないように、目を覚まして祈りなさい。
心は確かに準備ができていますが、肉体は弱いので
す。
39 そして、イエスは再び立ち去って祈り、同じこと
ばを語った。
40 イエスが戻って見ると、彼らはまた眠っていて、
目が重く、何と答えてよいか分からなかった。
41 そして三度目にイエスは来て、彼らに言われた、
「もう眠って休みなさい。もう十分だ。時が来た。
見よ、人の子は罪人たちの手に引き渡されるの
だ。」
42 立ち上がって、行こう。見よ、わたしを裏切る者
が近づいている。
43 イエスがまだ話しておられるうちに、十二人のひ
とりであるユダが、祭司長、律法学者たち、長老た
ちから遣わされた大勢の群衆を従えて、剣や杖を持
ってやって来た。
44 イエスを裏切る者は、彼らに合図をして言った。
「わたしが接吻する者がその人だ。その人を連れて
行き、安全に連れ出しなさい。」
45 イエスは着くとすぐに、イエスのもとに行き、
「先生、先生」と言って、イエスに接吻した。
46 彼らは彼に手をかけ、彼を捕らえた。
47 すると、そこに立っていた者のひとりが剣を抜き、
大祭司の僕を殺し、その片耳を切り落とした。
48 するとイエスは彼らに答えて言われた、「あなた
がたは盗人に向かうように、剣や棒を持ってわたし
を捕えに来たのか。
49 わたしは毎日、あなたがたと一緒に宮で教えてい
たのに、あなたがたはわたしを受け入れなかった。
しかし、聖書の言葉は必ず成就するのだ。
50 そして彼らは皆彼を見捨てて逃げ去った。
51 すると、ある若者が亜麻布を裸の体にまとってイ
エスに従っていたが、若者たちは彼を捕らえた。
52 彼は亜麻布を残して、裸のまま彼らから逃げ去っ
た。
53 そして、彼らはイエスを大祭司のところに連れて
行った。祭司長たち、長老たち、律法学者たちも皆、
イエスと一緒に集まっていた。
54 ペテロは遠くからイエスに従って大祭司の官邸に
入り、下役たちと一緒に座って火のそばで暖まって
いた。
55 祭司長たちと全議会は、イエスを死刑にするため
に、イエスに不利な証人を捜したが、何も見つから
なかった。
56 多くの者がイエスに不利な偽証をしたが、その証
言は一致していなかった。
57 そこで、ある人々が立ち上がり、イエスに偽証し
て言った。
58 私たちは彼がこう言うのを聞いた。「わたしは人
の手で造られたこの神殿を打ち壊し、三日のうちに
人の手で造られていない別の神殿を建てる。」
59 しかし、彼らの証言も一致しませんでした。
60 すると、大祭司が真ん中に立って、イエスに尋ね
た。「何も答えないのか。これらの人々があなたに
対して証言しているのは、何のことか。」
61 しかし彼は黙って何も答えなかった。大祭司は再
び彼に尋ねて言った、「あなたは祝福された方の子、
キリストですか」。
62 イエスは言われた、「わたしがそれである。あな
たたちは、人の子が力ある方の右に座り、天の雲に
乗って来るのを目にするであろう」。
63 そこで、大祭司は衣を引き裂いて言った。「これ
以上、証人が必要でしょうか。」
64 あなたがたは冒涜の言葉を聞いたが、どう思うか。
彼らは皆、彼に死刑を宣告した。
65 そして、ある者たちは彼につばきをかけ、顔を覆
い、殴りつけ、「預言してみろ」と言い、また、召
使たちは彼を手のひらで打ちたたいた。
66 ペテロが下の階の官邸にいたとき、大祭司の侍女
の一人がやって来て、
67 彼女はペテロが暖まっているのを見て、彼を見つ
めて言った。「あなたもナザレ人イエスと一緒でし
たね。」
68 しかし彼はそれを否定して言った、「わたしは知
りませんし、あなたの言っていることも分かりませ
ん。」そして彼は廊下に出て行った。すると鶏が鳴
いた。
69 すると、ひとりの女中が彼を見て、そばに立って
いた人たちに、「この人も彼らのうちのひとりで
す」と言い始めた。
70 しかし、彼はまたそれを否定した。しばらくして、
そばに立っていた人々がまたペテロに言った、「あ
なたは確かに彼らの仲間だ。あなたはガリラヤ人だ
し、あなたの言葉もそれに合っている。」
71 しかし彼は呪い、誓い始め、「あなたがたが話し
ているその人を私は知らない」と言った。
72 すると、二度目に鶏が鳴いた。ペテロは、イエス
が彼に言われた言葉を思い出した。「鶏が二度鳴く
前に、あなたは三度私を知らないと言うだろう。」
彼はそのことを思いながら泣いた。

第 15 章

1 翌朝すぐに、祭司長たちは長老たち、律法学者たち、
全議会と協議し、イエスを縛って連れ出し、ピラト
に引き渡した。

2 ピラトは彼に尋ねた、「あなたはユダヤ人の王なのか」。彼は答えて言った、「あなたがそう言っているのです」。
3 祭司長たちはイエスをいろいろと訴えたが、イエスは何も答えなかった。
4 ピラトは重ねてイエスに尋ねた。「何も答えないのか。あなたに対して、彼らがこんなに多くの証言をしているではないか。」
5 しかし、イエスは何も答えられなかった。ピラトは驚いた。
6 さて、その祭りのとき、イエスは彼らの望む囚人一人を釈放してやった。
7 バラバという者がいたが、暴動を起こして人殺しをした者たちと一緒に縛られていた。
8 そして群衆は大声で叫びながら、イエスが今まで自分たちになさったのと同じことをして下さるよう願い始めた。
9 しかしピラトは彼らに答えて言った、「あなたがたはユダヤ人の王を釈放してほしいのか。」
10 祭司長たちがイエスを引き渡したのは、ねたみのためであることを、イエスは知っていたからである。
11 しかし、祭司長たちは、むしろバラバを釈放するようにと、民衆を唆した。
12 ピラトは、また彼らに答えて言った。「それでは、あなたがたがユダヤ人の王と呼んでいるあの人を、どうしたらよいのか。」
13 彼らはまた叫んだ、「彼を十字架につけよ」。
14 そこでピラトは彼らに言った、「なぜ、あの人は悪事をしたのか。」彼らはますます激しく叫んだ、「十字架につけよ。」
15 そこでピラトは、民衆を満足させようとして、バラバを釈放し、イエスを鞭打ってから、十字架につけるために引き渡した。
16 兵士たちは彼をプラエトリウムと呼ばれる広間に連れて行き、全部隊を呼び集めた。
17 彼らは彼に紫の衣を着せ、いばらの冠を編んで頭にかぶせ、
18 そして、彼に挨拶し始めた。「ユダヤ人の王、万歳！」
19 そして彼らは葦の棒でイエスの頭をたたき、つばきをかけ、ひざまずいて拝んだ。
20 彼らはイエスを嘲笑したあと、紫の衣を脱がせて元の着物を着せ、十字架につけるために引き出した。
21 そこで、彼らは、田舎から出て通りかかったキレネ人シモンという人に、イエスの十字架を無理やり担がせた。このシモンはアレクサンデルとルポスの父である。
22 そして、彼らはイエスをゴルゴタという場所に連れて行った。ゴルゴタとは、訳せば、「どくろの場所」という意味である。
23 彼らはイエスに没薬を混ぜたぶどう酒を飲ませようとしたが、イエスは受け取られなかった。
24 そして、彼らはイエスを十字架につけてから、その着物を分け、各人が何を取るかくじを引いた。
25 そして、それは午後三時であった。彼らはイエスを十字架につけた。
26 そして、その告発文の表題には、「ユダヤ人の王」と書かれていた。
27 そして、イエスと一緒に二人の強盗を十字架につけた。一人はイエスの右に、もう一人は左に。
28 そして、「彼は罪人たちの中に数えられた」と書いてある聖書の言葉が成就した。
29 そこを通りかかった人々は、頭を振りながら彼をののしり、言った。「ああ、神殿を打ち壊して三日で建てる者よ。
30 自分を救え。十字架から降りて来なさい。
31 同じように、祭司長たちも律法学者たちと一緒になって、互いに嘲りながら言った。「彼は他の人を救ったが、自分自身を救うことはできない。」
32 イスラエルの王キリストが、今十字架から降りて来られるならば、私たちは見て信じるであろう。そして、キリストと共に十字架につけられた者たちは、キリストをののしった。
33 そして午後三時になると、全地は暗くなり、午後九時まで続いた。
34 そして、三時に、イエスは大声で叫んで言われた、「エロイ、エロイ、レマ、サバクタニ。」これは、訳せば、「わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか。」
35 すると、そこに立っていたある人たちは、これを聞いて、「見よ、エリヤを呼んでいる」と言った。
36 すると、ひとりが走って行って、海綿に酢いぶしを含ませ、葦の棒につけてイエスに飲ませながら言った。「待ってください。エリヤが彼を降ろしに来るかどうか、見ていましょう。」
37 するとイエスは大声で叫んで息を引き取られた。
38 そして神殿の垂れ幕は上から下まで真っ二つに裂けた。
39 イエスの向かいに立っていた百人隊長は、イエスがこのように叫んで息絶えたのを見て、「まことに、この人は神の子であった」と言った。
40 遠くから見守っていた女たちもいた。その中には、マグダラのマリア、小ヤコブとヨセフの母マリア、サロメがいた。
41（彼女らも、イエスがガリラヤにおられたとき、イエスに従って仕えていた。）また、他の多くの婦人たちもイエスと共にエルサレムに上って来た。
42 さて、夕方になったが、その日は準備の日、すなわち安息日の前日であったので、
43 アリマタヤのヨセフという尊敬すべき議員が、神の国を待ち望んでいたが、大胆にピラトのところに行き、イエスの遺体の引き渡しを求めた。
44 ピラトは、イエスがもう死んでしまったのかと不思議に思い、百人隊長を呼び寄せて、死んでからどのくらい経ったのかと尋ねた。
45 百人隊長はそれを知って、その遺体をヨセフに渡した。

46 そこで彼は亜麻布を買い、イエスを取り降ろして
その亜麻布で包み、岩を掘って造った墓の中に納め、
墓の入り口に石を転がしておいた。
47 マグダラのマリアとヨセフの母マリアは、イエス
が納められた場所を見ていた。

第 16 章

1 安息日が過ぎたので、マグダラのマリア、ヤコブの
母マリア、サロメは香料を買って来て、イエスに塗
るために出かけた。
2 そして、週の初めの日の朝早く、太陽が昇るころ、
彼らは墓に着いた。
3 そこで彼らは互いに言った、「だれが墓の入り口か
ら石を転がしてくれるだろうか」。
4 彼らが見ると、石は転がしてあるのが分かった。そ
れは非常に大きかったからである。
5 そして、墓の中に入ると、長い白い衣を着た若者が
右側に座っているのが見えたので、彼らは恐れた。
6 イエスは彼らに言われた、「恐れることはない。あ
なたがたは十字架につけられたナザレのイエスを捜
している。彼はよみがえった。ここにはおられない。
彼が納められた場所を見なさい」。
7 しかし、あなたは行って、弟子たちとペテロにこう
告げなさい。『イエスはあなたたちより先にガリラ
ヤへ行かれる。あなたたちに言われたとおり、そこ
でお会いできるでしょう。』
8 そこで、彼女たちは急いで出て墓から逃げ去った。
彼らは震え上がり、驚いて、だれにも何も言わなか
った。彼らは恐れていたからである。
9 さて、週の初めの日の朝早くにイエスが復活された
とき、イエスはまず、七つの悪霊を追い出しておい
たマグダラのマリアに現れました。
10 彼女は行って、イエスと一緒にいた人たちに、彼
らが嘆き悲しんで泣いていることを告げた。
11 彼らは、イエスが生きていること、また、イエス
が彼女に現れたことを聞いても、信じなかった。
12 その後、二人が歩いて田舎へ入っていくと、イエ
スは別の姿で二人の前に現れた。
13 そこで彼らは行って、残りの者たちにこのことを
告げたが、彼らは信じなかった。
14 その後、イエスは十一人が食事をしているときに
現れ、彼らの不信仰と心の頑固さを叱責された。そ
れは、イエスが復活された後にイエスを見た人たち
を信じなかったからである。
15 そしてイエスは彼らに言われた、「全世界に出て
行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えな
さい。
16 信じてバプテスマを受ける者は救われる。しかし、
信じない者は罪に定められる。
17 信じる人々には次のようなしるしが伴うであろう。
すなわち、わたしの名によって悪霊を追い出し、新
しい言葉を語り、
18 彼らは蛇をつかみ、毒物を飲んでも害を受けず、
病人に手を置けば病人は癒される。
19 そこで主は彼らに語り終えると、天に上げられ、
神の右の座に着かれた。
20 彼らは出て行って、至る所で宣べ伝えた。主は彼
らとともに働き、御言葉を実証し、それに続くしる
しを示された。アーメン。

ルーク

第 1 章

1 私たちの間で確実に信じられている事柄を、秩序立
てて説明するために、多くの人が取り組み始めまし
た。
2 初めから目撃者であり、御言葉の奉仕者であった彼
らが、私たちにそれを伝えたとおりです。
3 わたしは、初めからすべてのことを完全に理解して
いたので、テオフィロス閣下、あなたに順序立てて
書き送るのがよいと思いました。
4 それは、あなたが教えられた事がらが確かであるこ
とを、あなたが知るためである。
5 ユダヤの王ヘロデの時代に、アビヤ組の祭司ザカリ
ヤがいた。彼の妻はアロンの娘で、名をエリサベツ
といった。
6 二人とも神の前に正しく、主のすべての戒めと定め
を非の打ちどころなく守っていた。
7 エリサベツは不妊であったので、彼らには子供がな
く、二人ともすでに年老いていた。
8 そして、彼がその組の順序に従って神の前で祭司の
務めを果たしていたとき、
9 祭司職の慣習に従って、祭司は主の神殿に入るとき
に香をたくことがくじに当たっていた。
10 香をたく間、民衆は皆外で祈っていた。
11 すると、主の使いが彼に現れて、香の祭壇の右に
立った。
12 ザカリヤは彼を見て動揺し、恐怖を感じた。
13 しかし、御使いは彼に言った。「恐れることはな
い、ザカリヤ。あなたの祈りは聞き入れられた。あ
なたの妻エリサベツは男の子を産むであろう。その
子をヨハネと名付けなさい。」
14 あなたは喜びと楽しみとを得、多くの人が彼の誕
生を喜ぶであろう。
15 彼は主の目に偉大な者となり、ぶどう酒や強い酒
を飲むことはなく、母の胎内にいる時から聖霊に満
たされているからである。
16 そしてイスラエルの子らの多くは彼らの神、主に
立ち返るであろう。
17 彼はエリヤの霊と力とをもって主に先立って行き、
父の心を子に向けさせ、不従順な者を義人の知恵に
向けさせ、主のために備えられた民を整えるであろ
う。
18 ザカリヤは御使いに言った。「どうしてそれがわ
かるのでしょうか。わたしは老人ですし、妻も年老
いていますから。」
19 すると、御使いは答えて言った。「わたしは神の
前に立つガブリエルです。あなたに語り、この喜ば
しい知らせを伝えるために遣わされたのです。」
20 見よ、これらの事が成就する日まで、あなたは口
がきけなくなり、話すこともできなくなる。時が来
れば成就するわたしの言葉を信じないからである。
21 人々はザカリヤを待っていたが、彼が神殿に長く
留まっていることに驚いた。
22 彼が出て来たとき、彼らに話すことができなかっ
た。彼らは彼が神殿で幻を見たのだと悟った。彼は
彼らに手招きしたが、口がきけなかったからである。
23 こうして、彼は奉仕の期間が終わると、自分の家
に帰って行った。
24 その日の後、妻エリサベツはみごもり、五か月の
間身を隠して言った。
25 主は、人々の間での私の恥辱を取り去るために、
私に目を留めて下さった日々に、このように私を扱
われたのです。
26 六か月目に、天使ガブリエルが神からガリラヤの
ナザレという町に遣わされた。
27 ダビデの家系のヨセフという名の男に婚約してい
た処女で、その処女の名はマリアといった。
28 すると、御使いが彼女のところに来て言った。
「おめでとう、恵まれた人よ。主があなたと共にお
られます。あなたは女の中で祝福されています。」
29 彼女は彼を見て、その言葉に心を痛め、これはい
ったいどんなあいさつなのだろうかと心に思い巡ら
した。
30 すると天使は彼女に言った。「マリアよ、恐れる
ことはありません。あなたは神の恵みを受けている
のです。」
31 見よ、あなたはみごもって男の子を産むであろう。
その子をイエスと名付けなさい。
32 彼は偉大な者となり、いと高き方の子と呼ばれる
であろう。主なる神は彼に父ダビデの王座を与える
であろう。
33 彼は永遠にヤコブの家を治め、その王国に終わり
はない。
34 するとマリアは御使いに言った。「私は男を知り
ませんのに、どうしてそのようなことが起こるので
しょうか。」
35 すると、御使いは答えて言った。「聖霊があなた
に臨み、いと高き方の力があなたを包むでしょう。
それゆえ、あなたから生まれる子は聖なる者、神の
子と呼ばれるでしょう。」
36 ところで、あなたの親戚エリサベツも、年老いて
男の子を身ごもっています。不妊の女と呼ばれてい
た彼女は、もう六か月になります。
37 神にとっては、何事も不可能なことはないのです。
38 するとマリアは言った。「わたしは主のはしため
です。お言葉どおりこの身になりますように。」す
ると天使は彼女から立ち去った。
39 そのころ、マリアは立ち上がって、急いで山里の
ユダの町へ行った。
40 そしてザカリヤの家に入り、エリサベツにあいさ
つした。
41 エリサベツがマリアの挨拶を聞いたとき、その胎
内の子がおどり、エリサベツは聖霊に満たされた。
42 彼女は大声で言った、「あなたは女の中で祝福さ
れた者、あなたの胎内の子も祝福されています。」
43 わたしの主の母がわたしのところに来られるとは、
いったいどういうことなのでしょう。

44 見よ、あなたのあいさつの声がわたしの耳に響く
やいなや、わたしの胎内の子は喜び躍ったのです。
45 信じた彼女は幸いです。主から告げられた事が実
現するからです。
46 そしてマリアは言った、「私の魂は主を崇めてい
ます。
47 そして私の霊は私の救い主である神を喜びました。
48 主はそのはしための卑しい身分を顧みてくださっ
た。見よ、今から後、すべての世代の人々が私を幸
いな者と呼ぶであろう。
49 力ある方がわたしに大いなることをしてくださっ
たからです。その御名は聖なるものです。
50 そして、主を畏れる者たちには、代々にわたって
慈しみが注がれる。
51 主は御腕をもって力を発揮し、心の思いに高ぶる
者たちを打ち砕かれた。
52 神は権力ある者をその座から引き降ろし、身分の
低い者を高められた。
53 主は飢えた者を良いもので満たし、富める者を空
腹のまま追い払われた。
54 主はご自分の慈しみを覚えて、そのしもべイスラ
エルを助けられた。
55 彼が私たちの先祖、アブラハム、そして彼の子孫
に永遠に語ったとおりです。
56 マリアは彼女のもとに三か月ほど滞在した後、自
分の家に帰った。
57 さて、エリサベツの出産の時が満ち、彼女は男の
子を産んだ。
58 近所の人々や親戚たちは、主が彼女に大きな慈悲
を示されたことを聞いて、彼女とともに喜んだ。
59 そして八日目に、人々は幼子に割礼を施すために
やって来て、その子を父の名にちなんでザカリヤと
名付けた。
60 すると母は答えて言った。「そうではありません。
その子はヨハネと名付けられなければなりませ
ん。」
61 彼らは彼女に言った、「あなたの親族の中には、
そのような名で呼ばれる者は一人もいません。」
62 そこで彼らは、イエスをどんな名前にしたいか、
父親に手振りで尋ねた。
63 そこで彼は書き板を持って来て、「彼の名はヨハ
ネです」と書いた。皆は驚いた。
64 すると、たちまち彼の口が開き、舌が解け、彼は
ものを言い、神を賛美した。
65 そして、周囲に住む人々はみな恐れを抱き、これ
らのことばはユダヤの山地全体に言い伝えられた。
66 聞いた人々は皆、心に留めて言った、「この子は
いったいどんな子なのだろう。」主の手が彼と共に
あった。
67 父ザカリヤは聖霊に満たされ、預言して言った。
68 イスラエルの神、主はほめたたえられますように。
主はご自分の民を訪れ、彼らを救い出されたからで
す。
69 そして、主は、そのしもべダビデの家に、わたし
たちのために救いの角を起こされました。
70 神は、世の初めからずっと、聖なる預言者たちの
口を通してこう語っておられました。
71 それは、わたしたちが敵から、またわたしたちを
憎むすべての者の手から救われるためです。
72 それは、わたしたちの先祖に約束された慈悲を実
行し、その聖なる契約を覚えるためである。
73 彼が私たちの父アブラハムに誓った誓いは、
74 主が私たちに恵みを与えてくださり、私たちが敵
の手から救い出され、恐れることなく主に仕えるこ
とができるようにしてくださるように。
75 私たちは、生涯を通じて、主の前に聖さと正義を
保ちます。
76 そして、幼子よ、あなたはいと高き方の預言者と
呼ばれるであろう。あなたは主の前に立って、その
道を備えるからである。
77 民の罪の赦しによって救いの知識を与えるため、
78 われらの神の慈悲により、高き所から夜明けがわ
れらを訪れた。
79 暗闇と死の影に座する者たちに光を与え、私たち
の足を平和の道に導くために。
80 そしてその子は成長し、霊的に強くなり、イスラ
エルの前に姿を現す日まで荒野にいた。

第 2 章

1 そのころ、全世界の住民登録をせよという勅令が皇
帝アウグストゥスから出た。
2（この登録は、キレニウスがシリアの総督であった
ときに初めて行われた。）
3 そして、人々はみな登録するために、それぞれ自分
の町へ帰って行った。
4 ヨセフもまた、ガリラヤのナザレの町からユダヤの
ベツレヘムと呼ばれるダビデの町へ上って行った。
ヨセフはダビデの家系に属していたからである。
5 彼は婚約者のマリアと共に、身重の身重の身分で登
録をするためであった。
6 こうして、彼らがそこにいる間に、彼女が出産する
日が来た。
7 彼女は最初の子を産み、布にくるんで飼い葉おけに
寝かせた。宿屋には彼らのいる場所がなかったから
である。
8 さて、その地方で羊飼いたちが野宿をしながら、夜
通し羊の群れの番をしていた。
9 すると、主の使いが彼らのところに来て、主の栄光
が彼らの周囲を照らしたので、彼らは非常に恐れた。
10 すると、御使いは彼らに言った。「恐れることは
ありません。見よ、わたしはすべての民に与えられ
る大きな喜びを、あなたたちに伝えるのです。」
11 きょうダビデの町に、あなた方のために救い主が
お生まれになりました。この方こそ主なるキリスト
です。
12 また、これがあなたたちへのしるしとなる。あな
たたちは、布にくるまれて飼い葉おけの中に寝かさ
れている幼子を見つけるであろう。

13 すると突然、大勢の天の軍勢が御使いとともに現
れ、神を賛美して言った。
14 いと高きところには神に栄光があるように、地に
は平和、み心にかなう人々には平和があるように。
15 御使いたちが彼らを離れて天に去ったとき、羊飼
いたちは互いに言った。「さあ、ベツレヘムへ行っ
て、主が私たちに知らせてくださったこの出来事を
見てこよう。」
16 そこで彼らは急いで行って、マリアとヨセフと飼
い葉桶に寝ている幼子とを見つけた。
17 彼らはそれを見て、この幼子について自分たちに
告げられたことを、広く知らせた。
18 聞いた人たちは皆、羊飼いたちの話に驚いた。
19 しかしマリアはこれらのことをすべて心に留めて、
思い巡らしていた。
20 羊飼いたちは、自分たちが聞いた事、見た事、す
べて告げられたとおりに神を賛美し、讃美しながら
帰って行った。
21 幼子の割礼の八日目が満ちたとき、幼子はイエス
と名づけられた。これは、幼子が母の胎内に宿る前
から天使によって名づけられていたものである。
22 モーセの律法に従って彼女の清めの期間が満ちた
とき、彼らは彼を主に献げるためにエルサレムに連
れて行った。
23 （主の律法に書いてあるとおり、「胎を開くすべ
ての男子は、主に聖なる者と呼ばれるであろう」）
24 また、主の律法に言われているように、山鳩一組、
または鳩のひな二羽を犠牲としてささげなさい。
25 すると、エルサレムにシメオンという名の人がい
た。彼は正しい信心深い人で、イスラエルの慰めを
待ち望んでいた。そして、聖霊が彼の上に宿ってい
た。
26 そして、主のキリストを見るまでは死ぬことはな
いであろうということが、聖霊によって彼に啓示さ
れた。
27 彼は御霊によって神殿に入り、両親が律法の慣例
に従って幼子イエスを連れて来たとき、
28 それから彼は彼を腕に抱き上げ、神を祝福して言
った。
29 主よ、今あなたは、あなたの言葉のとおり、あな
たの僕を平安のうちに去らせてくださいます。
30 わたしの目はあなたの救いを見ました。
31 あなたはこれをすべての民の前に備えられました。
32 異邦人を照らす光、あなたの民イスラエルの栄光。
33 ヨセフとその母は、ヨセフについて語られたこれ
らのことに驚いた。
34 シメオンは彼らを祝福し、母マリアに言った。
「見よ、この子は、イスラエルの多くの人を倒し、
また立ち上がらせるために、また反対されるしるし
として定められている。
35 （まことに、剣があなた自身の魂をも刺し貫くで
あろう）多くの人の心の思いが明らかにされるため
である。
36 ここに、アセル族のファヌエルの娘で、預言者で
あったアンナという女がいた。彼女は非常に年老い
ており、処女の時から七年間、夫と暮らしていた。
37 彼女はおよそ八十四歳のやもめであったが、宮を
離れず、夜も昼も断食と祈りをもって神に仕えてい
た。
38 彼女もそのとき来て、同じように主に感謝し、エ
ルサレムで救いを待ち望んでいたすべての人々に主
のことを語った。
39 そして、彼らは主の律法に従ってすべてのことを
終えてから、ガリラヤにある自分たちの町ナザレに
帰って行った。
40 その子は成長し、霊が強くなり、知恵に満ち、神
の恵みが彼の上にあった。
41 さて、彼の両親は過越の祭りの時には毎年エルサ
レムへ行っていました。
42 イエスが十二歳になったとき、彼らは祭りの慣例
に従ってエルサレムへ上って行った。
43 彼らが日数を満ちて帰って行ったとき、幼子イエ
スはエルサレムに残っておられたが、ヨセフとその
母はそれを知らなかった。
44 しかし彼らは、彼が仲間の中にいるものと思い、
一日の道のりを行き来して、親族や知人の間で彼を
捜した。
45 しかし、イエスが見つからなかったので、彼らは
イエスを捜しながら再びエルサレムへ引き返した。
46 そして三日後、イエスが宮の中で学者たちの真ん
中に座って、彼らの話を聞いたり質問したりしてい
るのが見つかった。
47 聞いた人々は皆、イエスの知恵と答えに驚いた。
48 彼らは彼を見て驚き、母は彼に言った。「子よ、
なぜ私たちにこんなことをしたのですか。あなたの
父上とわたしは悲しみながらあなたを捜していたの
です。」
49 そこでイエスは彼らに言われた、「なぜわたしを
捜したのか。わたしが父の務めをしているはずだと、
知らなかったのか。
50 彼らはイエスが話された言葉を理解できなかった。
51 そこでイエスは彼らと一緒に下ってナザレに行き、
彼らに従っておられた。しかし、イエスの母はこれ
らのことばをことごとく心に留めておかれた。
52 そしてイエスは知恵が増し、背丈も伸び、神と人
から愛された。

第 3 章

1 さて、ティベリウス帝の治世の第十五年に、ポンテ
オ･ピラトがユダヤの総督、ヘロデがガリラヤの領主、
その兄弟フィリポがイツリアとテラコニテ地方の領
主、リサニアがアビレネの領主であった。
2 アンナスとカヤパが大祭司であったとき、神の言葉
が荒野でザカリヤの子ヨハネに臨んだ。
3 そして、彼はヨルダン川周辺の全地方に行き、罪の
赦しを得させる悔改めのバプテスマを宣べ伝えた。

4 預言者イザヤの言葉の書にこう書いてある。「荒野
で叫ぶ者の声がする。『主の道を整え、その道筋を
まっすぐにせよ。』
5 すべての谷は埋められ、すべての山と丘は低くされ、
曲がった道はまっすぐにされ、でこぼこした道は平
らになる。
6 そして、すべての人は神の救いを見るであろう。
7 それから、イエスは、バプテスマを受けるために出
てきた群衆に向かって言われた。「まむしの子らよ。
来るべき神の怒りから逃れるように、だれがあなた
たちに警告したのか。
8 ですから、悔改めにふさわしい実を結びなさい。心
の中で、「私たちにはアブラハムが先祖としてあ
る」などと言い始めてはいけません。はっきり言い
ますが、神はこれらの石ころからでもアブラハムの
子孫を起こすことができます。
9 そして今、斧は木の根元に置かれている。良い実を
結ばない木はみな切り倒され、火に投げ込まれる。
10 そこで、民衆はイエスに尋ねた。「それでは、私
たちはどうしたらよいでしょうか。」
11 イエスは答えて彼らに言われた、「下着を二枚持
っている者は、持っていない者に分けてやりなさい。
食物を持っている者も同じようにしなさい」。
12 そのとき、取税人たちもバプテスマを受けるため
に来て、イエスに言った、「先生、私たちはどうし
たらよいでしょうか」。
13 そこでイエスは彼らに言われた。「定められたも
の以上のものを取り立ててはならない。」
14 兵士たちも同じように彼に問いただして言った、
「それでは、私たちはどうしたらよいでしょう
か。」彼は彼らに言った、「だれに対しても暴行を
加えてはならない。また、だれに対しても偽って訴
えてはならない。自分の賃金で満足しなさい。」
15 民衆は待ち望んでいたが、皆、ヨハネがキリスト
であるかどうか、心の中で思い巡らしていた。
16 ヨハネは答えて、すべての人々に言った。「わた
しは水でバプテスマを授けているが、わたしよりも
力のある方が来られる。わたしはその方のくつのひ
もを解く値打ちもない。その方は、聖霊と火であな
たたちをバプテスマをお授けになるであろう。
17 彼は箕を手に持ち、打ち場を徹底的に清め、麦を
倉に集め、もみ殻を消すことのできない火で焼き尽
くすであろう。
18 そして、パウロは、そのほかにも多くのことを
人々に勧めて説教した。
19 ところが領主ヘロデは、兄弟フィリポの妻ヘロデ
ヤのことで、またヘロデが行なったすべての悪事に
ついて、主から叱責され、
20 そして何よりも、ヨハネを獄に閉じ込めた。
21 さて、民衆が皆バプテスマを受けたとき、イエス
もバプテスマを受け、祈っておられると、天が開け
て、
22 すると、聖霊が鳩のような姿で彼の上に降臨し、
天から声が聞こえて言った。「あなたはわたしの愛
する子、わたしはあなたを心に留めている。」
23 イエスは、ヘリの子ヨセフの子とされ、およそ三
十歳になっていました。
24 彼はマタトの子であり、マタトはレビの子であり、
マタトはメルキの子であり、メルキはヤンナの子で
あり、ヤンナはヨセフの子であった。
25 彼はマタティアスの子であり、マタティアスはア
モスの子であり、アモスはナウムの子であり、ナウ
ムはエスリの子であり、ナゲの子であった。
26 彼はマアトの子であり、マタティアスの子であり、
セメイの子であり、セメイの子であり、ヨセフの子
であり、ユダの子であった。
27 彼はヨハンナの子であり、ヨハンナはレサの子で
あり、レサはゾロバベルの子であり、ゾロバベルは
サラティエルの子であり、ネリの子であった。
28 彼はメルキの子であり、メルキはアディの子であ
り、アディはコサムの子であり、コサムはエルモダ
ムの子であり、エルはエルの子であった。
29 彼はホセの子であり、ホセはエリエゼルの子であ
り、エリエゼルはヨリムの子であり、ヨリムはマタ
トの子であり、マタトはレビの子であった。
30 彼はシメオンの子、シメオンはユダの子、ユダは
ヨセフの子、ヨナンの子、エリアキムの子であった。
31 彼はメレアの子であり、メナンの子であり、マタ
タの子であり、マタタはナタンの子であり、ナタン
はダビデの子であった。
32 彼はエッサイの子であり、エッサイはオベデの子
であり、オベデはボアズの子であり、ボアズはサル
モンの子であり、ナアソンの子であった。
33 彼はアミナダブの子であり、アラムの子であり、
エズロムの子であり、エズロムはパレスの子であり、
パレスはユダの子であった。
34 彼はヤコブの子であり、イサクの子であり、アブ
ラハムの子であり、タラの子であり、ナコルの子で
あった。
35 彼はサルクの子であり、サルクはラガウの子であ
り、ラガウはファレクの子であり、ファレクはヘベ
ルの子であり、ヘベルはサラの子であった。
36 彼はカイナンの子であり、カイナンはアルパクサ
ドの子であり、アルパクサドはセムの子であり、セ
ムはノアの子であり、ノアはレメクの子であった。
37 彼はマトゥサラの子であり、マトゥサラはエノク
の子であり、エノクはヤレドの子であり、ヤレドは
マレルの子であり、マレルはカイナンの子であった。
38 彼はエノスの子であり、エノスはセツの子であり、
セツはアダムの子であり、アダムは神の子であった。

第 4 章

1 イエスは聖霊に満たされてヨルダンから帰り、御霊
に導かれて荒野へ行かれた。
2 イエスは四十日間、悪魔の誘惑に遭われた。その間、
イエスは何も食べなかったが、その期間が終わると、
空腹になった。

3 すると悪魔はイエスに言った。「あなたが神の子なら、この石にパンになるように命じてごらんなさい。」
4 すると、イエスは答えて言われた、「『人はパンだけで生きるものではなく、神の一つ一つの言葉で生きるものである』と書いてある。」
5 そして、悪魔はイエスを高い山に連れて行き、一瞬のうちにこの世のすべての王国を見せた。
6 すると悪魔はイエスに言った。「わたしは、このすべての権威と栄華とをあなたにあげよう。それはわたしに任されているのだ。わたしが望む者に、だれにでも与えよう。」
7 あなたがもし私を拝むなら、すべてはあなたのものとなるでしょう。
8 するとイエスは答えて言われた、「サタンよ、引き下がれ。『主なるあなたの神を拝し、ただ神にのみ仕えよ』と書いてある」。
9 そして、イエスは彼をエルサレムに連れて行き、神殿の頂上に立たせて言った。「もしあなたが神の子であるなら、ここから身を投げてみなさい。
10 聖書にこう書いてある。「神は御使いたちにあなたのために命じて、あなたを守らせられる。」
11 彼らはあなたを両手で支え、あなたが足を石に打ち付けないようにする。
12 するとイエスは答えて言われた、「『主なるあなたの神を試みてはならない』と言われています。」
13 悪魔はすべての誘惑を終えると、しばらくの間イエスから離れた。
14 イエスは御霊の力によってガリラヤに帰られた。そして、イエスの評判はその周囲の地方全体に広まった。
15 そして、イエスは会堂で教え、すべての人から尊敬されていた。
16 それからイエスは、ご自分が育ったナザレに来られ、いつものように安息日に会堂に入り、聖書を朗読しようと立ち上がられた。
17 すると、預言者イザヤの書が彼に渡された。彼はその書を開いて、こう書いてある所を見つけた。
18 主の霊がわたしの上にあります。主はわたしに油を注いで、貧しい人々に福音を宣べ伝えさせ、傷ついた人々を癒し、捕らわれ人に解放を、盲人に視力の回復を宣べ伝え、打ち砕かれた人々を自由にさせるために、わたしを遣わされました。
19 主の恵みの年を宣べ伝えるため。
20 そこで、イエスは巻物を閉じて、それを牧師に返し、席に着かれた。会堂にいるすべての人々の目がイエスに注がれた。
21 そこでイエスは彼らに言われた。「この聖書の言葉は、きょうあなたがたの耳に実現したのです。」
22 皆は証言し、彼の口から出る恵み深い言葉に驚いて言った、「この人はヨセフの子ではないか」。
23 イエスは彼らに言われた。「あなたがたはきっとわたしにこう言うでしょう。『医者よ、自分自身を治せ。カペナウムで行われたと聞いていることを、あなたの故郷のこの地でもしてください。』
24 するとイエスは言われた。「よく聞きなさい。預言者は自分の故郷では受け入れられないのです。」
25 しかし、よく聞きなさい。エリヤの時代に、三年六か月の間天が閉ざされ、全土に大飢饉が起こったとき、イスラエルには多くのやもめがいた。
26 しかし、エリヤは、シドンの町サレプタのやもめのところ以外には、彼らのだれのところにも遣わされなかった。
27 預言者エリシャの時代に、イスラエルには多くのらい病人がいたが、シリア人ナアマンを除いて、そのうちのひとりも清められなかった。
28 会堂にいた人々は皆、これを聞いて憤慨し、
29 彼らは立ち上がって彼を町の外に追い出し、町が建てられている丘の頂上まで連れて行き、真っ逆さまに突き落とそうとした。
30 しかしイエスは彼らの真ん中を通り抜けて行き、
31 そして、ガリラヤの町カペナウムに下って行き、安息日に人々を教えた。
32 彼らはイエスの教えに驚いた。その言葉には力があったからである。
33 すると、会堂に汚れた悪霊に取りつかれた人がいて、大声で叫んでいた。
34 こう言った。「ナザレのイエスよ、わたしたちを放っておいてください。わたしたちとなんの係わりがあるのですか。わたしたちを滅ぼすために来たのですか。あなたがどなたであるか、わたしは知っています。あなたは神の聖者です。」
35 するとイエスは彼をしかって言われた、「黙れ、この人から出て行け」。すると悪魔は彼を真ん中に投げ飛ばし、そこから出て行って、彼を傷つけなかった。
36 すると、人々はみな驚いて、互に話し合った。「これは、いったい、なんという言葉だろう。権威と力とをもって、汚れた霊どもに命じられると、彼らは出て行くのだ。」
37 そして、イエスの名声は周囲の地方のあらゆる所に広まった。
38 そこでイエスは会堂を出てシモンの家に入った。シモンのしゅうとめが高熱を出していたので、人々は彼女のためにイエスにお願いした。
39 イエスが彼女のそばに立って熱を叱りつけると、熱はひき、彼女はすぐに起き上がって彼らに仕えた。
40 さて、日が沈むと、さまざまな病気にかかっている人々を抱えた人々は皆、彼らをイエスのもとに連れて来た。イエスは彼らひとりひとりに手を置いて癒された。
41 また、悪霊どもも多くの人から出て行き、叫んで言った、「あなたは、神の子キリストです。」イエスは彼らを叱って、何も言わせないでおられた。彼らはイエスがキリストであることを知っていたからである。
42 夜が明けると、イエスは出て行って、寂しい所へ行かれた。民衆はイエスを捜し求めて、近寄って来て、イエスが自分たちから立ち去らないように引き止めた。

43 そこでイエスは彼らに言われた、「わたしはほかの町々にも神の国を宣べ伝えなければならない。わたしはそのためにつかわされているのだ。」
44 そして、イエスはガリラヤの諸会堂で宣べ伝えた。

第 5 章

1 群衆が神の言葉を聞こうとして押し寄せてきたので、イエスはゲネサレ湖のほとりに立っていた。
2 そして、二艘の舟が湖のほとりに停まっているのを見た。しかし、漁師たちは舟から降りて、網を洗っていた。
3 そこでイエスは、シモンの舟に乗り込み、陸から少し漕ぎ出すように頼み、そしてすわって、舟の中から人々を教え始めた。
4 イエスは話が終わると、シモンに言われた。「沖へ漕ぎ出して網をおろし、魚を捕まえなさい。」
5 シモンは答えて言った。「先生、私たちは夜通し働きましたが、何も取れませんでした。しかし、お言葉どおり、網をおろしてみます。」
6 彼らがそのとおりにすると、おびただしい数の魚がかかったが、網が破れてしまった。
7 そこで彼らは、もう一方の船に乗っていた仲間たちに手招きをして、来て助けるように頼んだ。彼らは来て、両方の船を満員にしたので、船は沈み始めた。
8 シモン・ペテロはそれを見て、イエスの膝もとにひれ伏し、「主よ、私から離れてください。私は罪深い者なのです」と言った。
9 というのは、彼も彼といっしょにいた者も皆、彼らが取った魚の豊かさに驚いていたからである。
10 また、ゼベダイの子ヤコブとヨハネもシモンと同行していた。イエスはシモンに言われた。「恐れることはない。今からあなたは人間を捕る者となる。」
11 そして彼らは船を陸に着けると、すべてを捨ててイエスに従った。
12 さて、イエスがある町におられたとき、全身にらい病を患っている人がいた。この人はイエスを見るとひれ伏し、願って言った。「主よ、お心ならば、わたしを清くすることがおできになります。」
13 そこでイエスは手を伸ばして彼に触れ、「そうさせてください。清くなれ」と言われた。すると、すぐに重い皮膚病は消えた。
14 そして、だれにも告げないようにと彼に命じた。ただ行って、祭司に自分を見せ、モーセが命じたとおりに、あなたの清めのために供え物をしなさい。それが彼らへの証拠となる。
15 しかし、イエスの評判はますます広まり、大勢の群衆が教えを聞いたり病気を癒してもらったりするために集まってきた。
16 そしてイエスは荒野に退いて祈られた。
17 ある日、イエスが教えておられると、ガリラヤ、ユダヤ、エルサレムのあらゆる町から来たパリサイ人や律法学者たちがそばに座っていた。そして、主の力が現われて、彼らを癒した。
18 すると、人々が中風で倒れている人を床につかせたまま運んできたので、その人を運び入れてイエスの前に寝かせようとした。
19 彼らは群衆のために彼を運び入れる道がわからなかったので、屋上に登り、彼を寝床ごと屋根の板の間から真ん中のイエスの前につり降ろした。
20 イエスは彼らの信仰を見て、言われた。「人よ、あなたの罪は赦された。」
21 そこで、律法学者やパリサイ人たちは論じ始めた。「神を冒涜するこの者は、いったい何者なのか。神おひとりのほかに、だれが罪を赦すことができるのか。」
22 しかし、イエスは彼らの考えを見抜いて、答えて言われた。「あなたがたは心の中で何を考えているのか。
23 「あなたの罪は赦された」と言うのと、「立ち上がって歩きなさい」と言うのと、どちらが易しいでしょうか。
24 しかし、人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることを、あなたがたに知らせるために、（イエスは中風の人に言われた。）あなたに言う。起き上がり、床を担いで家に帰りなさい。
25 彼はすぐに彼らの前で立ち上がり、寝ていたものを取り上げて、神を賛美しながら自分の家に帰って行った。
26 すると、彼らはみな驚き、神を賛美し、恐れに満たされて言った、「私たちは、きょうは不思議なことを見た」。
27 これらのことがあった後、イエスは出て行って、レビという名の取税人が収税所に座っているのを見て、「わたしに従ってきなさい」と言われた。
28 そこで彼はすべてを捨てて立ち上がり、イエスに従った。
29 レビは自分の家で盛大な宴会を催した。そこには大勢の取税人や他の人々も一緒に席に着いていた。
30 ところが、律法学者やパリサイ人たちは、イエスの弟子たちに対してつぶやいて言った。「なぜ、取税人や罪人たちと一緒に食べたり飲んだりするのか。
31 するとイエスは答えて言われた、「健康な人には医者はいらない。いるのは病人である。」
32 わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招いて悔い改めさせるためである。
33 彼らはイエスに言った、「ヨハネの弟子たちはたびたび断食をし、また祈りをしています。パリサイ人の弟子たちも同様です。それなのに、あなたの弟子たちは食べたり飲んだりするのですか。」
34 そこでイエスは彼らに言われた、「花婿が一緒にいるのに、花嫁の子供たちに断食をさせることができるか。
35 しかし、花婿が彼らから取り去られる日が来ます。その時、彼らはその日に断食をするでしょう。
36 そして、イエスは彼らにたとえを話された。「だれも、新しい着物の切れ端を古い着物に継ぎ足すようなことはしない。もしそうしないなら、新しいも

のは裂けてしまうし、新しいものから取った切れ端
は古いものと合わなくなってしまう。」
37 また、だれも新しいぶどう酒を古い皮袋に入れた
りはしない。そうしないと、新しいぶどう酒は皮袋
を破ってこぼれ、皮袋はだめになってしまう。
38 しかし、新しいぶどう酒は新しい皮袋に入れられ
なければならない。そうすれば、両方とも保存され
る。
39 また、古いぶどう酒を飲んだ人は、すぐに新しい
ぶどう酒を欲しがることはない。その人は、「古い
ものの方がよい」と言うからである。

第 6 章

1 さて、最初の安息日の後の二番目の安息日に、イエ
スは麦畑を通って行かれた。弟子たちは麦の穂を摘
み、手でもんで食べていた。
2 すると、パリサイ人のうちのある人々が彼らに言っ
た、「なぜ、安息日にしてはならないことをするの
か。
3 すると、イエスは答えて言われた、「ダビデとその
供の者たちが飢えていたとき、ダビデがしたことを、
あなたがたは読んだことがないのか。
4 彼はどのようにして神の家に入り、供えのパンを取
って食べ、また供えのパンを供えの者たちにも与え
たのか。それは祭司たち以外には食べてはならない
ものである。
5 そこでイエスは彼らに言われた、「人の子は安息
日の主でもある。」
6 また別の安息日に、イエスは会堂に入って教えてお
られた。すると、そこに右手の萎えた人がいた。
7 律法学者やパリサイ人たちは、イエスが安息日に病
気を治すかどうかを監視していた。それは、イエス
に罪をなすりつける口実を見つけるためだった。
8 しかしイエスは彼らの考えを知って、片手の萎えた
人に、「立ち上がって、真ん中に立ってください」
と言われた。すると彼は立ち上がって、前に出た。
9 そこでイエスは彼らに言われた、「一つだけ尋ね
ます。安息日に善を行うのと悪を行うのと、命を救
うのと滅ぼすのとでは、どちらが律法にかなってい
ますか。」
10 そして、イエスは彼ら全員を見回して、その人に、
「手を伸ばしなさい」と言われた。彼がそのとおり
にすると、彼の手はもう一方の手と同じように元通
りになった。
11 彼らは狂気に駆られ、イエスに何をしようかと互
に相談し合った。
12 そのころ、イエスは祈るために山へ行き、夜通し
神に祈っていた。
13 夜が明けると、イエスは弟子たちを呼び寄せ、そ
の中から十二人を選び、使徒と名づけられた。
14 シモン（彼は彼をペテロとも名付けた）とその兄
弟アンデレ、ヤコブとヨハネ、フィリポとバルトロ
マイ、
15 マタイとトマス、アルファイの子ヤコブ、熱心党
と呼ばれるシモン、
16 また、ヤコブの兄弟ユダと、裏切り者であったイ
スカリオテのユダもいた。
17 それから、イエスは弟子たちの仲間とともに、ま
たユダヤ全土とエルサレム、またティルスとシドン
の海岸地方から来た大勢の群衆とともに、彼らと一
緒に下って行って平野に立った。彼らはイエスの教
えを聞き、また病気を癒してもらうために集まって
いた。
18 汚れた霊に悩まされていた人たちも癒された。
19 群衆は皆イエスに触ろうとした。イエスの体から
力が出て、皆が癒されたからである。
20 そして、イエスは目を上げて弟子たちを見上げ、
こう言われた。「貧しい人たちは幸いです。神の国
はあなたがたのものです。」
21 今飢えている人たちは幸いだ、あなたたちは満た
されるだろう。今泣いている人たちは幸いだ、あな
たたちは笑うだろう。
22 人々があなたがたを憎み、あなたがたを仲間から
引き離し、あなたがたをそしり、人の子のゆえにあ
なたがたの名を悪く言うとき、あなたがたは幸いで
す。
23 その日には喜び躍れ。見よ、天においてあなたが
たの受ける報いは大きいからである。彼らの先祖た
ちも預言者たちに同じようにしたのである。
24 しかし、富んでいるあなたたちは災いである。あ
なたたちはすでに慰めを受けているのだから。
25 飽き足りているあなたたちは災いである。あなた
たちは飢えるであろう。今笑っているあなたたちは
災いである。あなたたちは嘆き、泣くであろう。
26 すべての人があなたたちのことをほめるとき、あ
なたたちは災いを受けるであろう。彼らの先祖たち
も偽預言者たちにそうしていたのである。
27 しかし、聞いているあなたがたに言う。敵を愛し、
あなたがたを憎む者に善を行ないなさい。
28 あなたを呪う者を祝福し、あなたを不当に扱う者
のために祈りなさい。
29 あなたの一方の頬を打つ者には、他の頬も向けな
さい。あなたの上着を奪う者には、上着をも取るこ
とを禁じてはならない。
30 あなたに求める者には、すべて与えなさい。あな
たの財産を奪う者には、それを求めてはならない。
31 あなたがたは、人々にしてもらいたいと望むとお
りに、人々にも同じようにしなさい。
32 あなたがたは、自分を愛してくれる人を愛したか
らといって、なんの感謝があろうか。罪人でも自分
を愛してくれる人を愛するのである。
33 あなたがたに善いことをしてくれる人に善いこと
をしたからといって、何の感謝があろうか。罪人た
ちも同じことをしているのである。
34 また、返してもらおうと期待して貸したからとい
って、何の感謝があろうか。罪人も、返してもらお
うとして、罪人に貸すのである。

35 しかし、あなたがたは敵を愛し、善をなし、何も
期待せずに貸しなさい。そうすれば、あなたがたの
報いは大きくなり、いと高き方の子となるであろう。
なぜなら、彼は恩知らずの者にも、悪人にも、慈悲
深いからである。
36 だから、あなたがたの父が憐れみ深いように、あ
なたがたも憐れみ深くなりなさい。
37 人を裁くな。そうすれば、あなたがたも裁かれな
いであろう。罪に定めるな。そうすれば、あなたが
たも罪に定められないであろう。赦せ。そうすれば、
あなたがたも赦されるであろう。
38 与えよ、そうすれば、あなたにも与えられるであ
ろう。人々は、押し入れ、揺すり入れ、あふれさせ
るほどの量りを、あなたの懐に与えるであろう。あ
なたがたが量るその同じ量りで、あなたにも量り返
されるであろう。
39 そこでイエスは彼らにたとえを話された。「盲人
が盲人を導くことができるだろうか。二人とも穴に
落ちてしまうのではないか。」
40 弟子はその師にまさるものではない。しかし、完
全な者はみな、その師のようになるべきである。
41 あなたは、なぜ兄弟の目にあるちりは見えるのに、
自分の目にある梁に気づかないのか。
42 また、あなた自身も自分の目にある梁が見えない
のに、どうして兄弟にむかって、『兄弟よ、あなた
の目にあるちりを取らせてください』と言えるのか。
偽善者よ、まず自分の目から梁を取り去りなさい。
そうすれば、はっきり見えるようになって、兄弟の
目にあるちりを取れるようになるであろう。
43 良い木は悪い実をなさず、悪い木は良い実をなさ
ないからです。
44 木はそれぞれその実によってわかる。いばらから
はいちじくは集められず、いばらからはぶどうは集
められない。
45 善人はその心の良い倉から良いものを取り出し、
悪い人はその心の悪い倉から悪いものを取り出す。
心に満ち溢れていることを人の口は語るからである。
46 あなたがたは、わたしを「主よ、主よ」と呼びな
がら、なぜわたしの言うことを行わないのか。
47 わたしのもとに来て、わたしの言葉を聞いてそれ
を行なう者がだれであるかを、わたしはあなたたち
に示そう。
48 彼は、家を建てるときに深く掘り、岩の上に土台
を据えた人のようです。洪水が起こったとき、川の
流れが激しくその家を打ちつけても、それを揺るが
すことはできませんでした。岩の上に土台が据えら
れていたからです。
49 しかし、聞いても行わない者は、土台を置かずに
地面に家を建てた人のようなものです。川が激しく
打ちつけると、家はたちまち倒れ、その家の損壊は
甚だしいものとなりました。

第 7 章

1 イエスは群衆の前ですべての話を終えてから、カペ
ナウムに入られた。
2 ある百人隊長の愛する僕が病気になって、死にそう
になっていた。
3 彼はイエスのことを聞いて、ユダヤ人の長老たちを
イエスのもとに遣わし、来て僕を癒して下さるよう
にと懇願した。
4 彼らはイエスのもとに来て、すぐさま懇願して言っ
た、「この方は、このようなことをしていただくに
ふさわしい方です。
5 神は私たちの国民を愛し、私たちのために会堂を建
ててくださったのです。
6 それから、イエスは彼らと一緒に出かけられた。そ
して、イエスが家から遠くないところに来られたと
き、百人隊長は友人たちをイエスのもとにつかわし
て言わせた、「主よ、ご心配なさらないでください。
私はあなたの屋根の下に入る資格がありません。
7 ですから、わたし自身もあなたのところへ行くに値
しないと考えました。ただ、ひと言おっしゃってく
ださい。そうすれば、わたしのしもべは癒されま
す。」
8 わたしもまた権威の下に置かれた者であり、わたし
の下に兵士たちがいます。ある人に、「行け」と言
えば行き、ほかの人に、「来い」と言えば来ます。
また、わたしの僕に、「これをしなさい」と言えば、
そのとおりにします。
9 イエスはこれを聞いて驚嘆し、振り向いて従ってい
た群衆に言われた。「あなた方に言いますが、イス
ラエルの中でも、これほどの信仰を見たことはあり
ません。」
10 そこで、使いに出された人たちが家に帰ってみる
と、病気だった召使いは元気になっていた。
11 その翌日、イエスはナインという町へ行かれた。
多くの弟子たちと大勢の群衆がイエスといっしょに
行った。
12 彼が町の門に近づくと、そこには、やもめとなっ
た母親のひとり息子が死体となって運び出されてい
た。町の多くの人々も彼女と一緒にいた。
13 主は彼女を見て、あわれに思い、「泣かなくても
よい」と言われた。
14 イエスは近寄って棺に触れられた。すると、それ
を担いでいた者たちが立ち止まった。そこでイエス
は言われた。「若者よ、あなたに言う。起きなさ
い。」
15 すると、死んでいた者が起き上がり、ものを言い
始めた。そして、イエスは彼を母親に渡された。
16 そして、すべての者は恐れを感じ、神を賛美して
言った、「我々の間に大預言者が現れた。神がその
民を顧みてくださったのだ。」
17 そして、イエスのこのうわさはユダヤ全土とその
周囲の地方全体に広まった。
18 ヨハネの弟子たちは、これらすべてのことをヨハ
ネに知らせた。

19 そこで、ヨハネは弟子二人を呼び寄せ、イエスの
もとに遣わして言わせた。「あなたがきたるべき方
ですか。それとも、ほかの人を待つべきでしょう
か。」
20 その人たちはイエスのもとに来て言った、「バプ
テスマのヨハネが、わたしたちをあなたのところに
つかわして、『あなたがきたるべき方ですか。それ
とも、ほかの人を待つべきでしょうか』と言いまし
た。」
21 すると、イエスは、そのとき、多くの者の病気や
病気の苦しみや悪霊をいやし、また、多くの盲人の
目が見えるようになった。
22 するとイエスは答えて言われた、「行って、あな
たがたの見聞きしたことをヨハネに伝えなさい。盲
人は見え、足の不自由な人は歩き、重い皮膚病を患
っている人は清くなり、耳の聞こえない人は聞き、
死人は生き返り、貧しい人々には福音が宣べ伝えら
れている。」
23 わたしにつまずかない者は幸いである。
24 ヨハネの使者たちが去った後、イエスはヨハネに
ついて人々に語り始めた。「あなたがたは何を見に
荒野へ出て行ったのか。風に揺れる葦でも見に来た
のか。」
25 しかし、あなたがたは何を見に出てきたのか。柔
らかい衣を着た人か。見よ、豪華な着物を着、豪華
な暮らしをしている人たちが王の宮廷にいるのだ。
26 しかし、あなたがたは何を見に出てきたのですか。
預言者ですか。そうです、私はあなた方に言います。
預言者以上のものです。
27 「見よ、わたしはあなたの前に使者を遣わす。彼
はあなたの前に道を備えるであろう」と書いてある
のは、この人のことである。
28 あなたがたに言うが、女から生まれた者の中で、
バプテスマのヨハネより偉大な預言者はいない。し
かし、神の国で最も小さい者でも、彼よりは偉大で
ある。
29 そして、彼の話を聞いたすべての民衆と取税人た
ちは、ヨハネのバプテスマを受けて、神を義と認め
た。
30 しかし、パリサイ人や律法学者たちは、神からバ
プテスマを受けずに、自分たちに対する神の計画を
拒絶した。
31 主は言われた、「それでは、この時代の人々を何
にたとえようか。彼らは何に似ているか。」
32 彼らは、広場に座って、互いに呼び合って言う子
供たちのようです。「私たちが笛を吹いたのに、あ
なたたちは踊ってくれず、私たちが悲しんだのに、
あなたたちは泣いてくれなかった。」
33 バプテスマのヨハネはパンを食べず、ぶどう酒も
飲まずに来たので、あなたがたは『彼は悪霊に取り
つかれている』と言うのです。
34 人の子が来たので食べたり飲んだりしているのに、
あなたがたは言う、「見よ、この人は貪欲な者、大
酒飲み、取税人や罪人の仲間だ」。
35 しかし、知恵はその子らすべてによって正当化さ
れる。
36 すると、パリサイ人のひとりが、イエスに食事を
共にするよう頼んだので、イエスはそのパリサイ人
の家に入って、食卓に着かれた。
37 すると、その町に罪深い女がいたが、イエスがパ
リサイ人の家で食事をしておられると知って、香油
の入った石膏のつぼを持って来て、
38 そして、イエスの後ろで泣きながら足もとに立ち、
涙でイエスの足を洗い、髪の毛でぬぐい、イエスの
足に接吻し、香油を塗った。
39 イエスを招いたパリサイ人は、それを見て、心の
中で言った。「この人が預言者であるなら、自分に
さわっているこの女がだれで、どんな女であるか知
っているはずだ。彼女は罪人なのだから。」
40 するとイエスは答えて言われた、「シモン、あな
たに言うことがある」。するとシモンは言った、
「先生、お話しください」。
41 ある債権者に二人の債務者がいた。一人は五百デ
ナリ、もう一人は五十デナリを借りていた。
42 そして、彼らに支払うものが何もなかったので、
彼は率直に彼らの両方を許しました。それで、私に
教えてください、彼らのうちのどちらが彼を最も愛
するでしょうか。
43 シモンは答えて言った、「多く赦した者だと思い
ます」。イエスは彼に言った、「あなたの判断は正
しいです」。
44 それからイエスは女のほうを振り向いてシモンに
言われた、「この女を見ますか。わたしがあなたの
家に入ったとき、あなたはわたしに足を洗う水をく
ださらなかったのに、彼女は涙でわたしの足を洗い、
自分の髪の毛で拭いてくれました。」
45 あなたはわたしに口づけをしてくれなかったが、
この女はわたしが家に入ってからずっとわたしの足
に口づけをし続けている。
46 あなたはわたしの頭に油を塗ってくださらなかっ
たのに、この女はわたしの足に香油を塗ってくれた
のです。
47 だから、わたしはあなたに言います。彼女の多く
の罪は赦されています。彼女は多く愛したからです。
しかし、赦されたことの少ない者は、愛も少ないの
です。
48 イエスは彼女に言われた。「あなたの罪は赦され
た。」
49 イエスといっしょに食事をしていた者たちは、心
の中で、「罪をも赦すこの人は、いったい、いった
い何者なのだろう」と言い始めた。
50 イエスは女に言われた。「あなたの信仰があなた
を救ったのです。安心して行きなさい。」

第 8 章

1 その後、イエスはすべての町や村を巡って、神の国
の福音を宣べ伝え、伝えて回られた。十二人もイエ
スといっしょにいた。

2 また、悪霊や病気から癒されたある婦人たち、マグ
ダラと呼ばれるマリアもいた。彼女から七つの悪霊
が追い出され、
3 ヘロデの家令クーザの妻ヨハンナ、スザンナ、その
ほか多くの女たちが、自分の財産をもってヘロデに
仕えていた。
4 大勢の群衆が集まり、町々からイエスのもとに来た
ので、イエスはたとえで話された。
5 種蒔き人が種を蒔きに出て行った。蒔いている間に、
ある種は道端に落ち、人に踏みつけられ、空の鳥に
食べられてしまった。
6 また、ある種は岩の上に落ち、生えてきたものの、
水分がないため枯れてしまいました。
7 ある種はいばらの中に落ちたが、いばらも一緒に生
え出て、それをふさいでしまった。
8 ほかの種は良い地に落ち、芽を出し、百倍の実を結
びました。これらのことを話し終えて、イエスは叫
ばれました。「聞く耳のある者は聞きなさい。」
9 弟子たちはイエスに尋ねた。「これは、いったいど
ういうたとえなのでしょう。」
10 そこでイエスは言われた、「あなたがたには神の
国の奥義を知ることが許されている。しかし、ほか
の人たちには、見ても見えず、聞いても悟らないよ
うに、たとえで話すのである。」
11 このたとえ話の意味はこうです。種とは神の言葉
です。
12 道端で聞く人たちとは、その後に悪魔が来て、彼
らの心から御言を取り去り、信じて救われることの
ないようにする人たちのことである。
13 岩の上の人たちとは、御言を聞くと喜んで受け入
れる人たちのことです。しかし、根がない人たちは、
しばらくは信じていても、試みに遭うと、離れてし
まいます。
14 いばらの中に落ちたのは、聞いても出て行って、
この世の心労や富や快楽に窒息し、実を全うしない
者たちのことである。
15 しかし、良い地に落ちたのは、正直で良い心で御
言を聞いてそれを守り、忍耐して実を結ぶ人たちで
す。
16 だれも、あかりをともしたとき、それを器で覆っ
たり、寝床の下に置いたりはしない。むしろ、はい
って来る人たちがそのあかりを見ることができるよ
うに、それを燭台の上に置かなければならない。
17 隠れているもので、あらわにならないものはなく、
隠されているもので、知られず、外に漏れないもの
はない。
18 だから、あなたがたは、よく聞いているかに気を
つけなさい。持っている人にはさらに与えられ、持
っていない人からは、持っていると思われるものま
でも取り上げられるであろう。
19 そのとき、彼の母と兄弟たちが彼のもとに来たが、
群衆のために彼のところに来ることはできなかった。
20 ある人たちがイエスに告げて言った、「あなたの
母上と兄弟たちが外に立って、あなたに会いたいと
願っています」。
21 そこでイエスは彼らに答えて言われた、「わたし
の母、わたしの兄弟とは、神の言葉を聞いてそれを
行なう人たちのことです。」
22 ある日のこと、イエスは弟子たちと一緒に舟に乗
り、「湖の向こう岸へ渡ろう」と言われた。そこで
彼らは舟を出した。
23 ところが、彼らが船を走らせているうちに、イエ
スは眠ってしまいました。すると、激しい風が湖に
吹きつけ、彼らは水に浸かって危険な状態になりま
した。
24 彼らはイエスのもとに来て、イエスを起こして言
った、「先生、先生、私たちは死んでしまいま
す。」 するとイエスは起き上がり、風と荒れ狂う水
とを叱りつけられた。すると風と水は止んで、なぎ
となった。
25 そこでイエスは彼らに言われた、「あなたがたの
信仰は、どこにあるのか。」彼らは恐れて不思議に
思い、互いに言った、「この人はいったい、いった
い何なのだろう。風や水にさえ命じると、それが従
うのだ。」
26 そして彼らはガリラヤの向かいにあるガダラ人の
地方に着いた。
27 イエスが陸に上って行かれると、町の外でイエス
に出会ったある男が、長い間悪霊に取りつかれて、
着物も着ず、家にも住まずに墓場に住んでいた。
28 彼はイエスを見ると叫び、み前にひれ伏し、大声
で言った。「いと高き神の子イエスよ、わたしとあ
なたと何のかかわりがあるのですか。お願いです、
わたしを苦しめないでください。」
29（イエスは汚れた霊に、その人から出て行けと命
じておられた。その霊は何度もその人を捕らえ、そ
の人は鎖や足かせで縛られていたが、その人はそれ
を断ち切って、悪魔によって荒野に追いやられたの
である。）
30 そこでイエスは彼に、「あなたの名前は何という
のですか」と尋ねられた。彼は、「レギオンです」
と言った。多くの悪霊が彼の中に入っていたからで
ある。
31 彼らは、深みへ出て行けと命じないでほしいと懇
願した。
32 ところが、山の上で豚の群れが飼われていたので、
豚たちは豚の中に入ることを許して下さるようイエ
スに願った。イエスは許して下さった。
33 すると、悪霊たちは人から出て豚の中に入り、豚
の群れは崖を下って湖に駆け下り、窒息してしまい
ました。
34 彼らを養っていた者たちは、この出来事を見て逃
げ出し、町や村にそのことを告げ知らせた。
35 そこで、彼らは何が起こったのか見に出て、イエ
スのもとに来て、悪霊を追い出された人が着物を着
て正気になってイエスの足もとに座っているのを見
つけたので、恐れた。
36 それを見た人たちも、悪霊に取りつかれた人がど
のようにして癒されたかを彼らに知らせた。

37 すると、周囲のガダラ人の地方の群衆は皆、非常
に恐れて、イエスに彼らから離れるように懇願した。
そこでイエスは舟に乗り、また戻って行った。
38 すると、悪霊を追い出された男は、イエスのもと
に来させてくれと願った。しかしイエスは、こう言
って彼を追い払われた。
39 自分の家に帰って、神があなたにどんなに大きな
ことをしてくださったかを伝えなさい。」そこで彼
は立ち去り、イエスが自分にどんなに大きなことを
してくださったかを町中に言いふらした。
40 さて、イエスが帰って来られると、群衆は喜んで
迎えた。皆がイエスを待っていたからである。
41 すると、そこにヤイロという会堂司が来て、イエ
スの足もとにひれ伏し、自分の家へ入れてくださる
ように願った。
42 彼には十二歳になる一人娘がいたが、その娘は死
にかけていた。しかし、彼が歩いて行くと、群衆が
彼に群がってきた。
43 十二年間も血の病を患っていたある女は、医者に
全財産を費やしたが、だれにも治してもらえなかっ
た。
44 彼女はイエスの後ろに回り、その衣のふさに触っ
た。すると、彼女の血の流出はすぐに止まった。
45 するとイエスは言われた、「だれがわたしにさわ
ったのか。」皆がそれを否定したので、ペテロと彼
と一緒にいた者たちは言った、「先生、群衆があな
たを取り囲んで押し寄せているのに、だれがわたし
にさわったのかとおっしゃるのですか。」
46 するとイエスは言われた、「だれかがわたしにさ
わった。力がわたしから出て行ったのがわかったの
だ」。
47 女は隠れていないのを見て、震えながら進み出て、
み前にひれ伏し、群衆の前で、なぜイエスに触れた
のか、また、すぐに癒された経緯を話した。
48 イエスは彼女に言われた。「娘よ、安心しなさい。
あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行
きなさい。」
49 イエスがまだ話しておられるうちに、会堂司の家
から人が来て言った。「あなたの娘は亡くなりまし
た。先生を煩わせないでください。」
50 しかし、イエスはそれを聞いて答えて言われた。
「恐れることはない。ただ信じなさい。そうすれば、
彼女は救われる。」
51 イエスが家に入られたとき、ペテロ、ヤコブ、ヨ
ハネ、および少女の父と母のほかは、だれも入るこ
とをお許しにならなかった。
52 皆は泣き悲しんだが、イエスは言われた。「泣か
ないでください。彼女は死んだのではなく、眠って
いるのです。」
53 彼らは彼女が死んだことを知っていたので、彼を
あざ笑った。
54 そこで彼は皆を外に出し、娘の手を取って呼びか
けて言った、「娘よ、起きなさい」。
55 すると、彼女の魂は元通りになり、彼女はすぐに
立ち上がった。そこでイエスは彼女に食べ物を与え
るように命じた。
56 両親は驚いたが、イエスは、この出来事をだれに
も話さないようにと両親に命じた。

第 9 章

1 それからイエスは十二人の弟子たちを呼び集めて、
すべての悪霊を追い出し、病気を治す力と権威を彼
らに授けられた。
2 そして、イエスは彼らを遣わして、神の国を宣べ伝
え、また病人を癒やさせられました。
3 そこでイエスは彼らに言われた、「旅のために何も
持って行ってはならない。杖も、袋も、パンも、金
も、また、おのおの二枚の下着も持っていてはなら
ない」。
4 あなたがたは、どの家に入ってもそこにとどまり、
そこから出て行きなさい。
5 あなたがたを受け入れない者がいるなら、その町か
ら出て行くとき、彼らに対する証拠として、足のち
りを払い落としなさい。
6 そこで彼らは出発し、町々を巡って回り、至る所で
福音を宣べ伝え、病気をいやした。
7 さて、領主ヘロデは、ヨハネのなさったことをこと
ごとく聞いて、当惑した。それは、ある人たちが、
ヨハネは死人の中からよみがえったと言っていたか
らである。
8 また、ある人たちは、エリヤが現れたと信じ、また
ほかの人たちは、昔の預言者のひとりが生き返った
と信じた。
9 ヘロデは言った。「ヨハネは斬首しておいた。しか
し、こんなことを聞いているこの人はいったい何者
か。」そして、彼に会いたいと思った。
10 使徒たちは帰って来て、自分たちのしたことをす
べてイエスに話した。イエスは彼らを連れて、ベツ
サイダという町の、人里離れた所へひそかに出かけ
て行った。
11 群衆はそれを知ってイエスに従った。イエスは彼
らを迎え、神の国について語り、治療を必要とする
者たちを癒された。
12 日が傾き始めたので、十二弟子はイエスのもとに
来て言った。「群衆を解散させて、周りの町や村に
行って宿を取り、食料を得るようにしてください。
私たちはここは寂しい所なのですから。」
13 しかしイエスは彼らに言われた、「あなたがたに
食べ物を与えなさい」。彼らは言った、「わたした
ちにはパン五つと魚二匹のほかに何も持っていませ
ん。この民全員のために、わたしたちが行って肉を
買いに行かなければならなくなります」。
14 彼らはおよそ五千人であった。そこでイエスは弟
子たちに言われた、「彼らを五十人ずつ組にして座
らせなさい」。
15 彼らはそのとおりにして、皆を座らせた。

16 それから、イエスは五つのパンと二匹の魚を取り、
天を仰いで祝福し、それを裂いて、群衆に配るよう
に弟子たちに渡された。
17 彼らは食べて満腹した。残ったパン切れを集める
と十二のかごになった。
18 イエスがひとりで祈っておられたとき、弟子たち
も一緒にいたので、イエスは彼らに尋ねて言われた、
「人々はわたしのことを何者だと言っているか」。
19 彼らは答えて、「バプテスマのヨハネだ」と言い
ました。しかし、ある人たちは「エリヤだ」と言い、
また、昔の預言者のひとりが復活したのだと言う人
もいます。
20 イエスは彼らに言われた、「それでは、あなたが
たはわたしをだれだと言うのか。」ペテロは答えて
言った、「神のキリストです。」
21 そこでイエスは彼らを厳しく戒め、このことをだ
れにも話さないようにと命じられた。
22 こう言われました。「人の子は必ず多くの苦しみ
を受け、長老、祭司長、律法学者たちから拒絶され、
殺され、そして三日目によみがえらなければならな
い。」
23 それから、イエスは彼らみんなに言われた、「だ
れでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨
て、日々自分の十字架を負って、わたしに従って来
なさい。
24 自分の命を救おうと思う者はそれを失い、わたし
のために自分の命を失う者は、それを救うのです。
25 人は、たとい全世界を手に入れても、自分自身を
失ったり、捨てられたりしたら、何の得があろうか。
26 だれでもわたしとわたしの言葉とを恥じる者は、
人の子自身も、自分の栄光と父の栄光と聖なる天使
たちの栄光のうちに来るとき、その人を恥じるであ
ろう。
27 しかし、よく聞きなさい。ここに立っている人の
中には、神の国を見るまでは死を味わわない者もい
るのです。
28 これらのことを言われてから八日ほどたってから、
イエスはペテロ、ヨハネ、ヤコブを連れて、祈るた
めに山に登られた。
29 彼が祈っていると、彼の顔つきが変わり、彼の衣
は白く光り輝いた。
30 すると、そこに二人の人が話し合っていた。モー
セとエリヤであった。
31 イエスは栄光のうちに現れ、エルサレムで成し遂
げようとしているご自分の死について語られた。
32 しかし、ペテロと彼と一緒にいた人たちは眠くて
たまらなかったが、目が覚めて、イエスの栄光と、
彼と一緒に立っていた二人の人を見た。
33 彼らがイエスを離れて行くとき、ペテロはイエス
に言った。「先生、わたしたちがここにいるのは、
すばらしいことです。幕屋を三つ造ろうではありま
せんか。あなたのために一つ、モーセのために一つ、
エリヤのために一つ。」しかし、ペテロはイエスが
何を言っているのか知らなかった。
34 イエスがこう話しているうちに、雲が来て彼らを
覆った。彼らは雲の中に入ると恐れた。
35 すると、雲の中から声が聞こえて言った。「これ
はわたしの愛する子である。これに聞け。」
36 声が消え去ると、イエスはひとりであられた。彼
らはその声を秘密にしておき、自分たちが見たこと
をそのころはだれにも話さなかった。
37 翌日、彼らが山を下りてくると、大勢の群衆がイ
エスを出迎えた。
38 すると、群衆の中の一人が叫んで言った。「先生、
どうか、私の息子に目を留めてください。彼は私の
ひとり子なのです。」
39 すると、見よ、霊が彼を襲い、彼は叫び声をあげ、
彼を引き裂くので、再び泡を吹き、彼を打つ傷はな
かなか彼から離れない。
40 そこで私はあなたの弟子たちに彼を追い出すよう
に頼みましたが、彼らはできませんでした。
41 するとイエスは答えて言われた、「ああ、信仰の
ない、曲がった時代よ。いつまでわたしはあなたが
たと一緒にいて、あなたがたを我慢しなければなら
ないのか。あなたの息子をここに連れてきなさ
い。」
42 彼がまだ近づいたとき、悪魔は彼を突き落とし、
口をきいた。しかし、イエスは汚れた霊を叱り、そ
の子供を癒し、父親のもとに引き渡した。
43 そして、彼らはみな神の偉大な力に驚嘆した。し
かし、イエスがなさったすべてのことに彼らが驚い
ていると、イエスは弟子たちに言われた。
44 これらの言葉を耳に留めなさい。人の子は人々の
手に引き渡されるからです。
45 しかし、彼らはこの言葉が理解できなかった。そ
れは彼らに隠されていたので、彼らには分からなか
った。そして彼らはその言葉について尋ねることを
恐れた。
46 そこで、彼らの間で、だれがいちばん偉いだろう
かという議論が起こった。
47 イエスは彼らの心の思いを見抜いて、幼子を連れ
て来て、そばに立たせ、
48 彼らに言われた、「わたしの名のゆえにこの幼子
を受け入れる者は、わたしを受け入れるのである。
わたしを受け入れる者は、わたしをつかわした方を
受け入れるのである。あなたがたすべての中で一番
小さい者でも、大いなる者となるからである。」
49 するとヨハネが答えて言った。「先生、あなたの
名を使って悪霊を追い出している者を見ましたが、
彼は私たちと一緒にいないので、やめさせまし
た。」
50 イエスは彼に言われた、「止めてはならない。私
たちに反対しない者は、私たちの味方である。」
51 イエスが天に上げられる時が来たので、イエスは
エルサレムへ向かって出発しようと決意された。
52 そこで、イエスは使者たちをイエスの前につかわ
された。彼らは行って、サマリア人の村に入り、イ
エスを迎える準備をした。

53 しかし、彼らは彼を受け入れなかった。彼の顔は
まるでエルサレムへ行こうとしているかのようであ
ったからである。
54 弟子のヤコブとヨハネはこれを見て言った。「主
よ、エリヤがしたように、天から火を降らせて彼ら
を焼き尽くさせてくださいませんか。」
55 しかしイエスは振り向いて彼らを叱り、こう言わ
れた。「あなたがたは、自分たちがどんな霊の持ち
主であるかわかっていない。」
56 人の子は、人の命を滅ぼすためではなく、救うた
めに来たのです。」そこで彼らは他の村へ行った。
57 彼らが道を進んでいると、ある人がイエスに言っ
た。「主よ、あなたがいらっしゃる所ならどこへで
も従ってまいります。」
58 イエスは彼に言われた、「狐には穴があり、空の
鳥には巣がある。しかし、人の子にはまくらする所
がない。」
59 彼はまた別の人に、「わたしについて来なさい」
と言った。しかしその人は、「主よ、まず父を葬り
に行かせてください」と言った。
60 イエスは彼に言われた、「死んでいる者たちに自
分たちの死者を葬らせなさい。あなたは行って、神
の国を宣べ伝えなさい。」
61 また、ほかの人も言った。「主よ、私もあなたに
従ってまいります。しかし、まず、私の家に住んで
いる人たちに別れを告げに行かせてください。」
62 するとイエスは彼に言われた、「手を鋤にかけて
から、うしろを見るような者は、神の国にふさわし
くありません。」

第 10 章

1 これらのことの後、主は他の七十人を任命し、ご自
分が行こうとしているすべての町や村に、二人ずつ
先に遣わされた。
2 そこでイエスは彼らに言われた、「実に収穫は多い
が、働き手が少ない。だから、収穫の主に、収穫の
ために働き手を送ってくださるように祈りなさ
い。」
3 行きなさい。見よ、わたしはあなたがたを狼の中に
羊を送り出すように遣わす。
4 財布も袋も履物も持たず、道中でだれにも挨拶して
はならない。
5 そして、どこの家に入っても、まず『この家に平安
がありますように』と言いなさい。
6 平和の子がそこにいれば、あなたがたの平和はその
上にとどまるであろう。そうでなければ、平和はあ
なたがたのところに戻ってくるであろう。
7 そして、同じ家にとどまって、与えられたものを食
べたり飲んだりしなさい。働く者はその報酬を受け
るに値するからです。家から家へと行ってはなりま
せん。
8 あなたがたはどこの町に入っても、人々があなたが
たを迎え入れてくれるなら、出される食べ物を食べ
なさい。
9 そして、その町の病人を癒し、彼らにこう言いなさ
い。『神の国はあなたたちに近づいた。』
10 しかし、どんな町に入っても、人々があなたたち
を迎えてくれないなら、その町の大通りに出て行っ
て、こう言いなさい。
11 わたしたちに付着しているあなたの町の塵さえも、
わたしたちはあなたに対して拭い去ります。しかし、
神の国があなた方に近づいたことを、あなた方はよ
く知っていなさい。
12 しかし、わたしはあなたがたに言う。その日には、
ソドムの方があの町よりも耐えやすいであろう。
13 コラジンよ、あなたは災いを受け、ベツサイダよ、
あなたは災いを受けます。もし、あなたのところで
行われた力あるわざが、ティルスとシドンでも行わ
れていたなら、彼らはずっと前に悔い改めて、荒布
をまとい、灰の中に座っていたでしょう。
14 しかし、裁きの時には、ティルスとシドンの方が
あなたたちよりも耐えやすいであろう。
15 カペナウムよ、汝は天にまで高められたが、陰府
にまで突き落とされるであろう。
16 あなたがたに聞く者はわたしに聞くのである。あ
なたがたを軽んじる者はわたしを軽んじる。わたし
を軽んじる者はわたしをつかわしたかたを軽んじる
のである。
17 そして、七十人は喜んで帰って来て言った。「主
よ、あなたの名によって、悪霊さえも私たちに従い
ます。」
18 そしてイエスは彼らに言われた、「わたしはサタ
ンが稲妻のように天から落ちるのを見た。」
19 見よ、わたしはあなたがたに、蛇やさそりを踏み
つけ、敵のあらゆる力に打ち勝つ権威を与える。そ
して、あなたがたに害を及ぼすものは何一つないで
あろう。
20 しかし、霊たちがあなたたちに従うからといって
喜ぶのではなく、むしろ、あなたたちの名が天に書
き記されていることを喜びなさい。
21 そのとき、イエスは霊において喜びにあふれて言
われた、「天地の主なる父よ。あなたに感謝します。
あなたはこれらのことを知恵のある者や賢い者に隠
し、幼子に現して下さったのです。そのとおりです、
父よ。それがあなたの目にかなうと思われたので
す」。
22 すべてのものは、父からわたしに渡されています。
子が誰であるかは、父のほかにはだれも知りません。
また、父が誰であるかは、子と、子が父を啓示しよ
うとする者のほかには、だれも知りません。
23 それからイエスは弟子たちのほうを向いて、ひそ
かに言われた。「あなたがたが見ているものを見る
目は幸いです。
24 あなたがたに言うが、多くの預言者や王たちは、
あなたがたが見ているものを見たいと願ったが、見
ることができず、あなたがたが聞いているものを聞
きたいと願ったが、聞くことができなかった。

25 すると、ある律法学者が立ち上がり、イエスを試
そうとして言った。「先生、何をしたら永遠の命が
受けられましょうか。」
26 イエスは彼に言われた、「律法には何と書いてあ
るか。あなたはどう読んでいるか」。
27 すると彼は答えて言った、「心を尽くし、精神を
尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神
である主を愛しなさい。また、隣人をあなた自身の
ように愛しなさい。」
28 するとイエスは言われた。「あなたの答えは正し
い。そのとおりにしなさい。そうすれば、あなたは
生きるであろう。」
29 しかし彼は、自分を正当化しようとして、イエス
に言った、「では、わたしの隣人とはだれです
か。」
30 するとイエスは答えて言われた、「ある人がエル
サレムからエリコへ下って行く途中、強盗たちに襲
われ、着物をはぎ取られ、傷つけられて、半殺しに
されたまま立ち去った。
31 すると、たまたま、ある祭司がその道を下って来
たが、祭司は彼を見ると、向こう岸を通って行った。
32 同じように、レビ人もその場所に来たとき、彼を
見て、向こう側を通って行きました。
33 ところが、あるサマリア人が旅をしていて、彼の
いる所にやって来て、彼を見て哀れに思い、
34 そして彼のところに行き、傷に油とぶどう酒を注
いで包帯をし、自分の家畜に乗せて宿屋に連れて行
き、介抱した。
35 翌日、彼はデナリ二つを取り出して主人に渡し、
こう言った。「この人の面倒を見てください。また
何か費用がかかったら、私が帰ってきたときに、私
が返済します。」
36 あなたは、この三人のうちのだれが、強盗に襲わ
れた人の隣人になったと思うか。
37 彼は言った、「その人にあわれみをかけた者で
す」。するとイエスは彼に言われた、「あなたも行
って同じようにしなさい」。
38 彼らが旅を続けているうちに、イエスはある村に
入られた。すると、マルタという婦人がイエスを家
に迎え入れた。
39 彼女にはマリアという姉妹がいたが、彼女もイエ
スの足もとに座って、御言葉を聞いていた。
40 ところが、マルタは多くの奉仕に忙しくて、イエ
スのもとに来て言った。「主よ、妹がわたしひとり
に奉仕をさせているのを、何とも思われないのです
か。妹に手伝うようにおっしゃってください。」
41 するとイエスは答えて言われた、「マルタ、マル
タ、あなたは多くのことに心を煩わせ、思い煩って
います。
42 しかし、必要なことは一つだけです。マリアはそ
の良い方を選んだのです。それは彼女から取り上げ
られることはありません。

第 11 章

1 さて、イエスがある場所で祈っておられたとき、祈
りを終えると、弟子のひとりがイエスに言った。
「主よ、ヨハネが弟子たちに教えたように、私たち
にも祈りを教えてください。」
2 そしてイエスは彼らに言われた、「あなたがたが祈
るときにはこう言いなさい、『天にいますわれらの
父よ、御名があがめられますように。御国が来ます
ように。御心が天で行われるとおり、地にも行われ
ますように。』
3 わたしたちの日ごとの糧を日々お与えください。
4 わたしたちの罪をお赦しください。わたしたちも、
わたしたちに負債のある人をみな赦しますから。わ
たしたちを誘惑に陥らせないで、悪からお救いくだ
さい。
5 そこでイエスは彼らに言われた、「あなたがたのう
ちのだれかに友人がいて、真夜中にその人のところ
に行って、『友よ、パンを三つ貸してください』と
言うとしよう。
6 わたしの友が旅の途中、わたしのところに来たのに、
わたしは彼に出すものを何も持っていないのです。
7 すると、彼は内から答えて言うであろう。「わたし
を煩わせないでください。戸はもう閉ざされ、子ど
もたちもわたしと一緒に床にいます。起きてあなた
にささげることはできません。」
8 あなたがたに言うが、たとえ彼が友人だからと言っ
て立ち上がって与えようとはしないとしても、しつ
こく頼むので、立ち上がって必要なだけ与えるであ
ろう。
9 そこで、わたしはあなたがたに言う。求めよ、そう
すれば、与えられるであろう。捜せ、そうすれば、
見いだすであろう。門をたたけ、そうすれば、あけ
てもらえるであろう。
10 すべて求める者は得、捜す者は見つけ出し、門を
たたく者にはあけてもらえるからである。
11 あなたがたのうちの父親は、子がパンを求めるの
に、石を与えるでしょうか。また、魚を求めるのに、
魚の代わりに蛇を与えるでしょうか。
12 あるいは、卵を求めるのに、さそりを与えるだろ
うか。
13 このように、あなたがたは悪い者であっても、自
分の子供には良い贈り物を与えることを知っている
とすれば、なおさら、天の父は、求めてくる者に聖
霊を下さらないことがあろうか。
14 イエスは悪霊を追い出しておられたが、その悪霊
は口がきけなかった。しかし、悪霊が出て行くと、
その口のきけなかった者がものを言うようになった
ので、人々は驚いた。
15 しかし、彼らのうちのある者は、「イエスは悪霊
のかしらベルゼブルによって悪霊を追い出している
のだ」と言った。
16 また、他の者たちはイエスを試そうとして、天か
らのしるしを求めた。

17 しかしイエスは彼らの考えを見抜いて言われた、
「内部で分裂した国は滅び、家が分裂して他の家と
争えば倒れる。」
18 もしサタンが内部で分裂するなら、その王国はど
うして存続するでしょうか。あなたがたは、わたし
がベルゼブルによって悪霊を追い出していると言っ
ています。
19 もし私がベルゼブルによって悪霊を追い出してい
るのなら、あなたがたの子らはだれによって追い出
しているのですか。彼らがあなたがたを裁く者とな
るのです。
20 しかし、もし私が神の指で悪霊を追い出している
のなら、神の国はすでにあなたたちのところに来て
いるに違いありません。
21 強い者が武装して自分の宮殿を守るとき、その財
産は平和である。
22 しかし、彼よりも強い者が襲ってきて、彼を打ち
負かすと、彼は彼が頼みにしていた武具を全部奪い、
その戦利品を分け与える。
23 わたしと共にいない者はわたしに敵対する者であ
り、わたしと共に集めない者は散らす者である。
24 汚れた霊が人から出て行くと、彼は休み場を求め
て乾いた場所を歩き回り、見つけられないと、『出
て来た自分の家に帰ろう』と言う。
25 彼が帰って来て見ると、それはきれいに掃除され、
飾り付けられていた。
26 そこで、彼は出て行って、自分よりも悪い他の七
つの霊を連れて来て、その中に入り込んで住み着く。
そして、その人の後の姿は、初めよりもさらに悪く
なる。
27 イエスがこれらのことを話しているとき、会衆の
中のひとりの女が声を張り上げてイエスに言った。
「あなたを産んだ胎と、あなたが吸った乳房は祝福
されています。」
28 しかしイエスは言われた。「むしろ、神の言葉を
聞いてそれを守る人たちは幸いです。」
29 群衆が密集したとき、イエスは語り始めた。「こ
の時代は悪い時代だ。彼らはしるしを求めている。
しかし、預言者ヨナのしるしのほかには、何のしる
しも与えられないであろう。」
30 ヨナがニネベの人々にとってしるしとなったよう
に、人の子もまたこの世代にとってしるしとなるで
あろう。
31 南の女王は、この世代の人々とともに裁判の場で
立ち上がり、彼らを罪に定めるであろう。彼女はソ
ロモンの知恵を聞くために、地の果てから来たので
ある。見よ、ソロモンよりも偉大な者がここにいる。
32 ニネベの人々は、この世代とともに裁きのときに
立ち上がり、この世代を罪に定めるであろう。なぜ
なら、彼らはヨナの説教を聞いて悔い改めたからで
ある。そして、見よ、ヨナよりも偉大な方がここに
いる。
33 だれも、あかりをともしたとき、それを隠れた所
や枡の下に置くことはせず、むしろ、入って来る人
たちにその光が見えるように、燭台の上に置きます。
34 体のあかりは目である。だから、あなたの目が澄
んでいれば、あなたの全身も明るい。しかし、あな
たの目が暗ければ、あなたの体も暗い。
35 だから、あなたのうちの光が暗くならないように
気をつけなさい。
36 だから、もしあなたの全身が明るく、暗いところ
が一つもないなら、ろうそくの明るい輝きがあなた
を照らすときのように、全身が明るくなるであろう。
37 イエスがこう話していると、あるパリサイ人が、
一緒に食事をするようにとイエスに頼んだ。イエス
は中に入り、食卓に着かれた。
38 パリサイ人はそれを見て、食事の前にまず身を洗
わなかったことに驚いた。
39 すると主は彼に言われた、「パリサイ人たちは杯
や皿の外側をきよめるが、内側は貪欲と邪悪とで満
ちている。」
40 愚かな者たちよ、外側のものを造った方は、内側
のものをも造ったではないか。
41 むしろ、あなたがたが持っているものから施しを
しなさい。そうすれば、見よ、すべてのものはあな
たがたにとって清いものとなる。
42 しかし、パリサイ人よ、あなたたちは災いである。
あなたたちは、ミントやヘンルーダやあらゆる種類
の野菜の十分の一を納めながら、公正と神への愛を
無視している。これらこそあなたたちが行なうべき
ものであり、他のことも怠ってはならない。
43 パリサイ人よ、あなたたちは災いである。あなた
たちは会堂の上席に座ったり、市場であいさつを受
けたりすることを好む。
44 偽善なる律法学者、パリサイ人よ。あなた方は災
いである。見えない墓のようなものであり、その上
を歩く人々もそれに気づかない。
45 すると、律法学者の一人が答えて言った。「先生、
そのようにおっしゃるのは、わたしたちをも非難し
ていることになります。」
46 イエスは言われた。「律法学者たちよ、あなたた
ちも災いである。あなたたちは、負うのが大変な重
荷を人々に負わせながら、自分はその重荷に指一本
触れることもしない。」
47 あなた方は災いである。あなた方は預言者たちの
墓を建てているが、あなた方の先祖は彼らを殺した
のだ。
48 まことに、あなたがたは先祖の行いを認めている。
彼らは先祖を殺し、あなたがたは彼らの墓を建てて
いる。
49 それゆえ、神の知恵もこう言っています。「わた
しは預言者や使徒を彼らに遣わすが、彼らはそのう
ちのある者を殺したり迫害したりするであろう。
50 それは、世の初めから流されたすべての預言者の
血が、この世代に問われるようになるためです。
51 アベルの血から、祭壇と神殿の間で滅んだザカリ
ヤの血に至るまで、まことに、わたしはあなたがた
に告げます。それはこの世代に要求されるでしょう。

52 律法学者たちよ、あなたたちは災いだ。あなたた
ちは知識のかぎを取り去った。あなたたち自身は入
らず、入ろうとする人たちをも妨げたのだ。
53 イエスがこれらのことを彼らに話しておられると、
律法学者やパリサイ人たちは、イエスを激しくせが
み、いろいろと語らせようとした。
54 彼らは彼を待ち伏せして、彼の口から何かを奪い
取り、彼を訴えようとした。

第 12 章

1 その間に、数えきれないほどの群衆が集まり、互い
に踏み合うほどになったので、イエスはまず弟子た
ちにこう言いはじめられた。「パリサイ人のパン種、
すなわち偽善を警戒しなさい。」
2 隠されているもので、現われないものはなく、隠さ
れているもので、知られないものはない。
3 それゆえ、あなたがたが暗闇で語ったことは、すべ
て光の中で聞かれ、あなたがたが隠れ場で耳にした
ことばは、屋根の上で言い伝えられるであろう。
4 そこで、わたしは友であるあなたたちに言います。
からだを殺して、その後は何もできない者たちを恐
れてはいけません。
5 しかし、あなたがたがだれを恐れるべきかを、わた
しはあらかじめ告げよう。殺した後で、地獄に投げ
込む権威を持つ方を恐れなさい。そうです、わたし
はあなたがたに言う、その方を恐れなさい。
6 五羽の雀は二アサリオンで売られているではないか。
その一羽も神の前に忘れられていないではないか。
7 しかし、あなたがたの頭の毛までも、みな数えられ
ている。だから、恐れることはない。あなたがたは、
たくさんの雀よりも、まさった者である。
8 また、わたしはあなたがたに言う。人々の前でわた
しを公に認める者は、人の子もまた神の御使いたち
の前で公に認めるであろう。
9 しかし、人々の前でわたしを否定する者は、神の御
使いたちの前でも否定されるであろう。
10 人の子に対して何か言う者は、赦されるであろう。
しかし、聖霊に対して冒涜する者は、赦されないで
あろう。
11 また、人々があなたたちを会堂や役人や権力者た
ちの前に連れて行くとき、どう答えようか、何と言
おうかと心配してはいけません。
12 聖霊は、あなたがたが言うべきことを、そのとき
に教えてくださるからです。
13 すると、群衆の中の一人がイエスに言った。「先
生、私の兄弟に、遺産を私と分けるようにおっしゃ
ってください。」
14 そこでイエスは言われた。「人よ、だれがわたし
をあなたがたの裁判官、あるいは裁き人にしたのか。
15 そこでイエスは彼らに言われた、「よく注意して
貪欲を慎みなさい。人の命は、持ち物がたまっただ
けでは決まらないからです。」
16 そこでイエスは彼らにたとえを話して言われた、
「ある金持ちの畑は豊かな産物を産み出しました。
17 彼は心の中で考えた、「どうしようか。わたしの
果実を置く場所がないのだ。」
18 彼は言った、「こうしよう。わたしの倉を取り壊
して、もっと大きなものを建て、そこにわたしの収
穫物や財産をみな納めよう。」
19 そして、わたしは自分の魂に言う。「魂よ、おま
えには何年も使えるほどの財産が蓄えられている。
安心して、食べて、飲んで、楽しもう。」
20 しかし神は彼に言われた、「愚かな者よ、あなた
の命は今夜のうちにも取り去られるであろう。そう
したら、あなたが用意した物はだれのものになるの
か。」
21 自分のために宝を積んでも、神に対して富まない
者はそのとおりである。
22 それからイエスは弟子たちに言われた、「だから、
わたしはあなたがたに言う。自分の命のことで何を
食べようかと心配したり、体のことで何を着ようか
と心配したりするな。
23 命は食物よりも大切であり、肉体は着物よりも大
切である。
24 カラスのことを考えてみよ。彼らは種を蒔かず、
刈り入れもせず、倉も倉も持たない。だが、神が彼
らを養っておられる。あなたがたは鳥よりも、どれ
ほどすぐれていることか。
25 あなたがたのうちだれが、思い煩って自分の身長
を一キュビトでも伸ばすことができるでしょうか。
26 あなたがたは、その最も小さな事さえもできない
のなら、なぜそのほかの事に心を砕くのですか。
27 ゆりの花がどのように育つか、よく考えてみなさ
い。働きもせず、紡ぎもしません。しかし、私はあ
なた方に言います。栄華を極めたソロモンでさえ、
これらの花の一つほどにも着飾ってはいませんでし
た。
28 きょうは野にあって、明日は炉に投げ込まれる草
さえも、神はこのように装って下さるのなら、まし
て、信仰の薄い者よ、あなたがたには、どんなにか
良くして下さることがあるであろうか。
29 あなたがたは何を食べようか、何を飲もうかと求
めてはならない。疑心暗鬼になってはならない。
30 これらはみな、世の諸国の民が切に求めているも
のである。あなたがたの父は、あなたがたにこれら
のものが必要であることを知っておられる。
31 むしろ、神の国を求めなさい。そうすれば、これ
らのものはみな加えて与えられるであろう。
32 恐れることはありません、小さな群れよ。あなた
がたに王国を与えることは、あなたがたの父の喜び
なのです。
33 持っているものを売り払って施しをしなさい。朽
ちることのない袋を自分のために用意し、盗人も近
寄らず、虫も食い荒らさない、尽きることのない天
の宝を蓄えなさい。
34 あなたの宝のあるところに、あなたの心もあるか
らです。
35 腰に帯を締め、ともし火をともせ。

36 あなたがたは、主人が婚礼から帰って来るのを待っている人たちに似ています。主人が来て戸をたたくと、すぐに開けてくれるようにと。
37 主人が帰って来たとき、目を覚ましているのを見られる僕たちは幸いである。よく言っておくが、主人は腰を締めて彼らに食事の席に着かせ、出てきて彼らに仕えるであろう。
38 そして、もし主人が第二の夜警時か第三の夜警時に帰って来て、彼らがそのようになっているのを見たなら、その僕たちは幸いである。
39 このことを知っておきなさい。もし家の主人が、泥棒がいつ来るか知っていたら、目を覚まして、自分の家に押し入られるのを許さなかったであろう。
40 だから、あなたたちも用意をしていなさい。思いがけない時に人の子が来るからである。
41 するとペテロがイエスに言った。「主よ、このたとえを話しておられるのは、わたしたちのためですか。それとも、すべての人のためですか。」
42 主は言われた、「それでは、主人がその家の者たちを監督し、時に応じて食物の分け前を与える忠実で賢い管理人はだれか。
43 主人が帰ってきたとき、そのようにしているのを見られる僕は幸いである。
44 よく聞きなさい。主は彼を自分の全財産の管理者に任命されるであろう。
45 しかし、もしその僕が心の中で、「主人は来るのが遅い」と思って、男女の奴隷を打ちたたき、食べたり飲んだり酔ったりし始めるならば、
46 その僕の主人は、彼が思いがけない日に、彼が気づかない時に来て、彼を切り裂き、不信者たちと一緒に彼の分を与えるであろう。
47 主人の意志を知りながら、準備をせず、また主人の意志に従わなかった僕は、何度も鞭打たれるであろう。
48 しかし、知らずに鞭打たれるに値することをした者は、鞭打たれることは少なくなるであろう。多く与えられた者からは多くが要求され、多く託された者からは、さらに多くが求められるからである。
49 わたしは地上に火を投じるために来た。もしそれがすでに燃え上がっていたら、わたしは何をなしえようか。
50 しかし、わたしには受けるべきバプテスマがあります。それが成就するまで、わたしはどれほど苦しむことでしょう。
51 あなたがたは、わたしが地上に平和をもたらすために来たと思っているのか。いや、そうではない。むしろ分裂をもたらすのだ。
52 今から後、一つの家に五人いる者が分裂し、三人が二人に、二人が三人に敵対することになる。
53 父は息子に敵対し、息子は父に敵対し、母は娘に敵対し、娘は母に敵対し、姑は嫁に敵対し、嫁は姑に敵対するであろう。
54 また、イエスは民衆に言われた。「あなたがたは、西から雲が起るのを見ると、すぐに『夕立が来る』と言う。実際その通りである。」
55 あなたがたは南風が吹くのを見ると、「暑くなるだろう」と言い、その通りになる。
56 偽善者たちよ、あなたたちは天と地の様子を見分けることができる。しかし、どうして今の時代を見分けられないのか。
57 そうだ。それなのに、なぜあなたがたは自分自身で何が正しいのか判断しないのか。
58 あなたが、敵対する者と共に役人のところへ行くとき、その途中では、その者から逃れられるように注意しなさい。そうしないと、彼はあなたを裁判官のところに引き渡し、裁判官はあなたを役人に引き渡し、役人はあなたを牢に入れてしまうであろう。
59 わたしはあなたに言います。最後の一銭までも払い終えるまでは、あなたはそこから立ち去ってはならないのです。

第 13 章

1 そのとき、ある人たちがそこにいて、ピラトがガリラヤ人の血を彼らの犠牲に混ぜたことについてイエスに話した。
2 イエスは答えて言われた、「あなたがたは、このガリラヤ人がこのような苦しみを受けたからといって、彼らがすべてのガリラヤ人よりも罪深かったと思うのか。
3 いいえ、そうではありません。あなたがたも悔い改めなければ、みな同じように滅びます。
4 それとも、シロアムの塔が倒れて死んだあの十八人は、エルサレムに住むすべての人々よりも罪深かったとでも思っているのか。
5 いいえ、そうではありません。あなたがたも悔い改めなければ、みな同じように滅びます。
6 イエスはまた、このたとえを話された。ある人が自分のぶどう園にいちじくの木を植えていた。彼は来て、実を探しに行ったが、何も見つからなかった。
7 そこで彼はぶどう園の農夫に言った。「わたしはこのいちじくの木に三年も実を探しに来たが、一つも見つからない。切り倒しなさい。なぜ地に埋めておくのか。」
8 彼は答えて言った、「主よ、私がその周りを掘って肥料を与えるまで、今年もそのままにしておいてください。
9 そして、もし実を結ぶなら、それでよい。もし結ばないなら、その後でそれを切り倒さなければならない。
10 イエスは安息日に会堂の一つで教えておられた。
11 すると、そこに、十八年間も病の霊に取りつかれて、腰が曲がってしまい、自分で起き上がることもできない女がいた。
12 イエスは彼女を見て、呼び寄せて言われた。「婦人よ、あなたの病気は治った。」
13 そこでイエスは彼女の上に手を置かれると、彼女はたちまちまっすぐになり、神をほめたたえた。
14 会堂司は、イエスが安息日に病気を治されたので、憤慨して群衆に答えて言った。「人が働くべき日は

六日ある。その期間中に病気を治してもらいに来な
さい。安息日には来てはいけない。」
15 すると主は答えて言われた、「偽善者よ、あなた
がたは安息日でも、自分の牛やろばを牛舎から解い
て、水を飲ませるために連れ出さないか。
16 この女はアブラハムの娘であり、この十八年間も
サタンに縛られていたのだから、安息日だからとい
ってその束縛から解くべきではなかったのか。
17 彼がこれらのことを言うと、彼に反対する者たち
は皆恥じ入り、民衆は皆、彼によってなされたすべ
ての栄光あるわざを喜んだ。
18 そこでイエスは言われた、「神の国は何に似てい
るか。わたしはそれを何にたとえようか」。
19 それは、一粒のからし種のようだ。人がそれを取
って自分の庭に蒔くと、それは成長して大きな木と
なり、空の鳥がその枝に巣を作る。
20 また彼は言った、「神の国を何にたとえよう
か。」
21 それはパン種のようなものです。女がそれを取っ
て三斗の小麦粉の中に隠すと、全体が膨らみます。
22 そして、イエスは町や村を巡って教えながら、エ
ルサレムに向かって旅を続けられた。
23 すると、ある人がイエスに言った、「主よ、救わ
れる人は少ないのですか」。イエスは彼らに言われ
た、
24 狭い門から入るように努めなさい。あなたがたに
言いますが、入ろうとする者が多くいても、入るこ
とができないでしょう。
25 家の主人が立ち上がって戸を閉めたとき、あなた
がたは外に立って戸をたたき、『ご主人様、ご主人
様、開けてください』と言い始めると、主人は答え
て、『あなたがたがどこから来たのか、私には分か
らない』と言うであろう。
26 そのとき、あなたがたはこう言いはじめるであろ
う。「私たちはあなたの前で食べたり飲んだりしま
した。あなたは私たちの街路で教えました。」
27 しかし、彼は言うであろう。「わたしはあなたが
たに言う。あなたがたがどこから来たのか、わたし
は知らない。不法を行う者たちはみな、わたしから
離れ去れ。」
28 あなたがたは、アブラハム、イサク、ヤコブ、お
よびすべての預言者たちが神の王国にいるのを見な
がら、自分たちは追い出されるのを見て、泣き叫ん
だり歯ぎしりしたりするであろう。
29 そして、彼らは東から、西から、北から、南から
来て、神の王国に座ります。
30 見よ、最後の者が先になる者があり、最初の者が
最後になる者がある。
31 その日、パリサイ人のある人々がイエスのもとに
来て言った。「ここから出て行きなさい。ヘロデが
あなたを殺すでしょう。」
32 そこでイエスは彼らに言われた。「行って、あの
キツネにこう言いなさい。『見よ、わたしは悪霊を
追い出し、きょうもあすも病人をいやす。そして三
日目には完全になるであろう。』
33 しかし、わたしは今日も、明日も、その次の日も
歩かなければなりません。預言者がエルサレムから
消え去ることはあり得ないからです。
34 ああ、エルサレム、エルサレムよ。預言者たちを
殺し、おまえにつかわされた者たちを石で打ち殺す
者よ。雌鶏が翼の下にひなを集めるように、わたし
はおまえの子らを何度集めようとしたことか。しか
しおまえたちは応じなかった。
35 見よ、あなたがたの家は荒れ果てている。よく言
っておくが、主の名によって来られる方に祝福があ
るようにと、あなたがたが言う時が来るまでは、あ
なたがたはわたしを見ることはないであろう。

第 14 章

1 安息日に、イエスが食事をするために、パリサイ人
の重鎮のひとりの家にはいられたが、人々はイエス
をうかがっていた。
2 すると、そこに水腫を患っている人がイエスの前に
立っていた。
3 そこでイエスは律法学者やパリサイ人たちに答えて
言われた、「安息日に人を癒すのは、律法にかなっ
ていますか。
4 彼らは黙っていたので、イエスは彼を引き取って癒
し、そして去らせた。
5 イエスは彼らに答えて言われた、「あなたがたのう
ち、ろばか牛が穴に落ち込んだとき、安息日にすぐ
に引き上げない者がいるだろうか。
6 彼らはこれらのことに対して、イエスに再度答える
ことができなかった。
7 イエスは、招かれた人々が上座の部屋を選ぶ様子を
見て、彼らにたとえ話をして言われた。
8 あなたがだれかから婚礼に招かれたときは、上座に
座ってはならない。あなたよりも身分の高い人が招
かれるかもしれないからである。
9 あなたとあの人を招いた者が来て、あなたに『この
人に場所を譲ってください』と言うと、あなたは恥
ずかしさから一番下の部屋に座ることになる。
10 しかし、招かれたときは、下座の部屋に行って座
りなさい。招いた人が来て、あなたに『友よ、上座
に上がりなさい』と言うでしょう。そうすれば、一
緒に食事をする人たちの前で礼拝が行われるでしょ
う。
11 だれでも、自分を高くする者は低くされ、自分を
低くする者は高くされるであろう。
12 そこで、イエスは招いた人に言われた。「あなた
が晩餐や夕食を設けるときには、友人や兄弟、親族、
金持ちの隣人たちを呼んではならない。彼らもあな
たを招き、あなたに報いを課すことになるかもしれ
ないからである。
13 しかし、あなたが祝宴を開くときには、貧しい人、
体の不自由な人、足の不自由な人、目の見えない人
を招きなさい。

14 そしてあなたは祝福されるであろう。彼らはあな
たに報いることができないからである。あなたは義
人の復活のときに報いを受けるであろう。
15 イエスといっしょに食卓にいた者のひとりが、こ
れを聞いてイエスに言った。「神の国でパンを食べ
る人は幸いだ。」
16 そこでイエスは言われた、「ある人が盛大な晩餐
を催し、大ぜいの人を招いた。
17 そして、夕食の時間に召使をつかわして、招かれ
た人々に、「おいでください。すべての準備ができ
ました」と言わせた。
18 そこで彼らはみな、一斉に弁解し始めた。最初の
者が彼に言った。「わたしは土地を買ったので、ど
うしても見に行かなければなりません。どうかお許
しください。」
19 また別の者は言った、「わたしは五くびきの牛を
買ったので、それを試すために行きます。どうかお
許しください」。
20 また別の者は言った、「わたしは妻をめとりまし
たので、来ることができません」。
21 そこで、その僕は帰って来て、主人にこれらのこ
とを告げた。すると、家の主人は怒って、その僕に
言った。「急いで町の大通りや小道へ出て行き、貧
しい人、体の不自由な人、足の不自由な人、目の見
えない人をここへ連れて来なさい。」
22 すると、しもべは言った。「ご主人様、お命じに
なったとおりにいたしましたが、まだ席が残ってい
ます。」
23 主人は僕に言った。「道や垣根の向こうへ出て行
って、人々を無理やり連れて来なさい。そうすれば、
私の家はいっぱいになるでしょう。」
24 あなたがたに言っておく。招かれた人たちのうち、
だれもわたしの晩餐を味わうことはないであろう。
25 大勢の群衆がイエスといっしょに歩いていたが、
イエスは振り向いて彼らに言われた。
26 だれでもわたしのもとに来るとき、父、母、妻、
子、兄弟、姉妹、さらに自分の命までも憎まないな
ら、わたしの弟子となることはできない。
27 自分の十字架を負ってわたしについて来ない者は、
わたしの弟子となることはできません。
28 あなたがたのうち、塔を建てようとするとき、ま
ず座って、完成させるのに十分な費用があるかどう
かを計算しない者がいるでしょうか。
29 基礎を築いた後、それを完成することができず、
それを見るすべての人が彼を嘲り始めるかもしれな
いからである。
30 「この人は建て始めたが、完成することができな
かった。」
31 また、どんな王でも、ほかの王と戦争をしようと
するとき、まず座って、二万の兵を率いて攻めてく
る敵に、一万の兵で対抗できるかどうか、考えない
だろうか。
32 あるいは、相手がまだ遠くにいる間に、使者を送
って和平の条件を求める。
33 それと同じように、あなたがたのうちのだれでも、
自分の持つものをことごとく捨てない者は、わたし
の弟子となることはできません。
34 塩は良いものである。しかし、もし塩がその味を
失ってしまったら、何によって味をつけることがで
きるだろうか。
35 それは地にふさわしくなく、また、糞尿置き場に
もふさわしくない。人々はそれを投げ捨てる。聞く
耳のある者は聞きなさい。

第 15 章

1 そのとき、取税人や罪人たちが皆、教えを聞こうと
してイエスのもとに近寄ってきた。
2 すると、パリサイ人や律法学者たちはつぶやいて言
った。「この人は罪人たちを迎えて、一緒に食事を
している。」
3 そこでイエスは彼らにこのたとえ話をして言われた。
4 あなたがたのうちに、百匹の羊を持っている人がい
て、その一匹がいなくなったら、九十九匹を野原に
残しておいて、いなくなった一匹を見つけるまでは
捜し回らないであろうか。
5 そして、それを見つけると、彼は喜びながらそれを
肩に載せる。
6 そして家に帰って、友人や近所の人々を呼び集めて
言うのです。『私と一緒に喜んでください。いなく
なった羊が見つかりましたから。』
7 あなたがたに言います。同じように、悔い改める一
人の罪人については、悔い改める必要のない九十九
人の正しい人についてよりも大きな喜びが天にあり
ます。
8 また、銀貨十枚を持っている女が、その一枚をなく
したとすれば、あかりをつけて家を掃き、それを見
つけるまで念を入れて捜さないであろうか。
9 そして、それを見つけると、彼女は友人や近所の
人々を呼び集めて言う。「私と一緒に喜んでくださ
い。失くしていた銀貨が見つかったのですから。」
10 同じように、わたしはあなたがたに言います。ひ
とりの罪人が悔い改めるなら、神の御使いたちの前
で喜びが起こります。
11 彼は言った、「ある人に二人の息子がいました。
12 弟のほうは父に言った。「お父さん、わたしの所
有する財産の分け前をください。」そして父は財産
を彼らに分け与えた。
13 それから何日もたたないうちに、弟は皆を集めて
遠い国へ旅立ち、そこで放蕩な暮らしで財産を浪費
した。
14 彼がすべてを使い果たしたとき、その国にひどい
飢きんが起こり、彼は困窮し始めた。
15 そこで彼は行って、その地方の住民のところへ行
き、その人は彼を畑に遣わして豚の世話をさせた。
16 彼は豚の食べるいなごまで腹を満たそうとしたが、
だれも彼に与えなかった。

17 彼は我に返って言った、「父の雇い人の中には、
パンのあり余る者が大勢いるのだが、わたしは飢え
死にしそうだ。」
18 わたしは立ち上がって父のもとに行き、こう言お
う。『父よ、わたしは天に対しても、あなたに対し
ても罪を犯しました。
19 わたしはもうあなたの息子と呼ばれる資格があり
ません。どうかわたしを雇い人のひとりにしてくだ
さい。
20 そこで彼は立ち上がって父のもとへ行った。しか
し、彼がまだかなり遠くにいたのに、父は彼を見て
哀れに思い、走り寄ってきてその首を抱き、口づけ
した。
21 すると息子は父に言った。「父よ、わたしは天に
対しても、あなたに対しても罪を犯しました。もう
あなたの息子と呼ばれる資格はありません。」
22 しかし、父親は僕たちに言った。「一番良い着物
を持って来て、この子に着せ、指輪をこの子の手に
つけ、履物をこの子の足につけなさい。
23 肥えた子牛をここへ連れてきて、それをほふり、
わたしたちは食べて楽しもう。
24 この息子は死んでいたのに生き返り、いなくなっ
ていたのに見つかったのです。そして彼らは喜び始
めました。
25 ところで、兄は畑にいたが、家に近づいて来ると、
音楽と踊りの音が聞こえてきた。
26 そこで彼は召使の一人を呼び、これは何事かと尋
ねた。
27 すると彼は言った、「あなたの弟が来ました。あ
なたの父上は彼を無事に迎えたので、肥えた子牛を
ほふっておきました」。
28 彼は怒って家に入ろうとしなかったので、父親が
出てきて彼に懇願した。
29 彼は答えて父に言った。「わたしはこれまで何年
もあなたに仕えてきましたが、あなたの戒めに一度
もそむいたことはありません。しかし、友だちと楽
しく遊ぶために、子やぎを一度もくださりませんで
した。
30 ところが、あなたの財産を遊女たちと食いつぶし
たこのあなたの息子が帰ってくると、あなたは彼の
ために肥えた子牛をほふったのです。
31 するとイエスは彼に言われた。「子よ、あなたは
いつもわたしと共にいる。わたしの持つものはすべ
てあなたのものだ。」
32 わたしたちが喜び祝うのは当然である。あなたの
この兄弟は死んでいたのに生き返り、いなくなって
いたのに見つかったのだから。

第 16 章

1 それから、イエスは弟子たちにも言われた、「ある
金持ちに管理人がいたが、その管理人が財産を浪費
していると訴えられた。
2 そこで彼は彼を呼び寄せて言った、「あなたについ
てこんなことを聞くのはどういうわけか。あなたの
管理の務めについて報告しなさい。あなたはもう管
理人ではいられない。」
3 そのとき、管理人は心の中で言った。「どうしよう
か。主人が管理の職を私から取り上げようとしてい
る。私は掘ることもできないし、物乞いをするのも
恥ずかしい。」
4 わたしは、管理職から外されたときに、人々がわた
しを家に迎え入れてくれるように、どうしたらよい
かと決心しました。
5 そこで彼は主人の負債者をひとりひとり呼び寄せて、
最初の人に言った、「あなたは主人にいくら負債が
ありますか」。
6 彼は言った、「油百コルです」。すると彼は言った、
「証書を取り、急いで座り、五十コルと書きなさ
い」。
7 そこで彼はほかの人に尋ねた、「では、あなたの負
債はいくらですか」。彼は、「小麦百セアです」と
言った。すると彼は言った、「証書を取り、八十セ
アと書きなさい」。
8 主人は不正な管理人が賢明なことをしたので、それ
をほめた。この世の子らは、その世代においては光
の子らよりも賢いからである。
9 そこで、わたしはあなたがたに言う。不義の富で友
を作りなさい。そうすれば、あなたがたが尽きたと
き、彼らがあなたがたを永遠の住まいに迎えてくれ
るであろう。
10 小さなことに忠実な人は、大きなことにも忠実で
す。小さなことに不正な人は、大きなことにも不正
です。
11 ですから、もしあなたがたが不正の富に関して忠
実でなかったら、だれがあなたがたに真の富を託す
でしょうか。
12 また、あなたがたが他人のものに対して忠実でな
かったら、だれがあなたがた自身のものをあなたが
たに与えるでしょうか。
13 しもべは、ふたりの主人に兼ね仕えることはでき
ません。一方を憎んで他方を愛し、あるいは、一方
に親しんで他方を軽んじるからです。あなたがたは、
神と富とに兼ね仕えることはできません。
14 貪欲なパリサイ人たちも、これらのことをすべて
聞いて、イエスをあざ笑った。
15 そこでイエスは彼らに言われた、「あなたがたは
人々の前で自らを義としているが、神はあなたがた
の心をご存じである。人々の間で尊ばれるものは、
神の目に忌まわしいものである。」
16 律法と預言者はヨハネまで存在した。その時から
神の国が宣べ伝えられ、すべての人がそれに熱心に
取り組んでいる。
17 律法の一画が消えるよりは、天地が消えるほうが
まだ易しい。
18 自分の妻を出して他の女をめとる者は、姦淫を行
うのである。また、夫から出された女をめとる者も、
姦淫を行うのである。
19 ある金持ちが紫の衣や細布を着て、毎日豪華な食
事をしていた。

20 すると、ラザロという名の乞食が、全身にでき物
があり、その門前に横たわっていた。
21 そして、金持ちの食卓から落ちるパンくずで腹を
満たそうとし、そのうえ、犬が来て、その傷をなめ
た。
22 それから、その乞食は死んで、天使たちによって
アブラハムのふところに連れて行かれた。金持ちも
また死んで葬られた。
23 そして陰府で苦しみながら目をあげると、はるか
にアブラハムとその懐にいるラザロが見えた。
24 彼は叫んで言った。「父アブラハムよ、私をあわ
れんでください。ラザロをよこし、彼の指先を水に
浸して私の舌を冷やさせてください。私はこの炎の
中で苦しんでいるのです。」
25 しかしアブラハムは言った。「子よ、思い出しな
さい。あなたは生きている間に良いものを受け、ラ
ザロは悪いものを受けた。しかし今は、彼は慰めら
れ、あなたは苦しんでいる。」
26 それればかりか、私たちとあなた方との間には大き
な淵が定められています。そのため、ここからあな
た方の方へ渡ろうとする者も渡ることができません
し、そこから私たちの方へ渡って来ることもできま
せん。
27 そこで彼は言った、「父よ、お願いですから、彼
を私の父の家に遣わしてください。
28 わたしには五人の兄弟がいます。彼らもこの苦し
みの場所に来ないように、彼らにも証ししてあげて
ください。
29 アブラハムは彼に言った。「彼らにはモーセと預
言者たちがいる。彼らに聞くがよい。」
30 彼は言った、「いいえ、父アブラハムよ。しかし、
死人の中からだれかが彼らのところに行ったなら、
彼らは悔い改めるでしょう。」
31 するとイエスは言われた、「もしモーセと預言者
の言うことを聞かないなら、たとえ死人の中から生
き返った者があっても、彼らは信じないであろ
う。」

第 17 章

1 そこでイエスは弟子たちに言われた。「つまずきが
起こらないはずはない。しかし、つまずきを起こす
者には災いが臨む。」
2 これらの小さな者たちのひとりをつまずかせるより
は、むしろ、石臼を首にかけられて海に投げ込まれ
た方が、彼にとってよかったのです。
3 自分自身に気をつけなさい。もしあなたの兄弟があ
なたに対して罪を犯したなら、彼を戒めなさい。そ
して、もし彼が悔い改めたなら、彼を赦しなさい。
4 もし彼が一日に七回あなたに対して罪を犯しても、
一日に七回あなたに立ち返って、「悔い改めます」
と言うならば、あなたは彼を許さなければならない。
5 使徒たちは主に言った、「わたしたちの信仰を増し
て下さい。」
6 主は言われた。「もし、からし種一粒ほどの信仰が
あるなら、このいちじく桑の実の木に、『根こそぎ
引き抜かれて、海に植えられよ』と命じれば、木は
言うとおりになるであろう。
7 しかし、あなたがたのうちに、耕作や家畜の世話を
する僕がいる場合、その僕が畑から帰ってくると、
すぐに『行って席に着いて食事をしなさい』と言う
者がいるだろうか。
8 むしろ、彼にこう言わないだろうか。『わたしのた
めに食事の用意をし、帯を締めて、わたしが食べた
り飲んだりするまでわたしに仕えなさい。その後で、
あなたも食べたり飲んだりしてください。』
9 僕が命じられたことをしたからといって、主人は彼
に感謝するでしょうか。私はそうは思いません。
10 それと同じように、あなたがたも、命じられたこ
とをすべて行ったら、『私たちは無益な僕です。私
たちは、なすべきことをしただけです』と言いなさ
い。
11 さて、イエスはエルサレムへ向かう途中、サマリ
アとガリラヤの中を通られた。
12 ある村にはいられると、十人のらい病人がイエス
に出会ったが、彼らは遠くに立っていた。
13 彼らは声を張り上げて言った。「イエス様、先生、
わたしたちをあわれんでください。」
14 イエスは彼らを見て、「行って祭司たちに姿を見
せなさい」と言われた。すると、彼らは行く途中で
清められた。
15 そのうちの一人は、自分が癒されたのを見て、戻
って来て、大声で神をほめたたえ、
16 そして、イエスの足もとにひれ伏して感謝した。
彼はサマリア人であった。
17 するとイエスは答えて言われた、「きよめられた
のは十人ではなかったか。では、残りの九人はどこ
にいるのか」。
18 この旅人のほかに、神に栄光をささげるために帰
ってきた者は一人もいない。
19 そこでイエスは彼に言われた。「立って行きなさ
い。あなたの信仰があなたを救ったのです。」
20 パリサイ人たちから、神の国はいつ来るのかと尋
ねられたとき、イエスは答えて言われた。「神の国
は、人々の目に見える形で来るのではない。
21 また、彼らは、「見よ、ここにいる」とか、「見
よ、あそこにいる」とも言わない。見よ、神の国は
あなたがたのただ中にあるからである。
22 それからイエスは弟子たちに言われた、「人の子
の日を一日でも見たいと願う日が来るであろう。し
かし、見ることはできないであろう。」
23 彼らはあなたたちに、『ここを見よ』、『あそこ
を見よ』と言うであろう。しかし、彼らのあとを追
ってはならず、また彼らのあとについて行ってはな
らない。
24 いなずまが天の下の端からひらめき出て、天の下
の端にひらめき渡るように、人の子も自分の日には
同じようになるであろう。

25 しかし、彼はまず多くの苦しみを受け、またこの
世代に捨てられなければなりません。
26 ノアの時代に起こったことと全く同じことが、人
の子の時代にも起こるであろう。
27 彼らは、ノアが箱舟に入った日まで、食べたり、
飲んだり、妻をめとったり、嫁いだりしていたが、
洪水が来て、彼らをすべて滅ぼした。
28 ロトの時代にも、同じように、人々は食べたり、
飲んだり、買ったり、売ったり、植えたり、建てた
りしていた。
29 しかし、ロトがソドムから出て行ったその日に、
天から火と硫黄が降って来て、彼らをみな滅ぼしま
した。
30 人の子が現れる日にも、まさにそのようになるで
あろう。
31 その日には、屋上にいる者、また家の中に荷物を
持っている者は、それを取りに降りてはならない。
畑にいる者も同様に、戻ってはならない。
32 ロトの妻のことを思い出しなさい。
33 自分の命を救おうとする者はそれを失い、自分の
命を失う者はそれを保つであろう。
34 あなたがたに言うが、その夜、二人の人が一つの
床に寝ているとき、一人は取られ、他の一人は残さ
れるであろう。
35 二人の女が一緒にひき臼をひいていると、一人は
連れて行かれ、他の一人は残される。
36 二人の人が畑にいると、一人は連れて行かれ、他
の一人は残される。
37 彼らは答えて言った、「主よ、どこにですか」。
イエスは彼らに言われた、「死体のある所には、鷲
も集まるであろう」。

第 18 章

1 そこでイエスは、人々は弱り果てることなく、絶え
ず祈るべきであるということを彼らに知らせるため
に、たとえを話されたのである。
2 「ある町に、神を恐れず、人を人とも思わない裁判
官がいた。
3 その町にひとりのやもめがいて、彼のもとに来て言
った、「わたしを敵対する者からわたしを救ってく
ださい」。
4 彼はしばらくは聞き入れなかったが、そのあとで心
の中で言った。「わたしは神をも恐れず、人を人と
も思わないが、
5 しかし、このやもめはわたしを煩わせるので、彼女
がたびたび来てわたしを疲れさせないように、わた
しは彼女のために復讐しよう。
6 主は言われた、「不正な裁判官が何と言うか聞きな
さい。」
7 神は、たとえ長く忍耐しても、夜も昼も神に叫び求
める選ばれた者たちのために、復讐されないだろう
か。
8 あなたがたに言いますが、神はすぐに彼らのために
復讐されます。しかし、人の子が来るとき、地上に
信仰が見られるでしょうか。
9 そこでイエスは、自分は正しい人間だと自負し、他
人を見下している人たちに、このたとえ話をされた。
10 ふたりの人が祈るために神殿に上って行った。ひ
とりはパリサイ人で、もうひとりは取税人であった。
11 パリサイ人は立って、心の中でこう祈った。「神
よ、私はほかの人たちのような、奪い取る者、不正
な者、姦淫をする者ではなく、またこの取税人のよ
うな者でもないことを感謝します。
12 私は週に二度断食し、自分の全財産の十分の一を
献げています。
13 すると、取税人は遠くに立って、目を天に向ける
ことさえしないで、胸を打ちながら言った。「神様、
罪人の私をあわれんでください。」
14 あなたがたに言いますが、義とされて家に帰った
のはこの人であって、あの人ではありません。おお
よそ、自分を高くする者は低くされ、自分を低くす
る者は高くされるでしょう。
15 人々は、イエスに触っていただくために、幼子た
ちもみもとに連れて来たが、弟子たちはそれを見て、
彼らを叱った。
16 しかし、イエスは彼らを呼び寄せて言われた、
「幼子たちがわたしのところに来るままにしなさい。
止めてはならない。神の国はこのような者の国であ
る。」
17 よくよくあなたがたに言います。幼子のように神
の王国を受け入れる者でなければ、決してそこに入
ることはできません。
18 ある役人がイエスに尋ねた。「良き先生よ、何を
したら永遠の命を受け継げるでしょうか。」
19 するとイエスは彼に言われた、「なぜわたしを善
い者と呼ぶのか。ただひとり、すなわち神のほかに、
善い者はいない。」
20 あなたは戒めを知っている。姦淫するな、殺すな、
盗むな、偽証するな、あなたの父と母を敬え。
21 彼は言った、「私は若い時からこれらすべてのこ
とを守ってきた」。
22 イエスはこれらのことを聞いて、彼に言われた、
「しかし、あなたに足りないことが一つある。あな
たの持っているものをみな売り払って、貧しい人々
に分けてやりなさい。そうすれば、天に宝が積める
ようになる。そして、わたしに従ってきなさい。」
23 彼はこれを聞いて非常に悲しんだ。彼は非常に裕
福だったからである。
24 イエスは彼が非常に悲しんでいるのを見て言われ
た、「富を持っている者が神の国に入るのは、なん
と難しいことか。」
25 金持ちが神の国に入るよりは、らくだが針の穴を
通る方がもっと簡単である。
26 これを聞いた人々は言った、「それでは、だれが
救われるのでしょうか。」
27 そして彼は言った、「人にはできないことも、神
にはできる。」

28 するとペテロは言った。「ごらんなさい。わたし
たちはすべてを捨ててあなたに従ってまいりまし
た。」
29 そこでイエスは彼らに言われた、「よく聞きなさ
い。神の国のために、家、両親、兄弟、妻、子供を
捨てた者は、だれもいない。
30 彼らは、今の時代にはさらに多くのものを受け、
また、来るべき世では永遠の命を受けるであろう。
31 それから、イエスは十二人を呼び寄せて言われた、
「見よ、わたしたちはエルサレムへ上って行く。そ
して、人の子について預言者たちが書いたことは、
みな実現するであろう」。
32 彼は異邦人に引き渡され、嘲られ、悪意を持って
扱われ、唾をかけられるであろう。
33 そして彼らは彼を鞭打ち、殺すであろう。そして
彼は三日目によみがえるであろう。
34 彼らはこれらのことを何も理解しなかった。この
言葉は彼らには隠されていたので、彼らは話された
事柄を知らなかった。
35 さて、イエスがエリコに近づかれたとき、ある盲
人が道端に座り、物乞いをしていた。
36 群衆が通り過ぎるのを聞いて、イエスは、それは
何事かと尋ねられた。
37 彼らはイエスに、「ナザレのイエスがお通りにな
ります」と告げた。
38 彼は叫んで言った。「ダビデの子イエスよ、わた
しをあわれんでください。」
39 先を行く者たちは彼を叱り、黙らせようとしたが、
彼はますます叫び続けた。「ダビデの子よ、わたし
をあわれんでください。」
40 そこでイエスは立ち、彼を連れて来るように命じ
られた。彼が近づくと、イエスは彼に言われた。
41 イエスは言われた。「あなたに何をしてほしいの
か。」彼は言った。「主よ、目が見えるようになる
ことです。」
42 するとイエスは彼に言われた、「見えるようにな
りなさい。あなたの信仰があなたを救ったので
す。」
43 すると、彼はたちまち見えるようになり、神を賛
美しながらイエスに従った。民衆も皆、それを見て
神を賛美した。

第 19 章

1 イエスはエリコに入り、そこを通られた。
2 すると、そこにザアカイという人がいた。彼は取税
人のかしらで、金持ちであった。
3 彼はイエスがどんな方なのか見ようとしたが、背が
低かったので、群衆のために見ることができなかっ
た。
4 そこで彼はイエスを見るために先に走り、いちじく
桑の木に登った。イエスはその道を通ることになっ
ていたからである。
5 イエスはその場所に来ると、目を上げてザアカイを
見て言われた、「ザアカイよ、急いで降りて来なさ
い。きょうはあなたの家に泊まらなければならない
から」。
6 そこで彼は急いで降りて来て、喜んでイエスを迎え
た。
7 人々はみなそれを見て、つぶやいて言った、「彼は
罪人のところに客として行ったのだ」。
8 ザアカイは立って主に言った。「主よ、わたしは財
産の半分を貧しい人々に施しています。また、もし
偽って人から何かを奪ったことがあれば、四倍にし
て返します。」
9 イエスは彼に言われた、「この日、救いがこの家に
来た。彼もアブラハムの子なのだから」。
10 人の子は、失われたものを捜して救うために来た
のです。
11 彼らがこれらのことばを聞いていると、イエスは、
さらにまたたとえ話を語った。エルサレムに近づい
ていたからであり、また、神の国はすぐにも現れる
と人々が思っていたからである。
12 そこでイエスは言われた、「ある貴族が王国を受
け継いで帰ってくるために遠い国へ出かけました。
13 そこで彼は十人の僕を呼び、十ミナを渡して言っ
た、「わたしが帰るまで働いていなさい。」
14 しかし、国民は彼を憎み、使者を彼のあとに遣わ
して、「この男に王として任せるのはいやだ」と言
わせた。
15 さて、ヨセフは王国を受けて帰って来たとき、金
を与えておいた僕たちを呼んで、それぞれが商売で
いくら儲けたかを知るように命じた。
16 すると、最初の者が来て言った。「ご主人様、あ
なたの一ミナに十ミナが加わりました。」
17 そこで彼は言った、「よい僕よ、あなたはほんの
わずかな事に忠実であったから、十の町々を治める
権限を与えよう」。
18 すると、次の者が来て言った。「ご主人様、あな
たの一ミナに五ミナが加わりました。」
19 主は彼にも同じように言った、「あなたもまた五
つの町を治めなさい」。
20 すると、もうひとりの者が来て言った。「主よ、
ここにあなたの一ミナがあります。布きれに包んで
保管しておきました。
21 わたしはあなたを恐れていた。あなたは厳格な人
だからである。あなたは捨てなかったものを取り、
蒔かなかったものを刈り取る。
22 すると彼は言った、「悪い僕よ、わたしはあなた
の口によってあなたを裁こう。あなたはわたしが厳
しい人間で、捨てなかったものを取り、蒔かなかっ
たものを刈り取る人間であることを知っていたはず
だ。
23 それなら、なぜわたしの金を銀行に預けておかな
かったのか。わたしが帰ってきたら、利息をつけて
わたしの金を取り立てられるように。
24 そこで彼は、そばに立っている者たちに言った。
「その一ミナを彼から取り上げて、十ミナを持って
いる者に与えなさい。」

25（彼らは言った、「主よ、彼は十ミナを持っています」。）
26 あなたがたに言うが、おおよそ持っている者はさらに与えられ、持っていない者からは持っているものまでも取り上げられるであろう。
27 しかし、わたしが王となることを望まないわたしの敵たちは、ここに連れて来て、わたしの前で殺しなさい。
28 パウロはこう言ってから、先頭に立ってエルサレムへ上って行った。
29 さて、イエスがオリーブ山と呼ばれる山の近くのベテパゲとベタニアに近づいたとき、イエスは二人の弟子をつかわして、
30 彼らは言った、「向こうの村へ行きなさい。そこに入ると、まだだれも乗ったことのない子ろばがつながれているのが見つかるでしょう。それを解いてここへ連れて来なさい。」
31 もしだれかが、『なぜ彼を解くのか』と尋ねるならば、こう言いなさい、『主が彼を必要としているからです。
32 そこで、遣わされた者たちは出かけて行って、イエスが言われたとおりのことを見つけた。
33 彼らがその子ろばを解いていると、その持ち主たちは彼らに言った、「なぜその子ろばを解いたのか」。
34 彼らは言った、「主が彼を必要としておられるのです。」
35 そこで彼らは子ろばをイエスのもとに連れて行き、その上に自分たちの着物を投げかけて、イエスをその上に乗せた。
36 イエスが進んで行かれると、人々は道に上着を敷いた。
37 イエスがオリーブ山の下り坂に近づいたとき、弟子たちの群れはみな喜び、自分たちが見たすべての奇跡のゆえに大声で神を賛美し始めた。
38 主の名によって来られる王に祝福あれ。天には平和、いと高きところには栄光あれ。
39 すると、群衆の中からパリサイ人のある者がイエスに言った。「先生、あなたの弟子たちを叱ってください。」
40 そこでイエスは答えて言われた、「あなたがたに言うが、もしこの人たちが黙っていれば、石がすぐに叫び出すであろう」。
41 そして、彼は近づいて町を眺め、そのことで泣いた。
42 言った。「あなたも、少なくともあなたのこの時代に、あなたの平和にかかわることを知っていればよかったのに。しかし、今はそれがあなたの目から隠されているのです。」
43 敵があなたの周囲に塹壕を掘り、あなたを囲み、四方からあなたを封じ込める日があなたに来るであろう。
44 そして、あなたとあなたの中の子供たちを地面に打ち倒し、あなたの中の石を一つも他の石の上に残さないであろう。あなたは、自分の訪れの時を知らなかったからである。
45 それからイエスは宮に入り、そこで売り買いする人々を追い出し始めた。
46 彼らに言った、「『わたしの家は祈りの家である』と書いてある。それだのに、あなたがたはそれを強盗の巣にしている。」
47 イエスは毎日宮で教えておられたが、祭司長、律法学者、民の指導者たちはイエスを殺そうとした。
48 彼らは、どうしてよいか分からなかった。民衆はみな、イエスの言うことに熱心に耳を傾けていたからである。

第 20 章

1 ある日のこと、イエスが宮で民衆に教え、福音を宣べ伝えておられると、祭司長たち、律法学者たちが長老たちと一緒にイエスのもとにやって来て、
2 イエスは彼に言われた、「わたしたちに話しなさい。何の権威によってこれらのことをするのですか。また、だれがあなたにその権威を与えたのですか。
3 そこでイエスは彼らに答えて言われた、「わたしも一つのことをあなた方に尋ねます。答えてください。
4 ヨハネのバプテスマは天からのものだったか、それとも人からのものだったか。
5 そこで彼らは互いに論じて言った。「もし私たちが『天からだ』と言えば、彼は『では、なぜ彼を信じなかったのか』と言うだろう。」
6 しかし、もしわたしたちが『人間から』と言うなら、民衆はみなわたしたちを石打ちにするでしょう。なぜなら、彼らはヨハネが預言者だと信じ込んでいるからです。
7 彼らは、それがどこから来たのか分からないと答えた。
8 イエスは彼らに言われた、「わたしも何の権威によってこれらの事をするのか、あなたたちには告げない。」
9 それから、イエスは民衆にこのたとえを語り始めた。ある人がぶどう園を作り、農夫たちにそれを貸し出して、長い間遠い地方へ出かけて行った。
10 季節になると、彼はぶどう園の収穫物を与えるために、ひとりの僕を農夫たちのところに送ったが、農夫たちは彼を殴り、何も持たせないまま追い返した。
11 そこで彼はまた別の僕を遣わしたが、彼らはその僕も殴り、侮辱し、何も持たせずに追い払った。
12 そこで彼は三人目の者を再び送ったが、彼らは彼も傷つけて追い出した。
13 そこで、ぶどう園の主人は言った。「どうしたらよいでしょうか。愛する息子を遣わしましょう。人々は彼を見て敬うかもしれません。」
14 ところが、農夫たちは彼を見て、互いに論じて言った。「こいつは跡継ぎだ。さあ、こいつを殺して、相続財産をわれわれのものにしよう。」

15 そこで彼らは彼をぶどう園の外に追い出して殺し
た。それで、ぶどう園の主人は彼らをどうすればよ
いのか。
16 彼は来て、この農夫たちを滅ぼし、ぶどう園をほ
かの者に与えるであろう。」人々はそれを聞いて、
「そんなことは決してあり得ない」と言った。
17 イエスは彼らを見つめて言われた、「それでは、
『家造りらの捨てた石、それが隅の親石となった』
と書いてあるのは、どういう意味ですか。
18 その石の上に落ちる者は打ち砕かれ、その石が誰
かの上に落ちる者は粉々に砕かれるであろう。
19 すると、祭司長たちや律法学者たちは、すぐにイ
エスを捕えようとした。彼らは、イエスがこのたと
え話を自分たちに対して語ったのだと悟ったので、
民衆を恐れた。
20 彼らは彼を監視して、正しい者を装うスパイを送
り、彼の言葉を把握し、総督の権力と権威に彼を引
き渡そうとした。
21 そこで彼らはイエスに尋ねて言った。「先生、私
たちは、あなたが正しく語り、正しく教えることを
承知しております。あなたは、だれの人格的特徴も
とらず、真実に神の道を教えられます。
22 私たちが皇帝に税金を納めるのは合法でしょうか、
それとも違法でしょうか。
23 しかしイエスは彼らの悪巧みに気づいて言われた、
「なぜわたしを試みるのか。
24 デナリを見せてください。だれの肖像と銘が刻ま
れているのですか。」彼らは答えた。「カイザルの
です。」
25 そこでイエスは彼らに言われた。「それゆえ、皇
帝のものは皇帝に、神のものは神に返しなさい。」
26 彼らは民衆の前でイエスの言葉を受け止めること
ができず、その答えに驚いて黙っていた。
27 そのとき、復活を否定するサドカイ派の人々がイ
エスのもとに来て、こう尋ねた。
28 主よ、モーセはわたしたちにこう書き送っていま
す。『もしある人の兄弟が妻をめとって死んだが、
その兄弟に子供がないときは、その兄弟は妻を迎え
て、その兄弟のために子孫を残さなければならな
い。』
29 七人の兄弟がいたが、長男は妻をめとったが、子
供がないまま死んだ。
30 次男は彼女を妻に迎えたが、子供を残さずに死ん
だ。
31 三番目の者も彼女をめとり、七人も同様にしたが、
彼らは子供を残さずに死んだ。
32 最後にその女も死んだ。
33 それで、復活のとき、彼女は彼らのうちのだれの
妻になるのでしょうか。七人が彼女を妻にめとった
のです。
34 するとイエスは答えて言われた、「この世の子ら
はめとったり、とつがえたりする。
35 しかし、あの世と死人の中からの復活とを得るに
ふさわしい者とみなされる人たちは、めとったり、
とつがれたりしません。
36 彼らはもはや死ぬことはありません。彼らは天使
たちと同等であり、復活の子である神の子なのです。
37 死者がよみがえることは、柴のところでモーセが
主を「アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神」
と呼んだときにも示されました。
38 神は死んだ者の神ではなく、生きている者の神で
ある。すべての人は神のために生きている。
39 すると、ある律法学者たちが答えて言った。「先
生、おっしゃる通りです。」
40 そして、その後、彼らはあえて何も質問しなくな
った。
41 そこでイエスは彼らに言われた、「どうして彼ら
はキリストがダビデの子であると言っているのか。
42 ダビデ自身も詩篇の中でこう言っています。「主
は私の主に言われた。「私の右に座しなさい。
43 わたしがあなたの敵をあなたの足台とするまで。
44 ダビデは彼を主と呼んでいるのに、どうして彼は
ダビデの子なのだろうか。
45 それから、イエスは群衆が聞いている中で、弟子
たちに言われた。
46 律法学者たちに気をつけなさい。彼らは長い衣を
着て歩き回り、市場であいさつを受けたり、会堂の
上席に座ったり、宴会の上座に座ったりすることを
好むのです。
47 やもめたちの家を食い尽くし、見せかけのために
長い祈りをする者たちは、さらに重い罰を受けるで
あろう。

第 21 章

1 そしてイエスは目を上げて、金持ちたちが献金箱に
献金を投げ入れているのをご覧になった。
2 また、イエスは、ある貧しいやもめがレプタ二つを
そこに投げ入れているのをご覧になった。
3 そこで彼は言った、「よく聞きなさい。この貧しい
やもめは、みんなよりも多く投げ入れたのです。
4 これらの者はみな、その豊かな中から神への供え物
に投げ入れたが、彼女はその貧乏な中から、持って
いた生活費を全部投げ入れた。
5 ある人々が神殿が美しい石や供え物で飾られている
と話すと、イエスは言われた。
6 あなたがたが見ているこれらのものについては、一
つの石も他の石の上に残らず、くずされない日が来
ます。
7 そこで彼らはイエスに尋ねた、「先生、では、そん
なことはいつ起こるのですか。また、そんなことが
起こるときには、どんな前兆がありますか」。
8 イエスは言われた、「惑わされないように気をつけ
なさい。多くの者がわたしの名を名のって現れ、
『わたしはキリストだ』と言い、時が近づいている。
だから、彼らのあとについて行ってはならない」。
9 しかし、戦争や騒乱のことを聞いても、恐れること
はありません。これらの事は必ず起こらなければな
りませんが、終わりはすぐに来るわけではありませ
ん。

10 そこでイエスは彼らに言われた、「国民は国民に、
王国は王国に敵対して立ち上がるであろう。
11 また、大地震があちこちに起こり、飢饉や疫病が
起こり、恐ろしい光景や天からの大きな前兆が現れ
るでしょう。
12 しかし、これらのことが起こる前に、人々はあな
たたちに手をかけて迫害し、わたしの名のゆえに、
あなたたちを会堂や牢に引き渡し、王たちや役人た
ちの前に引き出すであろう。
13 そしてそれはあなたへの証言となるでしょう。
14 ですから、何と答えようかと、前もって考えない
ように、心に決めなさい。
15 わたしはあなたに口と知恵を与える。あなたのす
べての敵はそれに反論したり抵抗したりできないで
あろう。
16 あなたがたは、両親、兄弟、親族、友人からも裏
切られ、また、あなたがたのうちのある者は殺され
るであろう。
17 そして、わたしの名のゆえに、あなたがたはすべ
ての人に憎まれるであろう。
18 しかし、あなたの頭の髪の毛一本も失われること
はない。
19 忍耐によって、あなた方は自分の魂を保ちなさい。
20 エルサレムが軍隊に囲まれるのを見たら、そのと
きは、その荒廃が近いことを知りなさい。
21 そのとき、ユダヤにいる者は山に逃げよ。その町
にいる者は出て行け。地方にいる者はそこへ入って
はならない。
22 これらは復讐の日であり、書かれていることがす
べて実現する日なのです。
23 しかし、その日には、身重の者と乳飲み子を持つ
者とは災いを受ける。国には大きな苦難が臨み、こ
の民には怒りが臨むからである。
24 彼らは剣の刃に倒れ、捕虜としてあらゆる国々に
引かれて行くであろう。そしてエルサレムは異邦人
の時が満ちるまで、異邦人に踏みにじられるであろ
う。
25 そして、太陽と月と星には、しるしが現れるであ
ろう。地上では、諸国の民が困惑して苦悩し、海と
波はとどろき渡るであろう。
26 人々は、地上に起ころうとしている出来事を心配
して、恐れから気落ちするであろう。天の力が揺り
動かされるからである。
27 そのとき、人々は人の子が力と大いなる栄光とを
もって雲に乗って来るのを目にするであろう。
28 これらの事が起こり始めるとき、目を上げて頭を
上げなさい。あなたがたの救いが近づいているから
です。
29 そこでイエスは彼らにたとえを話された。「いち
じくの木やすべての木を見なさい。
30 それらが芽吹くと、あなた方は見て、夏がもう近
いことを自分自身で知るのです。
31 そのように、あなたがたも、これらのことが起こ
るのを見たら、神の国が近づいたと知りなさい。
32 よく聞きなさい。このすべてが成就するまでは、
この世代は決して過ぎ去りません。
33 天地は滅びるであろう。しかし、わたしの言葉は
決して滅びない。
34 あなたがたは、放縦や、酒や、生活上の思い煩い
などで心が鈍っていると、いつの間にかその日があ
なたがたを襲うようなことがないように、自分自身
に気をつけなさい。
35 それは、全地の面に住むすべての者にとって、わ
なのように臨むであろう。
36 だから、あなたがたは、これから起ころうとして
いるこれらのすべての事を免れて、人の子の前に立
つにふさわしい者と認められるために、常に目を覚
まして祈りなさい。
37 イエスは昼は宮で教えておられ、夜になると出て
行って、オリーブ山と呼ばれる山に住まわれた。
38 そして、民衆は皆、彼の教えを聞こうとして、朝
早くから宮に集まった。

第 22 章

1 さて、過越祭と呼ばれる無酵母パンの祭りが近づい
た。
2 祭司長たちや律法学者たちは、民衆を恐れて、どの
ようにしてイエスを殺そうかと考えていた。
3 そのとき、十二人の一人であるイスカリオテのユダ
にサタンが入り込んだ。
4 そこで、イエスは出かけて行って、祭司長たちや千
人隊長たちと相談し、どうすればイエスを彼らに引
き渡せるか考えた。
5 彼らは喜んで、金を与える契約を交わした。
6 そこで彼は約束し、群衆のいない時にイエスを彼ら
に引き渡す機会をうかがっていた。
7 それから、過越の犠牲を屠らなければならない除酵
祭の日が来た。
8 そこでイエスはペテロとヨハネをつかわして言われ
た。「行って、過越の食事を準備しなさい。わたし
たちに食べさせなさい。」
9 彼らは言った、「どこに用意しましょうか」。
10 そこでイエスは彼らに言われた、「見よ、あなた
がたが町にはいると、水がめを携えた男があなたが
たに出会うであろう。その男が入って行く家までつ
いて行きなさい。
11 そして、家の主人に言いなさい。『先生があなた
におっしゃいます。わたしが弟子たちと一緒に過越
の食事をする客間はどこですか。』
12 彼はあなたに、備えの整った大きな階上の部屋を
見せてくれるでしょう。そこに備えをしなさい。
13 彼らは行って、イエスが言われたとおりのことを
見つけたので、過越の食事の用意をした。
14 時刻が来ると、イエスは十二使徒とともに席に着
いた。
15 そこでイエスは彼らに言われた。「わたしは苦し
みを受ける前に、あなたがたと一緒にこの過越の食
事をしたいと強く願っていた。

16 あなたがたに言いますが、神の国においてそれが
実現するまでは、わたしはもはやそれを食べること
はありません。
17 それから、杯を取り、感謝をささげてから言われ
た、「これを取って、あなたたちの間で分けなさい。
18 あなたがたに言います。神の国が来るまでは、わ
たしはぶどうの実から作ったものを飲むことは決し
てありません。
19 それから、イエスはパンを取り、感謝の祈りを唱
えてこれを裂き、弟子たちに与えて言われた、「こ
れはあなたがたのために与えられる、わたしの体で
ある。わたしを記念するため、このように行いなさ
い。」
20 夕食のあとで、杯も同じようにして言われた。
「この杯は、あなたがたのために流されるわたしの
血による新しい契約です。」
21 しかし、見よ、わたしを裏切る者の手がわたしと
共に食卓にある。
22 確かに、人の子は定められたとおりに去って行き
ます。しかし、彼を裏切るその人には災いが臨みま
す。
23 そこで彼らは、自分たちのうちのだれがこのよう
なことをするのだろうかと、互いに相談し始めた。
24 また、彼らの間には、だれがいちばん偉い者とさ
れるべきかという争いも起こった。
25 そこでイエスは彼らに言われた、「異邦人の王た
ちは、その民の上に君臨する。また、その民の上に
権力をふるう者たちは、恩人と呼ばれている。」
26 しかし、あなたがたはそうであってはなりません。
あなたがたのうちで偉い人は、若い者のようになり、
指導者は、仕える者のようになりなさい。
27 食卓に着く者と給仕する者と、どちらが偉いでし
ょうか。食卓に着く者ではありませんか。しかし、
わたしはあなたがたの間では給仕する者と同じです。
28 あなたがたは、わたしの誘惑に付き従ってきた者
たちです。
29 わたしの父がわたしに王国を与えてくださったよ
うに、わたしもあなたがたに王国を与えます。
30 あなたたちはわたしの王国でわたしの食卓に着い
て食べたり飲んだりし、イスラエルの十二部族を裁
くために王座に座るであろう。
31 すると主は言われた、「シモン、シモン、見よ、
サタンはあなたがたを麦のようにふるいにかけるこ
とを願っている。
32 しかし、私はあなたの信仰がなくならないように、
あなたのために祈りました。あなたが立ち直ったら、
兄弟たちを力づけてやりなさい。
33 彼は言った、「主よ、わたしは獄にでも、また死
にでも、あなたとご一緒に行く覚悟です」。
34 するとイエスは言われた。「ペテロよ、あなたに
言っておく。今日鶏が鳴く前に、あなたは三度わた
しを知らないと言うであろう。」
35 そこでイエスは彼らに言われた。「わたしが財布
も袋も履物も持たせずにあなたたちを遣わしたとき、
何か不足したことがあったか。」彼らは言った。
「何にも不足していませんでした。」
36 そこでイエスは彼らに言われた、「しかし今は、
財布を持っている者はそれを持ち、袋も同じように
持ちなさい。剣を持たない者は着物を売ってそれを
買いなさい」。
37 あなたがたに言うが、わたしの身に必ず成就する
であろう、「彼は罪人たちのひとりに数えられた」
と書いてある。わたしに関することは、もう終った
のである。
38 彼らは言った、「主よ、ここに剣が二本ありま
す」。するとイエスは彼らに言われた、「それで十
分だ」。
39 それからイエスは出て行って、いつものようにオ
リーブ山へ行かれた。弟子たちも従って行った。
40 イエスはその場所に着くと、彼らに言われた。
「誘惑に陥らないように祈りなさい。」
41 そしてイエスは彼らから石を投げた所ほど離れた
所に退き、ひざまずいて祈られた。
42 こう言いました。「父よ、みこころならば、どう
ぞ、この杯をわたしから取りのけてください。しか
し、わたしの思いではなく、みこころが行われます
ように。」
43 すると、御使いが天から現れて、イエスを力づけ
た。
44 イエスは苦しみもだえながら、ますます熱心に祈
られた。すると、汗が血の滴のように地に落ちた。
45 イエスは祈りを終えて立ち上がり、弟子たちのと
ころへ行かれたが、彼らが悲しみのあまり眠ってい
るのを見て、
46 彼らに言われた、「なぜ眠っているのか。誘惑に
陥らないように、起きて祈りなさい。」
47 イエスがまだ話しておられるうちに、群衆が現れ、
十二人の一人でユダと呼ばれる者が彼らの先頭に立
って、イエスに接吻しようと近寄った。
48 しかし、イエスは彼に言われた、「ユダよ、あな
たは接吻によって人の子を裏切るのか。」
49 イエスの周囲にいた者たちは、その後に起こるこ
とを見、イエスに言った。「主よ、剣で打ち殺しま
しょうか。」
50 すると、彼らのうちのひとりが、大祭司の僕を撃
ち、その右の耳を切り落とした。
51 するとイエスは答えて言われた、「ここまでは我
慢しなさい。」そして彼の耳に触れて癒された。
52 するとイエスは、祭司長、宮守長、長老たちが御
自分のところにやって来て言われた。「あなたたち
は、盗人に向かうように、剣や杖を持って出てきた
のか。
53 わたしが毎日あなたたちと一緒に神殿にいたとき、
あなたたちはわたしに敵対して手を伸ばさなかった。
しかし今はあなたたちの時であり、暗黒の力が働い
ている。
54 そこで彼らはイエスを捕らえ、引いて大祭司の家
に案内した。ペテロは遠く離れて従った。

55 そして、彼らは広間の真ん中に火をたき、一緒に
座ったが、ペテロも彼らの中に座った。
56 ところが、ある女中が、彼が火のそばに座ってい
るのを見て、じっと見つめて言った。「この人も彼
と一緒でした。」
57 すると彼はイエスを否定して言った。「婦人よ、
わたしはその人を知りません。」
58 しばらくして、ほかの人が彼を見て、「あなたも
彼らの仲間だ」と言った。するとペテロは、「いや、
違います」と言った。
59 それから一時間ほどたってから、別の人が確信を
もってこう言った。「確かにこの人もイエスと一緒
でした。この人はガリラヤ人です。」
60 するとペテロが言った。「あなたが何を言ってい
るのか、私には分からない。」彼がまだ話している
うちに、すぐに鶏が鳴いた。
61 すると主は振り向いてペテロを見つめられた。ペ
テロは主が彼に言われた言葉を思い出した。「鶏が
鳴く前に、あなたは三度私を知らないと言うだろ
う。」
62 そこでペテロは出て行って激しく泣いた。
63 イエスを捕らえた者たちは、イエスを嘲笑し、殴
りつけた。
64 彼らは彼の目隠しをして、顔を殴り、こう尋ねた。
「預言しなさい。あなたを殴ったのはだれか。」
65 そして、彼らはイエスに対して、そのほかにも多
くの冒涜的な言葉を吐いた。
66 夜が明けると、民の長老たち、祭司長たち、律法
学者たちが集まり、イエスを議会に呼び出して言っ
た。
67 あなたはキリストですか。私たちに教えてくださ
い。するとイエスは彼らに言われた、「私が言って
も、あなたたちは信じないでしょう。
68 そして、わたしもあなたがたに尋ねても、あなた
がたはわたしに答えず、わたしを去らせないであろ
う。
69 これから後、人の子は神の力の右に座るであろう。
70 そこで彼らは皆、「それでは、あなたは神の子な
のですか」と言った。イエスは彼らに言われた、
「あなたがたは、そうだと言っています」。
71 彼らは言った、「これ以上の証言が必要だろうか。
われわれは彼自身の口から聞いているのだ。」

第 23 章

1 そこで、群衆はみな立ち上がり、イエスをピラトの
ところに連れて行った。
2 彼らはイエスを訴えて言った。「この男は国民を惑
わし、皇帝に税金を納めることを禁じ、自分は王キ
リストだと言っています。
3 ピラトは彼に尋ねた、「あなたはユダヤ人の王なの
か」。彼は答えて言った、「あなたがそう言ってい
るのです」。
4 そこでピラトは祭司長たちと民衆に言った。「この
男には何の罪も見いだせない。」
5 彼らはますます激怒して言った。「彼はガリラヤか
ら始まってこの所に至るまで、ユダヤ全土で教え、
民衆を扇動しているのだ。」
6 ピラトはガリラヤのことを聞いて、その男はガリラ
ヤ人かと尋ねた。
7 パウロは、彼がヘロデの管轄下に入ったと知ると、
すぐに彼をヘロデのもとに遣わした。ヘロデもその
ときエルサレムにいた。
8 ヘロデはイエスを見て非常に喜んだ。イエスのこと
をいろいろ聞いていたので、長い間イエスに会いた
いと思っていたし、イエスが何か奇跡を行うのを見
たいと思っていたからである。
9 そこで彼はいろいろと質問したが、彼は何も答えな
かった。
10 すると、祭司長たちや律法学者たちが立ち上がり、
激しくイエスを訴えた。
11 ヘロデは兵士たちとともにイエスを侮辱し、嘲笑
し、豪華な衣を着せて、再びピラトのもとに送り返
した。
12 その日、ピラトとヘロデは親しくなりました。以
前は、二人は敵対していたのに。
13 ピラトは祭司長たち、役人たち、民衆を呼び集め
て、
14 彼らに言った、「あなたがたはこの男を、民を惑
わす者としてわたしのところに連れてきた。そして
わたしは、あなたがたの前で彼を調べたが、あなた
がたが訴えているようなことには、この男には何の
罪も見いだせなかった。
15 いいえ、ヘロデでもありません。わたしがあなた
を彼のところに遣わしたのです。そして、彼には死
に値するようなことは何もなされていません。
16 それゆえ、わたしは彼を罰し、そして彼を釈放す
る。
17 （祭りの時には、必ず一人を釈放しなければなら
ないからである。）
18 そこで彼らは一斉に叫んで言った。「この男を殺
して、バラバを釈放してくれ。
19 （彼は町内で暴動を起こし、殺人を犯したため、
投獄された。）
20 そこでピラトはイエスを釈放しようと考え、もう
一度彼らに話しかけました。
21 しかし彼らは叫んで言った。「十字架につけろ、
十字架につけろ。」
22 彼は三度目に彼らに言った、「なぜ、彼はどんな
悪事をしたのか。彼には死に値するようなことは何
も見つからなかった。だから、私は彼を罰して、釈
放しよう。」
23 彼らは大声で叫び続け、イエスを十字架につける
よう要求した。そして、彼らと祭司長たちの声が大
勢を占めた。
24 ピラトは彼らの要求どおりにするよう判決を下し
た。
25 そして、暴動と殺人のかどで投獄されていた者を
彼らの望みどおり釈放したが、イエスを彼らの意の
ままに引き渡した。

26 そして、彼らがイエスを引いて行く途中、田舎か
ら出てきたシモンというクレネ人を捕らえ、十字架
を彼の上に載せて、イエスのあとから運ばせた。
27 そして、大勢の民衆と女たちがイエスに従って行
き、彼らも嘆き悲しんだ。
28 しかし、イエスは彼らのほうを向いて言われた。
「エルサレムの娘たちよ、わたしのために泣くので
はなく、あなたたち自身のため、また自分の子供た
ちのために泣きなさい。」
29 見よ、不妊の女、子を産んだことのない胎、乳を
飲ませたことのない乳房は幸いである、と言われる
日が来る。
30 そのとき、人々は山々に向かって、「我々の上に
倒れよ」と言い、丘々に向かって、「我々を覆え」
と言い始めるであろう。
31 彼らが生木にこれらのことをするなら、枯れた木
には何ができるだろうか。
32 また、ほかに二人の犯罪人も、死刑に処されるた
めに彼と共に引かれて行った。
33 そして、彼らはカルワリオと呼ばれる場所に着く
と、そこでイエスと犯罪人たちを十字架につけた。
一人は右に、一人は左に。
34 そこでイエスは言われた、「父よ、彼らをお赦し
ください。彼らは何をしているのか知らないので
す。」そして彼らはイエスの着物を分け、くじを引
いた。
35 群衆は立って見ていた。役人たちも彼らと一緒に
いて、イエスをあざ笑って言った。「彼は他人を救
った。もし神に選ばれたキリストであるなら、自分
自身を救うがよい。」
36 兵士たちもイエスをあざけり、近寄って酢を差し
出し、
37 そして言った、「あなたがユダヤ人の王であるな
ら、自分自身を救いなさい。」
38 また、彼の上にはギリシア語、ラテン語、ヘブル
語の文字で、「これはユダヤ人の王である」という
戒名が書かれていた。
39 すると、十字架にかけられていた犯罪人の一人が、
イエスをののしって言った。「あなたがキリストな
ら、自分と我々を救ってみろ。」
40 しかし、もうひとりの者が彼を叱りつけて言った。
「あなたも同じ刑罰を受けているのに、神を恐れな
いのですか。
41 わたしたちは、自分の行いに応じて当然の報いを
受けているのだから、それは当然である。しかし、
この人は何も悪いことをしていない。
42 彼はイエスに言った。「主よ、あなたの御国にお
いでになるときには、私を思い出してください。」
43 するとイエスは彼に言われた、「よく聞きなさい。
あなたはきょう、わたしとともにパラダイスにいる
であろう」。
44 そして、それは午後三時ごろであった。そして、
全地には暗闇が午後九時まで続いた。
45 そして、太陽は暗くなり、神殿の幕は真ん中から
裂けた。
46 イエスは大声で叫んで、「父よ、わたしの霊をみ
手にゆだねます」と言い、こう言って息を引き取ら
れた。
47 百人隊長はこの出来事を見て、神を賛美して言っ
た。「本当に、この人は正しい人だった。」
48 そして、その光景を見に集まったすべての民衆は、
行われた出来事を見て、胸を打ちながら帰って行っ
た。
49 イエスの知り合いやガリラヤから従って来た女た
ちは皆、遠く離れて立って、これらのことを見てい
た。
50 すると、ヨセフという名の人がいた。彼は顧問官
で、善良で正しい人であった。
51 パウロは、ユダヤ人の町アリマタヤの出身で、彼
らの計画や行いに同意しなかった。彼自身も神の国
を待ち望んでいた。
52 この男はピラトのところに行き、イエスの遺体の
引き渡しを願い出た。
53 そして彼はそれを取り降ろし、亜麻布で包み、こ
れまでだれも葬られたことのない、石を掘って造っ
た墓に納めた。
54 その日は準備の日であり、安息日が近づいていた。
55 ガリラヤからイエスと一緒に来た婦人たちも後に
ついて行き、墓と、イエスの遺体が納められた様子
とを見た。
56 そこで彼らは帰って来て、香料と香油を用意し、
戒めに従って安息日を休んだ。

第 24 章

1 さて、週の初めの日に、朝早く、彼女たちは準備し
ておいた香料と他のいくつかの物を持って墓に来た。
2 すると、石が墓から転がしてあるのが見つかった。
3 彼らは中に入ってみたが、主イエスの遺体は見つか
らなかった。
4 彼らがそのことで非常に困惑していたとき、見よ、
輝く衣を着た二人の人が彼らのそばに立っていた。
5 彼らが恐れて、地に顔を伏せていると、彼らは言っ
た、「なぜ、生きている方を死人の中に捜すのです
か。
6 彼は、ここにはおられない。復活されたのだ。ガリ
ラヤにおられたとき、あなたたちに語られたことを
思い出しなさい。
7 すなわち、人の子は必ず罪人たちの手に引き渡され、
十字架につけられ、そして三日目によみがえるので
ある。
8 そして彼らは彼の言葉を思い出しました、
9 そして、墓から帰ってきて、これらのことを十一人
と残りの人たち全員に話した。
10 これらのことを使徒たちに告げたのは、マグダラ
のマリア、ヨハナ、ヤコブの母マリア、および彼女
たちと一緒にいた他の婦人たちであった。
11 彼らの言葉は彼らには空想話のように思われ、彼
らはそれを信じなかった。

12 するとペテロは立ち上がり、墓へ走って行き、身
をかがめて亜麻布が置いてあるのを見て、この出来
事に心底驚きながら立ち去った。
13 すると、二人の弟子がその日のうちに、エルサレ
ムから六十スタディオンほど離れたエマオという村
へ出かけた。
14 彼らは、起こったすべての出来事について話し合
った。
15 彼らが語り合ったり論じ合ったりしていると、イ
エスご自身が近づいて来て、彼らと一緒に歩き始め
た。
16 しかし、彼らの目は閉ざされていて、イエスを認
めることができなかった。
17 そこでイエスは彼らに言われた、「歩きながら悲
しみながら互に語り合うその話は、いったい何のこ
とか。
18 すると、彼らのうちのひとりで、名をクレオパと
いう者が答えて言った。「あなたはエルサレムに寄
留しているだけで、このごろそこで起こったことを
ご存じないのですか。
19 そこでイエスは彼らに言われた、「何のことです
か」。彼らは答えた、「ナザレ人イエスのことです。
この方は神とすべての民の前で、行いにも言葉にも
力ある預言者でした。
20 そして、祭司長たちと私たちの指導者たちは、彼
を死刑に処すために引き渡し、十字架につけました。
21 しかし、私たちは、イスラエルを贖うのは彼であ
ると信じていました。それだけでなく、これらのこ
とが行われてから今日で三日目です。
22 そうです、私たちの仲間のある婦人たちも、墓に
早く着いて私たちを驚かせました。
23 ところが、イエスの遺体が見つからなかったので、
彼らは来て、イエスが生きていると告げる天使たち
の幻も見たと報告した。
24 私たちと一緒にいたある人たちが墓に行ってみる
と、女たちが言ったとおりであった。しかし、イエ
スは見えなかった。
25 そこでイエスは彼らに言われた。「ああ、愚かな
人たち、心の鈍い人たち、預言者たちが語ったすべ
てのことを信じない人たち。
26 キリストはこれらの苦しみを受けて、その栄光に
入るべきではなかったでしょうか。
27 そして、モーセとすべての預言者から始めて、聖
書全体にわたって、ご自身について書かれているこ
とを彼らに説明された。
28 彼らは向かっていた村に近づいたが、イエスはも
っと先へ進んで行かれる様子だった。
29 しかし彼らはイエスを無理やり引き留めて言った、
「わたしたちと一緒に泊まっていてください。もう
夕方ですし、日も傾いていますから」。イエスは彼
らと一緒に泊まるために家に入って行った。
30 彼らと一緒に食事をしていたとき、イエスはパン
を取り、祝福して裂き、彼らに与えた。
31 すると、彼らの目が開けて、イエスだと分かった。
しかし、イエスは彼らの目から消え去った。
32 彼らは互いに言った。「道で話しながら、聖書を
説き明かしてくださったとき、わたしたちの心は内
に燃えていなかったか。」
33 そこで彼らはすぐに起きてエルサレムに帰って来
て、十一人の弟子たちと彼らと一緒にいた者たちが
集まっているのを見た。
34 「主は確かに復活して、シモンに現れたので
す。」
35 そして、彼らは道中で起こったことや、パンを裂
くときにイエスが彼らに知られたことを話した。
36 彼らがこのように話していると、イエス御自身が
彼らの真ん中に立ち、「平安があなた方にあるよう
に」と言われた。
37 しかし、彼らは非常に恐れおののき、霊を見てい
るのだと思った。
38 そこでイエスは彼らに言われた、「なぜ不安にな
るのか。なぜ心に思いが起るのだろうか。
39 わたしの手や足を見てください。まさしくわたし
です。さわって見てください。霊には肉や骨はあり
ませんが、あなたがたが見るとおり、わたしは持っ
ています。
40 こう言ってから、イエスは彼らに手と足をお見せ
になった。
41 彼らが喜びのあまりまだ信じず、不思議に思って
いると、イエスは彼らに言われた。「ここに何か食
べ物がありますか。」
42 そして彼らは焼いた魚の一切れと蜂の巣の一切れ
を彼に与えた。
43 彼はそれを取って、彼らの前で食べた。
44 そしてイエスは彼らに言われた、「これは、わた
しがまだあなたがたと一緒にいたころ、あなたがた
に話しておいた言葉である。わたしについてモーセ
の律法と預言者と詩篇に書いてあることは、みな必
ず成就するであろう」。
45 そこでイエスは彼らの心を開いて、聖書を悟らせ、
46 彼らに言われた、「こう書いてある。キリストは
苦しみを受け、三日目に死人の中からよみがえるは
ずであった。
47 そして、エルサレムから始まって、すべての国々
に、その名によって悔い改めと罪の赦しが宣べ伝え
られるようになるためです。
48 あなたがたはこれらの事の証人です。
49 見よ、わたしは父の約束をあなたがたに送る。し
かし、上から力が与えられるまでは、エルサレムの
町にとどまっていなさい。
50 そして、イエスは彼らをベタニアまで連れて行き、
両手を上げて祝福された。
51 そして、イエスが彼らを祝福している間に、イエ
スは彼らから離れて天に上げられた。
52 彼らはイエスを拝み、大喜びでエルサレムに帰っ
た。
53 そして、彼らは絶えず神殿で神を賛美し、祝福し
ていた。アーメン。

ジョン

第 1 章

1 初めに言葉があった。言葉は神と共にあった。言葉
は神であった。
2 初めに神と共にあったのはこの御方である。
3 すべてのものは彼によって造られた。造られたもの
のうち、一つとして彼によらないものはなかった。
4 彼のうちに命があった。その命は人々の光であった。
5 光は暗黒の中に輝く。しかし、暗黒はそれを理解で
きなかった。
6 神から遣わされた人がいた。その名はヨハネであっ
た。
7 彼は証人として来た。光について証しをし、すべて
の人が彼によって信じるようになるためである。
8 彼はその光ではありませんでしたが、その光につい
て証しするために遣わされました。
9 それはまことの光であって、世に来るすべての人を
照らすものである。
10 彼は世におり、世は彼によって造られたが、世は
彼を知らなかった。
11 彼は自分の民のところに来たが、自分の民は彼を
受け入れなかった。
12 しかし、彼を受け入れた人々、すなわち、彼の名
を信じた人々には、神の子どもとされる権威を与え
られた。
13 彼らは血によってではなく、肉の欲求によってで
もなく、また人の意欲によってでもなく、ただ神に
よって生まれたのです。
14 そして、御言は肉となって、私たちの間に住まわ
れた。私たちはその栄光を見た。それは父の独り子
としての栄光であり、恵みと真理に満ちていた。
15 ヨハネは彼について証言し、叫んで言った。「わ
たしが『わたしの後から来られる方は、わたしより
もすぐれている。わたしよりも先におられた』と言
ったのは、この人のことである。」
16 わたしたちは皆、彼の満ちあふれる豊かさの中か
ら、恵みの上にさらに恵みを受けたのです。
17 律法はモーセによって与えられたが、恵みと真実
はイエス・キリストによってもたらされた。
18 いまだかつて神を見た者はいない。父の懐にいる
独り子だけが神を示したのである。
19 ユダヤ人たちがエルサレムから祭司たちとレビ人
たちをヨハネに遣わして、「あなたはどなたです
か」と尋ねさせたとき、ヨハネはこう証言した。
20 彼は告白して否定せず、むしろ告白して、「私は
キリストではありません」と言った。
21 そこで彼らはイエスに尋ねた、「それでは、あな
たは何者ですか。あなたはエリヤですか。」彼は言
った、「違います。あなたはあの預言者ですか。」
彼は答えた、「いいえ。」
22 そこで彼らはイエスに言った、「あなたはどなた
ですか。わたしたちをつかわした人たちに答えよう。
あなた自身について何と言っていますか」。
23 彼は言った、「わたしは荒野で叫ぶ者の声である。
預言者イザヤが言ったように、主の道をまっすぐに
せよ。」
24 遣わされた者たちはパリサイ人であった。
25 そこで彼らは尋ねて言った、「それでは、あなた
はキリストでも、エリヤでも、またあの預言者でも
ないのなら、なぜバプテスマを授けるのですか。」
26 ヨハネは彼らに答えて言った、「わたしは水でバ
プテスマを授けているが、あなたがたの知らない方
が、あなたがたの中に立っておられる。
27 わたしのあとに来られる方は、わたしよりもすぐ
れている。わたしはその方のくつのひもを解く値う
ちもない。
28 これらのことは、ヨルダン川の向こう側にあるベ
タバラで起こった。ヨハネがそこでバプテスマを授
けていたのである。
29 その翌日、ヨハネはイエスが自分の方に来るのを
見て言った、「見よ、世の罪を取り除く神の小羊」。
30 わたしが、「わたしの後から来る方は、わたしよ
りもすぐれている。わたしよりも先におられた方で
ある」と言ったのは、この人のことである。
31 わたしは彼を知らなかった。しかし、彼がイスラ
エルに現れるために、わたしは水でバプテスマを授
けに来たのである。
32 ヨハネは証しして言った、「わたしは、御霊が鳩
のように天から下って、彼の上にとどまるのを見
た。」
33 わたしはその方を知らなかった。しかし、水でバ
プテスマを授けるためにわたしをつかわされた方が、
わたしに言われた。「御霊が下ってその人の上にと
どまるのを見たなら、その人こそ聖霊によってバプ
テスマを授ける方である。」
34 そしてわたしは見た、そしてこの人は神の子であ
ると証しした。
35 その翌日、ヨハネは弟子たちのうちの二人とまた
立っていた。
36 そして、歩いておられるイエスを見て、彼は言っ
た、「見よ、神の小羊だ。」
37 二人の弟子は彼の言うことを聞いて、イエスに従
った。
38 すると、イエスは振り向いて、彼らがついてくる
のを見て言われた、「何を求めているのか」。彼ら
はイエスに言った、「ラビ（訳せば、先生）、どこ
にお住まいですか」。
39 イエスは彼らに言われた、「来て見なさい」。彼
らは来て、イエスの住んでおられる所を見て、その
日はイエスのもとに泊まった。それは午後十時ごろ
であった。
40 ヨハネの話を聞いて従った二人のうちの一人は、
シモン・ペテロの兄弟アンデレであった。
41 彼はまず自分の兄弟シモンを見つけて言った。
「わたしたちはメシア、訳せばキリストに出会っ
た。」

42 そして、彼はシモンをイエスのもとに連れて来た。
イエスは彼を見て言われた、「あなたはヨハネの子
シモンである。あなたはケパと呼ばれるであろう。
これは、訳せば石である」。
43 その翌日、イエスはガリラヤへ出かけようとし、
フィリポを見つけて言われた、「わたしに従いなさ
い」。
44 フィリポは、アンデレとペテロの町ベツサイダの
出身であった。
45 フィリポはナタナエルを見つけて言った。「私た
ちは、モーセが律法に書き、預言者たちが書いた人、
ナザレのヨセフの子イエスを見つけました。」
46 ナタナエルはピリポに言った、「ナザレから何か
良いものが出るでしょうか。」 ピリポは彼に言った、
「来て見なさい。」
47 イエスはナタナエルが自分の方に来るのを見て、
彼について言われた。「見よ、本当にイスラエル人
だ。この人の内には偽りがない。」
48 ナタナエルはイエスに言った、「どうしてわたし
をご存じですか」。イエスは答えて言われた、「ピ
リポがあなたを呼ぶ前に、あなたがいちじくの木の
下にいたのを、わたしは見ていた」。
49 ナタナエルは答えて言った、「ラビ、あなたは神
の子です。あなたはイスラエルの王です。」
50 イエスは答えて言われた、「わたしはあなたをい
ちじくの木の下に見たと言ったので信じるのか。あ
なたはこれよりもさらに大きなことを見ることにな
るであろう」。
51 するとイエスは言われた、「よくよくあなたに告
げます。これから後、天が開けて、神の御使いたち
が人の子の上に上り下りするのを、あなたがたは見
るでしょう。」

第 2 章

1 三日目にガリラヤのカナで婚礼があって、イエスの
母もそこにいた。
2 そして、イエスとその弟子たちは、その婚礼に招か
れた。
3 ぶどう酒が足りなくなったとき、イエスの母はイエ
スに、「ぶどう酒がありません」と言った。
4 イエスは彼女に言われた、「婦人よ、わたしとあな
たとに何の係わりがあるのですか。わたしの時はま
だ来ていません。」
5 母は僕たちに言った。「あの人があなたたちに言う
ことは何でもしてください。」
6 そこには、ユダヤ人の清めの慣例に従って、それぞ
れ二、三立方メートルの容量の石の水がめが六つ置
かれていた。
7 イエスは彼らに言われた、「水がめに水を満たし
なさい」。そこで彼らは縁まで満たした。
8 そこでイエスは彼らに言われた、「さあ、それを汲
んで、宴会の世話役のところに持って行きなさい」。
そこで彼らはそれを運んだ。
9 宴会の世話役は、ぶどう酒になった水をなめたが、
それがどこから来たのか知らなかった。しかし、水
を汲んだ召使たちは知っていた。そこで、宴会の世
話役は花婿を呼び、
10 彼に言った、「人はみな、初めに良いぶどう酒を
出し、人々が酔いが深まると、もっと悪いものを出
すものです。しかし、あなたは良いぶどう酒を今ま
で取っておかれました」。
11 イエスはこの最初の奇跡をガリラヤのカナで行い、
その栄光を現された。そして弟子たちはイエスを信
じた。
12 この後、イエスは母、兄弟たち、弟子たちととも
にカペナウムに下って行き、何日かそこに滞在され
た。
13 さて、ユダヤ人の過越祭が近づいたので、イエス
はエルサレムへ上って行かれた。
14 そして、神殿の中で牛や羊や鳩を売っている者た
ちと、両替をする者たちが座っているのを見た。
15 そして、細い縄でむちを作り、羊や牛をみな神殿
から追い出し、両替人の金をまき散らし、台を倒し
た。
16 そして鳩を売っている者たちに言った。「これら
のものを持ってここから行きなさい。わたしの父の
家を商売の家としてはならない。」
17 弟子たちは、「あなたの家に対する熱心がわたし
を食い尽くしました」と書いてあるのを思い出した。
18 そこで、ユダヤ人たちは答えて言った、「あなた
は、このようなことをするのですが、どんなしるし
をわたしたちに見せているのですか」。
19 イエスは答えて彼らに言われた、「この神殿を壊
せ。そうすれば、三日のうちにわたしはそれを建て
直す。」
20 そこでユダヤ人たちは言った。「この神殿は建て
るのに四十六年もかかったのに、あなたは三日で建
て直すのですか。
21 しかし、イエスはご自分の体である神殿について
語られたのです。
22 それで、イエスが死人の中からよみがえられたと
き、弟子たちはイエスがこう言われたことを思い出
し、聖書とイエスが言われた言葉とを信じた。
23 さて、過越の祭りの日にイエスがエルサレムにお
られたとき、イエスが行われた奇跡を見て、多くの
人がイエスの名を信じた。
24 しかしイエスは、すべての人を知っておられたの
で、彼らに自分を委ねることはされなかった。
25 そして、人について証言する者を必要としなかっ
た。なぜなら、彼は人の内に何があるのかを知って
いたからである。

第 3 章

1 パリサイ人に属し、ユダヤ人の指導者でニコデモと
いう人がいました。
2 この人が夜、イエスのもとに来て言った。「ラビ、
私たちはあなたが神から来られた教師であることを

知っています。神が共におられないかぎり、だれも
あなたがなさるような奇跡を行うことはできないか
らです。」
3 イエスは答えて言われた、「よくよくあなたに告げ
ます。人は新しく生まれなければ、神の国を見るこ
とはできません。」
4 ニコデモはイエスに言った、「人は年をとっても、
どうして生まれることができましょうか。もう一度
母の胎内に入って生まれることができましょう
か。」
5 イエスは答えられた。「よくよくあなたに告げます。
人は水と霊とから生まれなければ、神の国に入るこ
とはできません。」
6 肉から生まれた者は肉であり、霊から生まれた者は
霊です。
7 あなたがたは新しく生まれなければならないとわた
しが言ったことを不思議に思ってはならない。
8 風は思いのままに吹き、その音は聞こえるが、どこ
から来て、どこへ行くのかは分からない。御霊によ
って生まれた者も皆、そのようである。
9 ニコデモは答えて言った、「どうしてそんなことが
起こり得るのですか。」
10 イエスは答えて言われた、「あなたはイスラエル
の教師でありながら、これらのことが分からないの
か。
11 よくよくあなたに告げます。わたしたちは知って
いることを語り、見たことを証言します。しかし、
あなたがたはわたしたちの証言を受け入れません。
12 わたしが地上のことを話しても、あなたがたは信
じないのなら、天上のことを話しても、どうして信
じるだろうか。
13 そして、だれも天に上った者はいない。ただ、天
から下って来た者、すなわち、天におられる人の子
だけが上ったのである。
14 モーセが荒野で蛇を上げたように、人の子も上げ
られなければなりません。
15 それは、御子を信じる者が一人も滅びないで、永
遠の命を得るためである。
16 神はその独り子をお与えになったほどに、世を愛
された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永
遠の命を得るためである。
17 神が御子を世に遣わされたのは、世を裁くためで
はなく、御子によって世が救われるためである。
18 彼を信じる者は罪に定められません。しかし、信
じない者はすでに罪に定められています。神の独り
子の名を信じなかったからです。
19 光が世に来たのに、人々はその行いが悪いので、
光よりも暗やみを愛した、これが裁きである。
20 悪を行う者はみな光を憎み、また、自分の行いが
明らかにされるのを恐れて、光に来ない。
21 しかし、真理を行う者は光に来る。それは、その
行いが神によってなされたものであることが明らか
になるためである。
22 これらのことがあった後、イエスは弟子たちとユ
ダヤの地に行き、そこで彼らと一緒に滞在してバプ
テスマを授けた。
23 ヨハネもサリムに近いアイノンでバプテスマを授
けていた。そこには水が多かったからである。人々
は来てバプテスマを受けた。
24 ヨハネはまだ獄に入れられていなかったからであ
る。
25 そのとき、ヨハネの弟子たちとユダヤ人たちの間
に、清めのことについて論争が起こった。
26 彼らはヨハネのもとに来て言った。「ラビ、ヨル
ダン川の向こうであなたと一緒にいた人、あなたが
証言した人が、バプテスマを授けており、皆が彼の
ところに来ています。
27 ヨハネは答えて言った、「人は天から与えられな
ければ、何も受けることはできない。」
28 あなたがた自身が、わたしが『わたしはキリスト
ではない。しかし、わたしは彼より先に遣わされた
者である』と言ったことを証言しています。
29 花嫁を迎える者は花婿である。花婿の友人は立っ
て花婿の声を聞いて大いに喜ぶ。こうしてわたしの
喜びは満たされる。
30 彼は必ず成長し、わたしは必ず衰えなければなり
ません。
31 上から来た者は、すべてのものの上におられます。
地から出た者は、地に属し、地のことを語ります。
天から来た者は、すべてのものの上におられます。
32 彼は見たこと、聞いたことを証言するが、その証
言を受け入れる者はいない。
33 彼の証言を受けた者は、神が真実であることをそ
の証印に押印したのです。
34 神が遣わした者は、神の言葉を語る。神は彼に御
霊を量り分けて与えてはおられないからである。
35 父は子を愛して、すべてのものを子の手に渡され
た。
36 御子を信じる者は永遠の命を得る。御子を信じな
い者は命を見ることがなく、神の怒りがその上にと
どまる。

第 4 章

1 それで、イエスがヨハネよりも多くの弟子をつくり、
洗礼を授けていることをパリサイ人たちが聞いてい
たことを主は知って、
2（イエスご自身が洗礼を授けたのではなく、弟子た
ちが授けたのである。）
3 イエスはユダヤを去って、再びガリラヤへ行かれた。
4 そして彼はサマリアを通らなければならなかった。
5 それから彼は、ヤコブがその息子ヨセフに与えた土
地の近くにある、サマリアのシカルという町に着い
た。
6 そこにヤコブの井戸があった。イエスは旅に疲れて、
井戸のそばに座っておられた。時は午後三時ごろで
あった。

7 サマリアの女が水をくみに来た。イエスは彼女に言
われた。「水を飲ませてください。」
8（弟子たちは食物を買うために町へ出かけていたか
らである。）
9 すると、サマリアの女はイエスに言った。「あなた
はユダヤ人なのに、どうしてサマリアの女のわたし
に、水を飲ませてほしいとおっしゃるのですか。ユ
ダヤ人はサマリア人とは縁戚関係にないのです。」
10 イエスは答えて言われた、「もしあなたが神の賜
物のことを知っており、また、『水を飲ませてくだ
さい』と言った者がだれであるか知っていたなら、
あなたはその人に願い、その人はあなたに生ける水
を与えたであろう。
11 女はイエスに言った。「ご主人様、汲む物をお持
ちではありませんし、井戸は深いのです。それでは、
その生ける水をどこから手に入れたのですか。」
12 あなたは、わたしたちの父ヤコブよりも偉いので
すか。ヤコブはわたしたちにこの井戸を与え、自分
も、その子供たちも、家畜たちも、そこから水を飲
んだのです。
13 イエスは答えて言われた、「この水を飲む者は、
また渇くであろう。
14 しかし、わたしが与える水を飲む者は、いつまで
も、渇くことがない。わたしが与える水は、その人
のうちで泉となり、永遠の命に至る水がわきあがる
であろう。
15 女はイエスに言った。「主よ、この水を下さい。
そうすれば、わたしは渇くことがなくなり、ここに
汲みに来ることもなくなります。」
16 イエスは彼女に言われた。「行って、あなたの夫
を呼んで、ここへ来なさい。」
17 女は答えて言った、「わたしには夫がいません」。
イエスは言われた、「あなたが言ったとおりだ、
『わたしには夫がいません』。
18 あなたには五人の夫がいたが、今の彼はあなたの
夫ではない。あなたが言ったことは真実だ。
19 女はイエスに言った。「主よ、わたしはあなたが
預言者であることを認めます。」
20 私たちの先祖はこの山で礼拝しました。それなの
に、あなたたちはエルサレムこそ礼拝すべき場所だ
と言っているのです。
21 イエスは彼女に言われた。「婦人よ、わたしを信
じなさい。あなたがたがこの山でもエルサレムでも
ないところで、父を礼拝する時が来ます。」
22 あなたがたは知らないうちに礼拝しているが、わ
たしたちは何を礼拝しているか知っている。救いは
ユダヤ人から来るからである。
23 しかし、まことの礼拝者たちが霊と真理をもって
父を礼拝する時が来ます。そして今がその時です。
父はそのような礼拝者を求めておられるのです。
24 神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊と真理を
もって神を礼拝しなければなりません。
25 女はイエスに言った。「私は、キリストと呼ばれ
るメシアが来られることを知っています。その方が
来られると、すべてのことを私たちに知らせてくだ
さるでしょう。」
26 イエスは彼女に言われた。「あなたと話している
この私がそれです。」
27 すると弟子たちが来て、イエスが女と話しておら
れることに驚いた。しかし、だれも、「何を求めて
いるのですか」とか、「なぜ彼女と話しておられる
のですか」とは言わなかった。
28 そこで女は水がめを置いて町へ行き、人々に言っ
た。
29 さあ、見なさい。わたしのしたことをすべて言い
当てた人がいます。この人はキリストではありませ
んか。
30 そこで彼らは町を出て、イエスのもとに来た。
31 その間、弟子たちはイエスに祈って言った。「先
生、食べてください。」
32 しかしイエスは彼らに言われた。「わたしには、
あなたがたの知らない食べ物がある。」
33 そこで、弟子たちは互いに言った、「だれか、彼
に食べ物を持ってきた者がいるか」。
34 イエスは彼らに言われた、「わたしの食物は、わ
たしをつかわした方の御旨を行い、その御業を成し
遂げることである。」
35 あなたがたは、『まだ四か月あるから収穫期は来
る』と言っているではないか。見よ、わたしはあな
たがたに言う。目を上げて畑を見なさい。すでに白
くなって収穫を待っている。
36 刈る者は報酬を受け、永遠の命に至る実を集める。
こうして蒔く者と刈る者とは共に喜ぶのである。
37 そして、ここに、「ひとりが種を蒔けば、ほかの
人が刈り取る」ということわざが真実である。
38 わたしは、あなたがたが労苦しなかったものを刈
り取るために、あなたがたを遣わした。ほかの人々
が労苦し、あなたがたはその労苦に加わったのであ
る。
39 そして、その町のサマリア人の多くは、女の言葉
を信じた。女は、「あの人は、わたしのしたことを
すべて言い当てたのです」と証言した。
40 そこで、サマリア人たちはイエスのもとに来て、
自分たちと一緒に滞在して欲しいと頼んだ。そこで
イエスはそこに二日間滞在した。
41 そして、イエスご自身の言葉を聞いて、さらに多
くの人が信じた。
42 そして女に言った。「私たちは今信じています。
あなたの言葉によるのではありません。私たち自身
も聞いて、この人が確かにキリスト、世の救い主で
あると知ったのです。」
43 二日後、イエスはそこから立ち去って、ガリラヤ
へ行かれた。
44 イエスは自ら、「預言者は自分の故郷では尊敬さ
れない」と証言されました。
45 それから、イエスがガリラヤに着かれると、ガリ
ラヤの人々はイエスを迎え入れた。彼らは祭りのと
き、エルサレムでイエスがなさったことをすべて見

ていたからである。彼らも祭りに出かけていたのである。
46 それで、イエスは再びガリラヤのカナに来られた。カナでは、水をぶどう酒に変えておられた。カペナウムに、病気の息子を持つある貴族がいた。
47 彼は、イエスがユダヤからガリラヤに来られたと聞いて、イエスのもとに行き、下って来て息子を癒して下さるようにと願った。息子は死に瀕していたからである。
48 するとイエスは彼に言われた、「あなたがたは、しるしと不思議とを見なければ、決して信じないであろう。」
49 貴族の男は彼に言った。「旦那様、私の子供が死ぬ前に下って来てください。」
50 イエスは彼に言われた、「行きなさい。あなたの息子は生きています。」男はイエスが言われた言葉を信じて、立ち去った。
51 彼が下って行く途中、家来たちが彼に会い、「あなたの息子は生きています」と告げた。
52 そこで、イエスは彼らに、熱が治り始めた時刻を尋ねられた。彼らは答えた。「昨日の午後七時に熱が下がりました。」
53 それで、父親は、イエスが「あなたの息子は生きている」と言われたのとちょうど同じ時刻であったことを知った。そして、父親自身も家族全員も信じた。
54 これはまた、イエスがユダヤからガリラヤに来たときに行われた二番目の奇跡である。

第 5 章

1 その後、ユダヤ人の祭りがあったので、イエスはエルサレムへ上って行かれた。
2 さて、エルサレムの羊の市場のそばに、ヘブル語でベテスダと呼ばれる池があり、そこには五つの廊がありました。
3 そこには、大勢の障害者、盲人、足の不自由な人、体の弱い人が横たわり、水が動くのを待っていた。
4 というのは、ある時、御使いが池に降りて来て、水を動かすと、水が動いた後、最初に池に入った者は、どんな病気にかかっていても癒されたからである。
5 そこに、三十八年間も病気を患っている人がいた。
6 イエスは彼が横たわっているのを見て、また、もう長い間横たわっているのを知って、彼に言われた、「あなたは良くなりたいのか」。
7 病気の人はイエスに答えた。「主よ、水が動くとき、私を池に入れてくれる人がいません。私が行くと、ほかの人が先に降りて行くのです。」
8 イエスは彼に言われた。「起き上がり、床を取り上げて歩きなさい。」
9 すると、その人はすぐに治り、床を取り上げて歩き出した。その日は安息日であった。
10 そこでユダヤ人たちは、病気を治してもらった人に言った。「今日は安息日です。床を運ぶのは律法で禁じられています。」
11 イエスは彼らに答えられた。「わたしをいやしてくださった方が、わたしに『床を取り上げて歩きなさい』と言われました。」
12 そこで彼らはイエスに尋ねた。「床を取り上げて歩きなさい、とあなたに言ったのはだれですか。」
13 癒された人はそれがだれであるかを知らなかった。群衆がその場所にいたのに、イエスは立ち去られたからである。
14 その後、イエスは神殿で彼を見つけて言われた、「見よ、あなたは癒された。もう罪を犯してはならない。そうでないと、もっと悪いことがあなたに起こるであろう。」
15 その人は立ち去って、自分をいやしたのはイエスであるとユダヤ人たちに告げた。
16 そこで、ユダヤ人たちは、イエスが安息日にこのようなことをしたので、イエスを迫害し、殺そうとした。
17 しかし、イエスは彼らに答えて言われた、「わたしの父は今も働いておられる。だからわたしも働くのだ。」
18 それで、ユダヤ人たちは、イエスが安息日を破ったばかりでなく、神を自分の父と称して、自分を神と等しい者としたので、ますますイエスを殺そうとした。
19 すると、イエスは答えて彼らに言われた、「よくよくあなたがたに言っておく。子は父のなさることを見てする以外には、自分からは何事もすることができない。父のなさることは何でも、子も同じようにするのである。」
20 父は子を愛して、御自身がなさる事をみな子にお示しになる。また、あなたがたが驚く為に、これよりもさらに大きなわざを子にお示しになるであろう。
21 父が死人をよみがえらせて生かされるように、子もまた御心のままに者を生かして下さるのです。
22 父はだれをも裁かず、すべての裁きを子にゆだねられた。
23 それは、すべての人が父を敬うのと同じように、子をも敬うようになるためです。子を敬わない者は、子をつかわされた父をも敬いません。
24 よくよくあなたがたに告げます。わたしの言葉を聞いて、わたしをつかわした方を信じる者は、永遠の命を持ち、また裁きを受けません。その人は死から命に移っているのです。
25 よくよくあなたがたに告げます。死人が神の子の声を聞く時が来ます。今がその時です。そして、聞く者は生きるでしょう。
26 父がご自分のうちに命を持っておられるように、子にも、自分のうちに命を持つことをお与えになったのです。
27 そして、神は、人の子であるから、裁きを執行する権威をもお与えになったのです。
28 このことを不思議に思うな。墓の中にいるすべての者が彼の声を聞く時が来るのだ。

29 そして、善を行なった者は、命の復活に出て来ま
す。また、悪を行なった者は、滅びの復活に出て来
ます。
30 わたしは自分からは何事もすることができない。
わたしは聞くとおりに裁く。そして、わたしの裁き
は正しい。わたしは自分の意志ではなく、わたしを
つかわした父の意志を求めているからである。
31 もしわたしが自分自身について証言するなら、わ
たしの証言は真実ではない。
32 わたしについて証言する者はほかにいます。そし
て、彼がわたしについて証言する証言が真実である
ことを、わたしは知っています。
33 あなたがたはヨハネのもとに人を遣わした。そし
て彼は真理について証言した。
34 しかし、わたしは人からの証言を受け入れません。
ただ、あなたがたが救われるために、これらのこと
を言うのです。
35 彼は燃えて輝く光であった。そして、あなたたち
はしばらくの間、彼の光を喜ぼうと望んでいた。
36 しかし、わたしにはヨハネの証言よりも大きな証
言がある。父がわたしに成し遂げさせようとお与え
になったわざ、すなわち、わたしが行っているその
わざが、父がわたしをつかわされたことについて証
言しているのである。
37 そして、わたしをつかわした父御自身が、わたし
について証ししておられます。あなたがたは、父の
声を聞いたこともなく、その姿を見たこともありま
せん。
38 そして、神の言葉はあなたがたのうちにとどまっ
ていません。神が遣わした者を、あなたがたは信じ
ないからです。
39 聖書を調べなさい。あなたたちは聖書の中に永遠
の命があると考えていますが、聖書はわたしについ
て証ししているのです。
40 しかし、あなたがたは命を得るためにわたしのも
とに来ようとしない。
41 私は人々から名誉を受けません。
42 しかし、わたしはあなたがたのうちに神の愛がな
いことを知っています。
43 わたしは父の名によって来たのに、あなたがたは
わたしを受けいれようとしない。もし別の者が彼自
身の名によって来るなら、その人を受けいれるであ
ろう。
44 あなたがたは、互いに誉れを受けながら、ただ神
から来る誉れだけを求めないのに、どうして信じる
ことができようか。
45 わたしが父に対してあなたがたを訴えるなどと思
ってはなりません。あなたがたを訴える者は、あな
たがたが信頼しているモーセなのです。
46 もしあなたがたがモーセを信じていたなら、わた
しも信じたであろう。モーセはわたしについて書い
たのである。
47 しかし、もしあなたがたが彼の書いたものを信じ
ないなら、どうしてわたしの言葉を信じるだろうか。

第 6 章

1 これらのことの後、イエスはガリラヤ湖、すなわち
ティベリアス湖を渡られた。
2 大勢の群衆がイエスに従って来た。イエスが病人た
ちになさった奇跡を見たからである。
3 そこでイエスは山に登り、弟子たちと一緒にそこに
座られた。
4 ユダヤ人の祭りである過越祭が近づいた。
5 そのとき、イエスは目を上げて、大勢の群衆が自分
のところに来るのを見て、フィリポに言われた。
「この人たちに食べさせるパンを、どこで買えばよ
いでしょうか。」
6 イエスは彼を試すためにこう言われた。彼自身が、
彼が何をしようとしているかを知っていたからであ
る。
7 フィリポはイエスに答えた。「二百デナリのパンで
は、各自が少しずつ食べるには足りません。」
8 弟子のひとり、シモン・ペテロの兄弟アンデレがイ
エスに言った。
9 ここに、大麦のパン五つと、小さな魚二匹とを持っ
ている少年がいます。しかし、こんなに大勢の人た
ちには、何の役にも立ちません。
10 イエスは言われた、「人々を座らせなさい。」そ
の場所には草がたくさん生えていた。そこで人々は
五千人ほど座った。
11 イエスはパンを取り、感謝をささげてから、座っ
ている弟子たちに分け与えた。また、魚も同じよう
にして、彼らが望むだけ分け与えられた。
12 彼らが満腹したとき、イエスは弟子たちに言われ
た。「少しも無駄にならないように、残ったパンく
ずを集めなさい。」
13 そこで彼らはそれを集め、食べた者たちに残った
五つの大麦パンの残りを十二のかごにいっぱいにし
た。
14 すると人々は、イエスが行われた奇跡を見て、
「この人は、まことに世に来るべき預言者である」
と言った。
15 イエスは、人々が来て自分を無理やり連れ去り、
王にしようとしているのに気づき、またひとり山へ
行かれた。
16 夕方になってから、弟子たちは海へ下りて行った。
17 そこで彼らは舟に乗り、海を渡ってカペナウムへ
向かった。すでに暗くなっていたが、イエスは彼ら
のところに来られなかった。
18 そして、激しい風が吹いたために海が荒れた。
19 彼らが二十五、三十スタディオンほど漕ぎ進んだ
とき、イエスが海の上を歩いて舟に近づいて来るの
が見えたので、彼らは恐れた。
20 しかしイエスは彼らに言われた、「わたしだ。恐
れることはない。」
21 そこで彼らは喜んでイエスを舟に迎え入れた。す
ると舟はすぐに彼らの向かった地に到着した。
22 その翌日、海の向こう岸に立っていた群衆は、そ
こには、イエスの弟子たちが乗った一隻の舟のほか

には、一隻もないこと、また、イエスは弟子たちと
一緒にその舟に乗られず、弟子たちだけが出かけた
ことを見た。
23（しかし、主が感謝をささげられた後、ティベリ
アから他の小舟が、彼らが食事をした場所に近づい
て来た。）
24 群衆は、イエスがそこにおられず、弟子たちもい
ないのを見て、自分たちも船に乗って、イエスを捜
し求めながらカペナウムに来た。
25 彼らは海の向こう岸でイエスを見つけて言った。
「ラビ、いつここに来られたのですか。」
26 イエスは彼らに答えて言われた、「よくよくあな
たがたに告げます。あなたがたがわたしを捜してい
るのは、奇跡を見たからではなく、パンを食べて満
腹したからです。」
27 滅びる食物のためではなく、永遠の命に至る食物
のために働きなさい。その食物は、人の子があなた
がたに与えるものです。父なる神が人の子に印を押
したからです。
28 そこで彼らはイエスに言った、「わたしたちは神
のわざを行うために、何をしたらよいでしょうか」。
29 イエスは答えて彼らに言われた、「神がつかわし
た者を信じるということ、これが神のわざであ
る。」
30 そこで彼らはイエスに言った、「それでは、わた
したちが見てあなたを信じることができるように、
どんなしるしを見せてくださいますか。あなたは何
をなさるのですか」。
31 私たちの先祖は荒野でマナを食べました。聖書に
こう書いてあるとおりです。「神は彼らに天からの
パンを与えて食べさせた。」
32 するとイエスは彼らに言われた、「よくよくあな
たがたに告げます。モーセがあなたがたに天からの
パンを与えたのではなく、わたしの父があなたがた
に天からのまことのパンを与えるのです。」
33 神のパンとは、天から下って来て、世に命を与え
るものなのです。
34 そこで彼らはイエスに言った。「主よ、そのパン
をいつも私たちに与えてください。」
35 イエスは彼らに言われた、「わたしは命のパンで
ある。わたしに来る者は決して飢えることがなく、
わたしを信じる者は決して渇くことがない。」
36 しかし、わたしはあなたがたに言った、「あなた
がたもわたしを見たのに信じない」。
37 父がわたしに与えて下さる者は皆わたしに来るで
あろう。わたしに来る者をわたしは決して捨てない。
38 わたしが天から下って来たのは、自分の意志を行
なうためではなく、わたしを遣わした方のご意志を
行なうためである。
39 わたしをつかわされた父の御心は、父がわたしに
与えて下さったものを、わたしは一つも失うことが
なく、終りの日にそれをよみがえらせることである。
40 わたしをつかわした方の御心は、子を見て信じる
者が皆、永遠の命を得ることである。わたしはその
人を終りの日によみがえらせるであろう。
41 するとユダヤ人たちはイエスにつぶやいた。「わ
たしは天から降って来たパンである」とイエスが言
ったからである。
42 彼らは言った。「この方は、ヨセフの子イエスで
はないか。私たちはその父母を知っている。それな
のに、どうして『わたしは天から下って来た』と言
っているのか。」
43 そこでイエスは彼らに答えて言われた、「あなた
がたの間で不平を言うな。」
44 わたしをつかわした父が引き寄せてくださらなけ
れば、だれもわたしのところに来ることはできませ
ん。わたしは終りの日にその人をよみがえらせます。
45 預言者たちにこう書いてあります。「彼らはみな、
神から教えを受けるであろう。」父から聞いて学ん
だ者は皆、わたしのもとに来るのです。
46 だれも父を見たことはありません。ただ、神から
出た者だけが父を見たのです。
47 まことに、まことに、あなたがたに告げます。わ
たしを信じる者は永遠の命を持ちます。
48 わたしは命のパンです。
49 あなたがたの先祖は荒野でマナを食べたが、死ん
でしまった。
50 これは天から降って来たパンである。それを食べ
ると人は死なない。
51 わたしは天から下って来た生きたパンです。この
パンを食べる人は、いつまでも生きるでしょう。わ
たしが与えるパンは、世の命のために与えるわたし
の肉です。
52 そこでユダヤ人たちは互いに争って言った、「ど
うしてこの人は自分の肉を私たちに与えて食べさせ
るのか」。
53 するとイエスは彼らに言われた、「よくよくあな
たがたに告げます。人の子の肉を食べ、またその血
を飲まなければ、あなたがたの内に命はありませ
ん。」
54 わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、永遠
の命を得る。わたしはその人を終りの日によみがえ
らせる。
55 わたしの肉はまことに食物であり、わたしの血は
まことに飲み物である。
56 わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者はわたし
のうちにおり、わたしもその人のうちにいます。
57 生ける父がわたしをつかわし、わたしが父によっ
て生きているように、わたしを食べる者もわたしに
よって生きるのです。
58 これは天から降って来たパンである。あなたがた
の先祖が食べたマナのようなものではないが、この
パンを食べる者は永遠に生きるであろう。
59 イエスはカペナウムで会堂で教えながら、これら
のことを話された。
60 弟子たちのうち多くの者は、これを聞いて言った、
「これはひどい言葉だ。だれがそれを聞いていられ
ようか」。

61 イエスは弟子たちが心の中でつぶやいているのを知って、彼らに言われた。「このことであなたがたはつまずくのか。」
62 人の子が以前いた所に上って行くのをあなたがたが見たとしたら、どうなるでしょうか。
63 命を与えるのは霊である。肉は何の役にも立たない。わたしがあなたがたに話す言葉は霊であり、また命である。
64 しかし、あなた方の中には信じない者もいます。イエスは、信じない者がだれであるか、また、自分を裏切る者がだれであるかを、初めから知っておられたのです。
65 そこでイエスは言われた。「だから、わたしはあなたがたに言ったのです。わたしの父から許されなければ、だれもわたしのところに来ることはできない。」
66 その時から、弟子たちの多くは離れ去り、もはやイエスと行動を共にしなくなった。
67 そこでイエスは十二弟子に言われた、「あなたたちも去ろうとするのか。」
68 すると、シモン・ペテロが答えた。「主よ、わたしたちはだれのところに行きましょう。永遠の命の言葉を持っておられるのはあなたです。」
69 そして私たちは、あなたがキリスト、生ける神の子であると信じ、また確信しています。
70 イエスは彼らに答えられた。「わたしはあなたたち十二人を選んだではないか。あなたたちのうちの一人は悪魔だ。
71 イエスはシモンの子イスカリオテのユダのことを言われたのである。彼は十二人の一人で、イエスを裏切ろうとしていた者であった。

第 7 章

1 これらのことがあった後、イエスはガリラヤを歩き回られた。ユダヤ人たちがイエスを殺そうとしていたため、イエスはユダヤ国内を歩き回ろうとはされなかった。
2 さて、ユダヤ人の仮庵の祭りが近づいた。
3 そこで、兄弟たちはイエスに言った。「ここを去ってユダヤへ行きなさい。あなたの弟子たちも、あなたのなさるわざを見ることができるでしょう。」
4 だれでも、隠れて何かをしながら、公に知られようとする人はいません。もしあなたがこれらのことを行っているなら、あなた自身を世に知らせなさい。
5 兄弟たちも彼を信じなかったからである。
6 するとイエスは彼らに言われた、「わたしの時はまだ来ていない。しかし、あなたがたの時はいつでも来ている。」
7 世はあなたがたを憎むことはできません。しかし、わたしを憎みます。わたしが世の行いが悪いと証言するからです。
8 あなたがたはこの祭りに上って行きなさい。わたしはまだこの祭りには行きません。わたしの時はまだ満ちていないからです。
9 イエスはこれらの言葉を彼らに語り終えると、ガリラヤにとどまっておられた。
10 しかし、兄弟たちが祭りに上って行ったとき、イエスも公然とではなく、ひそかに上って行った。
11 そこで、ユダヤ人たちは祭りの期間中、イエスを捜して言った、「彼はどこにいるのか」。
12 民衆の中には彼について多くの不平があった。ある者は「彼は良い人だ」と言い、他の者は「いや、彼は民衆を欺いている」と言った。
13 しかし、ユダヤ人たちを恐れて、だれも彼について公然と語る者はいなかった。
14 さて、祭りの半ばごろ、イエスは神殿に上って教え始めた。
15 ユダヤ人たちは驚いて言った。「この人は、学んだことがないのに、どうして文学を知っているのか。」
16 イエスは彼らに答えて言われた、「わたしの教えはわたし自身のものではなく、わたしをつかわした方の教えである。」
17 神のみこころを行おうと思う者であれば、わたしの語っているこの教えが神からのものか、それとも、わたし自身から出たものかを知るであろう。
18 自分について語る者は自分の栄光を求めます。しかし、自分を遣わした方の栄光を求める者は真実であり、その人には不義がありません。
19 モーセはあなたたちに律法を与えたではないか。それなのに、あなたたちのうちのだれも律法を守っていないではないか。なぜわたしを殺そうとするのか。
20 群衆は答えて言った、「あなたは悪霊に取りつかれている。だれがあなたを殺そうとしているのですか」。
21 イエスは答えて彼らに言われた、「わたしが一つのわざをやったのに、あなたがたはみな驚いている。」
22 それで、モーセはあなたがたに割礼を授けた。それはモーセからではなく、先祖たちから受け継いだものである。あなたがたは安息日に人に割礼を施すのである。
23 モーセの律法を破らないために、安息日に人が割礼を受けるのなら、わたしが安息日に人を全く健全にしたからといって、あなたがたはわたしに怒るのか。
24 見かけによって裁かないで、正しい裁きをしなさい。
25 すると、エルサレムの人々のうちのある者は言った。「彼らが殺そうとしているのは、この人ではないか。」
26 しかし、見よ、彼は大胆に語るが、彼らは何も言わない。指導者たちは、この人がキリストであることを本当に知っているのだろうか。
27 しかし、私たちはこの人がどこから来たのか知っています。しかし、キリストが来られるとき、彼がどこから来たのかを知る者は誰もいません。

28 そのとき、イエスは宮で教えながら叫んで言われた、「あなたがたはわたしを知っており、わたしがどこから来たかも知っている。わたしは自分から来たのではなく、わたしをつかわした方は真実な方であるが、あなたがたはその方のことを知らない。」
29 しかし、わたしは神を知っている。わたしは神から出た者であり、神がわたしをつかわされたからである。
30 そこで、彼らはイエスを捕えようとしたが、イエスの時がまだ来ていなかったので、だれもイエスに手をかける者はいなかった。
31 すると、民衆の多くは彼を信じて言った、「キリストが来られるとき、この人が行った以上の奇跡を行うだろうか」。
32 パリサイ人たちは、人々がイエスについてこのようなことをつぶやいているのを聞いて、パリサイ人たちと祭司長たちは、下役たちをイエスを捕らえるために遣わした。
33 すると、イエスは彼らに言われた、「もうしばらく、わたしはあなたがたと一緒にいるが、その後、わたしをつかわした方のもとに行きます。」
34 あなたがたはわたしを捜しても、わたしを見つけることはできない。わたしがいる所に、あなたがたは来ることができない。
35 そこで、ユダヤ人たちは互いに言った。「あの人はどこへ行けば、わたしたちはあの人を見つけることができないのか。異邦人の間に散らされている人々のところへ行って、異邦人を教えようとするのか。」
36 「あなたがたはわたしを捜しても、わたしを見つけることはできない。わたしのいる所に、あなたがたは来ることができない」とイエスが言われたのは、どういう意味ですか。
37 祭りの終わりの日、すなわち大いなる日に、イエスは立ち上がって叫んで言われた。「だれでも渇いているなら、わたしのところに来て飲みなさい。」
38 わたしを信じる者は、聖書に書いてあるとおり、その人の心の奥から生ける水が川となって流れ出るであろう。
39（しかし、これは、イエスを信じる者が受けようとしている御霊のことを言ったのである。聖霊はまだ与えられていなかった。イエスがまだ栄光を受けておられなかったからである。）
40 それで、この言葉を聞いた多くの民衆は、「確かに、この人は預言者だ」と言った。
41 ほかの人々は、「この人はキリストだ」と言った。しかし、ある人々は、「キリストはガリラヤから来るのだろうか」と言った。
42 聖書は、「キリストはダビデの子孫であり、ダビデのいたベツレヘムの町から来る」と書いてあるではないか。
43 それで、彼のために民の間に分裂が起こった。
44 彼らのうちのある者は彼を捕えようとしたが、だれも彼に手を掛けることができなかった。
45 そこで、下役たちは祭司長たちとパリサイ人たちのもとに来て言った、「なぜ彼を連れて来ないのか」。
46 下役たちは答えた。「この人のように話した人は、これまで一人もいません。」
47 するとパリサイ人たちは答えた、「あなたたちも騙されているのか。」
48 役人たちやパリサイ人たちの中に、彼を信じた者がいたか。
49 しかし、律法を知らないこの民は呪われているのです。
50 ニコデモは彼らに言った。「彼らのうちの一人で、夜イエスのもとに来た者であったが、
51 わたしたちの律法は、人の言うことを聞いて、その人が何をしているかを知る前に、その人を裁くでしょうか。
52 彼らは答えて言った、「あなたもガリラヤ人なのか。調べて見なさい。ガリラヤからは預言者は出ないから。」
53 そして、人々はそれぞれ自分の家に帰って行った。

第 8 章

1 イエスはオリーブ山へ行かれた。
2 朝早く、イエスはまた宮に入り、民衆が皆彼のもとに来たので、イエスは座って彼らに教えられた。
3 すると、律法学者やパリサイ人たちが、姦淫の現場で捕らえられた女をイエスのところに連れて来て、真ん中に立たせ、
4 彼らはイエスに言った。「先生、この女は姦淫の現場で捕まりました。」
5 モーセは律法の中で、このような者は石打ちにされるべきであると命じました。しかし、あなたは何とおっしゃいますか。
6 彼らはイエスを誘惑して、訴えようとして、こう言った。しかし、イエスは身をかがめて、彼らの言うことを聞いていないかのように、指で地面に何かを書き続けた。
7 彼らが問い続けるので、イエスは身を起こして彼らに言われた。「あなたたちのうちで罪のない者が、まず彼女に石を投げなさい。」
8 そしてイエスは再び身をかがめて、地面に何か書き始めた。
9 これを聞いた人々は良心の呵責を感じ、年長者から始めて、一人ずつ出て行き、最後に残ったのはイエスと、真ん中に立っていた女だけであった。
10 イエスは起き上がり、女のほかにはだれもいないのを見て、女に言われた。「婦人よ、あなたを告発した人たちはどこにいるのか。あなたを罪に定める者はいないのか。」
11 彼女は言った。「主よ、だれもいません。」するとイエスは言われた。「わたしもあなたを罪に定めない。行きなさい。そしてもう罪を犯さないようにしなさい。」

12 すると、イエスはまた彼らに言われた、「わたし
は世の光である。わたしに従う者は、暗やみの中を
歩くことがなく、命の光をもつであろう。」
13 そこでパリサイ人たちはイエスに言った。「あな
たは自分自身について証言している。あなたの証言
は真実ではない。」
14 イエスは彼らに答えて言われた、「わたしは自分
自身について証しするが、わたしの証しは真実であ
る。わたしは自分がどこから来たか、またどこへ行
くかを知っている。しかし、あなたがたはわたしが
どこから来たか、どこへ行くかを知らない。」
15 あなたがたは肉に従って裁きますが、わたしは人
を裁きません。
16 しかし、わたしが裁くなら、わたしの裁きは真実
である。なぜなら、わたしはひとりではなく、わた
しとわたしをつかわした父とが共に裁くからである。
17 また、あなたたちの律法には、二人の人の証言は
真実であると書いてある。
18 わたしは自分自身について証しする者であり、わ
たしを遣わした父もわたしについて証ししておられ
る。
19 そこで彼らはイエスに言った、「あなたの父はど
こにおられるのですか。」 イエスは答えられた、
「あなたがたはわたしをも、わたしの父をも知らな
い。もしわたしを知っていたなら、わたしの父をも
知っていたであろう。」
20 これらの言葉は、イエスが宮で教えておられたと
き、宝物庫で語られた。イエスに手をかける者はい
なかった。まだその時が来ていなかったからである。
21 すると、イエスは再び彼らに言われた、「わたし
は去る。あなたがたはわたしを捜し求めるが、自分
の罪のうちに死ぬであろう。わたしの行く所に、あ
なたがたは来ることができない。」
22 そこでユダヤ人たちは言った。「彼は自殺するつ
もりなのか。『わたしの行く所には、あなたたちは
来ることができない』と言っているからだ。」
23 そこでイエスは彼らに言われた、「あなたがたは
下から来た者、わたしは上から来た者である。あな
たがたはこの世の者だが、わたしはこの世の者では
ない。」
24 だから、わたしはあなたがたに、あなたがたは自
分の罪のうちに死ぬのだ、と言ったのです。もしあ
なたがたがわたしがそれであると信じなければ、あ
なたがたは自分の罪のうちに死ぬのです。
25 そこで彼らはイエスに言った、「あなたはどなた
ですか。」 イエスは彼らに言われた、「初めからあ
なたがたに話しておいたとおりだ。」
26 わたしにはあなたがたについて言うべきこと、ま
た裁くべきことがたくさんあります。しかし、わた
しを遣わした方は真実な方ですから、わたしはその
方から聞いたことを世に話しているのです。
27 彼らは、イエスが父のことを話しておられること
を理解しなかった。
28 すると、イエスは彼らに言われた、「あなたがた
が人の子を上げたとき、わたしが彼であること、ま
た、わたしは何事も自分からではなく、父がわたし
に教えられたとおりにこれらのことを話しているこ
とが、あなたがたにわかるであろう」。
29 わたしをつかわした方はわたしと共におられます。
父はわたしをひとり残しておかれませんでした。わ
たしはいつも、父の御心にかなうことを行なってい
るからです。
30 イエスがこれらの言葉を語ると、多くの人が彼を
信じた。
31 そこで、イエスは、ご自身を信じるユダヤ人たち
に言われた。「もしわたしの言葉にとどまっている
なら、あなたたちは本当にわたしの弟子なのです。
32 そして、あなたたちは真理を知り、真理はあなた
たちを自由にするであろう。
33 彼らは答えた。「私たちはアブラハムの子孫であ
って、だれにも奴隷にされたことはありません。ど
うして『自由になる』と言われるのですか。」
34 イエスは彼らに答えて言われた、「よくよくあな
たがたに言っておく。すべて罪を犯す者は罪の奴隷
である。」
35 しもべはいつまでも家にいることはできない。し
かし、子はいつまでもいるのだ。
36 だから、もし子があなたたちを自由にするなら、
あなたたちは本当に自由になるのです。
37 あなたがたがアブラハムの子孫であることを私は
知っている。しかし、わたしの言葉があなたがたの
うちに受け入れられないから、あなたがたはわたし
を殺そうとしているのだ。
38 わたしは父のもとで見たことを話している。そし
て、あなたたちは自分の父のもとで見たことを行っ
ている。
39 彼らは答えて言った、「アブラハムは私たちの父
です」。イエスは彼らに言われた、「もしあなたが
たがアブラハムの子であったなら、アブラハムのわ
ざを行うはずです。」
40 ところが今、あなたたちは、神から聞いた真実を
あなたたちに告げたこのわたしを殺そうとしている。
アブラハムはそうしなかった。
41 あなたがたは父の行いをしています。すると彼ら
は言った、「私たちは不品行によって生まれたので
はありません。私たちには唯一の父、神がおられま
す。」
42 イエスは彼らに言われた、「もし神があなたがた
の父であるなら、あなたがたはわたしを愛するはず
です。わたしは神から出て来たのです。わたしは自
分から来たのではなく、神がわたしをつかわされた
のです。」
43 あなたがたはなぜわたしの言葉が分からないのか。
わたしの言葉を聞くことができないからだ。
44 あなたがたは悪魔の父から出た者であって、あな
たがたの父の欲するままに行動するであろう。悪魔
は初めから人殺しであって、真理のうちにとどまら
なかった。彼のうちには真理がないからである。彼
が偽りを語るときは、それは自分自身の心からのこ

とを語るのである。なぜなら、彼は偽り者であり、
偽りの父だからである。
45 わたしが真実を語っているのに、あなたたちはわ
たしを信じないのです。
46 あなたがたのうちだれがわたしに罪があると証明
できるのか。わたしが真実を言っているのに、なぜ
信じないのか。
47 神から出た者は神の言葉を聞く。それなのに、あ
なたがたはそれを聞かない。神から出た者ではない
からだ。
48 そこで、ユダヤ人たちは答えて言った、「あなた
はサマリア人で、悪霊に取りつかれていると、私た
ちが言うのはもっともではないか。
49 イエスは答えられた。「わたしは悪霊に取りつか
れているのではない。わたしは父を敬っているのに、
あなたがたはわたしを軽んじているのだ。」
50 わたしは自分の栄光を求めません。求めて裁く方
がおられるのです。
51 よくよくあなたがたに告げます。もし人がわたし
の言葉を守るならば、その人は決して死を見ること
はありません。
52 そこでユダヤ人たちはイエスに言った、「今、私
たちはあなたが悪魔に取りつかれていることを知り
ました。アブラハムも預言者たちも死にました。そ
れなのにあなたは、『私の言葉を守るなら、その人
は決して死を味わうことはない』と言っています。
53 あなたは、わたしたちの父祖アブラハムよりも偉
いのですか。アブラハムは死んでしまいました。預
言者たちも死にました。あなたは自分を何者だとお
っしゃるのですか。
54 イエスは答えられた。「もしわたしが自分を尊ぶ
なら、わたしの尊さは無に等しい。わたしを尊んで
くださるのは、わたしの父である。あなたがたは父
のことを、あなたがたの神だと言っている。
55 しかし、あなたがたは彼を知らない。しかし、わ
たしは彼を知っている。もしわたしが、彼を知らな
いと言ったら、わたしはあなたがたと同じように偽
り者となる。しかし、わたしは彼を知っており、ま
た、彼の言葉を守っている。
56 あなたがたの父アブラハムはわたしの日を見るの
を喜び、それを見て喜んだ。
57 そこでユダヤ人たちはイエスに言った。「あなた
はまだ五十歳にもならないのに、アブラハムを見た
のですか。
58 イエスは彼らに言われた。「まことに、まことに、
あなた方に告げます。アブラハムが生まれる前から、
わたしはいるのです。」
59 そこで彼らは石を取り上げてイエスに投げつけよ
うとしたが、イエスは身を隠し、彼らの間を通り抜
けて神殿から出て行かれた。

第 9 章

1 イエスは通りかかったとき、生まれつき目の見えな
い人を見かけた。
2 そこで弟子たちはイエスに尋ねた。「先生、この人
が生まれつき目が見えなかったのは、だれが罪を犯
したからでしょうか。この人ですか、それとも両親
ですか。」
3 イエスは答えられた。「この人が罪を犯したのでは
なく、またその両親も罪を犯したのではない。ただ、
神のみわざがこの人に現れるためである。」
4 わたしは、わたしをつかわされた方のわざを、昼の
間に行わなければなりません。夜が来ると、だれも
働くことができなくなります。
5 わたしは世にいる間、世の光です。
6 こう言ってから、イエスは地面につばきをし、その
つばきで粘土を作り、その粘土で盲人の目に塗られ
た。
7 そして彼に言った、「シロアムの池に行って洗いな
さい。シロアムとは、『つかわされた』という意味
である」。そこで彼は行って洗い、目が見えるよう
になった。
8 近所の人々や、彼が盲目であるのを以前から見てい
た人々は、「この人は座って物乞いをしていた人で
はないか」と言った。
9 ある者は、「この人だ」と言い、他の者は、「あの
人のような人だ」と言いました。しかし彼は、「わ
たしがそれだ」と言いました。
10 そこで彼らはイエスに言った、「あなたの目はど
のようにして開いたのですか」。
11 彼は答えて言った、「イエスと呼ばれる方が、土
をこねてわたしの目に塗り、『シロアムの池に行っ
て洗いなさい』と言われたので、行って洗うと、見
えるようになった」。
12 そこで彼らはイエスに、「彼はどこにいるのか」
と尋ねた。イエスは、「知りません」と答えた。
13 彼らは、以前盲目であったイエスをパリサイ人の
ところに連れて行った。
14 イエスが粘土を造って、彼の目を開けたのは、安
息日であった。
15 すると、パリサイ人たちも、どうして見えるよう
になったのかとイエスに尋ねた。イエスは彼らに言
われた。「神がわたしの目に土を塗り、それを洗っ
たら見えるようになったのです。」
16 そこで、パリサイ人のうちのある者は言った、
「この人は安息日を守らないから、神から出た者で
はない」。また、ほかの者は言った、「罪人である
人間が、どうしてこのような奇跡を行うことができ
ようか」。そして、彼らの間に意見の対立が生じた。
17 彼らはまたその盲人に言った、「あなたの目をあ
けたあの人のことをどう思いますか」。彼は言った、
「あの人は預言者です」。
18 しかし、ユダヤ人たちは、彼が盲目であったのに
目が見えるようになったということを信じず、目が
見えるようになった彼の両親を呼ぶまで信じなかっ
た。
19 そこで彼らは尋ねた。「これは、あなたがたの息
子ですか。生まれつき目が見えなかったとあなたが

たは言っていますが、どうして今は見えるのですか。」
20 両親は答えて言った。「私たちは、これが私たちの息子であること、また、生まれつき目が見えないことは知っています。
21 しかし、彼が今どうして見えるのか、私たちは知りません。また、だれが彼の目を開いたのか、私たちは知りません。彼は成人しています。彼に尋ねてください。彼自身で話すでしょう。
22 両親がこれらのことを言ったのは、彼らがユダヤ人を恐れたからである。ユダヤ人たちは、もしイエスをキリストであると告白する者がいれば、その人を会堂から追放することにすでに同意していたからである。
23 そこで両親は言った。「彼は成人している。尋ねなさい。」
24 そこで、彼らは再び盲人を呼び寄せて言った。「神に感謝をささげなさい。この人が罪人であることは、わたしたちは知っています。」
25 イエスは答えて言われた。「彼が罪人であるかどうかは、私には分かりません。ただ一つ分かっています。私は盲目であったのに、今は見えるということです。」
26 そこで彼らはまた言った、「彼はあなたに何をしたのですか。どのようにしてあなたの目をあけたのですか」。
27 イエスは彼らに答えられた。「わたしはすでにあなたたちに話したのに、あなたたちは聞かなかった。なぜ、もう一度聞くのか。あなたたちも彼の弟子であろうとするのか。」
28 そこで彼らは彼をののしって言った。「あなたは彼の弟子だ。しかし私たちはモーセの弟子だ。」
29 神がモーセに語られたことは、わたしたちは知っている。しかし、この男がどこから来たのかは、わたしたちには分からない。
30 その人は答えて彼らに言った、「不思議なことに、あなたたちは彼がどこから来たのか知らないのに、私の目を開けてくれたのです。」
31 神は罪人の言うことを聞かないということを、私たちは知っています。しかし、神を敬い、神の御心を行う人には、神は聞いてくださるのです。
32 世が始まって以来、生まれつき目の見えない人の目をあけた人がいるという話は聞いたことがありません。
33 もしこの人が神から出た者でなかったら、何もできなかったでしょう。
34 彼らは答えて言った、「あなたは全く罪の中に生まれたのに、私たちに教えるのですか。」そして、彼を追い出した。
35 イエスは、彼らが彼を追い出したと聞いて、彼を見つけて言った、「あなたは神の子を信じますか。」
36 彼は答えて言った、「主よ、それはだれですか。わたしが彼を信じることができるのですか」。
37 するとイエスは彼に言われた、「あなたは彼を見た。そして、あなたと話しているのも彼だ」。
38 彼は言った、「主よ、信じます」。そしてイエスを拝した。
39 イエスは言われた。「わたしがこの世に来たのは、さばきをするためである。見えない者が見えるようになり、見える者が見えないようになるためである。」
40 イエスと一緒にいたパリサイ人のうちのある者は、これらの言葉を聞いて、イエスに言った、「わたしたちも盲目なのでしょうか。」
41 イエスは彼らに言われた、「もしあなたがたが盲目であったなら、あなたがたに罪はなかったであろう。しかし、あなたがたは今、『私たちは見える』と言っている。だから、あなたがたの罪は残るのだ。」

第 10 章

1 よくよくあなたがたに告げます。羊の囲いに門から入らずに、ほかの所から上って行く者は、盗人であり、強盗です。
2 しかし、戸口から入る者は、羊の牧者です。
3 門番は彼に向かって門を開け、羊はその声を聞き分け、自分の羊の名を呼んで連れ出す。
4 彼が自分の羊を連れ出すとき、彼は羊たちの先頭に立って進み、羊たちは彼について行く。羊たちは彼の声を知っているからである。
5 彼らは外国人の後を追わず、逃げ去る。外国人の声を知らないからである。
6 イエスはこのたとえ話を彼らに話されたが、彼らはそれが何のことか分からなかった。
7 すると、イエスは再び彼らに言われた、「よくよくあなたがたに言います。わたしは羊の門です。」
8 わたしの前に来た者はみな盗人、強盗である。しかし、羊は彼らの言うことを聞かなかった。
9 わたしは門である。わたしを通って入る者は救われ、出入りし、牧草を見つけるであろう。
10 盗人が来るのは、盗むため、殺すため、滅ぼすため以外にはない。わたしが来たのは、羊に命を得させ、また豊かに得させるためである。
11 わたしは良い羊飼いである。良い羊飼いは羊のために命を捨てる。
12 しかし、羊飼いではなく、羊を自分の所有物としない雇い人は、狼が来るのを見ると、羊を捨てて逃げ去ります。しかし、狼は羊を捕らえて散らします。
13 雇人は逃げる。雇人だからである。羊のことを気にかけない。
14 わたしは良い羊飼いである。わたしの羊を知っており、わたしの羊もわたしを知っている。
15 父がわたしを知っておられるように、わたしも父を知っています。そして、わたしは羊のために命を捨てます。
16 また、わたしには、この囲いにいないほかの羊もいる。わたしは彼らをも導かなければならない。彼

らもわたしの声に聞き従うであろう。そして、一つ
の囲い、ひとりの羊飼いとなるであろう。
17 わたしが自分の命を捨てて、それを再び得るため
に、父はわたしを愛しておられるのです。
18 だれもそれをわたしから取り去ることはできませ
ん。わたし自身がそれを捨てるのです。わたしはそ
れを捨てる力があり、またそれを得る力もあります。
わたしはこの戒めを父から受けたのです。
19 それで、これらの言葉のゆえに、ユダヤ人たちの
間に再び分裂が起こった。
20 すると、彼らのうち多くの者が言った、「彼は悪
霊に取りつかれて気が狂っている。なぜ彼の言うこ
とを聞くのか」。
21 ほかの人々は言った、「これは悪霊に取りつかれ
た者の言うことではない。悪霊が盲人の目を開ける
ことができようか。」
22 エルサレムでは奉献祭があり、冬であった。
23 そしてイエスは神殿のソロモンの廊を歩いておら
れた。
24 すると、ユダヤ人たちがイエスを取り囲んで言っ
た。「いつまでわたしたちを疑わせるのですか。あ
なたがキリストなら、はっきり言ってください。」
25 イエスは彼らに答えられた。「わたしはあなたが
たに話したが、あなたがたは信じなかった。わたし
が父の名によって行う業が、わたしについて証しし
ているのである。」
26 しかし、あなたがたは信じない。わたしがあなた
がたに言ったように、あなたがたはわたしの羊では
ないからである。
27 わたしの羊はわたしの声を聞き分けます。わたし
は彼らを知っており、彼らはわたしについて来ます。
28 わたしは彼らに永遠の命を与える。彼らはいつま
でも滅びることがなく、また、だれもわたしの手か
ら彼らを奪い去ることはできない。
29 わたしに彼らをお与えになったわたしの父は、す
べてのものよりも偉大です。だれも、わたしの父の
手から彼らを奪い取ることはできません。
30 わたしと父とは一つである。
31 そこでユダヤ人たちは、イエスを石打ちにするた
めに、再び石を取り上げた。
32 イエスは彼らに答えられた。「わたしは父から受
けた多くの良いわざをあなたたちに示した。そのど
のわざのためにわたしを石で打ち殺すのか。」
33 ユダヤ人たちはイエスに答えて言った。「私たち
があなたを石打ちにするのは、良い行いをしたから
ではありません。神を冒涜したからです。また、あ
なたは人間でありながら、自分を神としているから
です。」
34 イエスは彼らに答えられた。「あなたがたの律法
には、『わたしは言った、あなたがたは神である』
と書いてあるではないか。」
35 彼が、神の言葉が与えられた者たちを神と呼んだ
のなら、聖書は破られるべきものではない。
36 あなたがたは、父が聖別して世に遣わした者につ
いて、『わたしは神の子である』と言ったからとい
って、神を冒涜していると言うのか。
37 もしわたしが父のわざを行わないなら、わたしを
信じないで下さい。
38 しかし、もしわたしがそうするなら、たといあな
たがたはわたしを信じなくても、わたしのわざを信
じるがよい。そうすれば、父がわたしにおり、わた
しが父におられることを、あなたがたは知り、また
信じるようになるであろう。
39 そこで彼らは再び彼を捕らえようとしたが、彼は
彼らの手から逃れ、
40 そして、再びヨルダン川の向こう側、ヨハネが最
初にバプテスマを施した場所へ行き、そこに住んだ。
41 すると、多くの人が彼のもとに集まって来て言っ
た、「ヨハネは奇跡を何も行わなかった。しかし、
ヨハネがこの人について語ったことは、すべて真実
だった。」
42 そして、そこで多くの人がイエスを信じた。

第 11 章

1 さて、マリアとその姉妹マルタの町ベタニアに、ラ
ザロという病気の人がいた。
2（主に香油を塗り、髪の毛で主の足を拭ったのは、
マリアであり、彼女の兄弟ラザロは病気であっ
た。）
3 そこで、姉妹たちはイエスのもとに人をやって、
『主よ、あなたが愛しておられる者が病気なので
す』と言わせた。
4 イエスはこれを聞いて言われた、「この病気は死に
至るものではない。神の栄光のためである。神の子
がこれによって栄光を受けるためである」。
5 さて、イエスはマルタとその姉妹とラザロを愛して
おられた。
6 パウロは彼が病気であると聞いて、そのまま二日間
同じ場所に留まった。
7 それから、イエスは弟子たちに言われた。「もう一
度ユダヤへ行こう。」
8 弟子たちはイエスに言った。「先生、ユダヤ人たち
は先ほどもあなたを石打ちにしようとしていました
のに、またあそこへ行かれるのですか。」
9 イエスは答えられた。「一日には十二時間あるで
はないか。昼に歩く人はつまずくことはない。この
世の光を見ているからである。」
10 しかし、人が夜に歩くと、つまずきます。その人
の内に光がないからです。
11 イエスはこれらのことを話した後、彼らに言われ
た、「わたしたちの友ラザロは眠っています。しか
し、わたしは彼を眠りから覚ましに行くのです。」
12 すると、弟子たちは言った。「主よ、眠っている
のなら、助かるでしょう。」
13 しかし、イエスは彼の死について語られたのであ
るが、彼らは眠って休むことについて語られたのだ
と思った。

14 するとイエスは彼らにはっきりと言われた、「ラ
ザロは死んだ」。
15 そして、あなたがたが信じるように、わたしがそ
こにいなかったことは、あなたがたのためにうれし
い。それでも、私たちは彼のところに行きましょう。
16 そのとき、デディモと呼ばれるトマスが仲間の弟
子たちに言った。「わたしたちも行って、彼と一緒
に死のう。」
17 それから、イエスが来て見ると、彼はすでに四日
間も墓の中に横たわっていた。
18 ベタニアはエルサレムに近く、約十五スタディオ
ン離れていた。
19 そして、多くのユダヤ人がマルタとマリアのもと
に来て、兄弟のことで慰めようとした。
20 そのとき、マルタはイエスが来られると聞いて、
出迎えに行ったが、マリアは家の中に座ったままで
あった。
21 すると、マルタはイエスに言った。「主よ、もし
あなたがここにいてくださったなら、私の兄弟は死
ななかったでしょう。」
22 しかし、私は知っています。あなたが神に求める
ものは何でも、神はそれをあなたに与えて下さるこ
とを、今でも。
23 イエスは彼女に言われた、「あなたの兄弟はよみ
がえるでしょう。」
24 マルタはイエスに言った。「私は、終りの日の復
活のときにイエスがよみがえることを知っていま
す。」
25 イエスは彼女に言われた、「わたしはよみがえり
であり、命である。わたしを信じる者は、たとい死
んでも生きる。
26 生きていてわたしを信じる者は、決して死ぬこと
がありません。あなたはこのことを信じますか。
27 彼女はイエスに言った。「主よ、そのとおりです。
私はあなたが世に来られるべき神の子、キリストで
あると信じています。」
28 彼女はそう言うと、立ち去って、ひそかに妹のマ
リアを呼び、「主がおいでになって、あなたを呼ん
でおられます」と言った。
29 彼女はそれを聞くとすぐに立ち上がり、イエスの
もとに来ました。
30 イエスはまだ町に入らず、マルタが出迎えた場所
におられた。
31 そのとき、家の中にマリアと一緒にいて、彼女を
慰めていたユダヤ人たちは、マリアが急いで立ち上
がって出て行くのを見て、墓に行って泣いているの
だと言って、彼女の後を追った。
32 それから、マリアはイエスのおられる所に来て、
イエスを見ると、その足もとにひれ伏して言った。
「主よ、もしあなたがここにいてくださったなら、
私の兄弟は死ななかったでしょう。」
33 イエスは、彼女が泣いているのを見、また彼女と
一緒に来たユダヤ人たちも泣いているのを見て、霊
のうめきを覚え、心を騒がせた。
34 彼らは言った、「彼をどこに置いたのか」。彼ら
は言った、「主よ、来てご覧なさい」。
35 イエスは泣かれた。
36 するとユダヤ人たちは言った。「見よ、彼はなん
と彼を愛していたことか。」
37 すると、彼らのうちのある者は言った、「盲人の
目を開けたこの人が、この人をも死なせないように
することはできなかったのか」。
38 そこでイエスは、心の中でうめきながら、再び墓
に来られた。そこは洞穴で、その上に石が置かれて
いた。
39 イエスは言われた、「石を取りのけなさい。」死
んだ人の姉妹マルタはイエスに言った、「主よ、も
う臭くなっております。死んでから四日も経ってい
ますから。」
40 イエスは彼女に言われた。「信じるなら神の栄光
を見るであろうと、わたしはあなたに言ったではな
いか。」
41 それから、人々は死体を横たえていた場所から石
を取りのけた。すると、イエスは目を上げて言われ
た、「父よ、わたしの願いを聞き入れてくださり感
謝します。」
42 わたしは、あなたがいつもわたしの願いを聞き入
れてくださることを知っていました。しかし、そば
に立っている民衆のために、あなたがわたしを遣わ
されたことを彼らに信じさせるために、わたしはそ
う言ったのです。
43 こう言い終えると、イエスは大声で「ラザロよ、
出て来なさい」と叫ばれた。
44 すると、死んでいた人が、手足を布で巻かれ、顔
も布で包まれたまま出て来た。イエスは彼らに言わ
れた、「彼を解いて、行かせなさい」。
45 それから、マリアのもとに来て、イエスのなさっ
たことを見た多くのユダヤ人がイエスを信じた。
46 しかし、彼らのうちの何人かはパリサイ人たちの
ところへ行き、イエスがなさったことを彼らに告げ
た。
47 そこで、祭司長たちとパリサイ人たちは議会を召
集して言った。「この人は多くの奇跡を行っている
のに、私たちはどうしたらよいのか。」
48 もし私たちが彼をこのまま放っておくなら、すべ
ての人が彼を信じるようになるでしょう。そしてロ
ーマ人が来て、私たちの場所と国を奪い去ってしま
うでしょう。
49 彼らのうちのひとりで、その年の大祭司であった
カヤパという者が、彼らに言った。「あなたたちは
何も知らない。
50 また、一人の人が民のために死んで、国民全体が
滅びない方が、私たちにとって有益だということに
も気づかない。
51 これはパウロが自分から言ったのではなく、その
年の大祭司であったので、イエスがその国民のため
に死ぬであろうと預言したのである。

52 それは、ただその国民のためだけではなく、散らされている神の子らを一つに集めるためでもありました。
53 そこで彼らはその日から彼を殺そうと相談し始めた。
54 それで、イエスはもはや公然とユダヤ人の間を歩かず、そこから荒野に近い地方のエフライムという町へ行き、弟子たちと一緒にそこに留まりました。
55 ユダヤ人の過越祭が近づいたので、多くの人々が過越祭の前に身を清めるために地方からエルサレムへ上って行った。
56 そこで、彼らはイエスを捜し求め、宮の中に立って、互いに話し合った。「イエスが祭りに来られないのはなぜだと思うか。」
57 さて、祭司長たちとパリサイ人たちは、イエスの居場所を知っている者がいれば、イエスを捕らえるために、知らせるようにと命じていた。

第 12 章

1 過越の祭りの六日前に、イエスはベタニアに来られた。そこには死んでいたラザロがいて、イエスはラザロを死からよみがえらせた。
2 そこで彼らは夕食を用意し、マルタが給仕した。ラザロもイエスと共に食卓に着いた者の一人でした。
3 そこで、マリアは高価なナルドの香油一ミナを取って、イエスの足に塗り、自分の髪の毛でその足を拭った。すると、香油のかおりが家中に広がった。
4 すると、弟子のひとり、シモンの子イスカリオテのユダが、イエスを裏切ろうとしていると言った。
5 なぜこの香油を三百デナリで売って、貧しい人々に施さなかったのか。
6 彼がこう言ったのは、貧しい人たちのことを気遣っていたからではなく、彼は盗人であり、袋を持っていて、その中に入れたものを運んでいたからである。
7 するとイエスは言われた。「そのままにしておきなさい。彼女はわたしを葬る日のためにこれを隠しておいたのです。」
8 貧しい人たちはいつもあなたがたと一緒にいる。しかし、わたしはいつも一緒にいるわけではない。
9 それで、多くのユダヤ人たちはイエスがそこにおられることを知っていた。そして、彼らはイエスのためだけではなく、イエスが死人の中からよみがえらせたラザロを見るためにも来たのである。
10 しかし、祭司長たちはラザロをも殺すために協議した。
11 それは、彼のおかげで多くのユダヤ人が離れ去り、イエスを信じたからである。
12 その翌日、祭りに来ていた大勢の群衆は、イエスがエルサレムに来られると聞いて、
13 ナツメヤシの枝を取り、彼を迎えに出てきて叫んだ。「ホサナ。主の名によって来られるイスラエルの王に祝福あれ。」
14 イエスは子ろばを見つけて、それに乗られた。こう書いてあるとおりである。
15 シオンの娘よ、恐れることはない。見よ、あなたの王がろばの子に乗って来られる。
16 弟子たちは初めこれらのことを理解しなかったが、イエスが栄光を受けたとき、これらのことがイエスについて書かれたこと、また人々がこれらのことをイエスに対して行ったことを思い出した。
17 そこで、イエスがラザロを墓から呼び出し、死人の中からよみがえらせたとき、イエスと一緒にいた群衆は、そのことを証言した。
18 そのために、群衆もイエスに会った。イエスがこの奇跡を行ったと聞いていたからである。
19 そこでパリサイ人たちは互いに言った。「あなたがたは何も成し遂げていないことに気づいたか。見よ、世は彼に従ってしまったのだ。」
20 彼らの中には、祭りに礼拝するために上って来たギリシア人も何人かいた。
21 そこで、この人がガリラヤのベツサイダ出身のピリポのもとに来て、頼み込んで言った。「先生、私たちはイエスにお目にかかりたいのです。」
22 ピリポは来てアンデレに告げた。アンデレとピリポは再びイエスに告げた。
23 するとイエスは彼らに答えて言われた、「人の子が栄光を受ける時が来た」。
24 よくよくあなたがたに告げます。一粒の麦が地に落ちて死ななければ、それは一粒のままです。しかし、死ねば、多くの実を結びます。
25 自分の命を愛する者はそれを失い、この世で自分の命を憎む者は、永遠の命に至るまでそれを保つであろう。
26 だれでもわたしに仕えるなら、わたしについて来なさい。わたしがいる所に、わたしの僕も一緒にいることになる。もしだれでもわたしに仕えるなら、わたしの父はその人を尊んでくださるであろう。
27 今、わたしの心は騒いでいます。何と言えばよいでしょうか。父よ、わたしをこの時から救ってください。このためにわたしはこの時に来たのです。
28 父よ、御名の栄光を現してください。すると、天から声が聞こえてこう言った。「わたしはすでに栄光を現した。また、さらに栄光を現すであろう。」
29 すると、そばに立っていた群衆はそれを聞いて、「雷が鳴ったのだ」と言い、また、ほかの人々は、「天使が彼に話しかけたのだ」と言った。
30 イエスは答えて言われた、「この声はわたしから出たものではなく、あなたがたのために出たものである。」
31 今こそこの世の裁きの時である。今こそこの世の君主が追い出される時である。
32 そして、わたしが地上から上げられるとすれば、すべての人をわたしのもとに引き寄せるであろう。
33 イエスは、自分がどのような死を遂げるかを暗示して、こう言われたのです。
34 群衆はイエスに答えた。「わたしたちは律法によって、キリストはいつまでも生きておられると聞いています。それなのに、どうしてあなたは、『人の

子は上げられねばならない』と言われるのですか。
人の子とは、いったい何者ですか。」
35 するとイエスは彼らに言われた、「光は、もうし
ばらく、あなたがたにある。光があるうちに歩きな
さい。そうでないと、暗やみがあなたがたを襲うで
あろう。暗やみの中を歩く者は、自分がどこへ行く
のか知らないからである。」
36 あなたがたには光があるうちに、光を信じなさい。
そうすれば、あなたがたは光の子となるでしょう。
イエスはこれらのことを語り、立ち去って彼らから
身を隠された。
37 しかし、イエスは彼らの前でこれほど多くの奇跡
を行われたにもかかわらず、彼らはイエスを信じな
かった。
38 それは、預言者イザヤの言葉が成就するためであ
った。彼は言った、「主よ、だれがわたしたちの告
げた言葉を信じたでしょうか。主の腕はだれに示さ
れたでしょうか。」
39 彼らは信じることができなかった。イザヤがまた
言った。
40 主は彼らの目を盲目にし、心をかたくなにされた。
それは彼らが目で見ることができず、心で悟ること
ができず、悔い改めてわたしが彼らを癒すこともで
きないためである。
41 イザヤは彼の栄光を見て、彼についてこれらのこ
とを語った。
42 しかし、役人たちの中にもイエスを信じた者が大
勢いた。しかし、会堂から追い出されるのを恐れて、
パリサイ人たちのせいで、イエスを告白しなかった。
43 彼らは神の誉れよりも、人の誉れを愛したからで
ある。
44 イエスは叫んで言われた、「わたしを信じる者は、
わたしを信じるのではなく、わたしをつかわした方
を信じるのです。」
45 わたしを見る者は、わたしをつかわした方を見る
のです。
46 わたしは世に光として来た。わたしを信じる者が、
暗闇の中にとどまることがないためである。
47 たとい、わたしの言葉を聞いてそれを信じない者
があっても、わたしはその人を裁きません。わたし
は世を裁くためではなく、世を救うために来たので
す。
48 わたしを拒み、わたしの言葉を受けいれない者に
は、その人を裁く者がいる。わたしの語った言葉が、
終りの日にその人を裁くであろう。
49 わたしは自分から語ったのではなく、わたしをつ
かわした父が、わたしに何を言うべきか、また何を
語るべきかを命じておられるのです。
50 そして、私は彼の戒めが永遠の命であることを知
っています。だから、私が話すことはすべて、父が
私に言われたとおりに話しているのです。

第 13 章

1 過越の祭りの前、イエスは、この世を去って父のみ
もとに行くべき時が来たことを知り、世にいるご自
分の者たちを愛して、彼らを最後まで愛し続けた。
2 夕食が終ると、悪魔はすでにシモンの子イスカリオ
テのユダの心に、イエスを裏切る思いを植え付けて
いた。
3 イエスは、父がすべてのものを自分の手に渡された
こと、また、自分が神のもとから来て、神に帰った
ことを知っておられた。
4 彼は夕食から立ち上がり、上着を脱ぎ、手ぬぐいを
取って腰に巻いた。
5 それから、イエスはたらきに水を入れ、弟子たちの
足を洗い、腰に巻いていた手ぬぐいで拭き始められ
た。
6 それから、イエスはシモン・ペテロのところに来て、
ペテロが言った、「主よ、わたしの足を洗ってくだ
さるのですか」。
7 イエスは答えて言われた、「わたしのしていること
は、今はあなたにはわからない。しかし、あとでわ
かるようになる。」
8 ペテロはイエスに言った、「わたしの足を決して洗
わないでください」。イエスは答えられた、「もし
わたしがあなたを洗わないなら、あなたはわたしと
何のかかわりもありません」。
9 シモン・ペテロはイエスに言った。「主よ、私の足
だけではなく、私の手も頭も洗ってください。」
10 イエスは彼に言われた、「洗われた者は、足を洗
うだけでよい。全身が清いのである。しかし、あな
たがたは清いのであって、みんなが清いわけではな
い。」
11 イエスは、だれが自分を裏切るかを知っておられ
た。それで、「あなたがたはみな清いわけではな
い」と言われた。
12 そこでイエスは彼らの足を洗い、上着を取り、ま
た腰を下ろして言われた、「わたしがあなたがたに
したことを、あなたがたは知っているか。
13 あなたがたはわたしを先生、また主と呼ぶ。それ
は結構なことだ。わたしはまさにそのとおりである。
14 主であり先生であるわたしがあなたがたの足を洗
ったのなら、あなたがたもまた互いに足を洗い合う
べきです。
15 わたしがあなたがたにしたとおりに、あなたがた
もするようにと、わたしは模範を示したのです。
16 よくよくあなたがたに告げます。しもべはその主
人より偉くはなく、つかわされた者はつかわした者
より偉くはありません。
17 あなたがたはこれらのことを知っているなら、そ
れを実行するなら幸いです。
18 わたしはあなたがたすべてについて言っているの
ではない。わたしは、わたしがだれを選んだかを知
っている。ただ、聖書の言葉が成就するためである。
「わたしと一緒にパンを食べている者が、わたしに
逆らってかかとを上げた。」

19 わたしは、そのことが起こる前にあなたたちに告
げます。それは、そのことが起こったとき、わたし
がそれであることをあなたたちが信じるようになる
ためです。
20 よくよくあなたがたに告げます。わたしが遣わし
た者を受け入れる者は、わたしを受け入れるのであ
り、わたしを受け入れる者は、わたしを遣わした方
を受け入れるのです。
21 イエスはこう言われると、心を騒がせ、あかしを
して言われた、「よくよくあなたに言っておく。あ
なたがたのうちのひとりが、わたしを裏切ろうとし
ている。」
22 すると、弟子たちは、だれのことを言っているの
かと疑いながら、互いに顔を見合わせた。
23 そのとき、イエスの愛しておられた弟子のひとり
が、イエスの胸に寄りかかっていた。
24 そこでシモン・ペテロはイエスに手招きして、だれ
のことを言っているのか尋ねさせた。
25 そこで彼はイエスの胸に寄りかかりながら、イエ
スに言った。「主よ、それはだれですか。」
26 イエスは答えられた。「わたしがパンを浸して与
える者がその人である。」そして、パンを浸して、
シモンの子イスカリオテのユダに与えた。
27 パンを食べたあとで、サタンが彼の中に入った。
そこでイエスは彼に言われた、「あなたがしようと
していることを、すぐにしなさい。」
28 食卓にいた者のうち、だれも、イエスが何の目的
でこのことを言われたのか知らなかった。
29 というのは、彼らのうちのある者は、ユダが袋を
持っていたので、イエスが彼に、「祭りまでに必要
なものを買っておきなさい」とか、「貧しい人々に
施しをするように」と言われたのだと思ったからで
ある。
30 そこで、イエスはパンを受け取ると、すぐに出て
行った。そして、夜になっていた。
31 そこで、彼が出て行くと、イエスは言われた、
「今、人の子は栄光を受けた。そして、神も彼によ
って栄光をお受けになった。」
32 もし神が彼によって栄光をお受けになるなら、神
もまたご自身によって彼に栄光をお受けになるであ
ろう。そして、すぐに彼に栄光をお与えになるであ
ろう。
33 子どもたちよ、もうしばらくの間、わたしはあな
たがたと一緒にいます。あなたがたはわたしを捜す
でしょう。わたしがユダヤ人たちに言ったように、
「わたしの行く所には、あなたがたは来ることがで
きません。」今わたしはあなたがたに言います。
34 わたしは新しい戒めをあなたがたに与えます。互
いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛した
ように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。
35 あなたがたが互いに愛し合うならば、それによっ
てあなたがたがわたしの弟子であることを、すべて
の人が認めるであろう。
36 シモン・ペテロがイエスに言った、「主よ、どこへ
行かれるのですか。」イエスは答えられた、「わた
しの行く所へ、あなたは今はついて来ることはでき
ないが、あとでついて来るようになるであろう。」
37 ペテロはイエスに言った。「主よ、なぜ今はあな
たに従って行けないのでしょうか。あなたのためな
ら命も捨てます。」
38 イエスは答えられた。「あなたは私のために命を
捨てようとするのか。よくよくあなたに告げます。
あなたが三度私を知らないと言うまでは、鶏は鳴か
ないであろう。」

第 14 章

1 心配しないでください。あなた方は神を信じていま
すし、私を信じてください。
2 わたしの父の家には、住まいがたくさんある。そう
でなかったら、わたしはそう言っておいたであろう。
わたしはあなたがたのために、場所を備えに行くの
である。
3 わたしが行って、あなたがたのために場所を備えた
ら、また戻って来て、あなたがたをわたしのもとに
迎えます。わたしのいる所に、あなたがたも一緒に
いるためです。
4 あなたがたはわたしがどこへ行くのか、またその道
を知っている。
5 トマスはイエスに言った。「主よ、私たちはあなた
がどこへ行かれるのか知りません。どうしてその道
がわかるのでしょうか。」
6 イエスは彼に言われた、「わたしは道であり、真理
であり、命である。わたしを通してでなければ、だ
れも父のみもとに行くことはできない。」
7 もしあなたがたがわたしを知っていたなら、わたし
の父をも知っていたであろう。しかし、今からは、
あなたがたは父を知っており、また父を見ているの
である。
8 フィリポはイエスに言った。「主よ、父の御旨をわ
たしたちに示してください。そうすれば、わたした
ちはそれで十分です。」
9 イエスは彼に言われた、「フィリポよ、こんなに
長い間あなたがたと一緒にいるのに、わたしがわか
らないのか。わたしを見た者は、父を見たのだ。そ
れなのに、どうして『父をわたしたちに示してくだ
さい』と言うのか」。
10 わたしが父におり、父がわたしにおられることを、
信じないのか。わたしがあなたがたに話している言
葉は、わたし自身から話しているのではなく、わた
しのうちに住んでおられる父が、これらのことをな
さるのである。
11 わたしが父におり、父がわたしにおられることを
信じなさい。そうでないなら、わたしのわざそのも
ののゆえに信じなさい。
12 よくよくあなたがたに告げます。わたしを信じる
者は、わたしの行うわざをも行うでしょう。それば
かりか、もっと大きなわざを行うでしょう。わたし
が父のもとに行くからです。

13 あなたがたがわたしの名によって求めることは何
でも、わたしはそれを成し遂げよう。それは、父が
子によって栄光をお受けになるためである。
14 あなたがたがわたしの名によって何かを願うなら、
わたしはそれをかなえてあげます。
15 あなたがたがわたしを愛するならば、わたしの戒
めを守りなさい。
16 わたしは父にお願いしよう。そうすれば、父は別
に助け主を送って、いつまでもあなたがたと共にお
らせて下さるであろう。
17 それは真理の御霊である。世はそれを受け入れる
ことができない。世はそれを見もせず、知ることも
ないからである。しかし、あなたがたはそれを知っ
ている。それはあなたがたとともに住み、またあな
たがたのうちにいるからである。
18 わたしはあなたがたを捨てて孤児にはしない。わ
たしはあなたがたのところに来る。
19 もうしばらくすると、世はもはやわたしを見なく
なります。しかし、あなたがたはわたしを見ます。
わたしが生きているので、あなたがたも生きるので
す。
20 その日には、わたしが父におり、あなたがたがわ
たしにおり、また、わたしがあなたがたにおること
が、あなたがたに分かるであろう。
21 わたしの戒めを心に留めてそれを守る人は、わた
しを愛する者である。わたしを愛する者は、わたし
の父に愛されるであろう。わたしもその人を愛し、
わたし自身をその人に現すであろう。
22 イスカリオテのユダはイエスに言った、「主よ、
あなたはなぜ、わたしたちには御姿を現してくださ
るのに、世には現してくださらないのですか。」
23 イエスは答えて言われた、「もし人がわたしを愛
するなら、わたしの言葉を守るであろう。わたしの
父はその人を愛し、わたしたちはその人のところに
行って、その人とともに住むであろう」。
24 わたしを愛さない者は、わたしの言葉を守りませ
ん。あなたがたが聞いている言葉は、わたしの言葉
ではなく、わたしをつかわした父の言葉です。
25 わたしは、あなたがたの所にまだいる間に、これ
らのことを話したのです。
26 しかし、助け主、すなわち、父がわたしの名によ
ってつかわされる聖霊は、あなたがたにすべてのこ
とを教え、またわたしが話しておいたことをことご
とく思い起こさせてくださるであろう。
27 わたしは平和をあなたがたに残します。わたしの
平和をあなたがたに与えます。わたしが与えるのは、
世が与えるようなものとは異なります。あなたがた
は心を騒がせることはありません、またおじけるこ
とはありません。
28 わたしがあなたがたに、「わたしは去って行くが、
またあなたがたのところに戻ってくる」と言ったこ
とを、あなたがたは聞いている。もしあなたがたが
わたしを愛しているなら、わたしが「わたしは父の
もとに行く」と言ったことを喜ぶはずだ。わたしの
父はわたしよりも偉大な方だからである。
29 そして今、わたしは、事が起こる前にあなたたち
に話しました。事が起こると、あなたたちは信じる
ようになるためです。
30 今後、わたしはあなたがたに多くを語るつもりは
ありません。この世の君が来るからです。そして、
わたしには何も持っていません。
31 しかし、わたしが父を愛していることを世に知ら
せるためです。父がわたしに命じたとおりに、わた
しはそうしています。さあ、ここから出かけましょ
う。

第 15 章

1 わたしはまことのぶどうの木、わたしの父は農夫で
す。
2 わたしにつながっている枝で実を結ばないものはみ
な、父がそれを取り除き、実を結ぶものはみな、も
っと多くの実を結ぶように刈り込んでくださるので
す。
3 今、あなたがたは、わたしがあなたがたに語った言
葉によってきよめられているのです。
4 わたしにつながっていなさい。そうすれば、わたし
もあなたがたとつながっています。枝がぶどうの木
につながっていなければ、自分だけでは実を結ぶこ
とができないのと同じように、あなたがたもわたし
につながっていなければ実を結ぶことはできません。
5 わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝です。人
がわたしにつながっており、わたしもその人につな
がっているなら、その人は豊かに実を結びます。わ
たしを離れては、あなたがたは何一つできないから
です。
6 人がわたしにとどまっていないなら、枝のように投
げ出されて枯れ、人々はそれを集めて火に投げ込み、
焼いてしまいます。
7 あなたがたがわたしにとどまり、わたしの言葉があ
なたがたにとどまっているならば、あなたがたの望
むものは何でも求めなさい。そうすれば、かなえら
れるでしょう。
8 あなたがたが多くの実を結ぶならば、それによって
わたしの父は栄光をお受けになる。そのようにして、
あなたがたはわたしの弟子となるのである。
9 父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがた
を愛したのです。わたしの愛にとどまりなさい。
10 もしあなたがたがわたしの戒めを守るならば、わ
たしの愛のうちにとどまるはずです。わたしがわた
しの父の戒めを守ったので、その愛のうちにとどま
っているのと同じです。
11 わたしがこれらのことをあなたたちに話したのは、
わたしの喜びがあなたたちのうちにとどまり、あな
たたちの喜びが満たされるためである。
12 わたしがあなたがたを愛したように、あなたがた
も互いに愛し合いなさい。これがわたしのいましめ
である。
13 人がその友のために自分の命を捨てること、これ
よりも大きな愛はない。

14 わたしが命じることをあなたがたが行なうならば、
あなたがたはわたしの友である。
15 今後、わたしはあなたがたを僕とは呼びません。
僕は主人のしていることを知らないからです。しか
し、わたしはあなたがたを友と呼びました。父から
聞いたことをみな、あなたがたに知らせたからです。
16 あなたがたがわたしを選んだのではなく、わたし
があなたがたを選び、あなたがたを任命したのです。
それは、あなたがたが行って実を結び、その実が残
るようにするためです。それは、あなたがたがわた
しの名によって父に求めるものは何でも、父が与え
て下さるためです。
17 わたしはこれらのことをあなたたちに命じます。
あなたたちは互いに愛し合いなさい。
18 もし世があなたがたを憎むなら、あなたがたより
先にわたしを憎んだことを知っておきなさい。
19 もしあなたがたがこの世のものであったなら、こ
の世は自分のものを愛したであろう。しかし、あな
たがたはこの世のものではなく、かえってわたしが
あなたがたをこの世から選び出したので、この世は
あなたがたを憎むのである。
20 わたしがあなたたちに言った言葉を思い出しなさ
い。しもべはその主人よりも偉くはない。もし彼ら
がわたしを迫害したなら、あなたたちも迫害するで
あろう。もし彼らがわたしの言葉を守ってきたなら、
あなたたちの言葉も守るであろう。
21 しかし、彼らはわたしの名のゆえに、これらのこ
とをみなあなたたちにするのです。わたしをつかわ
した方を知らないからです。
22 もしわたしが来て彼らに語らなかったなら、彼ら
には罪がなかったであろう。しかし今は、彼らには
罪を隠す余地がない。
23 わたしを憎む者は、わたしの父をも憎むのです。
24 もしわたしが、ほかの人たちがしたことのないわ
ざを彼らの間でしなかったなら、彼らには罪がなか
ったであろう。しかし、今や彼らはわたしとわたし
の父とを見て、それを憎むようになった。
25 しかし、このことは、彼らの律法に書いてある、
「彼らは理由もなくわたしを憎んだ」という言葉が
成就するためであった。
26 しかし、わたしが父のもとからあなたがたに遣わ
そうとしている助け主、すなわち、父から出る真理
の御霊が来ると、その御霊はわたしについて証しを
します。
27 あなたがたもまた証人となるであろう。あなたが
たは初めからわたしとともにいたからである。

第 16 章

1 わたしはこれらのことをあなたたちに話したが、そ
れはあなたたちがつまずかないようにするためであ
る。
2 彼らはあなたたちを会堂から追い出すであろう。あ
なたたちを殺す者が、神に仕えていると思うように
なる時が来るであろう。
3 彼らは父をもわたしをも知らないので、あなたたち
にそのようなことをするのです。
4 しかし、わたしがこれらのことをあなたたちに話し
たのは、時が来たときに、わたしがこれらのことを
あなたたちに話したことを、あなたたちが思い出す
ためです。わたしはこれらのことを初めからあなた
たちに話さなかったのですが、それはわたしがあな
たたちと一緒にいたからです。
5 しかし、今わたしは、わたしをつかわした方のもと
へ行きます。あなたがたのうち、だれもわたしに、
「どこへ行くのですか」と尋ねません。
6 しかし、わたしがこれらのことをあなたたちに話し
たので、あなたたちの心は悲しみで満たされた。
7 しかし、わたしは真実をあなたたちに告げます。わ
たしが去って行くことは、あなたたちにとって益な
のです。もしわたしが去って行かなければ、助け主
はあなたたちのところに来ないでしょう。しかし、
わたしが去って行けば、わたしは助け主をあなたた
ちのところに遣わします。
8 彼が来ると、罪について、正義について、審判につ
いて、世を責めます。
9 罪によるのです。彼らはわたしを信じないからです。
10 義についてです。わたしが父のもとに行くと、あ
なたがたはもはやわたしを見なくなります。
11 それは裁きについてです。この世の君が裁かれる
からです。
12 わたしにはあなたがたに言うべきことがまだ多く
あるが、あなたがたは今はそれに耐えられない。
13 しかし、真理の御霊が来ると、あなたたちをあら
ゆる真理に導いてくれます。御霊は自分から語るの
ではなく、聞いたことを語り、また、きたるべき事
をあなたたちに示すでしょう。
14 彼はわたしに栄光を与えるであろう。彼はわたし
のものを受けて、それをあなたたちに告げるであろ
うからである。
15 父が持っておられるものは皆わたしのものである。
だから、父はわたしのものを取って、あなたがたに
示して下さるであろう、とわたしは言ったのである。
16 もうしばらくすると、あなたがたはわたしを見な
くなる。しかし、またもうしばらくすると、あなた
がたはわたしを見るようになる。わたしは父のもと
に行くからである。
17 そのとき、弟子たちのうちのある者は、互に言っ
た。「『しばらくすると、あなたがたはわたしを見
なくなる。しかし、またしばらくすると、わたしを
見るようになる。そして、わたしは父のもとに行
く』と彼が言うのは、どういうことか。」
18 そこで彼らは言った、「もう少しの間、と彼が言
っているのは、どういうことか。私たちには彼が何
を言っているのか、分からない。」
19 イエスは彼らが尋ねたがっていることを知って、
彼らに言われた、「しばらくすると、あなたがたは
わたしを見なくなるが、またしばらくすると、わた
しを見るようになるとわたしが言ったことについて、
あなたがたは互いに論じ合っているのか。」

20 よくよくあなたがたに言っておく。あなたがたは
泣き悲しむが、世は喜ぶであろう。あなたがたは悲
しむが、その悲しみは喜びに変わるであろう。
21 女が産みの苦しみをするときは、自分の時が来た
ので悲しみを覚える。しかし、子を産み終えると、
人は世に生まれたという喜びで、もうその苦しみを
思い出さない。
22 だから、あなたがたは今は悲しみの中にある。し
かし、わたしは再びあなたがたと会うであろう。そ
のとき、あなたがたの心は喜ぶであろう。そして、
その喜びをあなたがたから奪い取る者はいない。
23 その日には、あなたがたは何もわたしに尋ねませ
ん。よくよくあなたがたに言います。あなたがたが
わたしの名によって父に求めるものは何でも、父は
与えて下さるでしょう。
24 あなたがたは今まで、わたしの名によって何も求
めたことがなかった。求めなさい。そうすれば、あ
なたがたの喜びが満ちあふれるように、与えられる
であろう。
25 わたしはこれらのことを箴言であなたがたに話し
た。しかし、わたしがもはや箴言であなたがたに話
さないで、父のことをはっきりとあなたがたに示す
時が来る。
26 その日には、あなたがたはわたしの名によって願
い求めるであろう。わたしはあなたがたのために父
に祈ろうとは言わない。
27 あなたがたがわたしを愛し、わたしが神から出て
きたと信じたので、父御自身があなたがたを愛して
おられるのです。
28 わたしは父のもとから出て、この世に来た。そし
てまた、世を去って父のもとに行く。
29 弟子たちはイエスに言った。「ごらんなさい。あ
なたは今、はっきりと話して、ことわざを語っては
おられません。」
30 今、私たちは、あなたがすべてのことを知ってお
り、だれもあなたに尋ねる必要もないことを確信し
ています。これによって、私たちはあなたが神から
来られたと信じています。
31 イエスは彼らに答えられた。「あなたたちは今信
じているのか。」
32 見よ、あなたがたが散らされて、それぞれ自分の
家に帰り、わたしをひとり残す時が来る。いや、今
や来ている。しかし、わたしはひとりではない。父
がわたしと共におられるからである。
33 これらのことを話したのは、わたしにあってあな
たがたが平安を得るためです。あなたがたは、この
世では苦難があるでしょう。しかし、勇気を出しな
さい。わたしはすでに世に勝っています。

第 17 章

1 これらの言葉を語った後、イエスは目を天に上げて
言われた、「父よ、時が来ました。あなたの子に栄
光を帰して下さい。そうすれば、子もまたあなたに
栄光を帰すでしょう。
2 あなたは、すべての人を支配する権威を彼に与え、
彼に与えたすべての人に永遠の命を与えるようにさ
れました。
3 永遠の命とは、唯一のまことの神でいますあなたと、
また、あなたがつかわされたイエス・キリストとを知
ることです。
4 わたしは地上であなたの栄光を現しました。あなた
がわたしになさせようとお与えになったわざを、わ
たしは成し遂げました。
5 父よ、今、世の始まる前にわたしがあなたとともに
持っていた栄光で、わたしをあなた自身の栄光で栄
光に輝かせてください。
6 あなたが世から選び出してわたしに与えてくださっ
た人々に、わたしはあなたの名を現しました。彼ら
はあなたのものであり、あなたは彼らをわたしに与
えてくださいました。彼らはあなたの約束を守りま
した。
7 今、彼らは、あなたが私に与えてくださったものは
すべてあなたから出たものであることを知りました。
8 わたしは、あなたがわたしに与えてくださった言葉
を彼らに伝えました。彼らはそれを受けて、わたし
があなたから出たことを確かに知り、また、あなた
がわたしをつかわされたことを信じたのです。
9 わたしは彼らのために祈ります。わたしは世のため
にではなく、あなたがわたしに与えてくださった彼
らのために祈ります。彼らはあなたのものなのです。
10 わたしのものはみなあなたのものであり、あなた
のものはわたしのものである。わたしは彼らによっ
て栄光を受ける。
11 そして今、わたしはもはやこの世にいませんが、
この人たちはこの世にいます。そしてわたしはあな
たのもとに来ます。聖なる父よ、あなたがわたしに
与えてくださった人たちを、あなたの御名によって
守ってください。彼らがわたしたちと同じく一つと
なるようにしてください。
12 わたしは、世に彼らと共にいたとき、あなたの名
によって彼らを守りました。あなたがわたしに下さ
った者たちをわたしは守りました。そのうちのひと
りも失われず、ただ滅びの子だけが失われました。
それは、聖書の言葉が成就するためです。
13 そして今、わたしはあなたのところへ来ました。
わたしがこれらのことを世で語るのは、わたしの喜
びが彼ら自身によって満たされるためです。
14 わたしは彼らにみ言葉を与えました。しかし、わ
たしがこの世の者でないのと同じように、彼らもこ
の世の者ではないので、世は彼らを憎みました。
15 わたしは彼らをこの世から取り去っていただくよ
うお願いするのではありません。彼らを悪から守っ
ていただくようお願いするのです。
16 わたしがこの世のものではないのと同じように、
彼らもこの世のものではありません。
17 あなたの真実によって彼らを聖別してください。
あなたの言葉は真実です。
18 あなたがわたしを世につかわされたように、わた
しも彼らを世につかわしました。

19 そして、彼らのために、わたし自身を聖別します。
それは、彼らも真理によって聖別されるためです。
20 わたしは彼らのためだけではなく、彼らの言葉を
聞いてわたしを信じる人々のためにも祈ります。
21 それは、父よ、あなたがわたしにおられ、わたし
があなたのうちにおられるように、彼らもみな一つ
となるためです。それは、あなたがわたしをお遣わ
しになったことを、世が信じるようになるためです。
22 あなたがわたしに下さった栄光を、わたしは彼ら
にも与えました。それは、わたしたちが一つである
ように、彼らも一つとなるためです。
23 わたしは彼らの中におり、あなたはわたしの中に
おられます。それは、彼らが完全に一体となるため
であり、また、あなたがわたしをつかわし、わたし
を愛してくださったように、彼らをも愛してくださ
ったことを、世が知るためなのです。
24 父よ、あなたがわたしに与えてくださった者たち
が、わたしのいる所にわたしと一緒にいるようにし
てください。それは、あなたがわたしに与えてくだ
さった栄光を彼らが見るためです。あなたは世界の
基が置かれる前からわたしを愛しておられたからで
す。
25 正しい父よ、世はあなたを知りません。しかし、
わたしはあなたを知っており、また、この人たちも
あなたがわたしをつかわされたことを知っています。
26 わたしは彼らにあなたの名を告げ知らせました。
また、これからも告げ知らせます。それは、あなた
がわたしを愛して下さった愛が彼らのうちにあり、
わたしも彼らのうちにいるためです。

第 18 章

1 イエスはこれらのことを語り終えると、弟子たちと
一緒にケデロン川の向こうに出て行かれた。そこに
は園があり、イエスと弟子たちはその中に入られた。
2 イエスを裏切ったユダもその場所を知っていた。イ
エスは弟子たちとたびたびそこへ出かけておられた
からである。
3 そこで、ユダは祭司長たちやパリサイ人たちから遣
わされた一隊の兵士と下役たちを引き連れ、提灯や
たいまつや武器を持ってそこへやって来た。
4 イエスは、自分に起ころうとしていることをことご
とくご存じだったので、出て行って彼らに言われた、
「だれを捜しているのか」。
5 彼らは答えた、「ナザレのイエスです」。イエスは
彼らに言われた、「わたしです」。イエスを裏切っ
たユダも彼らと一緒に立っていた。
6 イエスが彼らに、「わたしがそれだ」と言われた途
端、彼らは後ずさりして、地に倒れた。
7 そこでイエスはもう一度彼らに尋ねられた。「だれ
を捜しているのか。」彼らは「ナザレのイエスを捜
しているのだ」と言った。
8 イエスは答えられた。「わたしがそれだ、とあなた
たちに言ったはずだ。だから、わたしを捜している
のなら、この人たちは去らせなさい。
あなたがわたしに与えてくださった者を、わたしは
ひとりも失いませんでした」と言われた御言葉が成
就するためでした。
10 すると、シモン・ペテロは剣を持っていて、それを
抜いて、大祭司の僕に切りかかり、その右の耳を切
り落とした。その僕の名はマルコスであった。
11 すると、イエスはペテロに言われた、「剣をさや
に納めなさい。父がわたしに下さった杯は、飲むべ
きではないか。」
12 そこで、ユダヤ人の軍隊と千人隊長と下役たちは
イエスを捕らえて縛り、
13 そして、まず彼をアンナスのところに連れて行っ
た。アンナスは、その年の大祭司カヤパのしゅうと
であった。
14 カヤパとは、一人の人間が民のために死ぬのがよ
いとユダヤ人たちに助言していた人であった。
15 シモン・ペテロはイエスに従い、もう一人の弟子も
従った。この弟子は大祭司に知られた者であったの
で、イエスと共に大祭司の官邸にはいった。
16 しかし、ペテロは外の戸口に立っていた。すると、
大祭司に知られているもう一人の弟子が出て来て、
戸口を守る女に話しかけ、ペテロを中に入れた。
17 すると、門番の女中がペテロに言った。「あなた
も、あの人の弟子のひとりではありませんか。」ペ
テロは言った。「違います。」
18 召使たちや下役たちは、寒かったので炭火をおこ
してそこに立って、暖まっていた。ペテロも彼らと
一緒に立って、暖まっていた。
19 そこで、大祭司はイエスに、弟子たちとイエスの
教えについて尋ねた。
20 イエスは答えられた。「わたしは世に公然と語っ
た。ユダヤ人たちがいつも集まる会堂や宮で教えて
きた。隠れて語ったことは何一つない。」
21 なぜわたしに尋ねるのですか。わたしの話を聞い
た人々に、わたしが彼らに何と言ったか尋ねなさい。
見よ、彼らはわたしが言ったことを知っているので
す。
22 イエスがこう言い終わると、そばに立っていた下
役の一人が、イエスを手のひらでたたいて言った。
「あなたは大祭司にそう答えるのか。」
23 イエスは答えられた。「もしわたしが悪いことを
したのなら、その悪いことの証拠を示しなさい。し
かし、良いことを言ったのなら、なぜわたしを打つ
のですか。」
24 さて、アンナスは彼を縛ったまま大祭司カヤパの
もとに送りました。
25 シモン・ペテロは立って、暖まっていた。そこで彼
らは彼に言った、「あなたもあの人の弟子のひとり
ではないか。」 彼はそれを否定して言った、「違い
ます。」
26 大祭司の従者のひとりで、ペテロに片耳を切り落
とされた者の親類である者が言った。「わたしはあ
なたが園で彼と一緒にいるのを見なかったか。」
27 ペテロは再びそれを否定した。すると、すぐに鶏
が鳴いた。

28 それから、彼らはイエスをカヤパのもとから法廷に連れて行った。まだ朝早かったので、彼らは汚れるのを恐れて法廷には入らず、過越の食事をした。
29 そこでピラトは彼らのところに出て行って言った、「あなたたちはこの男に対してどんな罪状を申し立てるのか」。
30 彼らは答えて言った、「もし彼が犯罪者でなかったら、私たちは彼をあなたに引き渡さなかったでしょう。」
31 そこでピラトは彼らに言った、「彼を連れて行き、あなたがたの律法に従って裁判をしなさい」。するとユダヤ人たちは彼に言った、「われわれには人を死刑にすることは許されていない。
32 それは、イエスがどのような死を遂げるべきかを告げて言われた言葉が成就するためであった。
33 そこでピラトは再び法廷に入り、イエスを呼び出して言った。「あなたはユダヤ人の王なのか。」
34 イエスは答えられた。「あなたは自分でそう言ったのか、それとも、ほかの人が私についてそう言ったのか。」
35 ピラトは答えた。「私はユダヤ人なのか。あなたの同胞と祭司長たちが、あなたを私に引き渡した。あなたは何をしたのか。」
36 イエスは答えられた。「わたしの王国はこの世のものではありません。もしわたしの王国がこの世のものであったなら、わたしのしもべたちは、わたしをユダヤ人たちに引き渡さないように戦ったことでしょう。しかし、わたしの王国はこの世のものではありません。」
37 そこでピラトはイエスに言った、「それでは、あなたは王なのですか。」 イエスは答えた、「あなたは、わたしを王だと言っています。わたしは真理について証しをするために生まれ、またこのためにこの世に来たのです。真理に属する者は皆、わたしの声に耳を傾けます。」
38 ピラトはイエスに言った、「真実とは何か。」 こう言ってから、イエスは再びユダヤ人たちのところへ出て行き、彼らに言った、「この人には何の罪も見いだせません。」
39 しかし、過越の祭りの時には、わたしがひとりの者をあなたがたに釈放するのが、あなたがたの慣例となっている。それなのに、ユダヤ人の王をあなたがたに釈放してもらいたいのか。
40 すると、彼らはみなまた叫んで言った、「この人ではない、バラバだ。バラバは強盗だったのだ。」

第 19 章

1 そこでピラトはイエスを捕らえて鞭打った。
2 兵士たちはいばらの冠を編んでイエスの頭に載せ、紫色の衣を着せた。
3 そして、「ユダヤ人の王、万歳！」と言って、彼を手で打ち殺した。
4 そこでピラトは再び出て来て、彼らに言った。「見よ、わたしは彼をあなたたちのところへ引き出す。わたしが彼に何の罪も見いだせないことを、あなたたちが知るためである。」
5 すると、イエスはいばらの冠をかぶり、紫の衣を着て出て来た。ピラトは彼らに言った、「見よ、この人だ」。
6 そこで、祭司長たちや下役たちはイエスを見ると、叫んで言った。「十字架につけろ、十字架につけろ。」ピラトは彼らに言った。「彼を引き取って十字架につけよ。この人には何の罪も見いだせない。」
7 ユダヤ人たちはイエスに答えた。「私たちには律法があります。律法によれば、彼は死刑に値します。なぜなら、彼は自分を神の子としたからです。」
8 ピラトはこの言葉を聞いてますます恐れた。
9 そして、再び法廷に入り、イエスに言った、「あなたはどこから来たのですか」。しかし、イエスは何もお答えにならなかった。
10 そこでピラトはイエスに言った。「私に何も言わないのか。私には、あなたを十字架につける権威があり、また、あなたを釈放する権威もあることを、知らないのか。」
11 イエスは答えられた。「上から与えられなければ、あなたは私に対して何の権威も持ち得なかったでしょう。だから、私をあなたに引き渡した者の罪はもっと大きいのです。」
12 ピラトはそれ以来、イエスを釈放しようと努めたが、ユダヤ人たちは叫んで言った。「この男を釈放するなら、あなたは皇帝の味方ではない。自分を王とする者は、皇帝に逆らう者である。」
13 ピラトはこの言葉を聞くと、イエスを外に連れ出し、敷石と呼ばれる場所、ヘブル語ではガバタと呼ばれる場所で、裁判の席に着いた。
14 それは過越の準備の時で、午後六時ごろであった。イエスはユダヤ人たちに、「見よ、これがあなたたちの王だ」と言った。
15 しかし、彼らは叫んだ。「彼を殺せ、殺せ、十字架につけよ。」ピラトは彼らに言った。「私があなたがたの王を十字架につけるのか。」祭司長たちは答えた。「私たちには、カイザルのほかに王はいません。」
16 そこで、イエスは十字架につけるために彼らに引き渡された。彼らはイエスを捕らえて連れて行った。
17 そして、イエスは十字架を背負って、ヘブル語でゴルゴタと呼ばれる、どくろの場所と呼ばれる場所に出て行かれた。
18 そこで彼らは、イエスを十字架につけた。また、ほかの二人を、イエスの両側に一人ずつ、そしてイエスを真ん中に十字架につけた。
19 ピラトは罪状書きを書いて十字架にかけた。そこには、「ユダヤ人の王、ナザレのイエス」と書いてあった。
20 その時、多くのユダヤ人がその罪状書きを読み上げた。イエスが十字架につけられた場所は都に近かったからである。そして、罪状書きはヘブル語、ギリシア語、ラテン語で書かれていた。

21 そこで、ユダヤ人の祭司長たちはピラトに言った。「『ユダヤ人の王』と書かず、『ユダヤ人の王だ』と自称したと書きなさい。」
22 ピラトは答えた。「私が書いたことは、私が書いたのです。」
23 兵士たちはイエスを十字架につけてから、その着物を取って四つに分け、各兵士に一つずつ分けた。また上着も作った。上着は縫い目がなく、上からすべて織り合わせたものであった。
24 そこで彼らは互いに言った、「それを裂かないで、だれのものになるか、くじを引こう」。それは、「彼らはわたしの着物を分け合い、わたしの着物をくじで引いた」と書いてある聖書の言葉が実現するためであった。兵士たちはそのとおりにした。
25 さて、イエスの十字架のそばには、イエスの母と母の姉妹、クレオパの妻マリア、そしてマグダラのマリアが立っていた。
26 イエスは、その母と、愛していた弟子がそばに立っているのを見て、その母に言われた。「婦人よ、ごらんなさい。あなたの子です。」
27 それから、イエスはその弟子に言われた。「あなたの母をごらんなさい。」そのときから、その弟子は彼女を自分の家に引き取った。
28 この後、イエスは、すべてのことが成し遂げられたことを知って、聖書の言葉が成就するために、「わたしは渇く」と言われた。
29 すると、そこには酢の満ちた器が置いてあった。彼らは海綿に酢を含ませ、それをヒソプにつけてイエスの口に当てた。
30 イエスは酢みりんを受けると、「成し遂げられた」と言い、頭を垂れて息を引き取られた。
31 ユダヤ人たちは、その日は準備の日であったので、安息日に死体を十字架の上に残しておかないように、（その安息日は特別な日であったから）、死体の足を折って取り降ろしてくれるようにピラトに願った。
32 すると、兵士たちが来て、イエスと共に十字架につけられた最初の者と、もう一人の者との足を折った。
33 しかし、彼らがイエスのところに来ると、イエスがすでに死んでおられたのを見て、その足を折ることはしなかった。
34 しかし、兵士の一人が槍で彼のわき腹を刺した。すると、すぐに血と水が流れ出た。
35 それを見た者が証言した。その証言は真実である。彼は自分が真実を語っていることを知っているので、あなたがたは信じるようになる。
36 これらの事が起こったのは、「彼の骨は一つも折られないであろう」という聖書の言葉が成就するためであった。
37 また聖書の別の箇所にはこう書いてあります。「彼らは、自分たちが突き刺した方を見るであろう。」
38 この後、アリマタヤのヨセフは、イエスの弟子ではあったが、ユダヤ人たちを恐れてそのことを隠していたので、イエスの遺体を引き取りたいとピラトに願った。ピラトは許可した。そこでヨセフは行って、イエスの遺体を引き取った。
39 ニコデモも来た。彼は最初、夜イエスのもとに来て、没薬と沈香を混ぜたものを百ポンドほど持って来た。
40 それから、彼らはイエスの遺体を取り、ユダヤ人の埋葬の習慣に従って、香料と一緒に亜麻布で巻いた。
41 イエスが十字架につけられた場所には園があり、そこにはまだだれも葬られたことのない新しい墓があった。
42 ユダヤ人の準備の日であったので、彼らはイエスをそこに納めた。墓が近かったからである。

第 20 章

1 週の初めの日に、まだ暗いうちに、マグダラのマリアは墓に行き、墓から石が取りのけられているのを見た。
2 そこで彼女は走って行って、シモン･ペテロと、イエスが愛しておられたもう一人の弟子のところへ行き、彼らに言った。「だれかが主を墓から取り去りました。どこに置いたのか、私たちには分かりません。」
3 そこでペテロともう一人の弟子は出て行って墓に着いた。
4 そこで、ふたりは一緒に走りました。そして、もうひとりの弟子がペテロより先に走り、先に墓に着きました。
5 そこで彼は身をかがめて中をのぞき込み、亜麻布が置いてあるのを見たが、中に入らなかった。
6 そのとき、シモン･ペテロがイエスに従って来て墓に入り、亜麻布が置いてあるのを見て、
7 また、イエスの頭に巻かれていた布は、亜麻布といっしょに置かれず、別の場所に一緒に巻かれていた。
8 すると、先に墓に着いたもう一人の弟子も中に入り、見て信じた。
9 彼らは、イエスが必ず死人の中からよみがえらなければならないという聖書の言葉をまだ知らなかったからである。
10 それから、弟子たちはまた自分たちの家に帰って行った。
11 しかしマリアは墓の外に立って泣いていた。そして泣きながら身をかがめて墓の中をのぞき込んだ。
12 そして、白い衣を着た二人の天使が、イエスの遺体が置かれていたところに、一人は頭の方に、もう一人は足の方に座っているのを見た。
13 彼らは彼女に言った、「婦人よ、なぜ泣いているのですか」。彼女は彼らに言った、「人々が私の主を連れて行き、どこに置いたのか私には分からないからです」。
14 彼女はこう言ってから、振り返って、イエスが立っておられるのを見たが、それがイエスだとは知らなかった。

15 イエスは彼女に言われた、「婦人よ、なぜ泣いているのか。だれを捜しているのか。」彼女は、イエスが園の管理人だと思って言った、「ご主人様、あなたが彼をここから運び去ったのでしたら、どこに置いたのか、教えてください。私が引き取ります」。
16 イエスは彼女に言われた、「マリアよ」。彼女は振り向いて言った、「ラボニ。これは『先生』という意味です。」
17 イエスは彼女に言われた、「わたしにさわってはいけない。わたしはまだ父のもとへ上っていないから。ただ、わたしの兄弟たちのところへ行って、こう言いなさい。『わたしは、わたしの父であり、あなたがたの父である方、また、わたしの神であり、あなたがたの神である方のもとへ上る』」。
18 マグダラのマリアは来て、主に会ったこと、また主が彼女にこれらのことを話されたことを弟子たちに告げた。
19 その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちはユダヤ人たちを恐れて、集まっていた家の戸に鍵をかけていると、イエスが来て真ん中に立ち、「平安があなた方にあるように」と言われた。
20 こう言って、イエスは彼らに手とわき腹をお見せになった。弟子たちは主を見て喜んだ。
21 すると、イエスは再び彼らに言われた、「平安があなた方にあるように。父がわたしをつかわされたように、わたしもあなた方をつかわすのです。」
22 こう言ってから、イエスは彼らに息を吹きかけて言われた、「聖霊を受けなさい。
23 あなたがたがだれの罪を赦すなら、それは赦される。また、だれの罪を赦さないなら、それは赦されない。
24 しかし、十二人の一人で、ディディモと呼ばれるトマスは、イエスが来られたとき、彼らと一緒にいませんでした。
25 そこで、ほかの弟子たちがイエスに言った、「わたしたちは主を見た」。しかしイエスは彼らに言われた、「わたしは、その手に釘の跡を見、わたしの指を釘の跡に入れてみなければ、また、わたしの手をそのわきにさし入れてみなければ、決して信じない」。
26 八日後、弟子たちはまた家の中におり、トマスも一緒にいた。そのとき、戸が閉ざされていたので、イエスが来て真ん中に立って言われた、「平安があなた方にあるように」。
27 それからイエスはトマスに言われた、「あなたの指をここにつけて、わたしの手を見なさい。また、あなたの手をここに伸ばして、わたしのわきにさし入れてみなさい。信じない者にならないで、信じる者になりなさい。」
28 するとトマスは答えて言った。「わたしの主、わたしの神よ。」
29 イエスは彼に言われた、「トマス、あなたは私を見たので信じたのか。見ないで信じる人は幸いである」。
30 イエスは弟子たちの前で、この書物に書かれていない多くのしるしを実際に行われた。
31 しかし、これらのことが書かれたのは、イエスが神の子キリストであることを、あなたがたが信じるためであり、また信じてイエスの名によって命を得るためである。

第 21 章

1 これらのことの後、イエスは再びティベリアス湖畔で弟子たちにご自身を現された。
2 そこには、シモン・ペテロ、デディモと呼ばれるトマス、ガリラヤのカナ出身のナタナエル、ゼベダイの子たち、それにほかの二人の弟子が一緒にいた。
3 シモン・ペテロは彼らに言った、「私は漁に行きます」。彼らは言った、「私たちも一緒に行きます」。彼らは出かけて、すぐに船に乗り込んだが、その夜は何も捕れなかった。
4 夜が明けると、イエスは岸に立っておられた。しかし弟子たちはそれがイエスだとは知らなかった。
5 そこでイエスは彼らに言われた、「子供たちよ、何か食べ物はあるか」。彼らは答えた、「ありません」。
6 そこでイエスは彼らに言われた、「舟の右側に網をおろしなさい。そうすれば、何かとれるだろう」。そこで彼らは網をおろしたが、魚があまりにも多くて、網を引き上げることができなかった。
7 すると、イエスが愛しておられたあの弟子がペテロに言った。「主だ。」シモン・ペテロは主であると聞いて、裸であったので、漁師の着物をまとって海に飛び込んだ。
8 ほかの弟子たちは小舟に乗って、魚の入った網を引いて来た。（陸地からそれほど遠くなく、二百キュビトほどあった。）
9 彼らが陸に着くと、そこに炭火と、その上に載せられた魚と、パンとが見えた。
10 イエスは彼らに言われた、「今捕った魚を一匹持って来なさい。」
11 シモン・ペテロは網を引き上げ、陸に上げました。網には百五十三匹もの大きな魚がいっぱい入っていました。こんなに多かったのに、網は破れませんでした。
12 イエスは彼らに言われた、「さあ、食事をしなさい。」弟子たちはだれも、それが主であることを知っていたので、「あなたはどなたですか」と尋ねる勇気がなかった。
13 すると、イエスは来て、パンを取り、彼らに与え、また魚も同じように与えた。
14 イエスが死からよみがえられた後、弟子たちにご自身を現されたのは、これで三度目である。
15 彼らが食事を終えると、イエスはシモン・ペテロに言われた。「ヨハネの子シモン、あなたは、この人たち以上にわたしを愛しますか。」ペテロは言った。「主よ、そうです。わたしがあなたを愛していること

とは、あなたがご存じです。」ペテロは言った。
「わたしの小羊を養いなさい。」
16 イエスは二度目に言われた、「ヨハネの子シモン
よ、わたしを愛しますか。」彼は答えた、「はい、
主よ。わたしがあなたを愛していることは、あなた
がご存じです」。 彼は言った、「わたしの羊を養い
なさい」。
17 イエスは三度目に言われた、「ヨハネの子シモン
よ、わたしを愛しますか。」ペテロは三度目に「わ
たしを愛しますか。」と言われたので心を痛めた。
シモンは言った、「主よ、あなたはすべてをご存じ
です。わたしがあなたを愛していることは、あなた
がご存じです」。イエスは彼に言われた、「わたし
の羊を養いなさい。」
18 よくよくあなたに言っておく。あなたは若かった
時には、自分で帯を締めて、自分の行きたい所へ歩
いて行った。しかし年老いたら、あなたは自分の手
を伸ばし、ほかの人があなたに帯を締めて、行きた
くない所へ連れて行くであろう。
19 イエスは、どのような死を遂げることによって神
に栄光をささげるべきかを示唆して、こう言われた。
そして、こう言い終えると、イエスは彼に言われた。
「わたしに従いなさい。 」
20 そのとき、ペテロは振り向いて、イエスの愛して
おられた弟子がついて来るのを見た。その弟子は食
事のときもイエスの胸に寄りかかって、「主よ、あ
なたを裏切る者は、だれですか」と言った。
21 ペテロはそれを見てイエスに言った。「主よ、こ
の人はどうすればよいのですか。」
22 イエスは彼に言われた。「たといわたしが、わた
しの来るまで彼がとどまっていることを願っても、
あなたに何のかかわりがある。わたしに従ってきな
さい。」
23 そのとき、その弟子は死ぬことはない、といううう
わさが兄弟たちの間に広まった。しかし、イエスは
彼に、「彼は死ぬことはない」とは言わなかった。
「たといわたしが来るまで彼が生き続けることを望
んだとしても、それがあなたに何の関係があるか」
と。
24 この弟子は、これらのことを証言し、またこれら
のことを書いた者です。そして、私たちは彼の証言
が真実であることを知っています。
25 イエスがなさったことは、ほかにもたくさんある。
それを一つ一つ書き記すなら、世界をもってしても
書き記すべき書物は収まりきらないだろうと思う。
アーメン。

使徒言行録

第 1 章

1 テオフィロスよ、私はイエスが行い、教え始めたす
べてのことについて、以前に論文を書いた。
2 それから、天に上げられる日まで、イエスは、御自
分が選んだ使徒たちに聖霊によって戒めを与えてお
られた。
3 イエスは、苦しみを受けた後、ご自分が生きている
ことを、数々の確かな証拠をもって彼らに示し、四
十日間彼らに現れて、神の国のことを語られた。
4 そして、彼らと一緒に集まって、エルサレムを離れ
ず、わたしから聞いている父の約束を待つようにと
彼らに命じた。
5 ヨハネは水でバプテスマを授けたが、あなた方はも
う間もなく聖霊でバプテスマを受けるであろう。
6 そこで彼らは集まって、イエスに尋ねた。「主よ、
あなたはこの時に、イスラエルのために王国を再び
回復されるのですか。」
7 そこでイエスは彼らに言われた、「時や時期を知る
ことは、あなたがたのすることではない。それは父
がご自分の権威に委ねておられるのである。」
8 しかし、聖霊があなたがたに臨むとき、あなたがた
は力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサ
マリアの全土、および地の果てにまで、わたしの証
人となります。
9 イエスはこれらのことを語り終えると、彼らが見て
いるうちに天に上げられ、雲に迎えられて彼らの目
から見えなくなった。
10 イエスが昇って行かれるとき、彼らが天を見つめ
ていると、見よ、白い衣を着た二人の人が彼らのそ
ばに立っていた。
11 また、こうも言った。「ガリラヤの人たちよ、な
ぜ天を仰いで立っているのか。あなたがたを離れて
天に上げられたこのイエスは、天に上って行かれる
のをあなたがたが見たのと同じ有様で、またおいで
になるであろう。」
12 それから彼らは、オリーブ山からエルサレムに帰
った。そこはエルサレムから安息日の道のりである。
13 彼らは中に入って、屋上の部屋に上がった。そこ
には、ペテロ、ヤコブ、ヨハネ、アンデレ、フィリ
ポ、トマス、バルトロマイ、マタイ、アルファイの
子ヤコブ、熱心党のシモン、ヤコブの兄弟ユダが住
んでいた。
14 これらの人々はみな、婦人たちやイエスの母マリ
ア、またイエスの兄弟たちとともに、心を一つにし
て祈りと願いを続けていた。
15 そのころ、ペテロは弟子たちの真ん中に立って言
った。――名前を合わせた人の数は百二十人ほどで
あった。
16 兄弟たちよ、この聖書の言葉は、イエスを捕らえ
た者たちの導き手であったユダについて、聖霊がダ
ビデの口を通して以前から語っていたことであり、
必ず実現したに違いありません。
17 彼は私たちと共に数えられ、この奉仕に一部携わ
っていたのです。
18 さて、この男は不正の報酬で畑を買ったが、まっ
さかさまに落ちて、体が真っ二つに裂け、内臓がみ
な流れ出た。
19 そして、それはエルサレムに住むすべての人に知
られたので、その畑は彼らの言語でアケルダマ、す
なわち血の畑と呼ばれた。
20 詩篇にこう書いてある。「彼の住まいは荒れ果て、
そこに住む者はなく、彼の監督職は他人に譲れ。」
21 主イエスが私たちの間に出入りしておられた間、
いつも私たちと行動を共にしていたこれらの人々の
うち、
22 ヨハネの洗礼から始まって、彼が私たちから引き
上げられたその日まで、私たちとともに彼の復活の
証人となるために、一人が任命されなければなりま
せん。
23 彼らは二人を任命した。バルサバと呼ばれ、ユス
トとも呼ばれるヨセフと、マティアである。
24 彼らは祈って言った、「すべての人の心をご存じ
の主よ、この二人のうちのどちらを選ばれたのか、
お示しください。
25 それは、ユダが罪を犯して落ちてしまったこの奉
仕と使徒の職に彼が加わり、自分の場所へ戻るため
であった。
26 そこで彼らはくじを引いた。くじはマティアスに
当たった。そして彼は十一人の使徒たちとともに数
えられた。

第 2 章

1 五旬節の日が来ると、彼らは皆心を一つにして同じ
場所に集まっていた。
2 すると突然、激しい風が吹いてくるような音が天か
ら起こり、彼らが座っていた家全体に響き渡った。
3 すると、炎のような分かれた舌が彼らの上に現れ、
一人一人の上にとどまりました。
4 そして、彼らはみな聖霊に満たされ、御霊が話させ
るとおりに、他国の言葉で話し始めた。
5 エルサレムには、天下のあらゆる国から来た敬虔な
ユダヤ人たちが住んでいた。
6 この声が響き渡ると、群衆が集まって来て、それぞ
れが自分の母国語で話しているのを聞いたので、当
惑した。
7 すると、彼らはみな驚き怪しんで、互いに言った。
「見よ、この話をしている人たちは皆ガリラヤ人で
はないか。
8 では、私たちはそれぞれ自分の生まれた国語で聞く
ことができるのでしょうか。
9 パルティア人、メディア人、エラム人、メソポタミ
ア、ユダヤ、カパドキア、ポントス、アジアに住む
人々、

10 フリギア、パンフィリア、エジプト、キレネ周辺
のリビア地方、ローマからの寄留者、ユダヤ人、改
宗者、
11 クレタ人とアラビヤ人、彼らが私たちの言語で神
のすばらしい御業を語るのを私たちは聞いています。
12 すると、彼らはみな驚き、疑って互いに言った、
「これは、いったい、どういうことなのだろう。」
13 ほかの人たちはあざ笑って言った、「あの人たち
は新しいぶどう酒に酔っているのだ。」
14 しかし、ペテロは十一人と共に立ち上がり、声を
張り上げて彼らに言った。「ユダヤの人々、および
エルサレムに住むすべての人々、このことを知って
おき、私の言うことによく耳を傾けてください。
15 あなたがたが思っているように、彼らは酔ってい
るのではない。まだ午後三時である。
16 しかし、これは預言者ヨエルによって語られたこ
とである。
17 終わりの日に、神はこう言われる。「わたしはわ
たしの霊をすべての人に注ぐ。すると、あなたがた
の息子、娘は預言し、若者は幻を見、老人は夢を見
るであろう。
18 その日には、わたしはわたしのしもべたちや、わ
たしの侍女たちにわたしの霊を注ぐ。彼らは預言す
る。
19 そして、わたしは上は天に不思議なわざを、下は
地にしるしを現す。すなわち、血と火と煙の蒸気で
ある。
20 主の大いなる注目すべき日が来る前に、太陽は暗
くなり、月は血のように変るであろう。
21 そして、主の名を呼ぶ者はだれでも救われるであ
ろう。
22 イスラエルの人たちよ、これらのことばを聞きな
さい。ナザレのイエスは、あなたがたの間で、神に
認められた人であり、神が彼を通してあなたがたの
間で行われた奇跡と不思議としるしによって、あな
たがたに認められた人である。あなたがた自身も知
っているとおりである。
23 神の定めた計画と予知によって引き渡された彼を、
あなたたちは捕らえ、邪悪な手で十字架につけて殺
したのです。
24 神は、キリストを死の苦しみから解き放ち、復活
させました。キリストが死にとどまることは、あり
得なかったからです。
25 ダビデは主についてこう語っています。「わたし
は主を常にわたしの前に見ていた。主はわたしの右
にいて、わたしを揺り動かすことはない。
26 それゆえ、わたしの心は喜び、わたしの舌は喜び、
わたしの肉体もまた希望に安らぐであろう。
27 あなたはわたしの魂を陰府に捨て置かず、あなた
の聖なる者が朽ち果てるのを許さないからです。
28 あなたはわたしに命の道を知らせ、あなたの御顔
によってわたしを喜びで満たしてくださいます。
29 兄弟たちよ、族長ダビデについて、はっきり言っ
ておく。彼は死んで葬られ、その墓は今も私たちの
ところにある。
30 ですから、彼は預言者であり、神が、肉によれば、
彼の腰から出た者の中からキリストを立てて、ご自
分の王座に着かせると、彼に対して誓いを立てられ
たことを知っていたのです。
31 彼は、これを前もって見て、キリストの復活につ
いて、その魂は陰府に残されず、その肉体は朽ち果
てなかったと語った。
32 神はこのイエスをよみがえらせました。わたした
ちは皆、その証人です。
33 それゆえ、キリストは神の右に上げられ、父から
約束された聖霊を受けて、あなたがたが今見聞きし
ているこのことを、啓示されたのです。
34 ダビデは天に昇ってはいないが、彼自身がこう言
っている。「主はわが主に言われた。『わたしの右
に座せよ。
35 わたしがあなたの敵をあなたの足台とするまで。
36 だから、イスラエルの全家は、はっきり知るべき
だ。あなたがたが十字架につけたこのイエスを、神
は主またキリストとして立てられたのだ。
37 彼らはこれを聞いて心を刺され、ペテロとほかの
使徒たちに言った、「兄弟たちよ、私たちはどうし
たらよいでしょうか。」
38 するとペテロは彼らに言った。「悔い改めなさい。
そして、罪の赦しを得るために、イエス•キリストの
名によって、あなたがたひとりひとりがバプテスマ
を受けなさい。そうすれば、聖霊の賜物を受けるで
しょう。」
39 この約束は、あなた方と、あなた方の子孫、およ
び遠くにいるすべての人々、すなわち、私たちの神
である主が召されるすべての人々に与えられている
のです。
40 そして、彼は、そのほか多くの言葉で証しし、勧
めて言った、「この邪悪な時代から自分たちを救い
なさい。」
41 そこで、彼の言葉を喜んで受け入れた人々はバプ
テスマを受けた。そして、その日のうちに三千人ほ
どの人が彼らに加わった。
42 彼らは使徒たちの教えを守り、交わりを持ち、パ
ンを裂き、祈りを続けていたのである。
43 そして、すべての魂に恐れが起こった。そして、
使徒たちによって多くの不思議な業としるしが行わ
れた。
44 信者たちはみな一緒にいて、すべてのものを共有
していました。
45 そして、財産や持ち物を売り、それぞれの必要に
応じて、すべての人に分け与えた。
46 そして彼らは毎日心を一つにして神殿に集まり、
家々を回ってパンを裂き、喜びと真心をもって食事
を共にした。
47 彼らは神を賛美し、すべての民衆から好意を寄せ
られ、主は救われる人々を日々教会に加えて下さっ
た。

第 3 章

1 さて、ペテロとヨハネは、午後三時の祈りの時間に
一緒に宮に上って行った。
2 すると、母の胎内から足の不自由な人が運ばれてき
て、毎日、神殿の「美しい門」と呼ばれる門のとこ
ろに寝かせて、神殿に入る人々に施しを乞うていた。
3 彼はペテロとヨハネが神殿に入ろうとしているのを
見て、施しを求めた。
4 するとペテロはヨハネとともに彼をじっと見つめて
言った、「わたしたちを見てください。」
5 そして彼は、何か受け取ることを期待しながら、彼
らに注意を払った。
6 するとペテロは言った。「銀や金は私にはない。し
かし、私の持っているものをあげよう。ナザレのイ
エス・キリストの名によって立ち上がり、歩きなさ
い。」
7 そこでイエスは彼の右手を取って起こされた。する
と、すぐに彼の足とくるぶしの骨が強くなった。
8 そして彼は跳び上がり、立ち上がり、歩き、歩いた
り、跳びはねたり、神を賛美しながら、彼らと一緒
に神殿に入って行った。
9 民衆は皆、彼が歩きながら神を賛美しているのを見
た。
10 彼らは、それが神殿の美しい門のところで施しを
乞うて座っていた者だと知り、彼に起こったことに
驚き、驚嘆した。
11 そして、癒された足の不自由な人がペテロとヨハ
ネを抱きしめると、すべての民衆は大いに驚きなが
ら、ソロモンの廊と呼ばれる所にいる彼らのところ
に駆け寄った。
12 ペテロはそれを見て、群衆に答えた。「イスラエ
ルの人たちよ、なぜ驚くのか。また、私たちが自分
の力や聖さでこの人を歩かせたかのように、なぜそ
んなにも私たちを見つめるのか。
13 アブラハム、イサク、ヤコブの神、わたしたちの
先祖の神は、その子イエスに栄光をお与えになりま
した。しかし、あなたがたは、イエスを引き渡し、
ピラトが釈放しようと決めたとき、彼の前でイエス
を否定したのです。
14 しかし、あなたたちは聖なる方、正しい方を否定
し、人殺しが許されることを望みました。
15 そして、命の君主を殺したが、神はその君を死人
の中からよみがえらせた。私たちはその証人である。
16 そして、あなたがたが見て知っているこの人を、
その名に対する信仰によって強くしたのです。また、
彼による信仰が、あなたがた一同の前で、この完全
な健全さを彼に与えたのです。
17 さて、兄弟たちよ、あなたがたは、あなたがたの
指導者たちと同様、無知のゆえにそれをしたのだと、
わたしは知っています。
18 しかし、キリストが受けるべき苦しみは、神がす
べての預言者の口を通してあらかじめ示しておられ
たものであり、神はそのとおりに成就されたのです。
19 それゆえ、悔い改めて心を立て直しなさい。そう
すれば、主の御前から慰めの時が来るとき、あなた
がたの罪は消し去られるであろう。
20 そして、主は、あなたがたに以前から宣べ伝えら
れていたイエス・キリストを遣わされるであろう。
21 神は、世界の始まり以来、すべての聖なる預言者
たちの口を通して、万物更新の時まで、彼を天に留
めておかなければなりません。
22 モーセは確かに先祖たちに言った。「あなたの神、
主は、わたしのような預言者を、あなたの同胞の中
から起こされるであろう。その預言者があなたがた
に告げることは、すべてあなたがたに聞くであろ
う。」
23 そして、その預言者に耳を傾けない者は皆、民の
中から滅ぼされるであろう。
24 そうです、サムエルからそれに続くすべての預言
者たちも、語った者はみな、これらの日について同
様に預言しました。
25 あなたがたは預言者の子孫であり、神が私たちの
先祖と結ばれた契約の子孫です。神はアブラハムに
こう言われました。「あなたの子孫によって、地上
のすべての民族が祝福されるであろう。」
26 神は、まずあなたがたのために御子イエスをよみ
がえらせ、あなたがた一人一人をその不義から引き
離して祝福するために、この方を遣わされました。

第 4 章

1 彼らが民に話していると、祭司たち、神殿の守衛長、
サドカイ人たちが彼らに近づいて来て、
2 彼らは、民衆を教え、イエスによって死人の中から
の復活を宣べ伝えていたので、心を痛めた。
3 彼らは彼らに手をかけて、翌日まで拘束した。すで
に夕方になっていたからである。
4 しかし、御言葉を聞いた者のうち多くの者が信じた。
その数はおよそ五千人であった。
5 翌日、役人たち、長老たち、律法学者たちは、
6 さて、大祭司アンナス、カヤパ、ヨハネ、アレクサ
ンデル、および大祭司の親族が皆エルサレムに集ま
っていた。
7 そこで彼らは彼らを真ん中に立たせて、こう尋ねた。
「何の権威によって、また何の名によって、このよ
うなことをしたのか。」
8 すると、ペテロは聖霊に満たされて彼らに言った。
「民の指導者たち、イスラエルの長老たちよ。
9 もし私たちが今日、病気の人に対してなされた善行
について、どのようにして彼が癒されたのかを尋問
されているなら、
10 あなたがたすべてとイスラエルの民全体に知らせ
なさい。あなたがたが十字架につけ、神が死人の中
からよみがえらせたナザレ人イエス・キリストの名に
よって、この人が元気になってあなたがたの前に立
っているのです。
11 これこそ、あなたがた家を建てる者たちに無視さ
れた石であったが、隅の親石となった石である。

12 また、ほかのだれによっても救いはありません。
天の下にこの名のほかに、わたしたちを救わなけれ
ばならない名は、人間には与えられていないからで
す。
13 彼らはペテロとヨハネの大胆な態度を見て、また
彼らが無学で無知な人々であることを知って驚き、
二人がイエスと共にいたことを知った。
14 そして、癒された人が彼らと一緒に立っているの
を見て、彼らは何も言えなかった。
15 そこで彼らは議会から退くように命じ、互いに協
議して、
16 彼らは言った、「この人たちをどうしたらよいの
か。彼らが驚くべき奇跡を行ったことは、エルサレ
ムに住むすべての人々に明らかであり、私たちはそ
れを否定することはできない。」
17 しかし、このことが民衆の間にこれ以上広まらな
いように、今後はだれにもこの名で語らないように、
彼らを厳しく脅しましょう。
18 そこで彼らは彼らを呼び寄せて、イエスの名によ
っては一切話したり教えたりしないように命じた。
19 しかし、ペテロとヨハネは答えて言った。「神よ
りもあなたがたに聞き従う方が、神の前に正しいか
どうか、あなたがたが判断してください。」
20 わたしたちは、見たこと、聞いたことを語らずに
はいられないのです。
21 そこで、彼らはさらに脅迫した後、民衆のゆえに、
彼らを罰する方法が見つからなかったため、彼らを
釈放した。すべての人が、行われたことに対して神
を讃美したからである。
22 この奇跡的な治癒を受けた人は四十歳を超えてい
た。
23 そこで彼らは釈放されて仲間のところへ行き、祭
司長たちや長老たちが自分たちに言ったことをすべ
て報告した。
24 彼らはこれを聞いて、声を合わせて神にむかって
言った。「主よ、あなたは神です。天と地と海と、
その中にあるすべてのものを造られた方です。
25 主はあなたのしもべダビデの口を通してこう言わ
れました。「なぜ異邦人は怒り狂い、民はむなしい
ことを企てるのですか。
26 地上の王たちは立ち上がり、支配者たちは主とそ
のキリストに敵対して集まった。
27 実に、あなたが油を注がれたあなたの聖なる子イ
エスに敵対して、ヘロデとポンテオ・ピラトは、異邦
人やイスラエルの人々と共に集まり、
28 それは、あなたの御手とあなたの計らいが、あら
かじめなそうと定められたことをすべて行うためで
す。
29 主よ、今、彼らの脅しに目を留めてください。そ
して、あなたのしもべたちに、大胆にあなたの言葉
を語らせてください。
30 あなたの御手を伸ばして癒し、あなたの聖なる子
イエスの御名によってしるしと不思議が行われてく
ださいますように。
31 彼らが祈りを終えると、彼らの集まっていた場所
が揺れ動き、一同は聖霊に満たされ、大胆に神の言
葉を語った。
32 信者の群れは心を一つにし、思いを一つにし、だ
れ一人、自分の持ち物を自分のものだとは言わず、
すべてのものを共有していた。
33 そして使徒たちは、主イエスの復活について大い
なる力をもって証言し、彼らすべての上に大きな恵
みが及んだ。
34 彼らの中には、乏しい者は一人もいなかった。土
地や家屋を所有していた者は皆、それを売り、売っ
た物の代金を持って来たからである。
35 そして、それを使徒たちの足もとに置き、必要に
応じて各人に分配した。
36 使徒たちからバルナバ（訳せば「慰めの子」）と
呼ばれたヨセフは、キプロス地方のレビ人で、
37 彼は畑を持っていたので、それを売り、その金を
持って来て、使徒たちの足元に置いた。

第 5 章

1 ところが、アナニアという人が妻のサッピラと共に
所有物を売り、
2 そして、その代金の一部を隠しておいたが、妻もそ
れを承知しており、ある部分を持って来て、使徒た
ちの足元に置いた。
3 しかし、ペテロは言った。「アナニアよ、なぜサタ
ンがあなたの心を満たし、聖霊を偽り、土地の代金
の一部を隠したのですか。
4 それが残っていた間は、それはあなたのものではな
かったのか。それが売られた後も、それはあなたの
手の中にあったのではなかったのか。なぜあなたは、
こんなことを心に思いついたのか。あなたは人を欺
いたのではなく、神を欺いたのだ。
5 アナニアはこれらの言葉を聞いて倒れ、息を引き取
った。そして、これらのことばを聞いた人々は皆、
非常に恐れた。
6 若者たちは立ち上がり、彼を抱き上げて運び出し、
埋葬した。
7 それから三時間ほどたって、彼の妻は何が起こった
のか知らずに入って来た。
8 ペテロは彼女に答えた。「あなたたちはその土地を
そんなに高い値段で売ったのですか。」彼女は言っ
た。「はい、その値段です。」
9 するとペテロは彼女に言った。「どうしてあなたが
たは共謀して主の御霊を試みるのか。あなたの夫を
葬った者たちの足が戸口に来ていて、あなたを運び
出すだろう。」
10 すると彼女はすぐに彼の足もとに倒れて息を引き
取った。若者たちが来て彼女が死んでいるのを見つ
け、運び出して夫のそばに葬った。
11 そして、全教会と、これらのことを聞いたすべて
の人々に、大きな恐れが起こった。

12 そして使徒たちの手によって、多くのしるしと不
思議な業が民の間で行われた。彼らは皆、心を一つ
にしてソロモンの廊にいた。
13 残りの者たちのうち、だれも彼らに加わろうとは
しなかったが、民衆は彼らを尊敬した。
14 こうして、男も女も大勢の信者が主に加わった。
15 そこで人々は、病人を通りに連れ出し、寝台や長
いすの上に寝かせた。それは、ペテロが通り過ぎる
影が、少なくとも彼らのうちの何人かを覆うためで
あった。
16 また、周囲の町々からも大勢の人が、病人や汚れ
た霊に悩まされている人々を連れてエルサレムにや
って来たが、彼らはみな癒された。
17 そこで大祭司と彼と共にいたサドカイ派の者たち
は皆、憤慨して立ち上がり、
18 そして使徒たちを捕らえ、共同監獄に入れた。
19 しかし、主の使いが夜、牢の戸を開けて彼らを連
れ出し、こう言った。
20 行って、神殿の中で立って、この命に関する言葉
をみな民に語りなさい。
21 彼らはこれを聞いて、朝早く神殿に入り、教え始
めた。しかし、大祭司とその仲間たちが来て、議会
とイスラエルの子らの元老院全員を召集し、牢獄に
人をやって、彼らを連れ出させさせた。
22 しかし下役たちが来て、彼らが獄中にいないのを
見て、引き返してこう告げた。
23 言った。「確かに獄は厳重に閉ざされており、番
人たちが外の戸口に立っていました。しかし、開け
てみると中にはだれもいませんでした。
24 さて、大祭司、神殿の守備隊長、祭司長たちは、
これらのことを聞いて、このことがどうなるのかと
疑った。
25 すると、ある人が来て彼らに告げて言った、「見
よ、あなたがたが獄に入れた人たちが宮の中に立っ
て、民衆を教えています。」
26 そこで、千人隊長は下役たちと一緒に出かけて行
き、彼らを無理矢理連れ帰らせなかった。彼らは民
衆に石打ちにされるのを恐れたからである。
27 彼らはそれを議会の前に立たせた。大祭司は彼ら
に尋ねた。
28 言った。「私たちは、あの名で教えてはならない
と、あなたたちに厳しく命じたではないか。それな
のに、あなたたちはエルサレムにあなたたちの教え
を広め、この人の血の責任を私たちに負わせようと
しているのだ。」
29 すると、ペテロとほかの使徒たちは答えて言った、
「わたしたちは人に従うより、神に従うべきで
す。」
30 私たちの父祖の神は、あなたがたが殺し、木にか
けたイエスを復活させました。
31 神は彼を、君主、救い主として、その右の手に上
げ、イスラエルに悔い改めと罪の赦しを与えられま
した。
32 そして、私たちはこれらの事の証人であり、神が
従う者に与えてくださった聖霊もまた、これらの事
の証人です。
33 彼らはそれを聞いて心を痛め、彼らを殺そうと相
談した。
34 そのとき、議会の中に、ガマリエルという名のパ
リサイ人で、民衆全体から評判のよい律法学者が立
っていたが、使徒たちを少しの間外に出すように命
じた。
35 そして彼らに言った、「イスラエルの人々よ、こ
の人々に関して、あなたがたは何をしようとしてい
るのか、よく注意しなさい。
36 というのは、このころより前に、テウダという男
が立ち上がり、自分は偉い者であると自慢していた
が、四百人ほどの男たちが彼に加わった。しかし、
テウダは殺され、彼に従った者はみな散らされて、
滅ぼされた。
37 この人の後、徴税の時期にガリラヤのユダが立ち
上がり、多くの民衆を従わせたが、彼も滅び、彼に
従った者もみな追い散らされた。
38 そこで今、わたしはあなたたちに言います。これ
らの人々から遠ざかり、彼らを放っておきなさい。
もしこの計画やこの働きが人間によるものであれば、
それは無駄になるでしょう。
39 しかし、それが神から出たものであれば、あなた
がたはそれを打ち倒すことはできない。そうしない
と、あなたがたは神に敵対する者とみなされてしま
うかもしれないからである。
40 彼らはイエスに同意し、使徒たちを呼び出して打
ちたたいた後、イエスの名によって語ってはならな
いと命じて、彼らを釈放した。
41 そして彼らは、イエスの名のために辱めを受ける
に足る者とされたことを喜びながら、議会の前から
立ち去った。
42 そして、彼らは毎日、宮や各家で、イエス・キリス
トを教え、宣べ伝えることをやめなかった。

第 6 章

1 そのころ、弟子の数が増えると、ヘブル人に対して
ギリシャ人が不平を言い始めた。それは、ヘブル人
のやもめたちが日々の奉仕において無視されていた
からである。
2 そこで、十二人は弟子たちの群れを呼び寄せて言っ
た。「わたしたちが神の言葉を捨てて、食事の世話
をするのは道理にかなっていません。」
3 それで、兄弟たちよ、あなたがたの中から評判の良
い、聖霊と知恵に満ちた七人の人を選び出しなさい。
わたしたちはこの人たちをこの仕事の責任者に任命
します。
4 しかし、私たちは、絶えず祈りと御言葉の奉仕に専
念します。
5 この言葉は、群衆全員の心にかなうものとなり、信
仰と聖霊に満ちたステパノ、フィリポ、プロコロ、

ニカノル、ティモン、パルメナ、およびアンティオ
キアの改宗者ニコラオスが選ばれた。
6 彼らはイエスを使徒たちの前に立たせ、祈ってから、
彼らの上に手を置いた。
7 そして、神の言葉は広まり、エルサレムでは弟子の
数が非常に増え、祭司たちの大集団も信仰に従うよ
うになった。
8 ステパノは信仰と力に満ち、民衆の中で大きな不思
議な奇跡と不思議なわざを行った。
9 すると、リベルテン人の会堂と呼ばれる会堂の人た
ち、クレネ人、アレクサンドリア人、キリキア人、
アジア人などが立ち上がり、ステパノと論争した。
10 彼らは、イエスが語る知恵と霊に抵抗することが
できなかった。
11 そこで彼らは人々を唆して、「私たちは彼がモー
セと神とを冒涜する言葉を語るのを聞いた」と言わ
せた。
12 そこで彼らは民衆と長老たちと律法学者たちを扇
動し、彼を襲って捕らえ、議会に引きずり出し、
13 そして、偽りの証人を立ててこう言わせた。「こ
の男は、この聖所と律法とに対して、冒涜的な言葉
を言い続けている。
14 ナザレ人イエスがこの場所を滅ぼし、モーセが私
たちに伝えた慣例を変えるだろうと、私たちは彼が
言うのを聞いたからです。
15 議会に座っている者たちは皆、イエスをじっと見
つめていたが、イエスの顔はまるで天使の顔のよう
であった。

第 7 章

1 そこで大祭司は言った、「それは本当なのか」。
2 そして彼は言った、「兄弟たち、父たちょ、よく聞
きなさい。栄光の神は、私たちの父祖アブラハムが
カランに住む前に、メソポタミアにいたときに現れ
ました。
3 彼に言った、「あなたの国、あなたの親族を離れて、
わたしが示す地に行きなさい。
4 それから彼はカルデア人の地から出てカルランに住
み、父が死んだ後、彼をそこから移して、今あなた
がたが住んでいるこの地に移したのです。
5 そして、神は彼に、そこに足を踏み入れるほどの土
地さえも相続させなかった。しかし、彼にまだ子供
がいなかったとき、神は、それを彼と彼の後の子孫
に所有地として与えると約束した。
6 神はこう言われた、「彼の子孫は異国の地に滞在す
るであろう。彼らは四百年の間、奴隷となり、苦し
められるであろう。」
7 神はこう言われました。「彼らが奴隷となっている
国民をわたしは裁く。その後、彼らは出て来て、こ
の場所でわたしに仕える。」
8 そして神は彼に割礼の契約を与えた。こうしてアブ
ラハムはイサクを生み、八日目に彼に割礼を施した。
イサクはヤコブを生み、ヤコブは十二人の族長を生
んだ。
9 族長たちはねたみに駆られてヨセフをエジプトに売
り渡したが、神は彼と共におられた。
10 そして、彼はすべての苦難から救い出され、エジ
プトの王パロの前に恵みと知恵を授けられた。そし
て、パロは彼をエジプトとその全家の統治者に任命
した。
11 さて、エジプトとカナンの全国に飢饉と大いなる
苦難が起こり、私たちの先祖たちは食糧を得ること
ができませんでした。
12 しかし、ヤコブはエジプトに穀物があることを聞
いて、まず私たちの先祖たちを遣わしました。
13 二度目にヨセフのことは兄弟たちに知らされ、ま
たヨセフの親族のこともファラオに知らされた。
14 そこでヨセフは人をやって、父ヤコブと七十五人
の親族全員を呼び寄せた。
15 それでヤコブはエジプトに下り、彼と私たちの先
祖は死んだ。
16 そして彼らはシケムに運ばれ、アブラハムがシケ
ムの父エモルの子らから金を出して買った墓に葬ら
れた。
17 しかし、神がアブラハムに誓われた約束の時が近
づくと、エジプトでは民が成長し、増えていった。
18 ヨセフを知らない別の王が現れるまでは。
19 彼らは私たちの親族を巧妙に扱い、私たちの父祖
たちを悪く扱い、彼らの幼い子供たちを生き延びさ
せないように追い出しました。
20 そのころモーセが生まれ、非常に美しく、父の家
で三か月間育てられた。
21 彼が追い出されたとき、ファラオの娘が彼を拾い
上げ、自分の息子として養った。
22 モーセはエジプト人のあらゆる知恵に精通してお
り、言葉にも行いにも力強かった。
23 彼が四十歳になったとき、彼は自分の兄弟である
イスラエルの子らを訪問することを心に思い浮かべ
た。
24 彼は彼らのうちの一人が不当な扱いを受けている
のを見て、これを弁護し、虐げられている者に復讐
し、エジプト人を打ち殺した。
25 というのは、パウロは、神が自分の手によって彼
らを救おうとしていることを、兄弟たちが理解して
いると思っていたのである。しかし、彼らは理解し
ていなかった。
26 翌日、パウロは彼らが争っているところに現れ、
和解させようとして言った。「先生方、あなた方は
兄弟です。なぜ、互いに不当な扱いをするのですか。
27 しかし、隣人に悪事を働いた者は、彼を突き飛ば
して言った。「だれがあなたを、私たちの支配者や
裁判官にしたのか。」
28 あなたは昨日エジプト人を殺したように、私を殺
そうとしているのですか。
29 モーセはこの言葉を聞いて逃げ、マディアンの地
に寄留し、そこで二人の息子をもうけた。
30 そして四十年が経過したとき、シナ山の荒野で、
柴の中の燃える炎の中に主の御使いが現れた。

31 モーセはそれを見て、その光景に驚いた。そして、
それを見ようと近づいていくと、主の声が彼に聞こ
えた。
32 モーセは言った。「わたしはあなたの先祖の神、
アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神であ
る。」するとモーセは震え上がり、見る勇気がなか
った。
33 主は彼に言われた、「足からくつを脱ぎなさい。
あなたが立っている場所は聖なる地である。」
34 わたしは見た。エジプトにいるわたしの民の苦し
みを見た。わたしは彼らのうめき声を聞いたので、
彼らを救い出すために下って来た。今、わたしはあ
なたをエジプトに遣わそう。
35 彼らはモーセを拒んで、「だれがあなたを支配者
や裁判官にしたのか」と言ったが、神は柴の中で彼
に現れた天使の手を通して、このモーセを支配者、
解放者としてお遣わしになったのである。
36 神はエジプトの地、紅海、および四十年にわたる
荒野で不思議なわざとしるしを行われた後、彼らを
導き出された。
37 このモーセはイスラエルの子らに言った、「あな
たたちの神、主はあなたたちの同胞の中から、わた
しのような預言者をあなたたちのために起こされる
であろう。あなたたちはその預言者に聞き従わなけ
ればならない。」
38 この人は、シナイ山で彼に語った天使や私たちの
先祖たちとともに、荒野の教会にいた人です。彼ら
は私たちに伝えるために、生きた預言を受けました。
39 我々の先祖は彼に従わず、彼を彼らから追い払い、
心の中で再びエジプトに引き返した。
40 アロンに言った。「わたしたちに先立って行く
神々を造ってください。わたしたちをエジプトの国
から導き出したあのモーセがどうなったのか、わた
したちには分からないのです。」
41 そのころ、彼らは子牛を造り、その偶像に犠牲を
ささげ、自分たちの手で造ったものを喜んでいた。
42 それから神は彼らを引き留め、天の軍勢を拝むま
まにさせた。預言者の書に書いてあるとおりである。
「イスラエルの家よ、荒野での四十年の間に、わた
しに屠られた獣や犠牲をささげたか。
43 まことに、あなたたちはモロクの幕屋と、あなた
たちの神レンファンの星を、崇拝するために造った
像として持ち去った。そして、わたしはあなたたち
をバビロンの向こうへ連れ去る。
44 私たちの先祖は荒野に証の幕屋を持っていました。
それは神がモーセに命じて、彼が見た様式に従って
造るように言われたとおりでした。
45 その後の私たちの先祖たちも、イエスと共にそれ
を異邦人の所有に持ち込みました。神は彼らを私た
ちの先祖の前から追い払い、ダビデの時代にまで至
らせました。
46 彼は神の前に恵みを得、ヤコブの神のために幕屋
を建てることを望んだ。
47 しかしソロモンは彼のために家を建てた。
48 しかし、いと高き方は、人の手で造った神殿には
住まわれません。預言者が言うとおりです。
49 天はわたしの王座、地はわたしの足台である。あ
なたがたはわたしのためにどんな家を建てようとす
るのか、わたしの安息の地はどこなのかと主は言わ
れる。
50 これらすべてのものはわたしの手で造られたので
はないだろうか。
51 あなたがたは、かたくなで、心も耳も割礼を受け
ていない者たちです。あなたがたはいつも聖霊に逆
らっています。あなたがたの先祖がそうしたように、
あなたがたもそうしているのです。
52 あなたがたの先祖は、預言者たちを迫害しなかっ
た者がいただろうか。彼らは、正しい方の来臨を前
もって告げていた者たちを殺した。あなたがたは今、
その正しい方の裏切り者、殺害者となっている。
53 彼らは、天使たちから律法を受けながら、それを
守らなかったのです。
54 彼らはこれを聞いて心を刺され、イエスに歯ぎし
りした。
55 しかし、彼は聖霊に満たされ、天を見つめて、神
の栄光と、神の右に立っておられるイエスとを見た。
56 そして言った、「見よ、天が開けて、人の子が神
の右に立っているのが見える」。
57 そこで彼らは大声で叫び、耳をふさぎ、一斉に彼
に襲いかかった。
58 そして、彼を町の外に追い出し、石打ちにした。
証人たちは、サウロという名の若者の足もとに自分
たちの上着を置いた。
59 彼らはステパノを石打ちにして、神に呼びかけて
言った、「主イエスよ、私の霊をお受けくださ
い。」
60 そこでイエスはひざまずいて大声で叫ばれた。
「主よ、この罪を彼らに負わせないでください。」
こう言い終えると、イエスは眠ってしまった。

第 8 章

1 サウロは彼の死に同意するに至った。そのころ、エ
ルサレムの教会に対して激しい迫害が起こり、使徒
たち以外の者は皆、ユダヤとサマリアの地方に散ら
された。
2 敬虔な人たちはステパノを埋葬地まで運び、彼のた
めに大いに嘆き悲しんだ。
3 サウロは教会を荒らし、家々に入っては、男も女も
引きずり出して牢に入れた。
4 そこで、散らされた人々は、至る所に行って御言葉
を宣べ伝えた。
5 そこでピリポはサマリアの町へ下って行き、人々に
キリストを宣べ伝えた。
6 民衆はピリポの話した事に心を一つにして耳を傾け、
彼が行なった奇跡を聞いたり見たりした。
7 汚れた霊に取りつかれた多くの人々からは、大声で
叫んで、その霊が出て行き、また、中風の人や足の
不自由な人の多くが癒されたからである。

8 そしてその町に大きな喜びが起こった。
9 ところが、以前この町にシモンという人がいた。彼
は魔術を行ってサマリアの人々を惑わし、自分は偉
い人だと言いふらしていた。
10 人々はみな、小さい者から大きい者に至るまで彼
に心を留めて言った、「この人は神の大能だ」。
11 彼らは、彼が長い間、魔術で彼らを惑わしていた
ので、彼を尊敬していた。
12 しかし、ピリポが神の国とイエス・キリストの名に
ついて説教するのを人々は信じ、男も女もバプテス
マを受けた。
13 シモン自身も信じ、バプテスマを受けてからフィ
リポと一緒にいて、行われた奇跡としるしを見て驚
いた。
14 さて、エルサレムにいる使徒たちは、サマリア人
が神の言葉を受け入れたと聞いて、ペテロとヨハネ
をそこへ遣わした。
15 彼らは下って来て、彼らが聖霊を受けるようにと
祈った。
16（彼らのうちのだれにも、まだ主は下っておられ
なかった。ただ、彼らは主イエスの名によってバプ
テスマを受けていただけであった。）
17 そこで彼らが彼らの上に手を置いたところ、彼ら
は聖霊を受けた。
18 シモンは使徒たちの手を置くと聖霊が与えられた
のを見て、彼らに金銭を差し出した。
19 言った。「わたしが手を置けばだれでも聖霊を受
けられるように、この力をわたしにも与えてくださ
い。」
20 しかし、ペテロはイエスに言った。「あなたの金
もあなたとともに滅びます。あなたは神の賜物を金
で買えると思ったからです。」
21 あなたはこの事に何の関わりも持たず、また何の
権利も持たない。あなたの心は神の前に正しくない
からだ。
22 だから、このあなたの悪事を悔い改めて神に祈り
なさい。そうすれば、あなたの心の思いは赦される
かもしれない。
23 わたしは、あなたが苦い胆汁の中におり、不義の
鎖につながれていることを知っている。
24 するとシモンは答えて言った。「あなたがたが言
ったこれらの事が一つもわたしに起こらないように、
わたしのために主に祈ってください。」
25 彼らは証しをし、主の言葉を宣べ伝えた後、エル
サレムに帰って、サマリア人の多くの村々で福音を
宣べ伝えた。
26 主の使いはフィリポに言った、「立って、南の方
に行き、エルサレムからガザへ下る道に行きなさい。
そこは荒れ地です。」
27 そこで彼は立ち上がって出かけた。すると、エチ
オピアの女王カンダケのもとで大きな権力を持つ宦
官で、女王の財宝すべてを管理していたエチオピア
人が、礼拝のためにエルサレムに来ていた。
28 彼は帰って来て、馬車の中で預言者イザヤの書を
読んでいた。
29 すると、御霊がピリポに言った。「近づいて、あ
の馬車に乗りなさい。」
30 フィリポは彼のもとに走って行き、彼が預言者イ
ザヤの書を読んでいるのを聞いて言った、「あなた
は読んでいることが分かりますか」。
31 そこで彼は言った、「だれかが案内してくれなけ
れば、どうしてわたしにできましょうか」。そして
フィリポに、近寄ってきて一緒に座るように頼んだ。
32 彼が読んでいた聖書の箇所はこうでした。「彼は、
屠殺場へ引かれて行く羊のように、また、毛を切る
者の前で黙っている小羊のように、口を開かなかっ
た。」
33 彼は辱められ、裁きも奪われた。だれが彼の世代
を語りえようか。彼の命は地上から取り去られたの
だから。
34 宦官はピリポに答えて言った。「預言者はだれに
ついてこう言っているのですか。自分自身について
ですか、それとも、ほかの人についてですか。」
35 すると、ピリポは口を開き、その聖書の箇所から
説き始め、イエスのことを彼に宣べ伝えた。
36 彼らが旅を続けていると、ある水のあるところに
来た。宦官は言った。「ここに水があります。わた
しがバプテスマを受けるのに、何か妨げがあるでし
ょうか。」
37 するとピリポは言った。「心から信じるなら、そ
うできます。」すると彼は答えた。「私はイエス・キ
リストが神の子であると信じています。」
38 そこでイエスは馬車を止めるように命じられたの
で、フィリポと宦官は二人とも水の中に降りて行き、
宦官は宦官にバプテスマを施した。
39 彼らが水から上がると、主の霊がピリポを連れ去
ったので、宦官は彼を見ることができなくなった。
そして喜びながら道を進んで行った。
40 しかし、ピリポはアゾトに見つかり、そこを通っ
てすべての町々を伝道し、ついにカイサリアに着い
た。

第 9 章

1 サウロは、主の弟子たちに対して脅迫と殺害の息を
吐きながら、大祭司のところへ行き、
2 そして、ダマスコの諸会堂に宛てた手紙をパウロに
求め、もしこの道の者たちが男であれ女であれ、見
つけたら縛ってエルサレムに連行するようにと頼ん
だ。
3 イエスは旅を続け、ダマスコに近づいたとき、突然、
天からの光が彼の周囲を照らした。
4 そして彼は地に倒れ、こう言う声を聞いた、「サウ
ル、サウル、なぜわたしを迫害するのか。」
5 そこで彼は言った、「主よ、あなたはどなたです
か。」主は言われた、「わたしは、あなたが迫害し
ているイエスである。あなたは、とげに逆らって蹴
ることは難しいのだ。」
6 彼は震えあがり、驚いて言った、「主よ、わたしに
何をしたらよいのですか」。主は彼に言われた、

「立って町へ行きなさい。そうすれば、あなたのな
すべきことが告げられるであろう」。
7 彼と旅をしていた人々は、声は聞こえても、だれも
見えないので、何も言えずに立っていた。
8 サウロは地から起き上がり、目が開けたが、だれも
見えなかった。人々は彼の手を引いてダマスコに連
れて行った。
9 そして彼は三日間目が見えず、食べることも飲むこ
ともしなかった。
10 ダマスコにアナニアという弟子がいた。主は幻の
中で彼に、「アナニアよ」と言われた。彼は言った、
「主よ、ここにおります」。
11 主は彼に言われた、「立って、『まっすぐな道』
と呼ばれる通りに行き、ユダの家でタルソのサウロ
という人を尋ねなさい。彼はこう祈っている、
12 そして、アナニアという人が入って来て、自分の
上に手を置くと、見えるようになると幻で見た。
13 するとアナニアは答えた。「主よ、この人がエル
サレムであなたの聖徒たちにどんなにひどいことを
したかは、多くの人から聞いています。
14 そして、ここで彼は、あなたの名を呼ぶ者すべて
を縛る権限を祭司長たちから与えられています。
15 しかし主は彼に言われた、「行きなさい。彼は異
邦人、王たち、イスラエルの子らの前にわたしの名
を伝えるために、わたしに選ばれた器である。
16 わたしの名のために、彼がどんなに多くの苦しみ
を受けなければならないかを、わたしは彼に知らせ
よう。
17 アナニアは出かけて行って、家に入り、手を彼の
上に置いて言った。「兄弟サウロよ、あなたが来る
途中で現れた主イエスは、あなたが見えるようにな
り、聖霊に満たされるようにと、わたしを遣わされ
たのです。
18 すると、たちまち彼の目からうろこのようなもの
が落ち、彼はすぐに見えるようになり、立ち上がっ
てバプテスマを受けた。
19 食事を摂って力を得たサウロは、ダマスコにいる
弟子たちと数日を過ごした。
20 そして、彼はすぐに諸会堂でキリストが神の子で
あることを宣べ伝えた。
21 しかし、聞いていた人々は皆驚いて言った。「こ
の人は、エルサレムでこの名を呼ぶ者たちを滅ぼし、
彼らを縛って祭司長たちのところへ連れて行こうと
してここに来た人ではないか。」
22 しかし、サウロはますます力を増し、ダマスコに
住むユダヤ人たちを混乱させ、この人がキリストで
あることを証明した。
23 それから多くの日が経った後、ユダヤ人たちはイ
エスを殺そうと相談した。
24 しかし、彼らの待ち伏せはサウルに知られていた
ので、彼らはサウルを殺そうと昼も夜も門を監視し
ていた。
25 そこで、弟子たちは夜の間に彼を籠に乗せて城壁
から降ろした。
26 サウロはエルサレムに着くと、弟子たちの仲間に
加わろうとしたが、彼らはみな彼を恐れ、彼が弟子
であると信じなかった。
27 しかしバルナバは彼を連れて使徒たちのところへ
連れて行き、彼が途中で主を見、主が彼に語りかけ、
ダマスコでイエスの名によって大胆に宣べ伝えた次
第を彼らに話した。
28 そして彼はエルサレムに出入りする彼らと一緒に
いた。
29 彼は主イエスの名によって大胆に語り、ギリシア
人たちと論じ合ったが、彼らは彼を殺そうとした。
30 兄弟たちはそれを知ると、彼をカイサリアに連れ
て行き、それからタルソスに送り出した。
31 こうして、ユダヤ、ガリラヤ、サマリア全土の諸
教会は安らぎを得て、徳を高められ、主を恐れ、聖
霊の慰めを受けて歩む人々が増加した。
32 さて、ペテロは四方八方を巡り歩きながら、リダ
に住む聖徒たちのところにも下って行った。
33 そこでイエスは、八年間も床についていて、中風
を患っていたアイネイアスという人を見つけた。
34 するとペテロが彼に言った、「アイネヤよ、イエ
ス・キリストはあなたを癒やして下さる。起きて床を
整えなさい。」すると彼はすぐに起き上がった。
35 リダとサロンに住む人々は皆彼を見て、主に立ち
返った。
36 さて、ヨッパにタビタという名の弟子がいた。そ
の訳ではドルカスと呼ばれる。この婦人は多くの善
行と施しを行なっていた。
37 そのころ、彼女は病気になって死んだ。人々は彼
女を洗ってから、屋上の部屋に横たえた。
38 リダはヨッパに近かったので、弟子たちはペテロ
がそこにいると聞いて、二人の人を彼のもとに遣わ
し、すぐに来るようにと頼んだ。
39 ペテロは立ち上がって、彼らと一緒に出かけた。
彼が着くと、彼らは彼を屋上の間に案内した。する
と、やもめたちは皆、彼のそばに立って泣きながら、
ドルカスが一緒にいたときに作った下着や上着を見
せた。
40 しかし、ペテロは皆を外に出し、ひざまずいて祈
り、遺体のほうを向いて、「タビタよ、起きなさ
い」と言った。すると、彼女は目を開け、ペテロを
見ると起き上がった。
41 そこで彼は彼女に手を貸して彼女を起こさせ、聖
徒たちとやもめたちを呼び寄せて、彼女が生きてい
ることを知らせた。
42 このことはヨッパ中に知れ渡り、多くの人が主を
信じた。
43 それから、イエスは皮なめし職人シモンという人
のところに、ヨッパで数日間滞在された。

第 10 章

1 カイザリヤにコルネリウスという人がいた。イタリ
ア部隊と呼ばれる部隊の百人隊長で、

2 彼は信心深い人で、家族全員とともに神を畏れ、民
に多くの施しをし、絶えず神に祈っていた。
3 彼は幻の中で、明らかに、昼の三時ごろに、神の御
使いが彼のところに来て、「コルネリウスよ」と言
うのを見た。
4 イエスは彼を見て恐れて、「主よ、何事ですか」と
言った。するとイエスは言われた、「あなたの祈り
と施しは、神の前に覚えられているのです」。
5 それで、今、ヨッパに人を送って、ペテロと呼ばれ
るシモンという人を呼びなさい。
6 彼は海辺に家を持つ皮なめしシモンという人のとこ
ろに泊まっています。彼があなたのなすべきことを
告げてくれるでしょう。
7 コルネリウスに語った御使いが去った後、コルネリ
ウスは、自分の家の使用人二人と、いつも自分に仕
えている敬虔な兵士一人を呼び寄せ、
8 パウロはこれらのことをすべて彼らに告げてから、
彼らをヨッパへ送り出した。
9 翌日、彼らが旅を続けて町に近づいたとき、ペテロ
は午後三時ごろに祈りをするために屋上に上がった。
10 彼は非常に空腹になり、食事をしようとしたが、
彼らが準備している間に、彼は夢うつつに陥った。
11 そして、天が開けて、大きな布のような器が彼の
ところに降りてくるのを見た。それは四隅を編んだ
もので、地につるされていた。
12 そこには、地のあらゆる四つ足の獣、野の獣、這
うもの、空の鳥がいた。
13 すると、声が彼に聞こえた。「ペテロよ、立ちな
さい。ほふって食べなさい。」
14 しかしペテロは言った。「主よ、それはいけませ
ん。わたしはこれまで、清くないもの、汚れたもの
を食べたことはありません。」
15 すると、その声が二度目に彼に告げた。「神が清
めたものを、あなたは清くないなどと言ってはなら
ない。」
16 このようなことが三度繰り返され、そしてその器
は再び天に上げられた。
17 ペテロが、自分が見たこの幻が何を意味するのか
と心の中で疑っていたとき、コルネリオから遣わさ
れた人々がシモンの家を尋ね、門の前に立っていた。
18 そして、声をかけて、ペテロと呼ばれるシモンが
そこに泊まっているかどうか尋ねた。
19 ペテロがその幻について思いを巡らしていると、
御霊が彼に言った。「見よ、三人の人があなたを捜
している。」
20 それゆえ、あなたは立って下り、何も疑わずに彼
らと共に行きなさい。わたしが彼らを遣わしたので
ある。
21 そこでペテロは、コルネリオから遣わされた人々
のところへ下って行って言った、「あなたがたが捜
しているのは、わたしです。なぜ来たのですか。」
22 彼らは言った、「百人隊長コルネリオは正しい人
で、神を畏れ敬い、ユダヤ人全体の間でも評判の良
い人ですが、あなたを家に招いてあなたの話を聞く
ようにと、聖なる天使によって神からお告げを受け
ました。
23 そこで、イエスは彼らを呼び入れて、宿に泊め、
翌日、ペテロは彼らと一緒に出発した。ヨッパから
来た兄弟たちも同行した。
24 翌日、彼らはカイサリアに入った。コルネリウス
は親族や親しい友人たちを呼び集めて彼らを待って
いた。
25 ペテロが中に入って来ると、コルネリウスは彼を
迎え、その足もとにひれ伏して拝んだ。
26 しかし、ペテロはイエスを立ち上がらせ、「立ち
なさい。わたしも人間です」と言った。
27 パウロは彼と語りながら、中に入ってみると、大
勢の人が集まっていた。
28 そこでイエスは彼らに言われた、「あなたがたも
知っているとおり、ユダヤ人が異邦人のところに交
わりを持ったり、近づいたりするのは、律法で禁じ
られている。しかし、神はわたしに、どんな人に対
しても、清くないとか、汚れたとか言ってはならな
いと示しておられる。」
29 ですから、私は招かれたとき、何も言わずにあな
た方の所へ行きました。それでお尋ねしますが、あ
なた方はどのような目的で私を招いたのですか。
30 コルネリウスは言った、「四日前、私は今ごろま
で断食をしていました。そして、午後三時に家で祈
っていたところ、明るい衣を着た人が私の前に立っ
て、
31 そして言った、「コルネリウスよ、あなたの祈り
は聞かれ、あなたの施しは神の前に記憶されてい
る。」
32 そこで、ヨッパに人をやって、ペテロという名の
シモンを呼びなさい。彼は海辺の皮なめしシモンと
いう人の家に泊まっています。彼が来たら、あなた
に話すでしょう。
33 それで、私はすぐにあなたを訪ねてやったのです。
あなたが来られたのは、よいことです。それで、私
たちはみな、神があなたに命じられたことをすべて
聞くために、今ここに神の前に集まっているのです。
34 するとペテロは口を開いて言った。「わたしは確
かに神が人種の差別をなさらないことを悟りました。
35 しかし、どの国民でも、神を畏れ、正義を行う者
は神に受け入れられるのです。
36 神がイスラエルの子らに送った言葉は、イエス•キ
リストによって平和を宣べ伝えるものである。彼は
すべてのものの主である。
37 あなたがたも知っているとおり、この御言葉は、
ヨハネが宣べ伝えたバプテスマの後、ガリラヤから
始まってユダヤ全土に広まったのです。
38 神はナザレのイエスに聖霊と力を注がれた。イエ
スは巡回して善を行ない、悪魔に苦しめられている
人々を皆癒した。神がイエスと共におられたからで
ある。
39 そして、私たちは、彼がユダヤ人の地とエルサレ
ムで行ったすべての事の証人です。彼らは彼らを殺
し、木に掛けました。

40 神は三日目に彼を復活させ、公に示された。
41 それは、すべての民衆にではなく、神によってあ
らかじめ選ばれた証人たち、すなわち、イエスが死
人の中からよみがえられた後、イエスと共に食事を
し、飲んだわたしたちに与えられたのです。
42 そして彼は、人々に宣べ伝え、生者と死者の審判
者として神に任命されたのは彼であると証言するよ
うにと私たちに命じました。
43 預言者たちは皆、彼の名によって彼を信じる者は
だれでも罪の赦しを受けるであろうと証言していま
す。
44 ペテロがこれらの言葉をまだ話しているうちに、
それを聞いていたすべての人々に聖霊が降った。
45 ペテロと一緒に来た、割礼を受けた信者たちは皆、
異邦人にも聖霊の賜物が注がれたので驚いた。
46 彼らが異言を話し、神をほめたたえるのを聞いた
からである。そこでペテロは答えた。
47 わたしたちと同じように聖霊を受けたこの人たち
に、水を禁じてバプテスマを受けさせない者がいる
でしょうか。
48 そして、イエスは彼らに主の名によってバプテス
マを受けるように命じられた。それから彼らは、数
日間とどまるようにイエスに祈った。

第 11 章

1 ユダヤにいる使徒たちと兄弟たちは、異邦人たちも
神の言葉を受け入れたということを聞いた。
2 ペテロがエルサレムに上ったとき、割礼を受けた者
たちが彼と争った。
3「あなたは割礼を受けていない人々のところに行き、
彼らと食事を共にしたのです。」
4 しかしペテロは、そのことを初めから語り、彼らに
命令して説明した。
5 わたしはヨッパの町で祈っていたが、夢の中で幻を
見た。大きな布のような器が、四隅でつり下げられ
て天から降りてきて、わたしのところまで来た。
6 わたしはその上に目を凝らして見詰め、地の四つ足
の獣、野の獣、這うもの、空の鳥などを見た。
7 そして、わたしは、「ペテロよ、立ち上がれ。屠っ
て食べよ」と言う声を聞いた。
8 しかし、わたしは言いました。「主よ、それはいけ
ません。汚れたものや不浄なものを、わたしは一度
も口に入れたことがありません。」
9 しかし、天から声がまたわたしに答えた、「神が清
めたものを、あなたは清くないなどと言ってはなら
ない。」
10 このようなことが三度繰り返されて、すべての者
は再び天に引き上げられた。
11 すると、すぐに、カイザリヤから遣わされた三人
の男が、わたしのいる家にやって来ました。
12 そして、御霊は私に、何も疑わずに彼らと一緒に
行くように命じました。そして、この六人の兄弟も
私と一緒に行き、私たちはその人の家に入りました。
13 そして彼は、自分の家の中に天使が立っていて、
彼にこう言った、「ヨッパに人をやって、ペテロと
いう名のシモンを招きなさい。
14 だれがあなたに言葉を告げるでしょうか。それに
よって、あなたとあなたの全家族が救われるでしょ
う。
15 そして私が話し始めると、聖霊が彼らの上にも、
初めに私たちにも降ったように降った。
16 そこで私は主の言葉を思い出した。主はこう言わ
れた。「ヨハネは水でバプテスマを授けたが、あな
たがたは聖霊によってバプテスマを受けるであろ
う。」
17 それで、主イエス・キリストを信じた私たちに与え
たのと同じ賜物を、神は彼らにも与えてくださった
のですから、いったいこの私が、いったい何者で、
神に逆らうことができたのでしょう。
18 彼らはこれを聞いて黙し、神をほめたたえて言っ
た、「それでは、神は異邦人にも、命に至る悔改め
をお与えになったのだ。」
19 さて、ステパノのことで起こった迫害によって散
らされた人々は、フェニキア、キプロス、アンティ
オキアまで旅をして、ユダヤ人以外の人にはだれに
も御言葉を宣べ伝えなかった。
20 彼らの中にはキプロス人とキレネ人もあったが、
アンティオキアに来て、ギリシャ人たちに主イエス
のことを宣べ伝えた。
21 主の御手が彼らと共にあったので、大勢の者が信
じて主に立ち返った。
22 さて、これらの事の知らせがエルサレムにある教
会の耳に届いたので、彼らはバルナバをアンティオ
キアまで派遣した。
23 彼は到着して神の恵みを見て喜び、皆に、心から
主につくようにと勧めた。
24 彼は立派な人であり、聖霊と信仰とに満ちていた
ので、多くの民が主に加えられた。
25 そこでバルナバはサウロを捜すためにタルソへ出
発した。
26 そして、パウロは彼を見つけて、アンティオキア
に連れて行きました。そして、彼らは丸一年の間、
教会に集まって、多くの人々を教えました。そして、
弟子たちはアンティオキアで初めてクリスチャンと
呼ばれました。
27 そのころ、預言者たちがエルサレムからアンティ
オキアにやって来た。
28 すると、彼らのうちのひとり、アガボという人が
立ち上がり、全世界に大飢饉が起こるであろうと、
御霊によって予告した。そして、それはクラウデウ
ス帝の時代に起こった。
29 そこで、弟子たちは、それぞれ自分の能力に応じ
て、ユダヤに住む兄弟たちに援助の物を送ることに
決めた。
30 彼らはそのとおりにして、それをバルナバとサウ
ロの手によって長老たちに送りました。

第 12 章

1 そのころ、ヘロデ王は教会のある者たちを苦しめる
ために手を伸ばした。
2 そして彼は、ヨハネの兄弟ヤコブを剣で殺した。
3 そして、それがユダヤ人たちの喜ぶのを見て、イエ
スはペテロをも連れて行こうとされた。そのころは、
種を入れないパンの季節であった。
4 そして、彼は彼を捕らえて牢に入れ、四人組の兵士
に引き渡して監視させ、復活祭の後に民衆の前に引
き出すつもりだった。
5 それでペテロは獄に入れられたが、教会は彼のため
に神に絶え間なく祈りをささげていた。
6 ヘロデがペテロを連れ出そうとしたその夜、ペテロ
は二本の鎖でつながれ、二人の兵士の間に眠ってい
た。門番たちが牢の番をしていた。
7 すると、主の使いが彼のところに現れ、光が獄中を
照らした。そして、使いはペテロのわき腹をたたい
て彼を起こさせ、「急いで起き上がりなさい」と言
った。すると、鎖が彼の手から外れた。
8 すると御使いは彼に言った、「帯を締め、くつを履
きなさい」。彼はそのとおりにした。すると御使い
は彼に言った、「着物をまとって、わたしに従って
きなさい」。
9 そこで彼は出て行って、イエスに従った。そして、
御使がしたことが真実であるとは知らず、ただ幻を
見ているのだと思った。
10 彼らが第一の番所と第二の番所を通り過ぎると、
町に通じる鉄の門のところに来た。門はひとりでに
開いた。そこで彼らは出て、一つの通りを通って行
った。すると、御使いはすぐに彼から去って行った。
11 ペテロは我に返って言った。「今、私は確かに知
りました。主が御使いを遣わして、ヘロデの手から、
またユダヤ人たちのあらゆる期待から私を救い出し
てくださったのです。」
12 イエスは、そのことを思い巡らしてから、マルコ
と呼ばれるヨハネの母マリアの家に行った。そこに
は大勢の人が集まって祈っていた。
13 ペテロが門の戸をたたくと、ロダという名の娘が
聞き耳を立ててやって来た。
14 彼女はペテロの声だと分かると、うれしくて門を
開けず、駆け込んで来て、ペテロが門の前に立って
いる様子を知らせた。
15 彼らは彼女に言った、「あなたは気が狂ってい
る」。しかし彼女は、その通りだと何度も断言した。
そこで彼らは言った、「それは彼の天使だ」。
16 しかし、ペテロはたたき続けた。そして、人々が
戸を開けて彼を見ると、驚いた。
17 しかしパウロは、手を振って黙らせ、主が彼を牢
から連れ出してくださった次第を彼らに話した。そ
してパウロは言った。「ヤコブと兄弟たちに、これ
らのことを伝えなさい。」そしてパウロは立ち去っ
て、ほかの所へ行った。
18 夜が明けるとすぐに、兵士たちの間でペテロはど
うなったのかと大騒ぎになった。
19 ヘロデはイエスを捜したが見つからなかったので、
番兵たちを取り調べた後、彼らを殺せと命じ、ユダ
ヤからカイザリヤへ下ってそこに住んだ。
20 ヘロデはティルスとシドンの人々に非常に不満を
抱いていたが、彼らは一致団結してヘロデのもとに
来て、王の侍従ブラストスを友として和平を求めた。
彼らの国は王の国によって養われていたからである。
21 定められた日に、ヘロデは王の衣装をまとって王
座に着き、彼らに向かって演説をした。
22 すると民は叫び声をあげて言った。「それは神の
声だ。人の声ではない。」
23 すると、主の使いがすぐに彼を撃った。彼が神に
栄光を帰さなかったからである。すると彼は虫に食
われて、息絶えた。
24 しかし、神の言葉は成長し、広まっていった。
25 バルナバとサウロは、その務めを終えてエルサレ
ムから帰り、マルコと呼ばれるヨハネを連れて行っ
た。

第 13 章

1 アンティオキアの教会には、バルナバ、ニゲルと呼
ばれるシメオン、クレネ人ルキオ、領主ヘロデとと
もに育てられたマナエン、およびサウロのような預
言者や教師がいた。
2 彼らが主に仕え、断食していると、聖霊がこう言わ
れました。「バルナバとサウロを、わたしが召した
仕事のために分けなさい。」
3 彼らは断食して祈り、彼らの上に手を置いてから、
彼らを送り出した。
4 そこで彼らは聖霊に遣わされてセレウキアへ出発し、
そこからキプロスへ船で渡った。
5 彼らはサラミスに着くと、ユダヤ人の諸会堂で神の
言葉を宣べ伝えた。また、ヨハネも彼らの奉仕者と
して遣わされていた。
6 そして、彼らは島を通ってパポスに着くと、ユダヤ
人で、バルイエスという名の魔術師、偽預言者に出
会った。
7 その人は、地方長官で賢明な人であるセルギオ･パ
ウロと一緒にいたが、バルナバとサウロを招いて、
神の言葉を聞きたいと望んだ。
8 しかし、魔術師エルマ（彼の名前は魔術師という意
味である）は彼らに抵抗し、総督を信仰から引き離
そうとした。
9 そのとき、サウロ（別名パウロ）は聖霊に満たされ、
彼を見つめて言った。
10 そして言った、「ああ、あらゆる悪巧みと悪事と
に満ちた悪魔の子、すべての正義の敵よ、あなたは
主の正しい道を曲げることをやめないのか。
11 そして今、主の手があなたの上にあり、あなたは
盲目となり、しばらくの間、太陽を見ることができ
なくなります。すると、たちまち、霧と暗闇が彼の
上に降りかかり、彼は手を引いて導いてくれる人を
探し回った。

12 総督は、この出来事を見て、主の教えに驚いて信
じた。
13 さて、パウロとその一行はパポスを出発して、パ
ンフィリアのペルガに着いた。そしてヨハネは彼ら
と別れてエルサレムに帰った。
14 彼らはペルガを去ってピシデヤのアンティオキア
に着き、安息日に会堂に入って席に着いた。
15 律法と預言者の言葉が朗読された後、会堂の長た
ちは彼らのもとに人をやって、こう言わせた。「兄
弟たちよ、もし民衆に勧めの言葉があるなら、言い
続けてください。」
16 そこでパウロは立ち上がり、手を振りながら言っ
た。「イスラエルの人たち、神を畏れる人たち、聞
いてください。」
17 このイスラエルの民の神は、私たちの先祖たちを
選び、彼らがエジプトの地に異邦人として住んでい
たとき、その民を高め、高き御腕をもって彼らをそ
こから導き出されました。
18 そして、およそ四十年の間、彼は荒野で彼らの習
慣に耐えた。
19 そして、カナンの地で七つの国民を滅ぼした後、
くじによってその土地を彼らに分け与えた。
20 その後、預言者サムエルの時代まで、およそ四百
五十年の間、神は彼らに裁判官を任命した。
21 その後、彼らは王を望んだ。そこで神はベニヤミ
ン族のシスの子サウルを四十年の間彼らに与えられ
た。
22 そして、彼は彼を退けた後、彼らのためにダビデ
を立てて王とし、また彼に証言して言った、「わた
しはエッサイの子ダビデを見つけた。彼はわたしの
心にかなう人であり、わたしの意志をことごとく果
たしてくれるだろう。」
23 神は約束どおり、この人の子孫からイスラエルの
ために救い主イエスを立てられました。
24 ヨハネが来る前に、イスラエルのすべての民に悔
い改めのバプテスマを最初に宣べ伝えていたとき。
25 ヨハネは、その使命を終えたとき、こう言いまし
た。「あなたがたは、わたしをだれだと思うか。わ
たしはそれではない。しかし、見よ、わたしのあと
に来られる方がおられる。わたしはその方の足の履
物を解く値打ちもない。」
26 兄弟たちよ、アブラハムの子孫よ、そしてあなた
たちのうち神を畏れる人たちよ、この救いの言葉は
あなたたちに送られたのです。
27 エルサレムに住む人々とその指導者たちは、イエ
スを知らず、また安息日ごとに読まれる預言者たち
の声も知らないので、イエスを罪に定めて、それを
成就したのです。
28 彼らは、イエスに死の理由が何も見つからなかっ
たにもかかわらず、イエスを殺すようピラトに願い
出た。
29 そして、イエスについて書いてあったことをすべ
て成就させた後、彼らはイエスを木から降ろし、墓
に納めました。
30 しかし神は彼を死からよみがえらせました。
31 そして、イエスは、ガリラヤからエルサレムに彼
と共に上って来た人々に、多くの日の間現れた。彼
らは民衆に対するイエスの証人である。
32 そして、私たちはあなた方に良い知らせを伝えま
す。先祖たちに与えられた約束は、
33 神は、イエスをよみがえらせることによって、私
たち子孫に同じことを成し遂げてくださいました。
それは、詩篇第二篇にも書いてあるとおりです。
「あなたはわたしの子、わたしはきょうあなたをも
うけた。」
34 そして、イエスが彼を死からよみがえらせ、もは
や朽ち果てることのないようにされたことについて、
イエスはこう言われました。「わたしはダビデの確
かな恵みをあなたたちに与えよう。」
35 それゆえ、彼はまた別の詩篇でこう言っています。
「あなたは、あなたの聖なる者が朽ち果てることを
許さないでしょう。」
36 ダビデは、神の御心に従って自分の世代に仕えた
後、眠りにつき、先祖たちと共に葬られ、朽ち果て
たのを見た。
37 しかし、神によってよみがえらされた彼には、朽
ちるところがなかった。
38 ですから、兄弟たちよ、よく知ってください。こ
の人によって、あなたがたに罪の赦しが宣べ伝えら
れたのです。
39 そして、信じる者は皆、モーセの律法によっては
義とされなかったすべてのことから、彼によって義
とされるのです。
40 ですから、預言者たちが語っている事が、あなた
がたに起こらないように気をつけなさい。
41 見よ、軽蔑する者たちよ、驚き、そして滅びよ。
わたしはあなたがたの時代に一つのわざを行う。そ
れは、人があなたがたに告げても、あなたがたは決
して信じないわざである。
42 ユダヤ人たちが会堂から出て行くと、異邦人たち
は、次の安息日にも同じ言葉が自分たちにも宣べ伝
えられるよう願った。
43 さて、会衆が解散した後、多くのユダヤ人と改宗
者たちがパウロとバルナバについて行きました。パ
ウロとバルナバは彼らに話しかけ、神の恵みにとど
まるように説得しました。
44 次の安息日には、町中の人がほとんど集まって神
の言葉を聞いた。
45 ところが、ユダヤ人たちはその群衆を見て、ねた
みの念に駆られ、パウロの語ることに反対し、反対
したり、けがしたりした。
46 そこでパウロとバルナバは勇気を出して言った。
「神の言葉は、まずあなたがたに語られるべきでし
た。しかし、あなたがたがそれを退け、永遠の命に
ふさわしくない者と自認しているので、私たちは異
邦人のほうへ行きます。」
47 主はこう命じておられる。「わたしはあなたを立
てて異邦人の光とし、地の果てにまで救いをもたら
す者とする。」

48 異邦人たちはこれを聞いて喜び、主の言葉を賛美した。そして永遠の命に定められていた者たちは皆信じた。
49 そして主の言葉はその地方全体に広まった。
50 しかし、ユダヤ人たちは、敬虔で立派な婦人たちや町の有力者たちを扇動し、パウロとバルナバを迫害して、二人をその地方から追い出した。
51 しかし彼らは、彼らに対して足の塵を払い落として、イコニオムに着いた。
52 弟子たちは喜びと聖霊に満たされた。

第 14 章

1 さて、イコニオムで、二人は一緒にユダヤ人の会堂に入り、こう語ったので、ユダヤ人もギリシア人も大勢の人が信じた。
2 しかし、不信仰なユダヤ人たちは異邦人たちを扇動し、兄弟たちに対して悪意を抱かせた。
3 それで、彼らは長い間留まり、主によって大胆に語り続けた。主は、その恵みの言葉を証しし、また、彼らの手によってしるしと不思議とを行わせられた。
4 しかし、町の群衆は分裂し、ある者はユダヤ人の側に、ある者は使徒たちの側についた。
5 異邦人からも、またユダヤ人からも、指導者たちとともに、彼らを侮辱し、石打ちにしようと襲撃があったとき、
6 彼らはそれを知って、ルカオニアの町ルステラとデルベ、およびその周囲の地域に逃げた。
7 そして彼らはそこで福音を宣べ伝えた。
8 ルステラに、足の不自由な人が座っていた。その人は母親の胎内にいるときから足が不自由で、一度も歩いたことがなかった。
9 この人はパウロの話を聞いて、彼をじっと見つめ、癒される信仰があるのに気づいたので、
10 彼は大声で言った、「あなたの足でまっすぐに立ちなさい。」 すると彼は跳び上がって歩き出した。
11 人々はパウロのしたことを見て、声を張り上げて、リカオニアの方言で言った。「神々が人間の姿をとって私たちのところに下って来たのだ。」
12 彼らはバルナバをユピテル（神）と呼び、パウロをメルクリウス（説教者）と呼んだ。彼が主たる説教者だったからである。
13 そのとき、彼らの町の前にいたユピテルの祭司が、牛と花輪を門に運び、民とともに犠牲をささげようとした。
14 使徒バルナバとパウロはこれを聞いて、衣服を引き裂き、群衆の中に駆け込み、叫びました。
15 そして言った、「先生方、なぜこのようなことをするのですか。私たちもあなた方と同じ情熱の人間であり、これらのむなしいものから離れて、天と地と海と、その中にあるすべてのものを造られた生ける神に立ち返るようにと、あなた方に説教しているのです。
16 神は、かつてはすべての国民がそれぞれの道を歩むのを許しておられました。
17 しかし、神は善を行なわれ、私たちに天からの雨と実りの季節を与え、私たちの心を食物と喜びで満たして下さったことにより、ご自身を証しされないままにしておかれませんでした。
18 そして、彼らはこれらの言葉で、民衆が自分たちに犠牲をささげなかったことをほとんど止めた。
19 すると、アンティオキアとイコニオムからユダヤ人たちがやって来て、民衆を説き伏せ、パウロを石打ちにして、死んだものと思って町の外に引きずり出した。
20 しかし、弟子たちが彼を取り囲んでいる間に、彼は立ち上がって町に入り、翌日バルナバと一緒にデルベへ出発した。
21 彼らはその町で福音を宣べ伝え、多くの人を教え終えてから、再びルステラ、イコニオム、アンティオキアに帰って行った。
22 弟子たちの魂を強め、信仰を持ち続けるように勧め、また、わたしたちが多くの苦難を経て神の国に入らなければならないことを勧めた。
23 そして、彼らは各教会で彼らを長老として任命し、断食して祈った後、彼らを自分たちの信じている主にゆだねた。
24 そして、彼らはピシデヤ州を通り抜けて、パンフィリアに着いた。
25 彼らはペルガで御言葉を宣べ伝えた後、アタリヤに下って行った。
26 それから彼らはアンティオキアへ船で行き、そこで、彼らが成し遂げた働きのために神の恵みに推薦されていた。
27 彼らは帰って来て、教会の人々を集め、神が彼らと共にして下さったすべてのこと、また、異邦人に対しても信仰の門を開いて下さったことを語り合った。
28 そして彼らは弟子たちとともに長い間そこに滞在した。

第 15 章

1 さて、ユダヤから下って来たある人たちが兄弟たちを教え、こう言った。「モーセの慣例に従って割礼を受けなければ、あなたたちは救われない。」
2 そこで、パウロとバルナバとの間に少なからぬ意見の相違と論争が生じたので、彼らは、パウロとバルナバ、および他の何人かが、この問題について使徒たちや長老たちのところへエルサレムへ上って行くことに決めた。
3 彼らは教会の人々に導かれて、ペニケとサマリアを通り抜け、異邦人の改宗を宣べ伝え、すべての兄弟たちに大きな喜びを与えた。
4 彼らはエルサレムに着くと、教会の人々と使徒たち、長老たちに迎えられ、神が彼らと共になさったことをすべて報告した。
5 ところが、パリサイ派の信者たちの中から、ある人々が立ち上がり、彼らに割礼を施し、モーセの律法を守るように命じることが必要だと主張した。

6 そこで使徒たちと長老たちは、この問題について検討するために集まった。
7 そして、激しい論争が起こった後、ペテロは立ち上がって彼らに言った、「兄弟たちよ、あなたがたも知っているように、神はずっと前に私たちの中から選びをし、異邦人が私の口を通して福音の言葉を聞いて信じるようにして下さったのです。
8 人の心を知っておられる神は、わたしたちに与えてくださったのと同じように、彼らにも聖霊を与えて、彼らに証しをなさいました。
9 そして、私たちと彼らの間に差別を設けず、信仰によって彼らの心をきよめてくださいました。
10 それなのに、なぜあなたたちは、私たちの先祖も私たちも負うことのできなかったくびきを弟子たちの首にかけようとして、神を試みるのか。
11 しかし、私たちは彼らと同様、主イエス･キリストの恵みによって救われると信じています。
12 すると、群衆は皆黙って、バルナバとパウロが、神が彼らを通して異邦人の間で行われた奇跡と不思議なわざについて語るのを聞いた。
13 彼らが黙っていると、ヤコブは答えて言った。「兄弟たちよ、わたしの言うことを聞きなさい。
14 シメオンは、神が初めに異邦人を訪れ、その中から神の名のために民を選ばれたことを語りました。
15 預言者の言葉もこれと一致しています。こう書いてあります。
16 その後、わたしは戻って、倒れたダビデの幕屋を建て直し、その廃墟を再建して、それを建て直す。
17 それは、残りの人々と、わたしの名をとなえるすべての異邦人が主を求めるようになるためである、とこれらすべてのことをなされる主は言われる。
18 神は世の初めから、そのすべてのわざをご存知です。
19 ですから、わたしの戒めは、異邦人の中から神に立ち返った人たちを煩わせないことです。
20 しかし、私たちは彼らに、偶像崇拝による汚れ、不品行、絞め殺された動物、血を避けるようにと書き送っています。
21 昔から、モーセの教えはどの町にも宣べ伝えられ、安息日ごとに会堂で朗読されてきた。
22 そこで、使徒たち、長老たち、そして全教会は、自分たちの仲間の中から選ばれた人たち、すなわち、バルサバと呼ばれるユダとシラスを、パウロとバルナバと共にアンティオキアに派遣することにした。彼らは兄弟たちの指導者であった。
23 彼らは次のように手紙を書き送った。使徒たち、長老たち、兄弟たちは、アンティオキア、シリア、キリキヤにいる異邦人の兄弟たちに、よろしく伝えている。
24 わたしたちから出たある人たちが、あなたがたを言葉で惑わし、あなたがたの心を惑わして、「あなたがたは割礼を受け、律法を守らなければならない」と言っていたと聞いています。しかし、わたしたちはそのような戒めをあなたがたに与えたことはありません。
25 私たちは心を一つにして集まり、愛するバルナバとパウロと共に、選ばれた人々をあなた方のところに派遣することを良しとしました。
26 彼らは、わたしたちの主イエス･キリストの名のために命を危険にさらした人々です。
27 そこで、私たちはユダとシラスを遣わしました。彼らも同じことを口であなた方に告げるでしょう。
28 聖霊とわたしたちは、これらの必要なこと以上の重荷をあなたがたに負わせないことを良しとしました。
29 偶像に供えた肉、血、絞め殺したもの、不品行を避けなさい。これらを避けるなら、あなた方は良い行いをしていることになります。さようなら。
30 そこで、彼らは解散するとアンティオキアに行き、群衆を集めて手紙を手渡した。
31 彼らはそれを読んで、慰められて喜んだ。
32 ユダとシラスも預言者であったので、兄弟たちを多くの言葉で励まし、力づけた。
33 そして、彼らはそこでしばらく滞在した後、兄弟たちから平安のうちに解放されて使徒たちのところへ行った。
34 それにもかかわらず、シラスはそこに留まることを喜んだ。
35 パウロとバルナバもアンティオキアに留まり、他の多くの人々と共に主の言葉を教え、宣べ伝えた。
36 数日後、パウロはバルナバに言った。「わたしたちはもう一度行って、主の言葉を宣べ伝えたすべての町々に兄弟たちを訪ね、彼らがどうしているかを見てこようではないか。」
37 バルナバは、マルコと呼ばれるヨハネを連れて行くことに決めた。
38 しかしパウロは、パンフィリヤから彼らと別れて、働きに同行しなかった彼を、一緒に連れて行くのはよくないと考えました。
39 彼らの間の争いが激しくなり、互いに離反するようになったので、バルナバはマルコを連れてキプロス島へ船で出航した。
40 そこでパウロはシラスを選び、兄弟たちから神の恵みに委ねられて出発した。
41 そしてパウロはシリアとキリキアを通って、諸教会を力づけた。

第 16 章

1 それから、イエスはデルベとルステラに着いた。すると、そこに、テモテという名の弟子がいた。彼は、ユダヤ人で信者であるある婦人の息子であったが、その父はギリシア人であった。
2 このことは、ルステラとイコニオムの兄弟たちの間で評判になりました。
3 パウロは彼と一緒に出かけようとした。そして、その地方のユダヤ人たちのため、彼を連れて行って割礼を施した。彼らは彼の父親がギリシア人であることを皆知っていたからである。

4 そして、彼らは町々を巡りながら、エルサレムの使徒たちと長老たちから定められた、守るべき定めを人々に伝えた。
5 こうして、教会は信仰によって確立され、日ごとに人数が増加していった。
6 さて、彼らはフルギアとガラテヤ地方を巡り、アジアで御言葉を宣べ伝えることを聖霊によって禁じられたので、
7 彼らはミシアに着いた後、ビテニアに行こうとしたが、御霊がそれを許さなかった。
8 彼らはミシアを通ってトロアスに下って行った。
9 夜、パウロに幻が現れた。マケドニア人が立っていて、パウロに祈って言った。「マケドニアへ渡って来て、わたしたちを助けてください。」
10 パウロがその幻を見た後、私たちはすぐにマケドニア州へ行こうと努めました。主が私たちに福音を宣べ伝えるように召しておられることを確信したからです。
11 そこで、わたしたちはトロアスから船を出して、サモトラケに直行し、翌日ネアポリスに着いた。
12 それから、マケドニア州のその地方の主要都市であり、植民都市でもあるピリピへ行き、数日間その町に滞在しました。
13 安息日に私たちは町を出て、祈りが行なわれる川岸に行き、そこに集まってきた婦人たちに話しかけました。
14 紫布の商人で、テアテラ市の神を敬うリディアという婦人が聞いていたが、主が彼女の心を開いて下さったので、彼女はパウロの話したことに心を留めた。
15 彼女とその家族がバプテスマを受けたとき、彼女はわたしたちにこう頼みました。「あなたがたがわたしを主に忠実な者と認めてくださったなら、わたしの家に来て、そこにお泊まりください。」そして、わたしたちを無理やり受け入れたのです。
16 さて、わたしたちが祈りに出かけると、占いの霊に取りつかれたある女中がわたしたちに出会った。彼女は占いをして主人たちに多くの利益をもたらしていた。
17 この人たちはパウロと私たちの後について来て、叫んで言った、「この人たちは、いと高き神の僕たちで、私たちに救いの道を示しているのです。」
18 彼女は何日間もこんなことを繰り返した。しかしパウロは悲しみに暮れ、振り返ってその霊に言った。「イエス･キリストの名によって命じる。彼女から出て行け。」するとその霊はすぐに出て行った。
19 主人たちは、自分たちの利益の望みがなくなったのを見て、パウロとシラスを捕らえ、役人たちのところへ広場へ連れて行き、
20 そして彼らを長官たちのところに連れて行き、「この人たちはユダヤ人なので、私たちの町を非常に混乱させています。
21 また、ローマ人である私たちには受け入れることも、守ることも許されていない慣習を教えています。
22 すると群衆は一斉に彼らに立ち向かい、役人たちは彼らの衣服を引き裂き、鞭打つように命じた。
23 そして、彼らは何度も鞭打った後、獄に入れられ、看守に彼らを厳重に監禁するよう命じられた。
24 彼らは、このような命令を受けて、彼らを奥の牢に押し込み、足かせをはめてしまった。
25 真夜中になって、パウロとシラスは神に祈り、賛美の歌を歌った。囚人たちはそれを聞いていた。
26 すると突然、大きな地震が起こって、獄屋の土台が揺れ動き、すべての戸がたちまち開いて、皆の鎖が解かれた。
27 獄吏は眠りから覚め、獄吏の戸が開いているのを見て、囚人たちが逃げたものと思い、剣を抜いて自殺しようとした。
28 しかしパウロは大声で叫んで言った。「自分を傷つけないでください。私たちはみんなここにいるのですから。」
29 そこで彼は明かりを呼び、飛び込んで来て、震えながらパウロとシラスの前にひれ伏した。
30 そして彼らを連れ出して言った。「先生方、救われるためには、何をすればよいのでしょうか。」
31 彼らは言った、「主イエス･キリストを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます。」
32 彼らは主の言葉を彼と彼の家にいるすべての人々に語った。
33 そして、夜中のその時に、イエスは彼らを連れて行って、その傷を洗い、そして、自分もその仲間も皆、ただちにバプテスマを受けた。
34 そして、パウロは彼らを家に案内し、彼らの前に食事を出し、家族全員で神を信じる気持ちを喜び合った。
35 夜が明けると、長官たちは下役たちを遣わして、「あの人たちを釈放せよ」と言わせた。
36 獄吏はパウロにこう告げた。「長官たちが、あなたたちを釈放するようにと人を遣わした。だから、今は立ち去って、安心して行きなさい。」
37 しかしパウロは彼らに言った。「彼らは、ローマ人である私たちを、何の罪も問わず公然と打ちたたき、獄に入れたのに、今度はひそかに追い出すのですか。いいえ、そんなことはしません。彼ら自身が来て、私たちを連れ出すべきです。」
38 下士官たちはこれらのことを長官たちに告げた。長官たちは彼らがローマ人であると聞いて恐れた。
39 彼らは来て、彼らに懇願し、彼らを連れ出し、町から立ち去るように頼んだ。
40 そこで彼らは牢から出て、リディアの家に入り、兄弟たちと会って慰め、それから出発した。

第 17 章

1 さて、彼らはアンフィポリスとアポロニアを経て、ユダヤ人の会堂のあるテサロニケに着いた。

2 そこでパウロはいつものように彼らのところに行き、
三つの安息日にわたって聖書に基づいて彼らと論じ
た。
3 キリストは必ず苦しみを受け、死人の中からよみが
えられたこと、そして私があなた方に宣べ伝えてい
るこのイエスがキリストであることを証明しました。
4 彼らのうちのある者は信じて、パウロやシラスと交
わりを持った。また、敬虔なギリシア人の中には大
勢の人がおり、婦人たちの重鎮も少なからずいた。
5 しかし、信じなかったユダヤ人たちはねたみに駆ら
れ、下劣な淫らな者たちを仲間に加え、一団を組織
し、町中を騒乱に陥れ、ヤソンの家を襲撃して、彼
らを民衆の前に引き出そうとした。
6 しかし、彼らは彼らを見つけられなかったので、ヤ
ソンと兄弟たち数人を町の役人たちのところへ連れ
て行き、叫んだ。「世界をひっくり返したあの者た
ちが、ここにもやって来た。
7 ヤソンはそれを受け入れたが、彼らはみな、カイザ
ルの布告にそむいて、イエスという別の王がいると
言っている。
8 人々はこれらのことを聞くと、町の役人たちを困惑
させた。
9 そして彼らはヤソンともう一人の男から保証金を取
って、彼らを解放した。
10 そこで兄弟たちは、パウロとシラスをただちに夜
のうちにベレアへ送り出した。二人はそこに着くと、
ユダヤ人の会堂に入った。
11 彼らはテサロニケの人々よりも高潔な人たちで、
心から喜んで御言葉を受け入れ、そのとおりかどう
か毎日聖書を調べていました。
12 こうして、彼らのうち多くの者が信じた。また、
ギリシア人の貴婦人たちや、男たちも少なからず信
じた。
13 ところが、テサロニケのユダヤ人たちは、パウロ
がベレアで神の言葉を伝えたことを知って、そこに
もやって来て、群衆を扇動した。
14 そこで、兄弟たちはすぐにパウロを海辺へ送り出
した。しかし、シラスとテモテはそこに留まってい
た。
15 パウロを案内した人たちは、彼をアテネに連れて
行き、シラスとテモテに急いで来るようにとの命令
を受けて、出発した。
16 パウロはアテネで彼らを待っている間に、その町
がすっかり偶像礼拝に陥っているのを見て、心を動
かされた。
17 それで、パウロは会堂でユダヤ人や敬虔な人たち
と論じ、また市場では毎日、自分と会う人たちと論
じ合った。
18 そのとき、エピクロス派やストア派の哲学者たち
が彼に出会った。ある者は言った、「このおしゃべ
りな人は何を言うのだろう」。他の者は言った、
「どうやら、彼は異国の神々を説いているようだ。
なぜなら、彼は彼らにイエスと復活について説教し
たからだ」。
19 そこで彼らは彼を捕らえてアレオパゴスに連れて
行き、「あなたの語っているその新しい教えが何で
あるか、私たちに知らせてください」と言った。
20 あなたは、ある不思議なことをわたしたちの耳に
聞かせておられる。それゆえ、わたしたちは、それ
が何を意味するのか知りたいのである。
21 （アテネ人も、そこにいた外国人も、ただ何か新
しいことを話したり聞いたりすることに時間を費や
していた。）
22 そのときパウロはマルスの丘の真ん中に立ち、こ
う言った。「アテネの人たち、わたしはあなたがた
がすべての点であまりにも迷信深いのが分かります。
23 わたしは通りがかりに、あなたがたの礼拝を見て
いると、次のような碑文が刻まれた祭壇を見つけた。
「知られざる神に。」それゆえ、あなたがたが知ら
ずに礼拝している神を、わたしはあなたがたに告げ
ます。
24 世界とその中にあるすべてのものを造られた神は、
天地の主であるから、手で造った神殿などには住ま
われません。
25 また、神はすべての人に命と息と万物を与えてお
られるので、何かが不足しているかのように、人の
手によって礼拝されることはありません。
26 そして神は、すべての国民を一つの血から造り、
地の全面に住まわせ、また定められた時と、彼らの
居住地の境界とを定められた。
27 それは、彼らが主を捜し求め、できれば、主を探
し求めて、主を見つけるためである。主は、私たち
ひとりひとりから遠く離れておられるわけではない。
28 わたしたちは神によって生き、動き、存在してい
るのです。あなたがたの詩人たちもこう言っていま
す。「わたしたちも神の子孫なのです。」
29 ですから、私たちは神の子孫なのですから、神性
を、技術や人間の計画で彫られた金や銀や石のよう
なものであると考えるべきではありません。
30 そして神はこの無知の時代を黙認したが、今はど
こにいてもすべての人に悔い改めるように命じてい
る。
31 なぜなら、神は、ご自身が定めた人によって、義
をもって世界を裁く日を定め、その人を死人の中か
らよみがえらせて、すべての人にそのことを保証さ
れたからである。
32 死者の復活のことを聞いたとき、ある者はあざ笑
い、他の者は、「このことについては、また改めて
聞こう」と言った。
33 そこでパウロは彼らの中から立ち去った。
34 しかし、ある人たちは彼に付き従って信仰を抱き
ました。その中には、アレオパゴスのディオニュシ
オス、ダマリスという婦人、そして他の人たちもい
ました。

第18章

1 これらのことがあった後、パウロはアテネを去って
コリントに来た。

2 そして、ポントス生まれのアクラというユダヤ人と
その妻プリスキラが、最近イタリアから来たのを見
つけた。クラウデウス帝がすべてのユダヤ人にロー
マから立ち去るように命じていたからである。そし
て、アクラは彼らのところに来た。
3 彼は同じ職業だったので、彼らと一緒に住んで仕事
をした。彼らの職業は天幕作りであった。
4 そして、安息日ごとに会堂で論じて、ユダヤ人とギ
リシア人とを説得した。
5 シラスとテモテがマケドニアから帰ってくると、パ
ウロは心を動かされ、イエスがキリストであること
をユダヤ人たちに証言した。
6 彼らが反抗し、神を冒涜したので、パウロは着物を
振り払って彼らに言った。「あなたがたの血はあな
たがた自身の頭上に帰せられよ。わたしは潔白であ
る。今からわたしは異邦人のところへ行きます。」
7 そこで、パウロはそこから立ち去って、ユストとい
う神を敬う人の家に入った。その家は会堂に隣接し
ていた。
8 会堂長クリスポは、その家族全員とともに主を信じ
た。コリント人のうち多くの者もそれを聞いて信じ、
バプテスマを受けた。
9 そのとき、主は夜の幻の中でパウロに言われた。
「恐れることはない。語りなさい。黙ってはならな
い。
10 わたしはあなたと共にいるので、だれもあなたを
襲って危害を加えることはできない。この町にはわ
たしの民が大勢いるからだ。
11 そしてパウロはそこに一年六か月留まり、彼らに
神の言葉を教え続けた。
12 ガリオがアカイアの代議員であったとき、ユダヤ
人たちは一致団結してパウロに対して反乱を起こし、
彼を裁判の席に引きずり出した。
13 「この男は、律法に反して神を拝むように人々を
説き伏せている。」
14 パウロが口を開こうとしたとき、ガリオはユダヤ
人たちに言った。「もしそれが不正や不道徳な行為
に関することなら、ユダヤ人の皆さん、私はあなた
がたに我慢して聞くべきです。
15 しかし、もしそれが言葉や名前、あるいはあなた
がたの律法に関する問題であるならば、あなたがた
はそれに気を配りなさい。私はそのような問題につ
いては裁くつもりはないからです。
16 そしてイエスは彼らを裁きの座から追い出した。
17 そこで、ギリシア人たちは皆、会堂長ソステネス
を捕らえ、法廷の前で殴打した。しかし、ガリオは
そんなことを気にも留めなかった。
18 パウロは、その後もしばらくそこに滞在した後、
兄弟たちに別れを告げ、そこからシリアへ船で出発
した。彼はプリスキラとアクラを伴っていた。彼は
ケンクレアで頭をそった。彼には誓願があったから
である。
19 それからパウロはエペソに着き、彼らをそこに残
し、自らは会堂に入ってユダヤ人たちと論じた。
20 彼らはパウロに、もっと長く一緒にいるように頼
んだが、パウロは同意しなかった。
21 しかしパウロは彼らに別れを告げて言った。「わ
たしはエルサレムでこれから行われるこの祭りを必
ず守らなければなりません。しかし、神の御心なら
ば、またあなたがたのところに戻って来ます。」そ
してパウロはエペソから船出した。
22 彼はカイザリヤに上陸し、上って行って教会にあ
いさつしてから、アンティオキアに下って行った。
23 パウロはそこでしばらく過ごした後、出発してガ
ラテヤとフルギヤの全地方を巡り、すべての弟子た
ちを力づけた。
24 アレクサンドリア生まれの、雄弁で聖書に精通し
たアポロというユダヤ人がエフェソスにやって来ま
した。
25 この人は主の道を教えられ、御霊に燃えて、主の
ことを熱心に語り、教えたが、ただヨハネのバプテ
スマだけを知っていた。
26 そしてパウロは会堂で大胆に語り始めた。それを
聞いたアクラとプリスキラはパウロを自分たちのと
ころに連れて行き、神の道をさらに詳しく説明した。
27 彼がアカイアへ行こうとしていたとき、兄弟たち
は手紙を書き、彼を迎えるように弟子たちに勧めた。
彼が到着すると、彼らは恵みによって信じた人々を
大いに助けた。
28 彼は、聖書によってイエスがキリストであること
を示して、ユダヤ人たちを大いに説得し、公然と説
得した。

第 19 章

1 アポロがコリントにいた間に、パウロは地方を通っ
てエペソに着いた。そして、ある弟子たちを見つけ
て、
2 イエスは彼らに言われた、「あなたがたは信じたと
き、聖霊を受けたか。」彼らは言った、「聖霊があ
られるということさえ、聞いたことがありませ
ん。」
3 そこでイエスは彼らに言われた、「それでは、だれ
の名によってバプテスマを受けたのか」。彼らは、
「ヨハネの名によってバプテスマを受けました」と
答えた。
4 するとパウロは言った、「ヨハネは確かに悔改めの
バプテスマを授け、自分の後に来られる方、すなわ
ちキリスト・イエスを信じるようにと、人々に勧めた
のです。」
5 彼らはこれを聞いて、主イエスの名によってバプテ
スマを受けました。
6 パウロが彼らの上に手を置くと、聖霊が彼らに臨み、
彼らは異言を語ったり預言したりした。
7 そして、その男たちは全部で十二人ほどであった。
8 そして、彼は会堂に入り、三か月の間大胆に語り、
神の王国について論じ、説得し続けた。
9 しかし、ある人たちが心をかたくなにして信じず、
群衆の前でその道をそしったので、イエスは彼らか

ら離れて弟子たちを分け、毎日ティラノという人の
学校で論じ始めた。
10 そして、このことは二年間続いた。そして、アジ
アに住むすべての人々、ユダヤ人もギリシア人も、
主イエスの言葉を聞いた。
11 そして神はパウロの手を通して特別な奇跡を起こ
されました。
12 そこで、イエスの体から取った手ぬぐいや前掛け
を病人たちに持たせると、病気は消え、悪霊も出て
行った。
13 そこで、放浪しているユダヤ人で、悪魔払いをす
る者たちが、悪霊に取りつかれた者たちに向かって
主イエスの名を唱えて、「パウロが宣べ伝えている
イエスによって、あなたたちに命じます」と言った。
14 ユダヤ人で祭司長であったスケワという人の息子
七人が、そのようなことをしました。
15 すると、悪霊は答えて言った。「わたしはイエス
を知っているし、パウロも知っている。だが、あな
たがたはいったい何者なのか。」
16 すると、悪霊に取りつかれた男が彼らに飛びかか
り、彼らを打ち負かして勝ったので、彼らは裸で傷
を負ってその家から逃げ出した。
17 このことは、エペソに住むすべてのユダヤ人とギ
リシア人に知れ渡り、彼らはみな恐れを抱き、主イ
エスの名はあがめられた。
18 そして、信じた者たちが大勢来て、告白し、自分
たちの行いを明らかにした。
19 魔術を行なっていた者たちのうち多くの者たちも、
自分たちの本を持ち寄って、みんなの前でそれを焼
き捨てた。そして、その値段を計算してみると、銀
五万枚であった。
20 こうして神の言葉は力強く成長し、勝利を収めた。
21 これらの事が終わってから、パウロはマケドニア
とアカイアを通ってエルサレムに行こうと心に決め、
こう言った。「わたしはそこに行った後、ローマも
見なければならない。」
22 そこでパウロは、自分に仕えていた二人、テモテ
とエラストをマケドニアに送り出したが、パウロ自
身はしばらくアジアに留まった。
23 ちょうどそのころ、その道のあたりで少なからぬ
騒ぎが起こった。
24 デメトリオという銀細工人が、アルテミスのため
に銀の神殿を作って、職人たちに少なからぬ利益を
もたらしていた。
25 彼は、同じ職業の労働者たちを呼び集めて言った。
「皆さん、私たちがこの仕事で富を得ていることは、
ご存じのとおりです。
26 また、あなたがたが見聞きしているとおり、この
パウロは、エペソばかりでなく、ほとんどアジア全
土で、手で造ったものは神ではないと言って、多く
の人々を説得し、背教させています。
27 そのため、私たちの技術が無視される危険がある
だけでなく、アジア全体と世界中で崇拝されている
偉大な女神ディアナの神殿が軽蔑され、彼女の壮麗
さが破壊される危険もあります。
28 彼らはこれらの言葉を聞いて激怒し、叫んで言っ
た。「エペソ人のアルテミスは偉大なのだ。」
29 そして、町全体が混乱に陥り、人々はパウロの旅
の同行者であるマケドニア人ガイオとアリスタルコ
を捕まえて、いっせいに劇場になだれ込んだ。
30 パウロが群衆の中に入ろうとしたとき、弟子たち
はそれを許さなかった。
31 それで、彼の友人であったアジアの指導者たちの
うちのある人たちが、彼のもとに人をやって、劇場
に踏み込まないよう頼んだ。
32 そこで、ある者はこう叫び、ある者はこう叫んだ。
会衆は混乱し、大部分の者は、なぜ集まったのか知
らなかった。
33 そこで、ユダヤ人たちはアレクサンダーを群衆の
中から引き出し、前に立たせた。アレクサンダーは
手を振って合図し、群衆に向かって弁明しようとし
た。
34 しかし、彼がユダヤ人であると分かると、皆が声
を揃えて、約二時間にわたって「エフェソスのダイ
アナは偉大です」と叫び続けた。
35 町の書記官は民衆をなだめて言った。「エフェソ
スの皆さん、エフェソスの町が偉大な女神アルテミ
スと、ユピテルから落ちてきた像を崇拝しているこ
とを知らない者がいるでしょうか。
36 ですから、これらの事は反対できないのですから、
あなた方は静かにして、軽率なことは何もしないべ
きです。
37 あなたがたは、教会を強盗する者でもないし、あ
なたがたの女神を冒涜する者でもないこれらの人々
をここに連れて来た。
38 ですから、もしデメトリオスと彼と一緒にいる職
人たちが、だれかに対して何か訴えを起こしたいの
であれば、法廷は開かれており、また代弁者もいる
のですから、彼らは互いに訴え合うべきです。
39 しかし、他の事柄について何か尋ねることがあれ
ば、それは正当な会議で決定されるべきです。
40 というのは、私たちはこの日の騒動について尋問
される危険にさらされているからである。この集会
について説明できる理由がないからである。
41 パウロはこう言ってから、集会を解散させた。

第 20 章

1 騒ぎが静まると、パウロは弟子たちを呼び寄せて抱
き合い、マケドニア州へ出発した。
2 イエスはそれらの地方を巡り、多くの勧告を与えた
後、ギリシャに来られた。
3 そこで三か月間滞在した。ユダヤ人たちが彼を待ち
伏せしたので、パウロはシリアへ船出しようとした
が、マケドニアを通って帰ることにした。
4 そして、ベレアのソパテルは彼に同行してアジアに
入った。そしてテサロニケ人のアリスタルコスとセ
クンドゥス。デルベのガイウスとティモテウス。そ
してアジアのティキクスとトロフィムス。

5 これらの先遣隊はトロアスで私たちのために待機していました。
6 そして、私たちは除酵祭の期間が過ぎてからピリピから船出して、五日かけてトロアスの彼らのところに行き、そこで七日間滞在しました。
7 週の初めの日に、弟子たちがパンを裂くために集まったとき、パウロは翌日出発する予定で彼らに説教し、真夜中まで説教を続けた。
8 人々が集まっていた階上の部屋には、多くの明かりがついていた。
9 すると、ユテコという名の若者が窓辺に座って、深い眠りに陥っていた。パウロが長く説教を続けているうちに、彼は眠り込んでしまい、三階から落ちて、引き上げられて死んでしまった。
10 そこでパウロは降りて行って、彼を抱きしめながら言った。「心配しないでください。彼の命は彼の中にあります。」
11 そこで、彼はまた上って来て、パンを裂き、食べ、夜明けまで長い間語り合った後、立ち去った。
12 そして彼らはその若者を生き返らせ、大いに慰められた。
13 そこで私たちは先に船に乗り、アソスに航行し、そこでパウロを乗せるつもりでした。パウロは徒歩で行くことに決めていたからです。
14 彼はアソスで私たちと会い、私たちは彼を家に泊めて、ミテレネに着いた。
15 そこでわたしたちは船出して、翌日キオス島の向こうに着き、その翌日サモス島に着いてトロギリオンに滞在し、その翌日ミレトスに着いた。
16 パウロはアジアで時間を過ごすつもりはなかったので、エフェソス経由で航海することに決めていた。もしできることなら、ペンテコステの日にエルサレムに着こうと急いでいたからである。
17 そしてパウロはミレトスからエペソに人を遣わし、教会の長老たちを呼び寄せた。
18 彼らが彼のところに来ると、彼は彼らに言った、「あなたがたは、わたしがアジアに来た最初の日から、どんなふうにあなたがたと過ごしてきたかを知っている。
19 わたしは、心の限りを尽くして謙遜に主に仕え、多くの涙を流し、ユダヤ人たちの待ち伏せによってわたしに降りかかった試練にも遭いました。
20 また、わたしはあなたがたの益となることを何も隠さず、公衆の前でも家々でもあなたがたに示し、教えてきました。
21 ユダヤ人にもギリシア人にも、神に対する悔改めと、わたしたちの主イエス･キリストに対する信仰とを証ししました。
22 そして今、見よ、わたしは霊に縛られてエルサレムへ向かうが、そこでわたしに何が起こるかは知らない。
23 ただし、聖霊がどの町でも証しして、束縛と苦難がわたしにつきまとうと告げておられる。
24 しかし、これらのことはどれもわたしを動揺させず、わたしは自分の命を惜しみません。それは、わたしが自分の走るべき道を喜びをもって走り終え、主イエスから受けた、神の恵みの福音を証しする務めを全うするためです。
25 そして今、見よ、わたしは、わたしが神の王国を宣べ伝えてきたあなたがたすべてが、もはやわたしの顔を見ることはないであろうことを知っています。
26 それゆえ、わたしは今日、すべての人の血に対して潔白であることをあなたたちに証しさせます。
27 私は、神の計画をことごとくあなた方に告げ知らせることを避けなかったのです。
28 ですから、あなたがた自身と群れ全体とに気をつけなさい。聖霊は、神がご自身の血で買い取られた神の教会を養うために、あなたがたをその群れの監督者として任命されたのです。
29 わたしが去った後、残忍な狼があなたがたの中に入って来て、群れを容赦なく襲うであろうことを、わたしは知っています。
30 あなたがた自身の中からも、曲がったことを語って弟子たちをひっぱって行こうとする者たちが現れるでしょう。
31 ですから、目を覚まして覚えておきなさい。私は三年間、夜も昼も涙を流しながら、すべての人に警告し続けました。
32 さて、兄弟たちよ。私は今、あなたがたを神とその恵みの言葉にゆだねます。その言葉は、あなたがたを築き上げ、聖別されたすべての人々と共に、あなたがたに財産を与えることができます。
33 わたしは、だれの銀や金や衣服もむさぼったことはありません。
34 そうです、あなたがた自身も知っているように、この手はわたしの必要を満たすため、またわたしと一緒にいた人たちのために働いてきたのです。
「受けるよりは与える方が幸いである」という言葉を思い出すべきであることを、あなたがたにすべて示しました。
36 こう言ってから、イエスはひざまずいて、皆と一緒に祈った。
37 彼らはみな激しく泣き、パウロの首に抱きついて口づけした。
38 彼らは、イエスが、もう二度とイエスの顔を見ることはできない、と言われたことを何よりも悲しんだ。そして、イエスに同行して舟まで行った。

第 21 章

1 さて、わたしたちは彼らと別れて船出した後、一路クオスに行き、翌日にはロドス島に行き、そこからパタラに着いた。
2 そして、フェニキア行きの船を見つけたので、私たちはそれに乗って出発した。
3 さて、キプロス島を発見すると、私たちはそれを左手に残し、シリアに航行してティルスに上陸した。そこで船は荷を下ろす予定だったからである。

4 そして、私たちは弟子たちを見つけて、そこに七日
間滞在しました。彼らは御霊によってパウロに、エ
ルサレムへは上って行かないように言いました。
5 そして、それらの日が終わると、私たちは出発して
行きました。皆が、私たちを妻子と共に町の外まで
送ってくれました。そして、私たちは岸辺にひざま
ずいて祈りました。
6 そして、私たちは互いに別れを告げて船に乗り、彼
らは家路についた。
7 そして、わたしたちはティルスからの航路を終えて
プトレマイスに着き、兄弟たちに挨拶して、彼らの
もとに一日滞在した。
8 翌日、パウロの一行は出発してカイザリヤに行き、
七人の一人である伝道者フィリポの家に入り、彼の
もとに泊まった。
9 この人に、預言をする処女の娘が四人いた。
10 私たちがそこに何日も滞在していたとき、アガボ
という預言者がユダヤから下って来ました。
11 そして、彼は私たちのところに来ると、パウロの
帯を取り、自分の手足を縛って言った、「聖霊はこ
う言われる。『この帯の持ち主を、エルサレムのユ
ダヤ人たちがこのように縛り、異邦人の手に引き渡
すであろう。』
12 これらのことを聞いたとき、私たちもその土地の
人々も、パウロにエルサレムへ上って行かないよう
にと懇願した。
13 するとパウロは答えた。「あなたがたは、なぜ泣
いたり、わたしの心を痛めたりするのか。わたしは
主イエスの名のためなら、エルサレムで縛られるば
かりでなく、死ぬことも覚悟している。」
14 しかし、彼が納得しなかったので、私たちは「主
の御心が行われますように」と言ってやめました。
15 それらの日の後、私たちは車に乗ってエルサレム
へ上って行きました。
16 カイザリヤの弟子たちも何人か私たちと一緒に行
き、キプロス出身のムナソンという古い弟子を連れ
てきたので、私たちは彼のところに泊まることにな
った。
17 そして、私たちがエルサレムに着くと、兄弟たち
は喜んで私たちを迎え入れてくれました。
18 翌日、パウロは私たちと一緒にヤコブのところへ
行きました。そこには長老たちも全員集まっていま
した。
19 そしてパウロは彼らにあいさつした後、自分の奉
仕を通して神が異邦人の間にどんなことを成し遂げ
てくださったかを詳しく語った。
20 彼らはこれを聞いて、主をあがめ、こう言った。
「兄弟よ、ごらんのとおり、ユダヤ人の中には信者
が何千人もいる。彼らはみな律法に熱心なのだ。
21 彼らはあなたについてこう告げています。あなた
は異邦人の中にいるすべてのユダヤ人に、子供に割
礼を施してはならない、慣習に従って生活してはな
らないと言って、モーセを捨てるように教えている、
と。
22 それで、何ですか。群衆が集まらなければなりま
せん。彼らはあなたが来られたことを聞くでしょう。
23 それゆえ、わたしたちがあなたに言うとおりにし
てください。わたしたちには誓願を立てている者が
四人います。
24 彼らを連れて行き、彼らと共に身を清め、彼らに
頭をそらせるために費用を負担しなさい。そうすれ
ば、あなたについて伝えられたそれらの事がらが無
意味であること、あなた自身も規則を守って律法を
守っていることが、すべての人に分かるでしょう。
25 信者である異邦人に関して、私たちは書いて、彼
らが偶像に捧げられた物、血、絞め殺された動物、
不品行を避けること以外、そのようなことを何も守
っていないと結論しました。
26 そこでパウロは人々を連れて、翌日彼らとともに
身を清めてから神殿に入り、彼ら一人一人のために
供え物をささげるまでの清めの期間が終了したこと
を知らせた。
27 七日が終わろうとしていたころ、アジアから来た
ユダヤ人たちは、神殿でイエスを見ると、すべての
民衆を煽動し、イエスに手を下した。
28 彼らは叫んで言った。「イスラエルの人たち、助
けてください。『この男は、あらゆる所で、民と律
法とこの場所に反対する教えをすべての人に教え、
さらにギリシャ人をも神殿に連れ込み、この聖なる
場所を汚した男だ。』
29（というのは、彼らは以前、パウロと一緒に町に
いるエフェソス人トロフィモを見たことがあるから
であり、パウロが彼を神殿に連れてきたのだと思っ
ていたからである。）
30 町中が騒然となり、民衆が駆け寄ってきて、パウ
ロを捕らえて神殿の外に引きずり出し、すぐに神殿
の戸を閉じた。
31 彼らがイエスを殺そうとしていたとき、エルサレ
ム全体が騒乱状態にあるという知らせが、部隊の千
人隊長に届いた。
32 彼らはただちに、兵士たちと百人隊長たちを連れ
て、彼らのところへ駆け下りた。そして、千人隊長
と兵士たちを見ると、パウロを打つのをやめた。
33 そこで千人隊長は近寄って彼を捕らえ、二本の鎖
で縛るように命じ、彼が何者か、また何をしたのか
を問いただした。
34 群衆の中には、こう叫ぶ者もいれば、こう叫ぶ者
もいた。騒ぎのため何が真実なのかわからなかった
ので、パウロは彼を城内に運び入れるように命じた。
35 そして、彼が階段に着いたとき、民衆の暴行のた
め、兵士たちが彼を運び去った。
36 群衆は叫びながらイエスの後を追った。「彼を殺
せ。」
37 パウロは城内に連れて行かれるとき、千人隊長に
「話をしてもよろしいでしょうか」と言った。千人
隊長は「あなたはギリシア語が話せますか」と言っ
た。
38 あなたは、この前騒ぎを起こして、人殺しの四千
人を荒野に連れ出したエジプト人ではないか。

39 しかしパウロは言った。「私はキリキア州のタルソス出身のユダヤ人で、小さな町の住人です。お願いですから、民衆に話すことをお許しください。」
40 パウロは許可を与えると、階段の上に立ち、群衆に向かって手振りをした。すると、一同が静まり返ったので、パウロはヘブル語で彼らに話しかけて言った。

第 22 章

1 兄弟たち、父たちよ、わたしが今あなたがたに対して述べる弁明を聞いてください。
2（そして、イエスがヘブル語で彼らに話しかけるのを聞いて、彼らはますます黙りこんだ。イエスはこう言われた。）
3 私は確かにユダヤ人であり、キリキアの町タルソスで生まれましたが、この町でガマリエルのもとで育てられ、父祖たちの律法を完璧に教えられ、今日の皆さんと同じように神に対して熱心でした。
4 そして、私はこのようにして、男も女も縛って牢に引き渡し、死に至るまで迫害しました。
5 大祭司と長老たちの全会も、わたしに証言しています。わたしは彼らから兄弟たちへの手紙を受け取り、ダマスコに行き、そこで縛られている者たちをエルサレムに連行して処罰を受けさせました。
6 さて、わたしが旅を続けて、正午ごろダマスコに近づいたとき、突然、天から大きな光がわたしの周りを照らした。
サウル、サウル、なぜわたしを迫害するのか」と言う声を聞いた。
8 そこでわたしは答えた、「主よ、あなたはどなたですか」。すると彼はわたしに言った、「わたしはあなたが迫害しているナザレ人イエスである」。
9 わたしと一緒にいた者たちは、確かにその光を見て恐れたが、わたしに語りかけた者の声は聞かなかった。
10 そこでわたしは言った、「主よ、わたしは何をすればよいのでしょうか。」主はわたしに言われた、「立ってダマスコへ行きなさい。そうすれば、あなたのなすべきこととして定められているすべての事が、そこで告げられるであろう。」
11 そして、その光の輝きのために目が見えなくなったとき、私は同行していた人々の手に導かれてダマスコに着いた。
12 そこに、律法を重んじる敬虔な人で、そこに住むユダヤ人全員から評判のよいアナニアという人がいた。
13 彼は私のところに来て、立ち止まり、私に言いました。「サウロ兄弟よ、見えるようになりなさい。」そして私はすぐに彼を見上げました。
14 彼は言った、「私たちの先祖の神はあなたを選んだ。それは、あなたに神の意志を知らせ、正しい方を見させ、その口から出る声を聞かせるためである」。
15 あなたは、あなたが見たり聞いたりしたことを、すべての人に証人として伝えることになるからです。
16 では、なぜ今躊躇しているのですか。立ち上がって、主の名を呼んでバプテスマを受け、あなたの罪を洗い流しなさい。
17 さて、わたしが再びエルサレムに着いたとき、宮で祈っていたとき、わたしは恍惚状態に陥っていた。
18 そして、彼がわたしにこう言うのを見た。「急いでエルサレムから立ち去れ。彼らはわたしについてのあなたの証言を受け入れないだろうから。」
19 そこでわたしは言いました。「主よ、わたしがあなたを信じる者たちを、あらゆる会堂で投獄し、打ちたたいたことは、彼らは知っています。
20 あなたの殉教者ステパノの血が流されたとき、私も傍らにいて、彼の死に同意し、彼を殺した者たちの衣服を守っていました。
21 そして彼は私に言った、「行きなさい。私はあなたをここから遠く異邦人のところへ遣わすつもりだ」。
22 彼らはこの言葉を聞いてから、声を張り上げて言った。「このような男を地上から追放せよ。生きているのは不相応だ。」
23 彼らは叫び、衣服を脱ぎ捨て、塵を空中に投げ捨てた。
24 千人隊長は彼を城に連れて来るように命じ、鞭打ちによる尋問を命じた。なぜ彼らが彼に対してそんなに叫んでいるのかを知るためだった。
25 彼らがパウロを皮ひもで縛っているとき、パウロはそばに立っていた百人隊長に言った。「ローマ人で、罪に定められていない人を鞭打ってよいのですか。」
26 百人隊長はこれを聞いて、千人隊長のところへ行き、こう告げた。「あなたは何をしているか気をつけなさい。この人はローマ人です。」
27 すると千人隊長が来て、彼に言った。「私に言いなさい。あなたはローマ人ですか。」彼は言った。「そうです。」
28 千人隊長は答えた。「私は多額の金を出してこの自由を手に入れたのです。」パウロは言った。「しかし、私は自由の身で生まれました。」
29 そこで、彼を尋問しようとしていた者たちは、すぐに彼から立ち去った。千人隊長も、彼がローマ人であることを知っていたし、彼を縛ったので、恐れた。
30 翌日、パウロは、ユダヤ人たちがパウロを訴えている理由をはっきり知ろうと、彼を縛めている鎖から解き放ち、祭司長たちと全議会に現れるよう命じ、パウロを連れて来て、彼らの前に立たせた。

第 23 章

1 パウロは議会をじっと見つめながら言った。「兄弟たちよ、私は今日まで、神の前に全く良心をもって生活してきました。

2 そこで、大祭司アナニアは、イエスのそばに立っていた者たちに、イエスの口を打つように命じた。
3 そこでパウロは彼に言った。「白塗りの壁よ、神はあなたを打つであろう。あなたは律法に従って私を裁くために座に着きながら、律法に反して私に打つよう命じるのか。」
4 すると、そばに立っていた者たちが言った。「あなたは神の大祭司をののしるのか。
5 するとパウロは言った。「兄弟たちよ、彼が大祭司であるとは知らなかった。『あなたの民の指導者を悪く言うな』と書いてある。」
6 しかしパウロは、その一方がサドカイ派で、他方がパリサイ派であるのに気づき、議会の中で叫びました。「兄弟たちよ、私はパリサイ人であり、パリサイ人の子です。死者の復活と希望について、私は尋問されています。」
7 イエスがこう言われると、パリサイ人とサドカイ人の間に意見の対立が起こり、群衆は二分された。
8 サドカイ派は、復活はなく、天使も霊もないと言っているが、パリサイ派はその両方を認めている。
9 すると、大きな叫びが起こった。パリサイ派の律法学者たちが立ち上がり、争って言った。「この人には何も悪いところは見当たらない。もし霊か御使いが彼に話しかけたのなら、神に逆らって争うのはやめよう。」
10 激しい争いが起こったので、千人隊長は、パウロが彼らの中に引きずり込まれるのを恐れ、兵士たちに下って行って、パウロを彼らの中から力ずくで引き離し、城内に連れ込むように命じた。
11 するとその夜、主が彼のそばに立って言われた。「パウロよ、元気を出しなさい。あなたはエルサレムでわたしについて証言したように、ローマでも証言しなければなりません。」
12 夜が明けると、ユダヤ人たちの中には、パウロを殺すまでは食べることも飲むこともしないと誓い合った者もいた。
13 この陰謀を企てた者は四十人以上であった。
14 彼らは祭司長たち、長老たちのところに来て言った。「私たちはパウロを殺すまでは何も食べないという重い呪いを自分たちに課しました。」
15 そこで、あなたたちは議会と共に千人隊長に、明日、彼をあなたたちのところに連れて来るようにと告げなさい。あなたたちは、彼についてもっと詳しく調べるつもりであるかのように。私たちは、彼が近づいてきたら、いつでも彼を殺すつもりです。
16 パウロの妹の息子は彼らが待ち伏せしていることを聞いて、城内に入ってパウロに告げた。
17 そこでパウロは百人隊長の一人を呼び寄せて言った。「この若者を千人隊長のところに連れてきなさい。千人隊長に何か伝えたいことがあるそうです。」
18 そこで彼は、その若者を捕らえて千人隊長のところに連れて行き、こう言った。「囚人パウロが私を呼び、この若者があなたに何か言いたいことがあるので、あなたのところに連れて来るようにと頼みました。」
19 そこで千人隊長は彼の手を取って、ひそかに彼と一緒に行き、尋ねた。「私に何を話したいのか。」
20 そこでパウロは言った。「ユダヤ人たちは、パウロについてもっと詳しく調べようとして、明日、彼を議会に連れて来るようにとあなたに頼むことにしている。」
21 しかし、あなたは彼らに屈してはならない。彼らのうちの四十人以上の者が彼を待ち伏せしている。彼らは彼を殺すまでは食べることも飲むこともしないと誓いを立てており、今、あなたからの約束を待ち構えているのだ。
22 そこで千人隊長は若者を去らせ、彼に命じて言った。「これらのことを私に話したことは、だれにも言わないように。」
23 そこで彼は二人の百人隊長を呼び寄せて言った。「夜中の三時にカイザリヤへ向かう兵二百人と騎兵七十人、槍兵二百人を用意しなさい。
24 また、彼らに家畜を用意し、パウロを乗せて、総督フェリクスのもとへ無事に連れて行けるようにしなさい。
25 彼は次のように手紙を書いた。
26 クラウディウス･リシアスは、高位の総督フェリクスに挨拶を送ります。
27 この男はユダヤ人たちに捕らえられ、殺されようとしていたが、私は軍隊を率いて行って、彼がローマ人であることを知って、彼を救出した。
28 そして、彼らが彼を訴えた理由を知りたいと思ったので、私は彼を彼らの会議に呼び出した。
29 わたしは、彼が彼らの法律に違反する罪で告発されているが、死刑や監禁に値する罪状は何も問われていないことを知った。
30 ユダヤ人たちがこの男を待ち伏せしているという知らせが私に届いたので、私はすぐにあなたのところに人をやって、彼を告発する者たちにも、彼に対してどんな恨みを抱いているかをあなたの前に述べるように命じました。さようなら。
31 そこで兵士たちは、命じられたとおりパウロを捕らえ、夜のうちにアンティパトリスに連れて行った。
32 翌日、彼らは騎兵たちを彼と共に行かせて城に戻った。
33 彼らはカイサリアに着いて、その手紙を総督に渡し、パウロも彼の前に立たせた。
34 総督はその手紙を読んで、パウロがどの州の出身であるかを尋ねた。そして、パウロがキリキア出身であることを知って、
35 イエスは、「あなたを告発する者たちも来たら、あなたの言うことを聞きましょう」と言い、ヘロデの法廷にイエスを留めておくように命じた。

第 24 章

1 五日後、大祭司アナニアは長老たちと弁論家テルトロスと共に下って行き、総督にパウロのことを告発した。
2 彼が呼び出されると、テルトゥルスは彼を告発し始めた。「あなたのおかげで私たちは大いなる平穏を享受しており、あなたの摂理によってこの国民に非常に価値ある行為がなされているのを見て、
3 フェリクス卿、私たちはいつでも、どこでも、心からの感謝をもってそれを受け入れます。
4 それにもかかわらず、私があなたにこれ以上退屈させないために、あなたの慈悲の心で私たちの言葉を少しだけ聞いていただければ幸いです。
5 というのは、私たちはこの男が疫病を媒介する者であり、全世界のユダヤ人の間で騒乱を起こす者であり、ナザレ派の分派の首謀者であると知ったからである。
6 彼はまた神殿を汚そうとしたが、私たちは彼を捕らえて、私たちの律法に従って裁こうとした。
7 しかし、リシアス大将が我々に襲い掛かり、彼を我々の手から奪い去り、
8 彼を告発する者たちに、あなたのところに来るように命じなさい。あなたがたは、だれを調べれば、私たちが彼を告発しているこれらのすべてのことを、自分で知ることができるでしょう。
9 ユダヤ人たちも同意して、そのとおりだと言った。
10 総督がパウロに手招きして話すように言った後、パウロは答えた。「あなたが長年この国民の裁判官を務めてこられたことを私は知っていますので、私自身について喜んでお答えします。
11 あなたがたに分かるように、わたしが礼拝のためにエルサレムに上ってから、まだ十二日しか経っていないのです。
12 彼らは、わたしが宮でも、会堂でも、町でも、だれかと論じ合ったり、群衆を扇動したりしているのを見たことがありません。
13 彼らは、今わたしを訴えている事柄を証明することもできません。
14 しかし、わたしは、彼らが異端と呼ぶ方法に従って、律法と預言者に書かれていることをすべて信じて、先祖の神を礼拝していることを、あなたに告白します。
15 そして、神に対して希望を抱いており、彼ら自身もそれを認めている。すなわち、正しい者も正しくない者も、死者の復活があるということである。
16 そして、私は神に対しても人に対しても常に責められることのない良心を持つように努めています。
17 数年経って、私は自分の国民に施しと供え物を捧げるために来ました。
18 すると、アジアから来たあるユダヤ人たちが、群衆も騒ぎもなく、神殿でわたしが清められているのを見つけた。
19 もし彼らがわたしに対して何か不満を抱いているなら、あなたの前にここに来て、異議を申し立てるべきでした。
20 あるいは、ここにいるこの人たちは、私が議会に立っていたとき、私に何か悪いことが行われたと気づいたなら、
21 わたしが彼らの中に立って叫んだこの一つの声のためでなければ、死者の復活に関して、わたしは今日あなたたちによって尋問されているのだ。
22 フェリクスは、このことを聞くと、その道についてもっとよく知っていたので、それを延期して言った。「千人隊長リシアスが下って来るとき、私はあなたの事の細部まで知ろう。」
23 そこで、パウロは百人隊長に、パウロを監禁し、自由にしておくように、また、パウロの知り合いがパウロに仕えたり、パウロのもとに来るのを禁じないようにと命じた。
24 数日後、フェリクスはユダヤ人であった妻ドルシラと一緒に来て、パウロを呼び寄せ、キリストへの信仰について彼から聞いた。
25 パウロが正義と節制と将来の審判について論じていると、フェリクスは震えながら答えた。「今はもう行きなさい。都合のよい時が来たら、あなたを呼びましょう。」
26 彼はまた、パウロから金が与えられて、彼を救い出すことができるだろうと期待していた。そこで、彼はパウロをたびたび呼び寄せて、彼と語り合った。
27 しかし二年後、ポルキオ･フェストがフェリクスのところにやって来た。フェリクスはユダヤ人を喜ばせようとして、パウロを縛ったまま残していった。

第 25 章

1 さて、フェストスはその州に着いてから、三日後にカイサリアからエルサレムに上った。
2 そこで、大祭司とユダヤ人の指導者たちはパウロを告発し、こう懇願した。
3 そして、彼に対する恩恵を願い出て、エルサレムに人をやって彼を呼び出し、途中で待ち伏せして殺させようとした。
4 しかしフェストは、パウロをカイサリアに留めておき、自分はすぐにそこへ出発するつもりだと答えた。
5 そこで彼は言った。「あなたたちのうち、力のある者は私と一緒に下って行き、もしこの男に何か悪事があるなら、告発しなさい。」
6 そして、パウロは彼らの間に十日以上滞在した後、カイサリアに下って行き、翌日、裁判の席に座りながら、パウロを連れて来るように命じた。
7 パウロが来ると、エルサレムから下って来たユダヤ人たちが取り囲んで立ち、パウロに対して、証明できないほど多くのひどい訴えを起こした。
8 彼は自分自身について答えた、「私は、ユダヤ人の律法に対しても、神殿に対しても、また皇帝に対しても、何一つ罪を犯したことはありません。」

9 しかしフェストは、ユダヤ人の喜びを願って、パウ
ロに答えて言った。「あなたはエルサレムへ上って
行き、そこで私の前でこれらのことについて裁かれ
るつもりですか。」
10 そこでパウロは言った。「わたしは皇帝の法廷に
立っており、そこで裁きを受けるべきです。あなた
がよくご存じのとおり、わたしはユダヤ人に対して
何も悪いことをしていません。」
11 もし私が罪を犯したり、死に値するようなことを
したのであれば、私は死ぬことを拒みます。しかし、
彼らが私を訴えているこれらのことが一つもなけれ
ば、誰も私を彼らに引き渡すことはできません。私
は皇帝に上訴します。
12 そこでフェストスは議会と協議した後、答えた。
「皇帝に上訴したのか。皇帝のところへ行きなさ
い。」
13 数日後、アグリッパ王とベルニケはフェストスに
挨拶するためにカイサリアにやって来た。
14 彼らがそこに何日も滞在した後、フェストはパウ
ロの件を王に報告して言った。「フェリクスのもと
に監禁された男が一人残されています。
15 私がエルサレムにいたとき、祭司長たちやユダヤ
人の長老たちが、彼に対して裁判をしたいと考えて、
このことを私に知らせました。
16 私は彼らに答えた、「告発された者が告発者と直
接対面し、自分にかけられた罪について自ら弁明す
る機会を与えられる前に、人を死刑に引き渡すこと
は、ローマ人の慣例ではありません。」
17 そこで、彼らがここに来ると、私は翌日、すぐに
裁判の席に着き、その人を引き出すように命じまし
た。
18 告発者たちが立ち上がったとき、彼らは私が考え
ていたようなことについては何も告発しませんでし
た。
19 しかし、彼らは、自分たちの迷信と、死んだはず
のイエスのことで、パウロが生きていると断言した
ことについて、パウロに対していくつかの疑問を抱
いていた。
20 わたしはこのような質問に疑問を感じたので、彼
にエルサレムへ行って、そこでこれらの事柄につい
て裁きを受けるつもりがあるかどうか尋ねた。
21 しかし、パウロがアウグストゥスの審理を受ける
まで留置してほしいと訴えたので、私は彼を皇帝の
もとに送るまで留置しておくように命じました。
22 そこでアグリッパはフェストスに言った、「私も
この人の話を聞きたいのですが」。フェストスは言
った、「明日、あなたは彼の話を聞くでしょう」。
23 翌日、アグリッパとベルニケが、大勢の千人隊長
や町の有力者たちとともに、盛大な式典で公聴会の
場に着いたとき、フェストスの命令で、パウロが連
れ出されました。
24 フェストスは言った。「アグリッパ王、およびこ
こにいるすべての人々、あなた方はこの男をごらん
になっています。この男については、エルサレムで
もここでも、ユダヤ人の群衆が皆私に対して、これ
以上生きながらえさせるべきではないと叫んでいた
のです。
25 しかし、彼が死に値するようなことは何も犯して
おらず、彼自身がアウグストゥスに上訴しているこ
とがわかったので、私は彼を送り返すことに決めた。
26 彼については、主君に書き送るべき確かなことが
私にはありません。それで、アグリッパ王よ、私は
あなたの前に彼を連れ出し、特にあなたの前に立た
せて、調べた後、何か書き送るべきことがあるよう
にしたのです。
27 というのは、囚人を送り出すと同時に、彼に対し
てかけられた罪を明らかにしないのは、不合理だと
私には思われるからです。

第 26 章

1 そこでアグリッパはパウロに言った、「あなたは自
分で話すことを許されている」。そこでパウロは手
を伸ばして、自分で答えた。
2 アグリッパ王よ、私はユダヤ人たちから訴えられて
いるすべてのことについて、今日、あなたの前に自
ら弁明できるのですから、私は幸いだと思っていま
す。
3 特に、私はあなたがユダヤ人の間のあらゆる慣習や
問題に精通していることを知っていますので、忍耐
強く私の言うことを聞いてくださるようお願いしま
す。
4 わたしが若いころから、エルサレムで同胞の一人と
して暮らしていたころのわたしの生き方は、ユダヤ
人全員が知っているとおりです。
5 彼らは、わたしがわたしたちの宗教の最も厳格な分
派に従ってパリサイ人として生活していたことを、
初めから知っていたのです。
6 そして今、私は神が私たちの先祖に与えられた約束
の希望のために立って、裁きを受けています。
7 私たちの十二部族は、昼も夜も神に仕えながら、そ
の約束に近づいていくことを望んでいます。その望
みのために、アグリッパ王よ、私はユダヤ人から告
発されているのです。
8 神が死者をよみがえらせるということを、なぜあな
たがたは信じられないと思うのですか。
9 わたしは、ナザレ人イエスの名に反して多くのこと
を行うべきだと、心の中で真剣に考えました。
10 わたしはエルサレムでも同じことをしました。祭
司長たちから権威を受けて、多くの聖徒たちを獄に
閉じ込め、彼らが殺されるときには、声を上げて彼
らに反対しました。
11 そして、わたしはあらゆる会堂で彼らをたびたび
罰し、彼らに神を冒涜するよう強要し、彼らに対し
て非常に激しい怒りを抱き、異国の町々にまで彼ら
を迫害した。
12 そこで私は、祭司長たちから権限と委任を受けて
ダマスコへ行き、

13 王よ、正午に、私は道中で、太陽の輝きよりも強
い光が天から降りてきて、私と私と共に旅する者た
ちの周りを照らしているのを見ました。
14 そして、私たちがみな地に倒れたとき、私は、ヘ
ブル語で「サウル、サウル、なぜ私を迫害するのか。
とげに逆らって蹴るのは、あなたにとって難しいこ
となのだ」と言う声が私に語りかけるのを聞いた。
15 そこでわたしは言った、「主よ、あなたはどなた
ですか」。すると彼は言った、「わたしはあなたが
迫害しているイエスである」。
16 しかし、立ち上がって自分の足で立ちなさい。わ
たしがあなたに現れたのは、あなたが見たこれらの
事と、わたしがこれからあなたに現れるあの事との、
両方の奉仕者、また証人とするためである。
17 わたしはあなたを諸国の民、異邦人から救い出し、
今あなたを彼らに遣わす。
18 それは、彼らの目を開いて、彼らを暗やみから光
へ、サタンの力から神へ転向させ、わたしに対する
信仰によって聖別された者たちの中に、罪の赦しと
相続財産とを受けさせるためである。
19 そこで、アグリッパ王よ、わたしは天からの幻に
従わなかったのです。
20 しかし、まずダマスコの人々に、またエルサレム、
ユダヤ全土の人々に、そして次に異邦人に、悔い改
めて神に立ち返り、悔い改めにふさわしい行いをす
るようにと告げた。
21 こうした理由で、ユダヤ人たちは私を神殿で捕ら
え、殺そうとしたのです。
22 ですから、私は神の助けを得て、今日まで、小さ
い者にも大きい者にも証しをし、預言者たちとモー
セたちが将来起こると告げたこと以外のことは何も
語っていません。
23 それは、キリストが苦しみを受け、死人の中から
最初によみがえり、民と異邦人とに光を示すためで
ある。
24 パウロが自分の意見を述べていると、フェストス
は大声でこう言った。「パウロよ、あなたは気が狂
っている。学識が多すぎると気が狂ってしまうの
だ。」
25 しかし彼は言った、「フェストゥス殿、私は気が
狂っているのではありません。真実と冷静の言葉を
語っているのです。」
26 王はこれらの事を知っておられるので、わたしは
王の前で率直に語る。これらの事の一つ一つが王に
隠されているとは、わたしは確信している。この事
は片隅でなされたのではないからである。
27 アグリッパ王よ、あなたは預言者たちを信じます
か。あなたが信じていることは、私は知っています。
28 すると、アグリッパはパウロに言った。「あなた
は、私をキリスト教徒にしようと説得しようとして
いる。」
29 パウロは言った。「願わくは、あなただけでなく、
今日私の言うことを聞くすべての人が、この鎖を除
けば、私とほとんど同じ、あるいは全く同じ者にな
ってくれることを。」
30 彼がこう言うと、王と総督とベルニケと彼らと共
に座っていた者たちは立ち上がった。
31 彼らは離れて行き、互に話し合って言った、「こ
の人は、死刑や監禁に値するようなことは何もして
いない。」
32 そこでアグリッパはフェストスに言った。「この
男は、皇帝に上訴していなかったら、釈放されてい
たかもしれないのに。」

第 27 章

1 さて、わたしたちがイタリアへ船で向かうことが決
まると、パウロと他の囚人たちは、アウグストゥス
の部隊の百人隊長ユリウスという人に引き渡されま
した。
2 そこで、私たちはアドラミティオンの船に乗り込み、
アジアの海岸を航海するつもりで出航した。テサロ
ニケのマケドニア人アリスタルコも同行していた。
3 翌日、私たちはシドンに寄港しました。ユリウスは
パウロを丁重に扱い、友人たちのところに行って休
息を取ることを許可しました。
4 そこから出航すると、風が逆だったので、キプロス
島の下を航行した。
5 そして、私たちはキリキアとパンフィリアの海を渡
り、リキアの町ミラに着きました。
6 そこで百人隊長は、イタリアに航行するアレクサン
ドリアの船を見つけ、私たちをそこに乗せました。
7 そして、私たちは何日もゆっくりと航海し、やっと
クニドスの向こう岸に着いたが、風も吹かず、クレ
タ島の下を航行してサルモネ島の向こう岸に着いた。
8 そして、それを通り過ぎると、「美しい港」と呼ば
れる場所に着いた。その近くにラサヤの町があった。
9 さて、時間が経ち、断食期間が過ぎたので、航海す
るのも危険になったので、パウロは彼らにこう勧め
た。
10 そして彼らに言った、「皆さん、私はこの航海が、
積荷と船だけでなく、私たちの生命にも、損害と大
きな損失をもたらすであろうと承知しています。
11 しかし、百人隊長はパウロの話したことよりも、
船長と船主の話を信じた。
12 そして、その港は冬を過ごすのに適していなかっ
たので、大半の者は、そこからも出発して、なんと
かしてフェニキアに着き、そこで冬を過ごすことを
提案した。フェニキアはクレタ島の港で、南西と北
西の方角にある。
13 南風が静かに吹いてきたので、彼らは目的を達成
したと思い、そこから出航してクレタ島の近くまで
航海した。
14 しかし、それから間もなく、ユーロクリュドンと
呼ばれる暴風がそれに向かって吹き荒れた。
15 そして、船が風に流されて、風に耐えられなくな
ったので、私たちは船を流すにまかせました。
16 そして、クラウダという島の下を通って、舟で来
るのに大変な苦労をしました。

17 彼らはそれを引き上げると、船の下部に補助具を取り付け、流砂に落ちるのを恐れて帆を張り、流された。
18 わたしたちは暴風雨にひどく揺さぶられたので、翌日、船を軽くする作業が行われました。
19 そして三日目に、私たちは自分たちの手で船具を捨てました。
20 そして、太陽も星も何日も見えず、激しい暴風雨が私たちを襲ったので、私たちが救われるという望みはすべて失われました。
21 しかし、長い間断食した後、パウロは彼らの真ん中に立って言った。「先生方、あなた方は私の言うことを聞き従って、クレタ島から出かけて、このような害と損失を被るべきではなかったのです。」
22 それで、今私はあなた方に勇気を出しなさいと勧めます。あなた方のうちのだれの命も失われず、ただ船だけが失われるからです。
23 というのは、この夜、わたしのそばに、わたしが仕え、属している神の御使いが立っていたからである。
24 こう言った。「パウロ、恐れることはない。あなたは皇帝の前に引き出されなければならない。見よ、神はあなたと共に航海する者を皆、あなたに授けてくださったのだ。」
25 ですから、皆さん、元気を出しなさい。私は神が私に告げられたとおりになると信じています。
26 しかし、わたしたちはある島に打ち上げられるに違いありません。
27 しかし、十四日目の夜になって、私たちがアドリア海を漂っていると、真夜中ごろ、船員たちはどこかの国に近づいていると思った。
28 そこで測ってみると、それは二十ひろであった。そして、もう少し進んでから、もう一度測ってみると、十五ひろであった。
29 それから、私たちが岩に落ちてしまうのではないかと心配した彼らは、船尾から四つの錨を投げ出し、その日の明け方を待ちました。
30 船員たちは、船首から錨を投げ捨てるかのように小舟を海に下ろし、船から逃げようとしたが、
31 パウロは百人隊長と兵士たちに言った。「この人たちが船に残っていなければ、あなたたちは助からない。」
32 そこで兵士たちは船の綱を切り、船を落とさせた。
33 日が暮れようとしたので、パウロは皆に食事を取るように勧めて言った。「あなたがたが何も食べずに留まり、断食を続けて、きょうで十四日目になります。」
34 ですから、私はあなた方に、食物を摂るようにお願いします。これはあなた方の健康のためです。あなた方の頭からは髪の毛一本も抜け落ちることはないでしょう。
35 こう言ってから、イエスはパンを取り、皆の前で神に感謝をささげ、それを裂いて食べ始めた。
36 そこで、彼らはみな元気になり、彼らも食物を取りました。
37 そして、船に乗っていた私たちは全部で二百七十六人でした。
38 彼らは十分食べた後、船を軽くし、小麦を海に投げ捨てた。
39 夜が明けると、彼らはその土地がどこなのかわからなかったが、岸のある入り江を発見した。もし可能なら、そこに船を突っ込んでみようと思った。
40 そして、彼らは錨を上げて海に出て、舵の綱を解き、風に向かって主帆を揚げ、陸に向かった。
41 そして、二つの海が出会う場所に落ちて、船は座礁し、船首部分は固く張り付いて動かなくなったが、船尾部分は激しい波で壊れてしまった。
42 兵士たちは、囚人たちが泳いで逃げないように、彼らを殺そうと相談した。
43 しかし、百人隊長はパウロを救いたいと思い、彼らの計画を中止させ、泳げる者たちはまず海に飛び込んで陸に上がるように命じた。
44 残りの者たちは、ある者は板の上に、ある者は船の破片の上に乗りました。こうして、彼らはみな無事に陸に上りました。

第 28 章

1 そして彼らは逃げ出したとき、その島がメリタと呼ばれていることを知った。
2 そして、蛮族の人々は私たちに多大な親切を示してくれました。彼らは、その雨と寒さのために、火をたき、私たち一人一人を迎え入れてくれました。
3 パウロが薪を束ねて火にくべると、熱気からまむしが出てきてパウロの手に食いついた。
4 異邦人たちは、毒のある獣が彼の手にかかっているのを見て、互いに言った。「この男は間違いなく人殺しだ。海からは逃れたが、復讐の心は彼を生かしておかないのだ。」
5 そして、彼はその獣を火の中に振り落としたが、何の害も感じなかった。
6 しかし彼らは、彼が腫れ上がるか、突然倒れて死ぬかのどちらかになるのを待っていた。しかし、しばらく待っても彼に何の害も及ばないのを見て、彼らは考えを変えて、彼は神だと言った。
7 同じ地区に、島の首長で、名をプブリウスという人の所有地がありました。彼は私たちを迎え入れ、三日間丁重に泊めてくれました。
8 さて、プブリオの父が熱病と下血で床についていたとき、パウロは彼のところに行き、祈り、手を置いて癒した。
9 このようなことがあった後、島内の他の病気の人々も来て癒されました。
10 彼らはまた、私たちに多くの栄誉を与え、私たちが出発するときには、必要なものをすべて積み込んでくれました。
11 そして三ヶ月後、私たちはアレクサンドリアの船に乗って出発しました。その船はカストルとポルックスの星座を持つ島で冬を越していました。

12 そして、私たちはシラクサに上陸し、そこで三日間滞在しました。
13 そこから私たちは方位磁石を持ってレギオンに着きました。そして一日経つと南風が吹き、次の日にはプテオリに着きました。
14 そこで私たちは兄弟たちに会い、彼らと一緒に七日間滞在するように言われた。そしてローマへ向かった。
15 そこから兄弟たちは私たちのことを聞いて、アピオ広場と三宿屋まで私たちを迎えに来ました。パウロは彼らを見て神に感謝し、勇気づけられました。
16 私たちがローマに着くと、百人隊長は囚人たちを侍衛長に引き渡した。しかしパウロは、警備の兵士とともに、ひとりで住むことを許された。
17 三日後、パウロはユダヤ人の指導者たちを呼び集めた。彼らが集まったとき、パウロは彼らに言った。「兄弟たちよ、私は民や先祖の慣習に反する行為を何も犯していないのに、エルサレムから捕虜としてローマ人の手に引き渡されたのです。
18 彼らはわたしを調べたあと、わたしに死の病理がなかったので、わたしを釈放しようとしたのです。
19 しかし、ユダヤ人たちがこれに反対したので、私は皇帝に上訴せざるを得ませんでした。それは、私の国民を訴える必要があったからではありません。
20 わたしは、あなたがたに会い、あなたがたと話すために、あなたがたを呼んだのです。イスラエルの希望のために、わたしはこの鎖につながれているからです。
21 彼らは言った、「私たちはユダヤからあなたに関する手紙を受け取っていませんし、また来た兄弟たちも、あなたについて何か悪いことを言ったり、知らせたりしたことはありません。」
22 しかし、私たちはあなたがどう考えているかを聞きたいのです。この宗派に関しては、どこでも反対されていることを知っているからです。
23 そこで、彼らが日取りを決めたとき、大勢の人が彼の宿舎に来た。パウロは朝から晩まで、神の国について説き、証しし、モーセの律法と預言者の書とに基いて、イエスのことを彼らに説き聞かせた。
24 そして、ある者は言われたことを信じたが、ある者は信じなかった。
25 彼らは意見が合わなかったので、パウロが一言だけ語った後、立ち去った。「聖霊は預言者イザヤを通して、わたしたちの先祖によく告げられました。
26 こう言われる。「この民のところに行って言いなさい。『あなたがたは聞いても、理解しないであろう。見ても、悟らないであろう。
27 この民の心は鈍くなり、耳は鈍くなり、目は閉じられている。それは、彼らが目で見ず、耳で聞き、心で悟らず、悔い改めてわたしが彼らを癒すことができないためである。
28 ですから、神の救いは異邦人にも送られており、彼らもそれを聞くであろうということを、あなたがたはよく知っていなさい。
29 彼がこれらのことを言い終えると、ユダヤ人たちは立ち去って、互いに激しく論じ合った。
30 パウロは自分の借りた家に丸二年間住み、自分のところに来るすべての人々を迎え入れた。
31 彼らは、神の国を宣べ伝え、主イエス・キリストに関することを、全くの確信をもって教え、だれもそれを禁じなかった。